日本にある心霊法門の観音堂の住所　電話
〒136-0071　東京都江東区亀戸６丁目55－19　ルミエールビル8階　XLFM　JAPAN
電話　03－3636－2808
http://www.xlfm.info

この本は結縁にて、無料で差し上げます。

一命二運三風水　人生を悟る鍵はここにある

一命二運三風水

人生を悟る鍵はここにある

宇宙の神秘　人の運命

Master Lu が仏教を通じてわかりやすく教えてくれる

試行本出版にあたって

この『一命二運三風水』は、三年ほど前一度翻訳しましたが、その頃は、勉強不足で、訳文の語彙や表現にも少し問題がありました。その後、心霊法門を学習したり、法会にも参加して理解を深め、また、各方面の方々からの助言を得て、今回試行本として出版することになりました。不十分な点が多々あると思いますので、皆様からのご指導・ご助言をお願いいたします。

2016年9月27日

訳者一同

白話仏法　　談

一命二運三風水

トーテム大師　盧　軍　宏

玄学総合論述　八年実録五百問

『白話仏法』シリーズ第一巻

『一命二運三風水』

「オーストラリア オリエンタル ラジオ」（豪州東方中国語ラジオ局）蘆軍宏台長（局長）が主宰する毎週四時間の「玄芸総述」（玄学についての総合論述）という番組と毎週一時間の「玄芸問答」という番組のエッセンスを整理した文章。

質問者：「オーストラリア オリエンタルラジオ」（豪州東方中国語ラジオ局）の聴衆
回答者：「オーストラリア オリエンタルラジオ」　局長（台長）蘆　軍宏氏
記録、整理、編集：良宵

『一命二運三風水』の内容についての紹介

『白話仏法』シリーズ第一巻『一命二運三風水』は５冊から成り、シドニーの「オーストラリア オリエンタルラジオ」（豪州東方中国語ラジオ局）台長（局長）蘆　軍宏氏と聴衆の電話による問答を主体とし、若干の評注と文章を付け加えたものである。本書は主に以下の三点の内容について記録している。第一に，盧　軍宏台長が「通霊」（霊界と交信）した不思議な実例を記録した。第二に，盧台長の能力がどのように人々の生老病死に関する様々な難題を解決してきたかを記録した。第三に，盧台長の能力がどのように無病息災の一般人が万事順調で、健康で楽しく過ごすことの助けとなっているかを記録した。読者の皆さんは、この本を読んで、「霊界」が確かに存在していることを認識してほしい。信じていないから存在しないということではない。私たちは改めて世界を認識し、改めて自己を認識する必要がある。

目　次

第一部　　一命二運三風水

第一冊 …… 1
第二冊 …… 32
第三冊 …… 67
第四冊 ……106
第五冊 ……142

第二部　　盧軍宏台長のブログにアップされた一部分の文章の特集

盧 軍宏台長による玄学の基礎の解説 ……176
「オリエンタル ラジオ」が2008年12月3日観音堂にて弟子に
開示した記録 ……189
盧台長が2009年2月に行った法会における講話の記録……197

第三部　盧　軍宏台長のブログ『白話仏法』特集

大きな善行と功徳の違い ……219
新たな業が生じるのを阻止する方法 ……221
仏道を修行しても良くならない問題の所在 ……223
誰が運命を操っているのか ……230
運命の基本法則 ……230
前世の業障はいかにして現世にもたらされるのか ……232
どうして仏法を修行したり、菩薩を拝んだり、お経を読むことが
業障を相殺できるのか　……233
実生活に応用するには ……234
共業と個業の二者の因果応報の関係 ……234
修心は薄氷を踏むが如し ……236

第四部　蘆　軍宏台長のブログ「法門親伝」の特集

悪業を消す方法　……240
心に香を炊いて仏を礼拝する……242
仏道修行の要旨　……243
仏道修行の要旨　――続編　……245
仏道修行の要旨　――知恵の言葉　……248

第五部　「小房子」特集

「小房子」について　……250
「小房子」問答　……254
「小房子」による供養は慎重に……256
付録　修行に当たっての追加問答　……257
付録　番組の時間と内容のお知らせ及び「小房子」のお手本……258
付録Ⅰ　番組の時間と内容のお知らせ……258
付録Ⅱ　「小房子」のお手本……259

あとがき――　協賛者の話……260
後記……262

第一部　　一命二運三風水

第 一 冊

第一冊に関する説明

１．「オーストラリア オリエンタル ラジオ」（豪州東方中国語ラジオ局）の「玄芸総述」（玄学についての総合論述である）という番組では、電話がかかってきた聴衆にまず自分あるいは他の人の生年月日及び干支、性別を言ってもらいます。そうすると、盧軍宏台長が気を用いてその人の干支の画像を「看て」、病気を解釈したり、亡くなった人に関することついて答えたりします。本書の中で質問者の生年月日や干支などの情報を省き、盧台長の回答の精彩ある内容を残したものです。

２．質問と回答の中には時として質問者の言葉が挟まれていますが、それは整理する時に、括弧に入れて実際の状況を反映して、強調しました。

３．盧台長の回答は全部「天眼」を用いて、その場で一人ひとりの聴衆が言った干支や生年月日の天上でのトーテム（注：盧台長の天眼で見た映像の様なもの）を看て話したものです。文章を簡潔にまとめるために、編者は改めてこの点について繰り返さずに、結論だけ書いたのです。

４．当初、盧台長は他の華人向けの放送局で「玄芸総述」（玄学についての総合論述）という番組を毎週３０分放送していましたが、現在は盧台長は新たに20R 「オーストラリア オリエンタル ラジオ」（豪州東方中国語ラジオ局）という放送局を立ち上げて、理事長兼台長（局長）になり、従来毎週３０分だった「玄芸総述」という番組を今のように毎週３時間に増やしました。電話は鳴りっぱなしで、このことはシドニーの聴衆がこの番組にとても信服していることを示しています。

問：最近いつも夢に何人もの亡くなった肉親を見るんですが、これはどういうことでしょう。

答：これは彼らがあなたを訪ねてきたのです。偶然に何回か現れるのは問題ありませんが、もしいつもそういう夢を見て、特に明け方４時から８時

にかけて見た夢で、醒めてから夢で見た情景をはっきり覚えていたとしたら、そういう夢は正確です。もしあなたが日中精神的に疲れていて、集中できず、ひどい場合は頭が痛くて熱っぽく、風邪を引いたようである場合は、それは問題です。早く線香を焚いて、お経を読んで、「小房子」を燃やして、亡き霊魂を済度しなければなりません。

問：家で飼っている金魚やペットが死んだんですが、必ず『往生呪』を読むのですか。

答：ええ、必ず読んでください。金魚やペットにもすべて霊魂があって、そのまま放っておいてはいけません。『往生呪』を読むのは必ずしも決まった形でなくてもかまいません。ただ、心を静かにして心の中に金魚やペットの名前、色、種類などの特徴を思い浮かべ、『往生呪』を７回読んで、彼らを済度して送り出します。

ここで特に聴衆の皆さんに気をつけてほしいですが。もし、あなたの母親とか妻とか娘が、妊娠して流産・中絶したことがあったら、或いは生まれてすぐに亡くなったりしたことがあったら、やはり『往生呪』、「小房子」を読まなければなりません。そうしないと、後から生まれてきた子供が亡くなった子供の影響を受けて、病気がちで、不健康で、知恵遅れ、精神異常などになる可能性があります。

問：娘が最近望まない妊娠をして、ようやく見つかった仕事を無くしたくなくて、仕方なく人工流産し

ました。けれども、娘は亡霊などは信じていないので、代わりにお経を読んでもいいですか。

答：いいですよ。お経を読む前に、「娘誰々の代わりに、『往生呪』を読みます。菩薩に娘の平安と将来の妊娠出産がうまくいくよう」にお願いすると良いです。

問：私はカラーの観音像を持っていて、ずっと壁に貼ってありますが、何か気をつけることがありますか。

答：菩薩の像でも肉親の写真でも立っている像は、霊のあるものです。気をつけなければなりません。壁に貼ってある観音像は足を宙ぶらりんにしてはいけません。小さな台を置いて、観世音菩薩の足が台に着くようにして、菩薩がゆったりと台に立っているようにしなければなりません。台には果物、香炉、灯明、生花を置いて、心をこめて供えてください。

問：普段菩薩を祭っていますが、何か気をつけることはありませんか。

答：新鮮な果物を供えて、プラスチックで作った果物を供えないでください。もしプラスチックの果物をもらったら、あなたはどう思いますか。果物は毎日換えなくてもよくて、一週間に一度換えればいいです。拝む時は灯明をつけて、電池の灯明を供えてはいけません。拝み終わったら、灯明を吹き消してはいけません。それは、人間は生臭を食べているので、吐く息が穢れていて、菩薩に失礼となるからです。目の悪い人は必ず灯明を供えてください。そうすれば、目がはっきり見えるようになります。香を供える時も、本当の線香を供えて、一本でも三本でもいいので、家族を代表することになります。無煙香を供えてもいいですが、吹き消してはいけません。

　拝む時はできれば跪いて、礼を尽くして下さい。拝む時雑念を吹き払って、真心を尽くしてください。お願いを言う時、声は出しても出さなくてもかまいません。

問：願をかけるってどういうことですか。お礼参りってどういうことですか。

答：願をかけるというのは、菩薩の前で、菩薩に守ってもらったり、霊験を現してもらいたいことを軽く唱えて、自分の迷い、煩悩、大小の災いを解決してもらうことです。お礼参りというのは、願いがかなったら、必ず願をかけたお寺や菩薩の前で、香を焚いて、跪いて拝んで、布施をして功徳を積みます。布施や功徳は多少にかかわらず、自分の力に応じて、気持ちが伝わればいいのです。

問：菩薩のお陰で、やっと電話が繋がりました。弟はまだ三十代で、ずっと健康で、酒もタバコもやりません。この前，脳に腫瘍ができたことが分かって、今手術のために大陸に戻って、明日手術をします。彼は一人息子で、家族全員がとても心配しています。何か救う方法がありますか。

答：（トーテムを看てから）そうですね。弟さんは、頭がよくて、仕事がよくできますが、傲慢で、普段口が悪く、恨みを買いやすい人です。特に自分でも知らないうちに巫術のできる人の恨みを買ったのです。その人は法力や法術を使って、ずっと弟さんを呪っていたので、弟さんはこんな災難に遭ったのです。

　ここで聴衆の皆さんに気をつけてほしいことがあります。世の中には、様々な人がいて、とても複雑です。付き合っている時に特に「口徳」を積まなければなりません。つまり、沢山良い事を話して、人を貶めてはいけません。人の陰でも悪口を言わないほうが良いです。そうでないと因業を作ることになります。（今どうしたらいいですか）放生してください。これが一番直接的で、有効な方法です。家族の誰かに、生きた魚や海老や亀などを買ってもらってきてください。多いほうが良いでしょう。それらを自然の川や湖に放して、それと同時にお経を読んでください。弟さんのこの災いは大きな山場で、乗り越えられるかどうか分かりません。家族の皆さんはできる限りのことをするしかありません。

問：昨日ずっと電話が繋がりませんでしたが、ちょうど昨日のその弟さんの事例を聞いた時、私の親戚とよく似た状況でした。昨日早速電話をかけて、彼らに放生させました。でも、他にまだ伺いたいことがあります。その親戚は急いで中国に帰って、こちらには子供が二人残っています。奥さんは居ても立ってもいられません。私はこのごろずっと手伝っていて、洗濯から子供の世話まですべてしているのですが、最近自分は突然頭がボーッとして目の前が暗くなって、病気になったようです。昨日の放送で巫術のできる人の恨みを買ったという話を聞いて、ちょっと怖いです、私に何か関係がありますか。

答：もちろん関係があります。人が病気になるのは二通りあります。一つ

は、本当に体の機能器官が病気になることで、もう一つは、年が若くて、体が正常なのに、どういうわけか変な病気にかかることです。二番目の状況はつまり、何かの霊がその人の体に取り憑いたのです。あなたの親戚は二番目の状況です。あなたは彼のために難題を解決してあげたので、その霊があなたにトラブルをもたらして来ますから、あなたは体の調子がおかしくなるのです。人を助けることは功徳を積むことですが、適切な範囲で力に応じてやればいいのです。今は『大悲呪』を沢山読んで、自分の力をつけてください。

問：どこで『大悲呪』『往生呪』『心経』などのお経が求められますか。

答：私たちのラジオ局にあります。この前大陸から１００冊送ってもらいました。タイトルは：「佛教念誦集」です。すぐなくなりました。今回また１００冊送ってもらいましたが、ほしい人はラジオ局に取りに来てください。無料で差しあげます。中の経文は梵語から翻訳したもので、ある部分は読めないかもしれないので、人にお願いして中国語のローマ字をつけてもらったので、便利です。おいでになる前にまず92832758に電話して、在庫があるかどうか確認してください。

　また、急いでいる人なら、電話でファックス番号を知らせて、どの経文がほしいかも教えてください。ファックスで送ります。ファックスのない人は、手紙で知らせてください。住所、氏名の書いた返信用の封筒を同封して、どの経文が要るのか書いてください。コピーして送ります。切手も要りません。

問：盧台長がこんなに行き届いていて、無料で下さるなんて、本当に菩薩の心を持っていらっしゃいますね。

答：私は急いでお経を読みたい人を見ると、自分も焦った気持ちになります。菩薩が私の口を借りて皆さんを助けるように、また皆さんが無事に毎日を過ごして、無病息災であるように望んでいるとずっと言っています。

問：私はクリスチャンですが、お経を読んでも大丈夫ですか。

答：大丈夫ですよ。佛教の経典は他の宗教の教義を排斥しませんから。キリスト教やカトリックのお祈りの方法で、お経を読んでも同じ効果があります。各種の宗教は天上では同じです。ギリシャ正教やイスラム教も同じです。ただ、このように宗教を超えた過程で、できれば、互いに挨拶をしたほうがいいです。それは、友達同士で挨拶をするのと同じです。私は車だろうと、歩きだろうと、教会などの場所を通りかかった時、心の中で一言二言念じて、友好のしるしとします。

問：私は臓器提供について、伺いたいのです。父は年老いて、オーストラリアで余生を楽しく過ごしています。父は社会に何の貢献もしていませんので、死後、自分の臓器を病院に提供したいと思っていますが、いかがでしょうか。

答：玄学（主に中国の道家思想で儒家の経典を解釈するもの）の角度から見れば、良くないです。体の各部分は父母からもらったもので、分けてはいけません。死後も遺体はそっくり残すべきで、祖先と共にあります。一つ例を挙げましょう。ある母親が目を提供したところ、息子が夢に母の恐ろしい姿を見ました。両目の部分が大きな空洞になっているのです。息子はひどく恐ろしくて、勉強にも集中できないくらいです。

問：（聴衆がまず夫の生年と干支を言ってから）夫は普段株をやるのが好きで、また各種の宝くじを買うのも好きですが、金運があるかどうか、見ていただきたいのです。

答：これは見ません。人の金運は前世から決まっていて、私が看るのは一般の金運で、宝くじみたいなものは大きな悪銭です。当時、私がこの超能力でトーテムを看た時、自分でもとても不思議で、試して看たかったのです。しかし、その晩、私の耳元で「看てはダメ、看てはダメ」という声がしていました。それは師匠が私に警告したのだとすぐに分かりました。それ以来、私は金運は看ないと決心したのです。

問：私は二週間電話が通じませんでしたが、今日は一回で通じて、良かったです。最近夫婦関係がうまくいっていませんが、何かいい方法がありますか。また、子供の将来はどうでしょうか。

答：沢山の人が二、三年かけても通じない場合がありますよ。二週間はたいしたことじゃありません。奥さんは人柄がいいのですが、あなたはあまり大切にしていません。早く『解結呪』を読んでください。また、菩薩の前で「大願」をかけて、たとえば、一日と十五日に精進料理を食べるとか、これも「大願」の一つです。それから、奥さんに優しくしてください。もし、そうやってもダメなら、二人の縁は尽きて、どうしようもないということです。

お子さんは小さいけれど、あなたたちの影響を受けています。トーテムを看たら、この子の干支はいつも首を垂れて、子供なのに老成して見えます。（そうです。普段から口数が少なくて、笑いません。）この子は良い子で、将来はオフィスのトップになります。これから是非あなた達夫婦の関係がお子さんに影響しないようしてください。

問：盧台長、先ほど番組の中で話した人は私と同じ年で、干支も同じです。それなら、私たちは同じ運命ですか。

答：同じ年で干支や性別が同じなら、二人の運命は40～50％同じです。しかし、私の看るトーテムは電話が通じてから、その場で看るその人の天上で干支のトーテムです。これは一つのその瞬間の天人の感応で、誰にも当てはまるわけではありません。

（**良宵**の証言：私は八年に亘って、この番組を聴いていますが、何回も連続して電話をかけてきた二人は生年、干支、性別が同じでしたが、盧台長が回答する時に看たトーテムは随分違っていて、色、形、動作が全部違っていました。ですから、回答も随分違うわけです。）

問：最近よく夢で亡くなった肉親を見ました。明け方4時、5時になっても眠れなくなって、目が覚めたら、部屋に点々とした緑の光の点が現れて，飛び交っていたのです。これはラジオで取り上げても大丈夫でしょう

か。

答：あなたが言ってる緑の点は、私たちは普段あまり見られない霊界のものです。私もよく見えます。普通二通りの人がよく見ることができます。一つは、長期間修行して、一定のレベルに達した人が見えます。もう一つは，陰の気が特に強い女性で、例えば、病気で弱っている時や、感傷的で傷つきやすい時によく見えます。（私は出産したばかりで、子供はわずか三ヶ月）なるほど。あなたは是非大いに日光を浴びて、部屋の風通しをよくして、夜寝る時、明かりを全部消さないように、豆球を一つつけるだけで良いでしょう。例えば、廊下の電気などです。こうすれば、陰の気を減らせます。普段できれば、くよくよしないで、人とよく付き合えば、悩みが少なくなるでしょう。

問：盧台長、私は帰国の飛行機で隣の人から盧台長のことを聞いたので、今上海から電話をかけています。ちょうど悩みがあるので教えていただきたいのです。娘はオーストラリアで大学を卒業して、良い仕事もしていますが、突然中国に帰って仕事をしたいと言ったのです。いいかどうか教えていただきたいのです。

答：電話が通じて良かったのですね。ただ今は「直話直説（素直に話そう）」と言う番組で、まだ「玄芸総述」の時間ではありません。あなたのためにトーテムを看たら、他の人は不満が出ますよ。でもあなたは海外から掛けてきたので、例外で看てあげましょう。簡単に言いましょう。（**良宵注**：電話の中は無言で、七、八秒ぐらい経ってから）娘さんはオーストラリアに適しています。上海に帰ったら、草も食べられません。およそ半年、一年経ったら、また戻ってくるはずです。でも、彼女はすでに決心したのですね（オーストラリアでの仕事を辞めたのよ）、これは彼女の運命の中で必ず経験することなので、あまり反対しないでください。ちょっと勧めるだけで良いです。

問：友達に頼まれてこの電話をかけました。彼女は今年48歳で、子供がほしいのですが、まだいけるかどうか、看ていただきたいのです。

答：可能性はないわけでもないのです。彼女は割りと体の調子が良いです。ただ48歳の年齢なので、子供ができても大変です。彼女は生んだことがありますか。何年ですか？弟か妹か生まれるべきかどうかを看てみます。（聴衆が生年を言ってから、現在の子供は良くないので、もう一人の子供がほしいと言うことを話した）ほう、今の子供のトーテムはぼんやりして、はっきり看えませんね。頭と足が見分けできなくて、変ですね、こういうトーテムを看たことがありませんね。（聴衆が実情を言いました：この子はもう亡くなった。だからもう一人ほしい）。ああ、私をテストしているのですか。亡くなった人のトーテムを見せたのですか。（いいえ、いいえ。）まあ、台長は試練に耐えられるのですよ。先ほど、この子はもう亡くなったことを言う前に、私の看たトーテムでは頭も足もないもので、ぼんやりしていました。あなたは事実を言ったので、私もちょっと言いましょう。お友達はこんな年なので、子供がほしかったら、玄学の角度から見れば、沢山功徳を積む必要があります。大いに良いことをして、誠心誠意仏にお願いしてください。善良な心を持って、功徳を積んで、善行を多く行ってください。またお経を読んで、亡くなった子供をよく済度しなければなりません。『往生呪』を読んでください。

（**良宵注**：私が八年間聞き続けて初めてこの事例を聞いたもので、初めて亡くなった人の生年を言って、盧台長が始めてトーテムはぼんやりしていると言って、頭と足が見えない、「亡くなった」事実と一致した。この例で盧台長がトーテムを見る超能力が現代科学で解釈できないことが分かると思います。）

問：ある西洋人もこちらに興味がありますが、中国の干支で彼のトーテムを看ることができますか。

答：勿論良いです。電話がかかってくる人には西洋人にせよ、中国人にせよ、生年と干支を言うだけで、同じように看ます。私は「気場」で看る時、皆さんの情報を聞いたら、私の意念と繋がって、天上のトーテムに変えます。まるで人々がパソコンを使う時、パスワードを入れたら、すべての情報が取り出せるのと同じです。このトーテムは本当によくあた

っていて、私にも信じられません。この前長年会っていない友人が訪ねてきて、会った瞬間に、私は彼に、足はどうかしたのですか、具合が悪いのですかと聞くと、彼は大丈夫、問題ないですよって言いました。しかし、何日かして、突然彼が交通事故で、私の話したその足が折れました。このことを聞いて自分もびっくりしました。こんなに当たっているのです。その時すでに見たけど言うのを我慢しました。ですから、是非信じてください。

問：私は盧台長の番組を何年も聞いています。皆台長がよく当たっていると言います。盧台長の能力がまた増強してきていますね。今年何回も聴衆のために、天上で守ってくれる菩薩がいるかどうか話しました。何年かほど前なら言わなかったのですね。

答：そうですね。私は聴衆に責任を持たなければなりません。沢山の聴衆が二三年電話をしても通じなかったそうなので、皆さんは誠心誠意聞いていますね。天上に菩薩がいて守っているかどうかについては、今年オーストラリアを訪問したチベットの活仏珠康に感謝すべきです。活仏珠康は今年（2007年）六十代で、彼はオーストラリアに滞在した二週間ずっと私がお供をしていました。彼と会った時、彼の頭の上に強烈な赤い光があるのが見えました。彼は随分パワーがありますよ。活仏珠康も私は仏と深い縁があると言いました。彼のお供で滞在した二週間で、活仏がほぼ毎日私に灌頂（かんじょう）してくださったのです。

問：色々違った様子の観音菩薩像がありますが、私はどういう形の菩薩を拝んだらいいですか。

答：そうですね、観音菩薩には立っている形や、両足を組んだ座り方のもありますし、傍に子供もいる像や、水瓶（みずがめ）を持っている像や、千手観音菩薩などがありますよ。天上であなたはどの菩薩と縁があるのかちょっと看てみます。ああ、あなたの観音菩薩は立っているほうです。長形で、髪の毛がウェーブして後ろに梳かしていて、白いスカーフをかけている菩薩です。

問：娘の健康と結婚運を看てもらいたいのです。

答：トーテムで看たところ、娘さんは体が弱いようです。偏頭痛の持病があると思います。私の看たこの龍は鱗も力がなく垂れています。龍の体に黒い点もあるので、結婚生活に邪魔が入り、トラブルがあります。「大悲呪」を読むべきです。毎日朝晩それぞれ一回。代わりに読んであげてもいいです。（どうやって代わりに読みますか。）お経を読む前に、こう言います「大慈大悲救苦救難観音菩薩様、是非娘の誰誰を守ってください、何々してください」とお願いしてからお経を読んでてください。

問：主人の鼻を看ていただけますか。最近手術をして、ポリープを取りましたが、根絶していますか。

答：良いですよ、具体的な部位を教えてください、私は拡大鏡みたいに、この部位に集中して看るので。具体的な位置を教えないと、全体的に看るので、確率が低くなります。はい、鼻の左半分に一つ溝みたいなところを看ました。はっきり分かっています。黒い点がないので、根絶したはずです。ご主人にお経を読ませてね。『大悲呪』を読んで、パワーをつけるように、あとは辛いものを避けてください。ご主人は胃腸と心臓も良くないので、気をつけてください。

　ここで、例を一つ言いますが、何ヶ月か前にある聴衆に胃腸の下腹部に黒い気があると教えたのです。私は医者じゃないので、具体的な病名が分かりません、ただお医者さんに行ってくださいって。彼は三ヶ月順番を待ってお医者さんに見てもらって、検査を受けたら、早期の大腸癌だと分かって、検査結果を持って感謝しに来ました。また、お経を読み始めてから、夫婦喧嘩も随分少なくなったそうです。また、皆さんに話したいのですが、その人はカトリックを信じる人ですが、佛教のお経も同じように利きます。肝心なことは誠心誠意で、この宗教が良い、その宗教が悪いとか悪口を言わないで、上帝でも菩薩でも、実は結局同じで、呼称、呼び方が違っているだけなのです。

問：主人は酉年で、ヒスイの鶏の形をしたネックレスのペンダントを買った

のですが、またクリスチャンなので、胸に十字架もぶら下げています。それはいかがですか。

答：少なくとも二つのものを別々に置いたほうが良いです。また、皆さんに注意してほしいですが、沢山の人は自分と同じ干支の玩具、木彫り、縫いぐるみを飾っていたり、画像など、家に置いてあったりして、それが良いと思い込んでいますが、良くないことです。こちらのものはそれぞれの違った所から集まってきたら、霊が違って、合い通じないだけでなく、他の霊を家に連れ込んだことになるので、家でのトラブルを起こします。

問：私の買った家は、ドアを開けたら、まっすぐ裏門の見える構造の家です、これは良くないと聞いていますが、何か改善できる方法がありますか。

答：表門と裏門と一直線になっているのは勿論良くないです。改善できる方法としては、

一、同時に表門と裏門を開けないでください、そうでないと、家の財運、人気とも散ってしまいますので。

二、表門と裏門の間に何とかして門をもう一つ作って、直通の通路を遮断して、家で二つの独立した空間を作って気を集めます。

三、もし門を作ることが無理なら、少なくとも屏風を置いて、或いは暖簾をかけてずっと床まで届くように。

四、それもできなければ、裏門の門の裏に中国の山水画をかけてください。ドアを開けたら、すぐ山水画が目の前に現れて、家の気が外に漏れないようになるのです。以上四つの中で、一番大切なのは一です。

問：私の家の正門は隣の家の浴室の窓に面しています。これは良いですか。

答：良くないです。浴室から出る蒸気と水は共に汚れた気なので、よくないのです。自分の家に入れてはいけません。解決の方法としては、あなたの家の外に面している門の一面に赤い「対聯」（中国では赤い紙や布に書いたり、木や竹に刻んだりした対句の事）、赤い紙の花とか張ってくださ

い。ただ、鏡を置かないでください。八卦反射の原理で他人に向くのは、やりすぎて良くないです。また、自分も傷つけます。

ここで皆さんに注意したいのですが、家の中で、部屋のドアがトイレに面しているのがありますか。もしあれば、良くないのです。道理は先ほどと同じです。汚れた気が寝室に流れてはよくなく、健康や運勢に悪いのです。（**良宵補充**：以前西洋の建築士があまり東洋の風水芸術を重視しませんでした。私自身が色々見学し家を買う過程で、およそ１００軒見た中で、およそ１０軒はこういう弊害があります。古い建物ほどそうなります。新しい家はこういう面のことは少なくて、明らかに西洋現代建築史教科で東洋の風水知識を取り入れた成果だと思います。）

問：私は最近夫と海辺の家を購入しました。見に行った時は昼間で、青い空で、波も静かで、太陽がきらきら輝いていて、本当に美しいです。しかし、住んでから分かったのですが、夜の風の音や、波の音がうるさくて、眠れないだけでなく、何か怖い感じがします。主人は海に面している窓に八卦鏡（易の八卦の鏡）を置いたのですが、大丈夫ですか。

答：ダメダメ。これぐらいの八卦鏡では、大海の音や波、気場を拒むことはできません。オーストラリアの多くの人が海辺の家が好きで、空気もよくて、気持ちも大きくなるからです。風水の角度から見れば、海辺の家を買う時には本当に気をつけなければなりません。夜は海水の波が高くて、風も強いので、沢山の精霊が出入りして活躍する時間帯です。なぜ小説で、沢山の海竜王や、海の怪物,蟹の兵、海老の兵、鯉の精などがあるかといえば、道理があるのですよ。皆さんを脅かすのではなく、玄学の理念を教えたいからです。すでに買ったので、どうしましょう。

先ず、その八卦鏡をはずして下さい。良いことがないだけでなく、トラブルを招きますから。また第二に、できるだけお年寄りに住んでもらわないように。年寄りは弱いので、病気になりやすいです。第三に、毎晩寝る前に窓をしっかり閉めて、二重の窓があれば更に良いです。第四に、家族の人は『七仏滅罪真言』、『消災吉祥神呪』、『往生呪』を読んでてください。これらのお経は（念仏集の）『十小呪』にあります、また

『心経』、『大悲呪』も読んでください。こうすれば、安心して住めます。

問：盧台長、うちの家族は二十年来、ずっと家の裏門から出入りしています。車庫は大通りに近いので便利だからです。裏門から出るのはよくない、不浄な財産だと聞いたので、お聞きしたいのです。

答：正門は正気、正運、正財を象徴します。正門がスムーズになったら、家族の皆は生活やビジネス、仕事、体の調子など割と繁栄します。裏門や横の門などは、補助的な象徴です。裏門から出入りして正門を利用しなかったら、不浄な財しかなくて、正財はないのです。サラリーマンなら、安定した収入があるから大丈夫ですが、ビジネスをやっている人や、くじをやっている人、株をやっている人なら運勢が悪くなります。裏門だけ開いて正門を閉めている会社はありますか？すべての会社は正門を豪華に飾って、立派な門を作っているのはこのためです。（家の主人はサラリーマンです）それなら大丈夫です。裏門をきれいに掃除して、草もよくとって、ごみも置かないようにしたら大丈夫です。

問：家に亡くなってから半年以上たった肉親を祀っています。父や母の写真も壁にかけてあって、毎週お香を焚いて拝んでいますが、良いですか。

答：通常は良くないのです。人が亡くなったら、行くところが三つあります。一つは天上に上って登仙することで、二つ目はあの世に行って亡霊になること、三つ目は生まれ変わることです。あなたが香を焚いたら、彼らの一部分の霊魂がやってきます。登仙した人はあなたを守ります、亡霊になった人はあなたに迷惑をかけます、生まれ変わった人なら落ち着かなくなります。もしあなたの肉親はすでに生まれ変わって、他人の子供や親になった場合、あなたが香を焚いたら、この子やお父さんは頭がぼんやりして、痛くて、馬鹿なことをしてしまうかもしれません。（じゃ、どうしたらいいすか）

　普段は写真をしまっておいて、清潔なところに置いて、旧暦の一日、十五日、清明、冬至などの祭日に、年に六、七回ぐらい出して、お香を

焚いて、拝んだら良いです。

問：私のある友人は随分仏の教えを信じていて、お参りするたびに、菩薩の像を一、二体いただいて帰りますので、今家の飾り棚に様々な菩薩が並べてあります。本人もこのままではいけないと思って、どうしたら良いのか、盧台長に教えていただきたいのです。

答：それは良くないです。天上のことは我々人間の世界よりずっと複雑なので、勝手にしてはいけません。通常誠心誠意に一つの菩薩を祭ったら良いですが、もし何尊もの菩薩を祭ろうとしたら、全部行き届いた配慮をしなければなりません。もしある菩薩にしばらくお香を焚いて拝んでいなかったら、別の邪霊が通り過ぎる時、あまり祭っていない菩薩の位を占めて、偽の神になります。守ってくれないだけでなく、害になります。これであなたが病気になったり、不運になったりしても理由が分からないままです。是非その友人に仏像を整理して、二、三体残してください。姿が違っていても大丈夫です。他の仏像を礼儀正しくお寺に送ってください。普通お寺は受けてくれます。

問：私は時々夢でなくなった肉親を見ますし、時々夢で生きている肉親を見ますが、何か違いがありますか。

答：違いがあります。亡くなった人の夢を見るのは、その亡くなった人があなたを訪ねてきた、つまり「夢知らせ」です。あなたが夢に出た肉親の状況で何かやらなければなりません。例えば、お金がない、寒いとか言ったら、あなたが「小房子」を焼いてあげる必要があります。夢で生きている肉親と会ったのは、その人と前世で縁があることですが、この縁は良縁かもしれないし、悪縁かもしれません。夢の中の状況で判断してください。目が覚めたらその人との関係をうまく処理してください。良縁を大切にし、悪縁を避けてください。

問：台長がいつも『心経』、『大悲呪』、『消災吉祥神呪』を勧めていますが、それぞれのお経はどういうふうに読みますか。

答：『心経』は毎日三回から七回読んでください。ただし、夜十時以降あげないでください。『大悲呪』も毎日三回から七回、昼も夜も大丈夫です。あげる前にできれば、「大慈大悲観音菩薩様　私誰誰を守ってください」と言ってからあげてください。もし最近色々なトラブルがあったり、お金を無くしたり、喧嘩したり、罰金を取られたり、突然の病気などの場合、『消災吉祥神呪』をあげなければなりません。普通回数は３、７、１７、２１、２７などの数字です。短いお経は多めにあげて、長いお経は少なめにあげたら良いです。肝心なのは誠心誠意念じて、目を軽く閉じて、できるだけ雑念を入れないで他の事を考えないで、暗唱までできたら更に良いです。『心経』は心を清め、智慧を増やしてくれるお経で、『大悲呪』はパワーをつけてくれるお経です。この二部のお経は一番ご利益があって、基礎的日課です。

問：夫は西洋人で、私とすでに離婚していますが、まだ家に居候して出て行ってくれないのです。どうしたら良いですか。

答：多くの西洋人は、実は前世は中国人だったのです。出て行ってくれないと言うのは、まだあなた達の縁が切れていないからです。縁に任せましょうか。あなたのトーテムから見れば、あなたは婦人科の病気があって、浮気運もあります。あなたは『心経』、『大悲呪』。『解結呪』を読んでください。ご主人は寅年で、山に座っている虎なので、出てくれないのです。

問：息子は未年で、今中国でビジネスをやっていますが、盧台長に彼の運勢と財運を見ていただきたいのです。

答：普通なら、未年の人はオーストラリアにいたら良いですが、息子さんの場合は中国に向いています。しかし、彼のトーテムに黒い点が多いので、身辺によくない人がいるため、ビジネスがよくなった途端にトラブルが起きます。（そうですよ。最近罰金を取られたばかりです。）また、彼は浮気性があるので、財運がよくなりません。（今嫁が彼のためにお経を読んであげていますが、効果がありますか。）効果がありますよ。嫁さんはきっとご主人の人柄を知っているから、代わりにお経を読んであげ

ていますからね。ただ、これは本人がお経をあげる効果の30%しかありませんよ。嫁さんにご主人のために『消災吉祥神呪』もあげさせてください。これはご主人に訴訟を避けたり、ビジネスの障害を防ぐように。また、息子さんに布施をさせて、良縁を沢山結ぶように。彼は白い羊なので、普段白い服を着たら良いです。

問：生臭料理と精進料理、豚肉牛肉海鮮など、どこが違っていますか。主人は特に牛肉が好きですが、大丈夫ですか。

答：正統な修業なら、精進料理を食べるべきで、基本的に生臭を食べるべきではありません。私はずっと精進料理です。もし私が生臭をちょっとでも食べたら、能力が減退します。ある人は小さい時精進料理を食べる習慣がついてないから、あまり無理をしないで、ほぼ精進料理なら大丈夫です。豚、羊、牛は大きな動物なので、一人で食べられないから、罪業が割りと小さいですが、牛は割と霊が強い動物なので、ご主人にできるだけ食べないように勧めてください。小さい魚や海老などの海鮮は、小さい霊なので、食べたら罪業が大きいです。特に誕生日を祝う時、生きた海鮮を料理すると、その小さい海鮮はあなたのために死んだので、かえって寿命を縮めることになります。

問：最近マンションに引越ししてきました。盧台長にこの家の風水を見ていただきたいのです。

答：あなたの家は高いところにありますね。入り口から入って両側の気場がよくないのです、できれば入り口にエコ的なランプをつけてください。24時間つけていても、電気代はたいしたものではありません。こうしたら、よくないものが入らなくなりますから。また聴衆の皆さんに注意してほしいのですが、このランプは是非赤系のランプを使って、白い光を使わないでください。真っ白の光では顔色も真っ青に見えるので、運が悪くなります。あなたの家のトイレは濁った気場になっていますね。使い終わったら是非すぐ閉めてください。そうでないと、頭が痛くなったり、胃が痛くなったりしますよ。（家には観音菩薩像と太歳菩薩像は別々

に飾ってありますが、どうですか）よくないのです。一緒に置いてください。

問：我が家の窓の向こう側は学校のグランドで、昼間はとても騒がしいです。夜は静かで、怖いほど静かです。こういう風水はどうですか。

答：とてもよくないです。あなたは随分霊感を感じますね。極端に騒いでいるのと静寂を共に感じていますね。昼間は騒音でうるさいから、住む人にとって気分がよくないです。また夜は静か過ぎて、人気がないです。活気がなく、停滞しているのはこういう意味です。また、あんまりに静かだと、何か他のものが出てきます。皆さんには見えないですが、私には見えます。よくないものです。同じように、窓やドアが公園、芝生に面していてもよくないです。多くの人が芝生は緑で、空気も新鮮なので良いと思いますが、夜になると、ガラガラになるから、よくないです。（では、どうしたら良いですか。）昼間はすべての窓を開けて, 陽気、酸素, 養気を受けて、夜は窓を全部閉めて、カーテンも閉めたら、中の人は外の寂しさを感じなくなります。

問：父は今年70歳で、体の調子がよくないので、健康を見ていただきたいのです。

答：お父さんは腎臓がよくないです。（はい、そうです。）前立腺炎症の可能性があります。（直腸の手術をしたことがあります。）若い時、随分活躍していて、あんまりにも活躍していたので、人の恨みを買ったのです。一部分は女性関係で、つまり感情的に人を傷つけたことがあって、今でもそのわだかまりがなくなっていません。今70歳になったのですが、お父さんに『礼佛大懺悔文』を読ませてください。このお経は長いですが、長年の恨みや罪業を消すお経です。このお経は私が初めて番組で紹介しています。勝手に読めないお経です。お父さんに言ったら、本人がよく分かります。脅かしではありませんが、お父さんの病気は罪業から来る病気で、よくお経を上げないと、先が長くないですよ。（**良宵注**；盧盧台長がこんなにひどいことを言うのは初めてで、その厳重さがよく分

かります。）

問：息子は今年十何歳で、（**良宵注：**その後、正確な生年月日と干支を言いましたが、プライバシーを守るため、文章の中は省略したか、偽名になります。以下同様。）一流中学校に受かりたいのですが、できますか。

答：息子さんは若いのに、口がうまいですね。いつも不注意で、人を傷つけますよ。（そうよ。時々そのきつい言葉で胸が詰まります。）一流学校に入るには障害があります、ちょっと大変です。あなたが代わりにお経を読まなければなりません。（どんなお経ですか。）ちょっと天上の菩薩に聞いてみます。（しばらく無言）ええ？何で『七佛滅罪真言』をあげるの？「この子は前世悪いことをした子です、49回読まなければなりません。」菩薩がこう言っていますので、私はこのまま伝えるしかありません。良いですか。

問：娘が最近家に帰ったら、いつも頭がぼんやりして、体の具合がいつもと違って、回りに陰の気を強く感じていると言っていますが、娘の家に何か問題があるか見ていただけませんか。

答：ああ、あなたの家では最近木を切ったのではないですか。（そうですよ、娘だけでなく、隣の人と一緒に大きな松の木を切ったのです。）それなら、理由が分かりました。この木の下は太いですね（そうですよ。）この木は霊のあるもので、勝手に切ってはいけませんよ。今娘さんに因縁をつけてきたのですよ。彼女は足が上がらなくなりますよ。（他の人は何もないですよ。）他の人も分からないから、将来何かトラブルが出ますよ。その精霊が私を通して娘さんに何十年、何百年の樹齢のある木に手を出してはいけないと警告するように。娘さんに早く『大悲呪』、『心経』、『往生呪』を読ませてください。また、娘さんの腕にも黒い気があるので、大いに日向ぼっこをさせてください。

問：ある女性のことを聞きたいのです。鼠年ですが、何色の鼠ですか。守ってくれる天上の菩薩がありますか。体のどこに黒い気がありますか。（**良**

宵注：この番組はすでに八年やっているので、聴衆の質問もプロのレベルになっています、ほとんどの人がこのように質問できます。）

答：ははあ、聴衆の皆さんはかわいいですね。すぐ肝心なところを質問しました。この鼠は外は白で、中は黒です。と言うのは肌がちょっと黒っぽいですが、普段はちょっと白系の服を着ると良いです。この鼠はなかなか良いですよ、もう学生でしょうか、体に光を感じますよ。頭の上に火のついている菩薩が彼女を守っていて、お釈迦様みたいな感じです。今年を過ぎたら、年女になるので、何事にも保守的にやってください、力強くやるんではなく、順調に過ごしたら良いです。彼女のお腹に影があって、横の黒い線があって、ちょっと深いですよ（以前帝王切開をしたことがあります)、なるほど、こちらも手術をしたかどうか聞きたかったところです。本当によく当たっていますね、時々自分でも信じられません。本当に信じなければなりませんね。

問：娘は未年で、辰年の彼氏がいますが、この二人の付き合いはうまくいけるかどうか、見ていただきたいのです。

答：今のところは順調です。将来的にこの龍が変わる可能性があります。娘さんに今から『大悲呪』と『解結呪』をあげさせてください。自分にパワーをつけて、仲良く付き合って、共白髪まで幸せになるように。（彼らは縁がありますか。）これは言えません,看たとしても言えません。言ってもどうにもならないでしょう。隋縁（ずいえん）しましょう。お母さんとしては、縁がないと知ってしまったら、別れさせるのですか。できないことです。縁はすべて運命で決まっています、無理やりに別れさせたら,応報が来ます。やはり知らないほうが良いです。

問：兎年の男性を看ていただきたいのです。（ここで、生年月日などを省略します。以下同様。）

答：この兎の全身、上の口のほうから後ろのしっぽまで太くて黒い線があって、これはよくない真ん中の線です。また、兎の全身にコーヒー色の霧が漂っていて、トーテムを看た途端、その霧が出てきたのです、更に看

ると、また出てきたのです。きっと体に何かついています。早くお経を上げてくださいよ。（彼はクリスチャンですよ。）それはかまいませんよ。佛教、キリスト教、カトリック教、回教、イスラム教、ギリシア正教、ヒンズー教など、全部神を信じたり、上帝を信じたりするので、実は同じです。教会でお経を読んだり、信者の間で公の場でお経を読んで、不愉快にさせなかったりさえすれば、大丈夫です。この人は罪業が重いので、「小房子」を読むべきです。『大悲呪』27回、『往生呪』84回、『七佛滅罪真言』87回、『心経』49回、一週間でこれらのお経を読み終わってください。お経を上げながら、口には、これらのお経は私の体について、「お経」を取りに来る人にあげると言ってください。今の聴衆、よく聞いてください、是非彼に教えてください。彼の頭の上に守ってくれる菩薩がいないだけでなく、何かのものが彼を圧迫していて、頭が上がらない状態です。というのは、この兎は罪を犯しています、或いはかつて犯罪をしたことがあります。この罪とは、殺人罪とかではなく、ある神霊の恨みを買ったことがあるとか、沢山の口業を犯したとかであって、これから是非気をつけてください。

問：私は鼠年で、1936年生まれです。一ヶ月前に手術をして、大腸、小腸も一部とったんです。お医者さんはきれいにとってくれたと言いまして、退院して間もないですが、是非台長に傷口はどうなのか、看ていただきたいのです。私は耳が遠いので、ゆっくり、大きな声でお願いします。（**良宵注**：この七十代の老人は自分の生年月日、病状などを素直に話していて、とても自然な感じ。ここで省略しなくても、怒らないと思います。）

答：はい、詳しく看ますよ。あなたは確かに大きな山場を越えたのですが、あなたの胃腸部は蜘蛛の巣のように、汚いものが見えませんが、血液循環が不調であって、黒い点があります。血が鬱結しているようです。あなたに方法を一つ教えますよ。毎回『大悲呪』を三回読んでください。勿論多ければ多いほどよくて、自分の気を損なわなければ大丈夫です。お経を上げてから、あなたの手が熱くなりますから、両手を挙げて、十

本の指を前に向けて、手の平を上に向けて、左右の小指を併せて、あなたの顔の前方に当てて、観音様の浄水滴があなたの手の中に入った感覚で、その手でお腹を揉みます。左手10回、右手10回、方向は時計回りとその逆の方向で揉んで、観音菩薩の浄水であなたの傷口を洗っているように感じながら、揉んでください、一ヶ月で直りますよ。（一回お経を上げてから揉むのですか、三回終わってから揉みますか。）三回上げてから揉んでください。細かく聞いていますね。誠心誠意ですね。よかったです。

問：私たちは以前中国に住んでいて、一人っ子政策の関係で、沢山の女性は人工流産の経験があります。済度しなければならないと聞きましたが、どうやりますか。

答：必ずお経を上げ、済度しなければなりません。三人の子供なら三回済度しなければ。『大悲呪』27回、『心経』49回、『往生呪』84回、『七佛滅罪真言』87回読のお経、何回読んだ、何のお経何回読んだ，　「だれだれ　敬贈　×月×日」と書いて、読み終わったら、その紙を燃やしてください。注意事項ですが、もしあげたお経が足りなくて、紙に書いた数字とあげたお経の数字と一致しなかったら、お経をあげた人は腰が痛いかだるくなります。紙に四角い枠を書いて、線を引いてください。

（**良宵注**：本例は盧台長が初めて具体的に亡くなった人を成仏させる方法を話しました、つまりその後、全世界の信者に知られている″小房子″のことです。本書の後半に詳しく紹介します。）

問：主人は厨房で仕事をしているので、毎日魚を多く殺しています。殺生はよくないとおっしゃっていますが、どうすれば良いですか。

答：勿論いいのはこの業界を辞めることです。皆さんも是非知ってほしいですが、50センチぐらいの魚を殺したら半月の寿命を縮めますよ。大きい蟹を殺したら、八週間寿命が短くなるので、怖いですよ。ご主人の殺生は主にお客さんに食べさせるので、ちょっとましです。自分は普段生臭を食べなければ随分よくなります。もしご主人は転職ができないなら、

大いに「放生」して、罪を消すようにしてください。

問：ある友人の前世を看ていただけますか。（生年月日と干支を言ってから）

答：今日は盧台長は気持ちが良いので、気を天上に打って看てあげましょう。（良宵注:盧台長がオリエンタルラジオを設立させて以来、この玄芸総述の番組の中で、更に内容が増えました。例えば、前世、体に光があるかどうか、天上に守ってくれる菩薩があるかどうか、或いは見たトーテムへの解釈など。）おう、この人の前世は「白娘娘」のようで、考えが細かいですね（そうですね。）。天上から降りてきた人ですよ、前に導く小童もいますよ。この人は佛の縁があります。前世は女で、現世は男に生まれ変わったのは修行したお陰です。前世は女なので、現世では、夫婦の営みはあまり好きではないです。（そうですよ。）是非彼に教えてください。前世で修行したんだから、現世で修行しないとこの一生が無駄になるよって伝えてください。

問：ある友達が中国に帰って仕事をしたいですが、帰ったらいいか、オーストラリアに残ったらいいか、看ていただきたいのです。

答：トーテムで看たのですが、彼の足の下に黒い線が何本かあって、今の仕事に阻害が出ます。また、中国に帰るならのトーテムを看ると、目の前は曇りや霧などが出て、更に悪くなって、見込みがないと言えます。彼はお経をよく上げなければなりませんよ。この犬は全身灰色っぽい感じなので、邪気に囲まれている意味です。彼は今大きなトラブルに直面しています。（**良宵注**：これは初めて盧台長が看たトーテムのイメージを聴衆に話して、それからイメージの意味を説明した例です。）

附文　　この電話は尋常ではない

作者の話：以下の文章の原文は2006年10月20日付のシドニー『新時代報』に載った文章で、その後、カナダのバンクーバーの華文週報『大華時報』にも転載されてから、一年半の今日2008年3月、この本に載せることにして、適当に加筆しました。

061020シドニー『新時代報』の編集者の言葉：この文章はあなたに神秘的な感じをもたらすだけでなく、本当にある電話番号も教えます。良宵さんの言ったとおりに電話すれば、必ず彼の話した尋常ではないことが分かります。問題は、電話番号はどこにありますか。良さんは、まじめに読めば、行間に入っていることが分かると言いました。本編集部は、最初はもしかしたら広告ではないかと疑っていまして、更に心配したのは秒刻みで料金の高い電話番号で、読者を被害者にしてしまう心配がありました。しかし、調査して見たら、広告ではないし、秒刻みで高い料金のかかる電話ではなく、普通のシドニーの公衆電話料金の電話なので、ご安心ください。

一　長くシドニーに滞在する華僑の皆さん：是非この電話に注目してください。

シドニーの華僑の皆さん、是非この電話番号に注目してください:毎週火曜日午後５時から６時、毎週木曜日午後５時から６時、毎週金曜日お昼11時半から12時半、あなたが電話さえ通じたら、干支と生年月日を伝えると、電話に出る盧先生があなたの天上にある干支を看ることができます。そしであなたの今年の運勢を教えてくれます。たとえ家族の人や友達でも大丈夫で、干支と生年月日を伝えると、盧先生は同じように教えてくれます。

私には信じられないけど好奇心を持っているので、この日を休みの日にして、この番組を続けて聞いて、2000年から既に８年過ぎました。最初は盧先生も占いの教科書通りに説明していた感じでしたが、質問する人がどんどん増えて、８年の記録で見れば、的中率が相当高くて、人為的なものではないと思います。質問者はいつも思わず「そうよ、そうね、まったくその通りよ」とか相槌を打ちます。また、台長ご自身もあるビジネスをやっています。もし偽者だったら、とっくにビジネスも倒産したはずです。まして、盧台長は無料で、義務でやっているので、演技はいらないでしょう。

読者の皆さん、このことは尋常ではないと思いませんか？

二、百聞は一見にしかず、自分の目で見るより一度経験しましょう。

何ヶ月かほど前、ちょうどある友人に、運勢を聞いてほしいと頼まれて、彼は木曜日はバイトで聞けないから。私は生年月日と干支だけ言って、他は何も言わないと決めて、ヒントを絶対出さないと思いました。この電話は本当に通じなくて、私は何週間かけ続けてようやく通じたのです。盧先生が聞いてしばらくしてから言いました：　お友達は天上での「トーテム」は水牛ですが、岸辺に立っています。元気が良いですが、口が開いたりしていて、首の下に黒い気があります。全体はおとなしい印象ですが、四本の足は絶えず動いています。その後、盧先生が「トーテム」を看ながら友達の七つの特徴を話しました。本当にびっくりしました。その友達をよく知っているので、先生の話した四つのことがよく当たっています;病気の部位、声の高低、仕事環境、お金のルートなど。面と向かって顔色を伺うこともなく、遠慮もなく、ほとんど当たっているのは本当に不思議です。これはありえないでしょう。またこの世の人といちいち対応するなんて考えられないでしょう。

三、火のないところに煙は立たず

我々人間は実際に音声の出る音しか聞こえず、形のあるものしか見られないので、何でこんな虚構の世界を信じられるのでしょうか。先月、私はちょうど盧先生ご本人にお会いできたので、単刀直入に彼にあなたの超能力は本当ですかと尋ねました。彼は：勿論ですよ。私は「天眼」を開いたのです。普通の人の見えないものが見えます。また私は毎日精進料理を食べるので、能力は減りません。私は金儲けをしません。ある人は電話が通じないので、お金を出して、看てほしいと頼まれましたが、一切応じません。私の先輩はアメリカにいて、最初は無料で人々に看てあげていましたが、なかなか仕事が見つからなくて、生活に困ったため、有料にしたら、何回も血を吐いたのです。私は盧先生に：私は先生について文章を書きたいのですが、何か話したいことがありますか？と聞いたら、盧先生は：電話が通じたということは、縁があるということです。信じていなかったら電話をかけないでください。また私は感応

するので、信じない人からよくない気がどっと来て、頭が痛くてたまりません。これだけはお伝えしたいですと仰いました。私は:更に30分時間を増やしてはどうですか？ある人は三年かけても通じなかったのですよと言うと、盧台長は私もそうしたいのですが、これは非常に私の「元気」と「精気」を損なうことになるので、本当に申し訳ございません。

たぶんまた誰かが、良宵、こんなことも信じるのですか、冗談だと思って、さあ、とりあえず聞いてみましょう。

四、私本人の過去を振り返ってみます。

実は、私にも信じていない人に対して科学的な根拠が出せないです。自分の子供の時のことを思い出しました。50年ほど前、私は上海市蓬莱区工人倶楽部の前で、露店を出している汚い目の見えない人に会いました。彼の肩には烏がとまっています。行き来する人が多いのに、烏は少しも驚かないようで、私はとても不思議に思いました。その人は私の気配を感じて、私に:「この烏にはあなたの構成が分かりますよ。占ってもらいましょうか。」私は彼にお金を一角渡しました。彼は籤が一杯入っている箸の筒を烏のくちばしに近づけると、烏がうなずいたようで、手っ取り早く筒から籤を一本また一本尖ったくちばしで出して、間違いなく目の見えない人の手に置き、全部で四回出してから止めました。彼は両手を合わせて擦って、筒に戻して、私に :「あなたは四人兄弟、姉妹はいません。」と言って、他は何も言いませんでした。私はただのゲームだと思って、その場を離れましたが、心の中では :「このおじいさんは本当に当たったね。何でこんなに偶然に当たるの？」と疑問に思いました。子供のころの自分は深く探求しませんでしたが、何十年来、このシーンはずっと脳裏に残っています。もしかしたら、世の中には本当に超能力の人がいるのでしょうね。

ここで、読者の皆さんはまた言うんでしょう:「やさしく言いますが、これは良宵さんの見た夢ではないでしょうか。」と。

五、どう説明しても、やはり疑問が残ります。

最近のことを話しましょう。６年前私はシドニーで株式ソフトの研修をやっていて、学生の中で私とほぼ同年齢の人がいて、真面目でとことん色々聞く性格は私とよく似ています。休憩の時に話をすると、似ているところが多いのです:同年齢、同じ上海出身、国内にいたころ同じく国語の先生をしていて、同じように本を出版したことがあって、同じように農村で労働したことがあります。これらの類似点は、同年齢ならそんなに珍しくないのですが、更に類似点があるのにはちょっとびっくりしました。私も彼も四人兄弟、姉妹はいません。彼と同じ年にシドニーで引ったくりされたことがあり、二人とも京劇に興味があります。私は下手の横好きで自分で楽器を弾いて歌ったＣＤを彼に送ったら、翌日めったに電話をしてくれない彼から電話がかかってきて、彼も京劇のファンだって。少し違っているのは彼は伝統的な劇、私は現代の劇が好きと言うことです。また色々話をしてみると、奇人や変わったことに興味を持っていることも似ています。もっとびっくりしたのは、彼の奥さんと家内も同じ年で、彼の奥さんは彼より一年早く中国を離れたのですが、家内も同じです。本当に偶然ですね。彼の奥さんは明らかに彼より能力があって、内の家内も私より才能があると思います。おかしいでしょう。更に、彼の奥さんがオーストラリアに来てからつけた英語の名前も私の家内と同じだったのです。しかし、今まで、私たちはお互い全然知りませんでしたよ。夫と夫、妻と妻、同年齢の二家族、未来の運が同じように続いていくのでしょうか。

ここまで読んだら、また誰かが、これは偶然ですね、そんなに驚くことはないでしょう。世の中で偶然のことは多いのではないでしょうか。良宵様？

六、六根清浄、一言で言えば、文句なしです。

しかし、周りにある偶然なことを簡単に否定しないでくださいね。去年一時帰国中、毎回宴会の時、私はいつもみんなに必ず不思議なことについて話してもらいました。条件として、必ず自分自身で経験したこと

です。

私の義理の兄が寝たきりになって半年になりました。ある日、彼は孫たちを全員呼んで、みんなに「私は後三日であの世に行きますよ」と言って、その二日後に、義理の兄は本当に亡くなったのです、享年93歳でした。これは天命を知っていたのではないでしょうか。

母は84歳の時脳溢血で、病院で昏睡していて命のしるしはなくなりましたが、彼女は左手を布団のしたから出して振ったりするので、看護士がそれを布団に入れると、また出してしまったのです。看護士が怖がって触らないようにしていました。その晩義理の姉が付き添いで、不思議だと思って、よく見ると、その手には、父のくれたオーダーした結婚指輪が嵌められていました。そっと取ってみると、その手が動かなくなりました。後で、われわれ四人兄弟が抽選で母の形見分けをしましたが、義理の姉が取っておいた指輪はちょうどその旦那（次男）に当たったのです。これも神様の助けでしょうね。友人のお母さんは、病気で亡くなる前に十何歳年上の旦那さんに「これから世話をしてくれる人がいなくなるから、心配ですよ。２ヵ月後に迎えに来ますよ。娘に（私の友人）にオーストラリアに戻るのを急がないでください。あなたのことも一緒に済ましてからでいいよ。そうでないと、上海からオーストラリアまでの往復は大変よ。」と言いました。７日後のある日、そのお父さんは、自分でシャワーを浴びて、死に装束を着て、ぼんやりとしてベッドに着いて、そのまま目が覚めなかったのです。その時は真昼間ですが、家の中は突然暗くなって、どこからか知らずに冷たい風が吹き込んできて、暴風雨前のような感じでした。これがいわゆる陰風？その友達は嘘を言っていないと思っています。と言うのは、前もって「必ず自分の経験したことでなければなりませんので。」伝えたので。

七　一気にこの文章を読んだ人は、反応が二つのタイプに分かれます。

一のタイプは「知識は無限」だと認めてくれるタイプ。幸いオーストラリアと言う社会は自由でタブーのない社会なので、人的な干渉があるという心配は要りません。中国の何千年に渡る伝統文化の中には神秘文

化も含まれています。我々は文化の継承者として二、三百年の歴史しかないオーストラリアに移民したら、硬直した考えを捨てて、無神論がすべてという束縛から解放され、次世代の人々に引き続き探求してもらう道を切り開いて行こうではありませんか。第二のタイプは、半信半疑で、それも仕方がないことですが。でも、こういうタイプの人は、是非盧先生に電話をかけてください。ご自分で判断できます。本稿で私は先生の電話番号を書いていません。と言うのは、たくさんの人は３年かけても通じなかった場合がありますので、私が電話番号を公開したら、またライバルが増えるからです。誠心誠意で電話をかけている人には不公平です。しかし、ここでチャンスを提供しますよ。この文章のそれぞれのタイトルの頭文字をつなげたら、シドニーの普通の電話番号になります。ちょっとした仕掛けで、縁のある人を待っています。

八　文章を読み終わった時、あなたはきっと興味津々になるんでしょう。

ここで、私は自分の興味のある問題をリストにして、最近わざわざ盧先生にお会いしました。

盧先生の超能力では、もし西洋人の「生年月日」を言っても、干支の「トーテム」の一つが現れますか？私の８年に渡る記録の中で、およそ20人ぐらいの西洋人が友達を通して先生にトーテムを看てもらっても、同じように当たっています。そうすれば、中国の干支は全世界に通用するようになるのではないでしょうか。盧台長の答は：この能力は中国人にしても西洋人にしても関係ありません。私は中国人なので、感応したのは十二の干支。西洋人にもこのような能力を持っている人がいると思います。その人なら看たものは西洋玄学の中の十二の星座でしょう。もし誰かが看てもらいたい人が、亡くなった人の生年月日なら、盧先生が地面に這って動かない「トーテム」を見たのでしょうか。実は８年間の実例で、すでに一例ありました。しかも、電話する人は事前に亡くなった人だと先生に言いませんでした。結局、盧先生が看たのは頭があって、尻尾のない、体がぼんやりしていて、霧がかかっているトーテムを看たのです。この実例は説得力があります。勿論死者の干支を言って、

看てもらうのは、いたずらのようですが、研究者としては、避けられない課題です。盧台長は来るものを拒まない、すぐ生きているか死んでいるかも判断できました。「玄芸総述」の番組で、

盧台長が

有問必答，苦口婆心；侃侃而談，引入化境；
勧人向善, 教人念経；点破紅塵，一命二運；
前世遡源, 今世従新；剖析姻縁，化解困境；
駆邪帰正, 超度亡霊，請示菩薩，普度黎民；
生肖図騰, 如影随形，天上人間，不由不信。

すべては自然です。残念なことは、８年来、ずっと電話の中の盧台長の声しか聞こえませんでした。ちょっと神秘的、信じられない、しかし敬服するような、訳が分からないような複雑な気持ちがあります。今は、本当によかったです。盧台長が８年間華厳して、盛大な「玄芸総述」八周年記念にイベントを催して、面と向かって数百人を相手に聴衆問答会を行います。謹んで080329大会が円満に成功するようによろしくお願いいたします。

2008年3月1日　　良宵　加筆

良宵氏2010年5月25日注：８つのタイトルに隠れている番号はつまり「久、耳、流、思、似、六、一、把」：９２６４４６１８です。ラジオ局はすでに引越しして、新しい住所になっているので、2009年から電話番号は92111301に変わったのです。現在も使っています。相変わらずシドニーの公共電話料金のみで。テレビ局はそれ以上の費用は取りません。また、オリエンタルテレビ局の秘書室の電話番号は02　92832758　或いは　0280110738です。

皆様、第二冊を読む前に、是非第一冊を読んだ読者の感想を知ってもらいたいのです。また是非あなたからの感想を聞かせてください。ありがとうございました。

『一命二運三風水』第一冊の読者の感想

ＤＡ：おかげさまで盧台長にお会いできました。会議の後、私は21日間言葉が出なくて、なんだかハエを飲み込んだ感じでした。と言うのは、いつも自分は三十年間修行してきたことが自慢でしたが、実は迷宮の中を彷徨ったのでした。すごく震撼されまして、自分の修行を調整しなければなりません。今回わずか１０日間しか修行しませんでしたが、目立った効果が現れています。私は是非皆さんと一緒に分かち合いたいです。盧台長の事業を支援します。送ってくれた７ページの文章を沢山コピーして友人に上げました。ただすぐ読んでしまったので、ちょっと物足りないですね。その後の文章も送ってくれますか。縁のある人にあげて、曲がり道を歩かないように。

超超：世の中には色々な学問がありまして、それぞれ道理があります。昔は寡聞で、心理学をマスターしたと思っていましたが、違いますね。ここまで認識していたら、もう遅いです。我々の年では（注：８０歳)、学問するにはもう無理です。ただ、多く読むことはいいことです。現在色々なメデイアがあるので視野が広がりました。私は毎日インターネットをする時間が長いですよ。ただ年なので、不便があります。我々の世代は失ったものが多いですが、できるだけ補いたいですね。ちょっと都合がありますので、残念。

ＬＩＬＹ：送ってくれた冊子が届きました。本当にありがとうございました。一気に読み終わりました。（この前くださったメールも読みましたが,紙に印刷したもののほうが確実です。やはり古い人間なので）本当に勉強になりました、これからもよく吟味してみたいです。この冊子を書くには随分心血を注いだのでしょう。お忙しい中わざわざ送ってくださってありがとうございました。。第二冊も執筆中だそうですが。先ず一部予約しますね。

第 二 冊

第二冊についてのいくつかの説明

1　第一冊はすでに２００８年３月２９日（土）の問答会会場で、会の後全部配ってなくなりまして、ラジオ局は追加印刷をしたのです。必要な方がいれば、ラジオ局と直接連絡をするか、直接取りに行ってください。ラジオ局の電話番号は02 92832758（シドニー）。

2　第二冊も第一冊とほぼ字数が同じぐらいです。内容は盧台長のラジオ番組を聴いて録音した内容を整理したもので、盧台長ご本人に検閲していただいたのです。もし読者がもしその中の内容によって実践しようとすれば,盧台長に電話をして確認をしたほうがいいです。番組の時間内で電話をかけてください。02 92111301（シドニー）。

3　「玄芸総述」トーテムを看るという番組は時間を変更して：毎週火曜日、木曜日、土曜日、シドニー時間の午後５時～６時。「玄芸問答」、「直話直説」などのトーテムを看ない番組は毎週シドニー時間昼１１時～午後１時と毎週日曜日シドニー時間の昼１２時～午後２時。それぞれの番組の再放送はその当日の午後８時と10時です。以上の時間は全部シドニーの時間で、シドニーの聴衆は直接聞くことができます、他の地域や海外の聴衆はインターネットで「盧台長__新浪博客」をクリックして、一日、二日前の番組内容が聞けます。

4　文章の中に出る干支と生年は盧台長がその人に応じて解答したのです。もし、同じ干支や年齢の人がいれば、５０％の参考価値があると盧台長が言いましたが、盲目的に模倣してはいけません。

5　第一冊と同じで、括弧の中は質問者が口を差し挟んだ言葉、或いは盧台長の質問に答える言葉です。

6　海外の皆さんへ：これはシドニーのラジオ番組によって整理した文章で、我々の見聞を広めてくれます。もしインターネットで電話がかけられるなら、是非体験してください。この電話はとても込んでいて、通じたとすると、あなたと縁があるということです。できるだけよくない電話会社を避けてください。効果がよくないので。盧台長に敬服している

なら、盧台長の一言一句も漏らさないように良い電話会社を選んでください。

問：盧台長、６１年、丑年の男性のトーテムを看ていただけますか。もう一人ですが、６５年生まれ、蛇年の女性です。それぞれの健康状態をお願いします。

答：ちょっとこの蛇を拡大して看て見ます。蛇の小腹に傷があるみたい、この傷はなんだか十字の形で重なっているんです。（本当に当たっていますね。二人とも帝王切開で、あと人工流産も二回したのです。）なるほど。流産した子供を済度していないのでしょう。（していません。）是非済度してください。一度流産したら、その都度済度しなければなりません。そうしないと、その霊魂が生きている子供の体にまとわり付きます。（流産したのはその子の後でしたが）先、後、兄、弟、それは人間の世界の言い方ですが、霊魂の活動している冥府では、年齢の区別はありません。後で流産した霊魂も同じように先に生まれたお兄さんにまとわりついて、お母さんに借金を取りに来ます。だから、親子の仲が悪いです。こういう状況は済度し、不当な仕打ちを受けて死んだ霊魂を生まれ変わらせて、親子関係が始めてよくなります。

問：この前盧台長が私にお経を勧めたので、読んだのですが、途中で誰かがノックしたらどうしますか。しばらく止まって、後で続けてあげても良いでしょうか。

答：できれば気持ちが落ち着いて、静かなところで、人に邪魔されないところで読んだほうが良いです。万が一、例えば、突然電話がかかってきた場合は、短いお経なら是非読み終わってから、他の事に取り掛かってください。何回も読まなければならないお経があります。読む前に菩薩に話してあるので、続けて読む回数は変更できません。あるお経は長いので、突然邪魔されたら、心の中で「嗡莱姆索诃」（オンライムソホ）と言って、あげるのを止めて、戻った時にまた、同じようにもう一回「嗡莱姆索诃」（オンライムソホ）と言って、続けて読んだら良いです。

問： シドニーには淡水湖がありません。魚を買って放生するには効果がないじゃないですか。

答： これはあなたの問題ではありません。誠心誠意であれば大丈夫です。もっとも近い場所はシドニー恋人港という所の近くの水辺です。私は鮮魚を売っている所を紹介しますよ。シドニーチャイナタウン近くの「中央海鮮」と言うところがあって、そこで小さな海老や魚を買えば良いです。（私はもう年で、行動には不便で、子供に買ってもらってもいいですか？）勿論良いです。ただ、いくらなのか絶対嘘を言ってはいけません。放生に使うものなので、霊が直接菩薩に通じます。もし子供が嘘を言ったり、お金を間違ったりしたら、身の危険を招きますよ。放生する時に注意することを二点言います。一つ目は、できれば長生きを求める人の誕生日の日にやってください。二つ目は、放生する時ずっと『往生呪』をあげてください、できれば、七回以上。放生することは自分の寿命を延長してくれるので、お経を上げることは自分を守ることです。両方を同時にやれば、一番効果的です。

問： 盧台長に蛇年の娘の婚姻を看ていただきたいのですが。

答： あれ、この蛇は面白いですね。蛇の口はよく動いているので、娘さんは口がうまいということですね。この蛇の舌が出たり引っ込んだりしています。娘さんに、彼氏を探す時は、是非話す時に慎重にし、傲慢にならないようにと伝えてください。

問： 私はずっと母に娘の世話をしてもらっていますが、娘がずっと泣いたりしていて、おばあさんに懐いていないようです。どういう理由でしょうか。母はすでに七十代の人で、続けてお願いするかどうか迷っています。

答： 是非頼んでください。玄学の道理で言えば簡単です。お母さんは前世で娘さんに借りがあって、現世になって返しにきたのです。お母さんに孫の世話をしながら『解結呪』を読んでもらってください。借りをがだんだん返済すると、怨恨を来世まで持っていかなくなります。

問：妹には子供が五人いましたが、２，３，４番目、全部流産してしまって、五番目はようや大事に大きく育ててきましたが、低能児です。小さい時から広東語ができなくて、英語も普通で、妹は非常に悩んでいます。何か解脱する方法がありますか。

答：妹さんの気持ちがよく分かります。三人流産されて、何とかもう一人できたのに、低能児だなんて。流産された三人の霊魂はどこへ行ったのかちょっと看てみますね。ああ、妹さんの流産した最初の子の霊魂はその低能児の体にまとわり付いて、妹さんに取立てにきたのですよ。三番目で流産されたのは女の子で、体に光があって、お母さんを照らしています。こちらは善縁です。（今どうしたらいいですか。）妹さんにそれぞれ流産した赤ちゃんを成仏させてください。三回連続して流産したのは前世からの因業が深いと言えます。更に具体的に言いますが、一人成仏させるには、「小房子」を読んでください：「大悲呪」２７回、『心経』４９回、『往生呪』７８回、『七佛滅罪真言』８４回。こうすれば、低能児の子供もだんだんよくなります。ここで女性の聴衆に注意しますが、以前中国では一人っ子政策によって、人工流産は仕方がないことですが、今はちゃんと済度してください。今の若い女性は勝手に妊娠して、人工流産をするのは罪作りをすることです、罰当たりになりますよ。（助賛者注：こちらで言っているのは古いバージョンで、皆さんは「小房子」を読む時、『大悲呪』２７回、『心経』４９回、『往生呪』８４回、『七佛滅罪真言』８７回読んでください。）

問：盧台長にある夫婦を看ていただきたいのです。二人はよく喧嘩をして、旦那さんは仏の教えを信じるし、お経も読みたいのですが、何のお経を読んだらいいか分からなくて、勝手に読んではよくないそうで、間違って読んだら役に立たないだけでなく、自分自身が傷つくことになるそうです。奥さんは信じないそうです。何かいい方法がありますか。

答：これはとけぬ恨みです。おっしゃるとおりで、お経は勝手に上げてはいけません。トーテムでもそうですね、（いつも彼女のほうから手を出します。）男性は『大悲呪』を読んでください。自分にパワーをつけるので。

これは基礎です。沢山の人は夜電車であげると、寂しさが感じなくなります。それから『解結呪』を読まなければなりません。毎日七回。女性のほうは『心経』をあげてください、知恵を開きます。（女性は仏の教えを信じません。）大丈夫です。旦那さんが代わりに読んであげてください。ただ、読む前に必ず：私は誰誰に『心経』を三回読んであげて、是非菩薩様が彼女に知恵が開かれるようにと。こうして読み続けていたら、きっとよくなります。（盧台長にお願いしますが、その奥さんのほうが他に好きな人ができたかどうか。）ダメです。これは看ません。見えますが、看ていても教えられません。これは人の因果を動かすことになるので、私の法術も傷つけることにもなるので、なるがままにしてください。

問：私の姪で、８４年生まれ、鼠年です。仕事の運はどうですか。彼女は今中国にいますが、外国へ行けますか。守ってくれる菩薩がいますか。

答：彼女の仕事は大変です。この鼠は木を銜（くわ）えて、なかなか噛めないので、それは仕事に疲れて大変だということです。（そうです。いつも残業しています、あと兼職もしているのです。）彼女は外国に行けますよ。この鼠の頭は常に海のほうへ突っ込んでいます。（そうですよ。彼女はずっと外国に行きたいって）。彼女には守ってくれる菩薩がいますよ。関帝菩薩です。私は彼の持ち物の青龍偃月刀（せいりゅうえんげつとう）も看ましたよ。姪は財運に恵まれていますよ。ほら、沢山の商社やレストランなど皆関帝菩薩を祭っているんでしょう。財運を運んでくれるからです。姪に聞いてください、普段関帝菩薩を供えているかどうか。或いは関公の物語が好きだとか。聞いたらよく分かります。彼女は財運に恵まれていますよ。

問：息子は１９６３年生まれで、兎年です。ちょっと彼の代わりに、盧台長にお聞きしたいのですが。彼は時々お寺に入ろうとして、入り口に近づいたらめまいがして、頭がぼんやりします。中に入ったら、あくびををしたり、だるくなったりとかするので、慌てて外に出ます。こういうこ

とが何回もありました。どういうわけですか。

答：はい、看ましたよ。息子さんは前世はクリスチャンで、随分信仰が篤かったのです。お寺に立ててある門神も霊があって、彼の前世を「看る」ことができるので、彼の魂を中に入れてくれないのです。そうすると、息子さんは中に入っていても、魂が入っていないので、これは「失魂落魄」と言うことで、だからあくびをしたり,昏々たる状態になります。ひどくなると、理知を失うことになることもあります。是非息子さんに伝えてください。また彼にキリスト教と佛教は対立的なものではく、全世界で上帝が一人いますが、言い方が違っているだけなんです。これがいい、それがよくないとか言わないでください。また、今日はこれを信じて、明日はほかの宗教を信じるとかしないようにすれば、大丈夫です。

問：盧台長に息子のことを看ていただきたいのです。1997年生まれで、丑年です。勉強のほうはどうですか。仏縁があるかどうか。お願いします。

答：息子さんの書斎での気場はよくないのです。散らかっています。机を日差しの入るところに置いてください。息子さんの「文昌位」は部屋の真ん中より右の方向です。部屋に色鮮やかなポスターとか貼らないように伝えてください。（息子は今傍で聞いています。）ああ、息子の体に光がありますね。しかし、この光は四角い形で、一つ一つ、頭に光ったり、背中に光ったりとかしているので、ちょっと不安定です。いい光は頭の上に固まったものです。（彼には仏縁がありますか。）あります。でも、この仏は息子より遠いところにいて、動かないのです。私の看たほかの菩薩なら動きます。と言うのは、息子さんは更に修行する必要があるということです。息子さんは将来無精ひげが生えます。私の看たトーテムでは髭面の人です。（本当に当たっています。今はまだ十代なのに、髭が多くなっています。）

問：先ほど息子についてお聞きしましたが、今私自身について教えていただきたいのです。1964年生まれで、辰年です。お願いします。

答：おう、あなたは若い時非常に活躍していましたね。また、騙されたこと

もあって、随分損をしましたね。そのことについて私に教える必要はありません。ご自身が分かっていればいいです。これはあなたの運命にあったものです。あなたはまだお経を読んでいないでしょう。（まだです。）あなたは先ずお仏名をあげましょう。経文はあなたにとってちょっと長いから。後でしましょう。先ずお仏名をあげて、毎日20回「南無大慈大悲救苦救難観世音菩薩」。あげる時、心を静かにして、何も考えずに、回数が多ければ多いほど良いです。あなたの運勢がよくなります。

問：息子は会社に派遣されて、イギリスに研修を受けに行きますが、ちょっと心配していて、息子の代わりに、お経を読んであげたいのですが、どんなお経を読んだらいいですか。

答：出かける人には『大悲呪』を多く読んでください。更に『観音霊感真言』を読んでください。読む前に必ず「是非　大慈大悲救苦救難観世音菩薩に息子の健康を守ってください、勉強がうまくに行くようにお願いします」とお願いしてください。一気に沢山の要求を出さないでください。ゆっくりと、常にお経を読んで、粘り強くやり続けてください。

問：台長がいつも誰かの体に黒い気があるとか言っていますが、これはどういう意味ですか。

答：これは私が天眼で看た状況で、私が看たのは質問する人の干支の様子です。同時に、その干支の本人の体の部位にも対応しますが、意味が違っています。時々、頭に黒い気があるという時は、この人の運勢に阻害があって、不幸な運命があると言えます。時々私はこの人の胃腸に黒い気があると言うのは、この部位に器質性の病変があると言えます。多くの場合は、本人はそこまで感じていないのですが、私はすでに見えています。その後言ったとおりだと分かります。自分でも信じられなくて、何でこんなに当たっているんでしょう。でも、私は医者ではないので、私に見せて、黒い気があると言われたら、ある黒い気は罪業ですが、とりあえず是非お医者さんに見てもらってください。

問：黒い気は濃淡、形状の区別がありますか。

答：あります。濃いほどひどくなります。淡い色は始まったばかりだと言うことです。時々、一本一本のものが見えますが、それは血管、筋肉、刀傷などの類です。多くの女性は帝王切開をしたので、腹部に明らかに細くて黒い影が見えます。こういう例は結構ありました。実は黒い気以外、時々体に白い霧みたいな白い気も見えます。一塊一塊（ひとかたまり　ひとかたまり）になっていて、それも良くないもので、将来は明るくないイメージです。

問：母は仏の教えを信じますが、娘はこちらの小学校で、カトリック教を信じています。私は母のお供でお寺に行かなければなりませんし、娘のお供で教会に行かなければならないのですが。これだと、何か問題がありますか。

答：問題はありません。丁度世界には、太陽が一つしかないと同じことです。上帝、神、如来、読み方が違っているだけです。どちらも人々に善に向かうことを勧めるもので、功徳を積むことです。ただお互い比較をしないように注意してください。

問：私はずっと娘のためにお経を読んであげて、既に半年経ちましたが、是非盧台長に娘が天上に守ってくれる菩薩がいるかどうか看ていただきたいのです。

答：います。しかしどの菩薩なのかはっきり見えませんが。ちょっと「四不像」のようで、それは菩薩の乗り物ですね。（家の庭に四不像があって、磁器のものです。）それなら納得できます。誰かがお経を読んで、時間が経つに連れて、家の磁器は全部霊感が出ます。あなたは誠心誠意お経を読んでいるので、今はこの四不像は天上で娘さんを守ってくれています。おめでとう。これからも続けてお経を読んで、善事を行ってください。必ず報いてくれます。

問：この前私の胃に黒い気があるとおっしゃって、おとなしく病院へ行って

検査したら、やはり病気がありました。また、手術をしなければならない状態です。台長は本当によくあたりますね。今お聞きしたいのですが、手術をするのに何か特に注意することがありますか。

答：胃の手術はたぶん全身麻酔になると思います。医学的には、大きな手術で、玄学から見ると、大変危険なことです。なぜかと言うと、病院は複雑なところです。患者が多くて、病菌が多くて、死亡も多く、陰の気が多いので、沢山の亡霊、孤魂、鬼怪がいます。病院にいた病人がこの世を去った時、ある家族はよく済度しなかったために、彼らの霊が病院の近くを漂って、一生懸命争って誰かを探して、身代わりが見つかったら、自分は生まれ変わりたいのです。もしあなたが定力が足りないとか、陽の気が不足したりすると、被害者になりやすいのです。ですから、あなたは麻酔をかける前にお経を読み続けてください。読む時に一切の雑念を追い払うと、手術を受ける恐怖感がなくなります。またお経を読む前に言葉で「あなた達はどうぞ私を離れてください」と言ってください。ひどいことは言わないで下さい。その人（鬼）に「どうぞ出て行ってください」というやさしい言葉を使ってください。心を穏やかにし喧嘩腰で追い払うのではありません。（どんなお経を読んだら良いですか。）『心経』27回、『大悲呪』29回。時間をよく計算してください。麻酔をかける前から読んでください。

問：盧台長にお願いしますが、ある午年の老人なんですが、一生苦労してきて、これからも苦労して生きていきますか。

答：トーテムで看ると、この馬は石に這って、前後の四本の足が随分開いて、本当に苦しそうです。是非彼御自身、或いはあなたが代わりに『功徳宝山神呪』を読んでください。このお経は前世の恨みの貸しを解くお経です。また、同時に現世の功徳を修めることです。既にこの老人は来世が金持ちの家に生まれ変わることが見えています。しかし、彼は現世ではあまりにも苦しんでいるのです。まるで彼は既に高額の保険をかけていて、亡くなったら、家族の人が莫大の賠償金をもらえるものの、本人は何ももらえないようです。今すぐに『功徳宝山神呪』を読むと、保

険の一部分も使えて、こんなに苦しんでいる状態も改善できるはずです。

問：（生年月日と干支を言ってから）私の子供はずっと不運です。何ヶ月か前に階段から転げ落ちて、30分経ってからようやく意識が戻ってきたのです。娘はその時目の前が平らに見えたそうです。私は代わりに半年ぐらいお経を読んであげましたが、あまり効果がないようです。

答：効果がないことはありません。これはお子さんの厄運の時期です。代わりにお経を読んであげたので、既にこの厄運が大きいものから小さいものに変ったのです。トーテムで看たら、娘さんは交通事故に遭う厄運があるのです。（そうですね、何ヶ月かほど前にもう少しでぶつかるところでした。）そうでしょう。効果がないことではないでしょう。これは既に災難を避けたんではないでしょうか。でも、あなたのパワーがまだ足りません。一番いいのは本人がお経を読むことです。なぜ成仏させようとする時大勢の和尚が一緒にお経を読むのでしょうか。また板をたたきながら。一度で成仏させるのです。それはパワーが大きいからです。お子さんが転んだのは、実は「鬼の仕業で転ばせた」のです。その鬼はルールに従って当たり前のことをしただけで、その厄運の時に、鬼は手を上げたら、娘さんの目には前の階段が平地に見えるので、勿論転んでしまいますよ。

問：私の友人は、最近人に害を加えられて、身体的自由も失いましたが、どうしたら良いですか。

答：あなたはこの友達の前世を知っていますか。（知りません。）じゃ、教えますが。前世を看てくださいとは頼まれていないけれども、私の好奇心で、ましてお友達は身体的自由も失われたので、尋常ではないのです。私が看たのは、お友達は、前世はパイロットで、その飛行機はずっと下降方向で、たぶん墜落したのです。大勢の命が亡くなったので、当然のように取り立てに来るのです。たぶんパイロットは故意にやったのではなく、自分も同じように命を失ったのですが、借りへの返済は仕方がな

いことです。あなたは早く彼の代わりにお経を読んでください。特に『往生呪』を読んで、飛行機に乗っていた人たちの亡霊を済度するように。

問：盧台長、私は今日は運勢などを聞くのではなく、ある変なことを伝えたいのです。友達の子供がまだ三歳半の時、友達がお経を読んだら、そのお子さんが「ママ、何をしているの？」と聞きました。友達がお経を読んでいるよと教えると、その子はお母さんについて十何回読むと、全部暗唱できたのです。おかしいでしょう。また胡坐をかいて座禅のようです。『心経』『大悲呪』全部暗唱できます。まだ字が読めないのに。また『弟子規』も暗唱できます。私は「弟子規」はどんなものなのか全然知りませんが、どういうことですか。また、その子は鐘が特に好きみたいです。

答：盧台長も聴衆と一緒にこのことを楽しんで分かち合っています。本当に嬉しいことです。この子は額が大きくてつるつるで、丸い顔をしているんでしょう。（そうですよ。）お友達におめでとうと言ってください。この子の前世は和尚でした。修行して大きな力を得た高僧でした。是非この子をよく育てるようにと友達に伝えてください。子供のやりたいことに反対しないようにしてください。この家族は将来随分有望ですよ。聴衆の皆さんも是非現世、来世、善悪の報いがあることを信じてください。

問：私は夢に出たことについて二つお聞きします。私がよく見るた夢は、ある小さい子供がいつも抱っこしてほしくて、なかなか私から離れない、目が覚めたらいつも悲しい気持ちになっています。最近もう一つの夢を見たのですが、父が真っ黒な顔をしていたという夢です。目が覚めてもはっきりと覚えています。これらの夢はいいこと、それとも悪いことですか。

答：あなたは以前子供をおろしたことがありますか。（二回ありました。）お父さんはまだご健在ですか。（はい。）では、よく分かりました。夢の中

に出た子供はあなたを訪ねてきたのです。あなたはきっと彼らを済度しなかったでしょうね。早く済度してください。そうでないと、大病になりますよ。それに、お父さんは既に病気にかかっています。早くお医者さんに見てもらってください。それと同時に、あなたは『解結呪』を24回、『大悲呪』を17回読んで、お父さんの病状を軽減させるようにしてください。

問：盧台長がこの前私の胃に黒い気があるとおっしゃいましたが、どうやったら除去できますか。

答：黒い気は体に病気があるかもしれないし、精神的にはストレスが溜まっているかもしれません。もう一つは、何か取り憑いているかもしれません。もし罪業の病気ではなかったら、一つの方法を教えます。毎日ベランダで太陽に向かって、鼻で深呼吸して新鮮な空気を吸い込んで、口からお腹の汚れた気を吐くように30回行い、同時に観世音菩薩の浄水瓶の水が天上から流れてきて黒い気を解いてくれると想像してください。更に毎日『大悲呪』を読むと、黒い気が解けてしまいます。

問：父を済度したいのですが、仕事が忙しくて、お経を読む時間がありません。和尚さんに読んでもらっても同じですか。

答：いくつかのパターンがあります。第一、できれば自分でお経を読んでください。あなたは一番の肉親なので、一番効果が高いです。第二、大勢の和尚さんを呼んできて、みんなで一緒にお経を読めば、功力が強くて一人よりずっといいです。また和尚さんたちは法事などを行うプロで、彼ら自身は功力がある人たちなので、一回で成仏させることができます。あなた自身で成仏させるなら、何回もかかります。第三、あまり真面目にお経を読まない和尚さんもいます。彼らは何のお経を読んでいるのか分からないので、もし不行き届きのところがあって、和尚さんが無責任で成仏させていない場合は、本当に困ります。成仏させていないだけでなく、亡くなった肉親に責められてしまうのです。

問：父が亡くなりました。私は兄弟姉妹の末っ子です。最近夢の中で父が私に自分の生活に満足していないと言ってくれたのです。兄や姉に聞いたら、皆こんな夢を見ていないし、私の夢も信じてくれません。私はどうしたら良いでしょうか。

答：あなたが電話をかけてきたことは、自分自身は夢を信じているからだと思います。お父さんは（陰の世界）あの世にいて、（陽）人間の世界で信じる人に夢で知らせをするのです。必ずこうなります。あなたは早くお父さんを済度して、満足させるように。ご兄弟姉妹が信じてくれなかったら、ほっといてください。何も言わないでください。そうでないと口業になるのです。済度をする前に、先ず、これから何回読むか話しておいて、父親誰々宛てと書いて、黄色い紙に、お経を読む人、あて先の人の名前を書いて、一回読んだら、丸を一つ描いて、規定の数が終わったら、完成して、この紙を燃やしてください。燃やす時何も話さなくても良いです。俗に「小房子」と言います。

問：（生年月日を言ってから）うちの旦那はいつも頭痛がして、病院に行って検査しても、特に病気というものではないと言われています。盧台長がいつも番組で罪業から来る病気だと聞いたので、是非看ていただきたいのです。

答：良いですよ。ご主人の頭に確かにある動物の黒い気がありますが、おかしいですね。普段私の看た黒い気ははっきりとした形がないのですが。もしかしたら、お父さんが亡くなった時、丁寧に埋葬しなかったからかもしれません。清明節、冬至の日、七月鬼節、大晦日に息子のところに尋ねて来るので、頭が痛くなります。もし誰かが体に何か取り憑くと、先ず最初の反応は訳の分からない頭痛になります。ご主人は現世にお返しに来るのです。『往生呪』８４回、『心経』４９回、『七佛滅罪真言』８７回。その中、『往生呪』は昼間しか読めません。読む回数は指定された数より少なくしてはいけません、一回読んだら、赤いペンで丸の中に点を打ってください。是非赤いペンで点を打ってね。読む回数は多めになっても大丈夫です。一日で完成できなくても大丈夫です。セットで読ん

でしまったら、日付をつけて、黄色い紙を燃やしてください。これで一回の済度儀式が終わります。

（**良宵注**：最近沢山の聴衆が電話で亡霊の済度について尋ねたのです。ここでは盧台長の色々な解答を次のようにまとめています:亡くなった親友、親、子女、家のペット、流産した胎児、生きた魚や海老、豚牛羊などの動物を肉食にし、殺したことのあるゴキブリ、蟻、鼠などの済度は次のようになります。黄色い紙を用意して、大きい長方形を書いて、上の行を底辺にして、小さな台形を描くと、建物の側面に見えます。長方形の中に上述した四種類のお経の名前を書いて、それぞれのお経の下にそれぞれ規定した数の〇を描いて、長方形の右上に「敬贈　×××」、左下に「×××敬贈　×年　×月　×日」と書いてください。）

問：父はお経を読むと喉が痛くなります。どうしたら良いですか。そして、ある日父は夢を見まして、夢の中で祖父が尋ねてきて、早くついてきてって言われて、父は「はい、すぐ行きますよ」って答えたのです。これはどういうことですか。

答：お父さんはどんなお経を読んでいますか。（××経。）分かりました。私の言うことをよく聞いてくださいね。お父さんに『大悲呪』と『大吉祥天女神呪』を読んだら、喉の痛みがなくなると思います。祖父はまだご健在ですか。（亡くなりました。）それはちょっと厄介なことです。是非お父さんに祖父をよく済度してもらってください。また願をかけて、放生してください。済度したら、観世音菩薩に寿命が伸びるようにお願いしてください。そうでないと、半年の間にお父さんは本当に行ってしまします。ご自身は「すぐ行きます」って言ったんではないでしょうか。

問：兄は丑年で、姪は寅年です。二人は仲が悪くて、しょっちゅう喧嘩します。兄が何か言うと、彼女がすぐ反対して、相手にしてくれません。私は本当に見ていられないのです。何かいい方法がありますか。

答：よかった、あなたには慈悲心がありますね。お兄さんに『消災吉祥神呪』を読ませてください。おう、看えました。本来は前世を見たくない

のですが、自分の気を沢山消耗しますから。しかし今回はその二人の前世のシーンはお腹から放り出して看させたのです。どんなことか分かりますか。お兄さんは前世は牛飼いの牧童でしたよ。手に鞭を持っています。姪は前世は牛でした。よく分かったでしょう。これからこの姪は足でお兄さんを蹴ったりしますよ。将来あなたがまた電話をかけて私にこのことを教えてくれるのを待っています。彼らの運命でこういう災難があるので、ほどほどにほっといてください。

問：家に蟻や鼠が出ていますが。盧台長が放生してくださいとおっしゃいましたが、とても大変なことではないでしょうか。

答：これは現実的な問題ですが、一番いいのは放生することです。また、注意してほしいことがありますが、できれば籠を使って、薬を使わないでください。蟻が小さすぎて、たまたま何匹か踏んで殺してもたいした問題になりませんが、お湯で殺さないでください。お湯をかけて一杯やけどして殺したら、大変なことになります。もし蟻や鼠などが日常生活に支障が出た場合、もう一つのいい方法はお経を上げることです。普通、蟻を一匹殺した場合は『往生呪』一回、鼠一匹は七回上げます。チベットの沢山の僧侶は、高山で野菜が少ないので、鶏肉を食べるのです。一羽殺す度に済度しています。

問：うちの旦那は古典人物画像の収蔵をするのが趣味で、リビングに何枚かかけてあります。マリア、乾隆皇帝など。息子は三歳で、一人でリビングにいると、怖そうに泣きます。これらの画像とは関係がありますか。

答：絶対関係していますよ。立っている人物像は全部霊があるのです。マリアは昇天したので大丈夫ですが、乾隆皇帝はどこに行ったのか分かりません。三歳の子供なら霊があって、我々の見えないものが見えます。これらの人物画像をしまってください。（分かりました。後で主人に電話をかけてもらいます。私の言ったことを信じてくれないので。）

問：私はよく菩薩を拝んでいますが、お経は読んでいません。これは良いで

すか。また私の家の風水も看ていただきたいのです。

答：菩薩を拝むだけでお経を読まなければ、役に立ちません。お香を立てるだけで、お経を読まなければ、それも無用です。お経を読むだけで、放生しなければ効果も良くないのです。お宅は、家に入った左側に黒い気が看えますが、沢山の靴でしょうか。（はい。）靴のくさいにおいは家の気場を損ないますので、ぜひ靴箱を使ってください、靴はちゃんときれいに揃えて置いてください。

問：私は老人ホームに勤めています。毎晩一部分の老人が泣いたり騒いだりする光景を目撃します。彼らの表情も正常ではなく、とてもかわいそうに感じます。盧台長が何かとり憑いているとおっしゃいますが、私が彼らに除去してあげても良いですか。また、こういう環境に置かれている私自身に何か注意するところがありますか。

答：こちらの老人の体に必ず取り憑いています。あなたには慈悲心がありますが、手伝ってはいけません。これは彼ら自身の罪業ですから。もし彼らがちょっとお経が読めるとよいのですが。あなたは彼らの代わりに読んであげてはいけません。それらの罪業はあなたの体にくっつくことになるから。あなた自身の身を守るために、普段『大悲呪』を多めに読んで、できるだけ暗唱できるまで読んでください。また、ご自身の健康状態は分かりませんが、こういう仕事には「陽」の気がたっぷり必要ですから、虚弱体質や内気な女性には向いていません。ここで、聴衆の皆さんに注意してほしいのですが、若い時から是非善を行い功徳を積んで、体に取り付いている罪業を払っていたら、臨終の時穏やかにこの世を去ることができますし、病気の痛みなどに苛まれないで済みます。

問：母は亡くなってから長年経ちましたが、最近父がいつも母の夢を見ていて、昼間元気がありません。どうしたら良いですか。

答：（トーテムを看てから）お父さんは性格が悪いですね。お母さんに随分借りがありますが、お父さんとお母さんの仲が良いので、お父さんを訪ねてきたのです。亡くなってから年月が随分経っていても、最近亡くなっ

た人でも関係がありません。問題は済度していたかどうかです。お母さんの魂はまだ離れていなくて、まだ幽霊です。是非ちゃんと成仏させてください。また、放生もしなければなりません。お母さんは人に無理やりに引っ張られていったのです。人に借りが多かったのです。

問：盧台長の話を聞いて、お経を読み始めましたが、いつも半分まで読んだら、集中力がなくなりますが、もう一度読むべきですか。

答：最初は皆こうなります。あなたは雑念が多くて、心が静かにならないし、定まらないのですね。和尚がお経を読む時木魚を敲いたり、数珠を繰ったりする意味が分かりますか。心を静かにするためですよ。お経を読む時に集中力がなくなったら、是非もう一度読んでください。中断されたら、途中から読んではいけません。読む時何も考えないでください。また注意したいことですが、ついでにラジオを聴いている皆さんも是非注意してほしいですが、夜十時以降は『心経』を読まないでください。『心経』は夜になると、お金と変りますので、冥府のお金です。沢山の獄卒が奪い取りに来ますので、功力の足りない聴衆は、夜には読まないでください。

問：台長に夢解きをお願いします。私は母が海辺に跪いて、罰を受けている感じの夢を見ました。私は母の体を拭いてあげても、口をききませんでした。また、私はある流産した子供を済度してから、ある日、ある子供がソファーにかけて私に笑っている夢を見たのです。いい夢ですか。

答：失礼ですが、お母さんはまだご健在ですか。（はい。）今年の誕生日は過ぎましたか。（８０歳まであと１０日間です。）分かりました。お母さんは最近憂鬱で、これから先に関所があるのです。今年お母さんの誕生日の盛大なお祝いを控えてください。特に海鮮活魚を食べないでください。（誕生日を盛大にやらないと、お母さんが嬉しくないでしょう。）お祝いなら、大きな誕生日ケーキを買ったり、精進料理の宴席を設けたりすれば良いです。あなたの夢をお母さんに教えないでください。更に精神的な負担になるからです。あなたの夢の中の子供は流産した子に違いあり

ません。おめでとう。もう成仏できたのです。

問：盧台長、私は1935年生まれで、70歳を超えていますよ。この番組を５年間聞き続けました。よく当たりますね。私も『大悲呪』を読んでいます。ずっと気になっていることがありますが、私は犬を飼っています。何ヶ月か前、何日も連続で、夜１時半頃、3、4年前も同じことがありましたけど、犬は何か見たようで怖がって、ずっと私に寄りかかっていました。鳴くのも怖いようで、訳の分からない声を出していました。昼間はどうもなかったけれども。ずっと聞きたかったのですが、電話がなかなか通じなくて。是非教えてください。何か私のところに来ていますか。

答：おばあさん、教えますよ。このことは簡単です。犬の感覚は人間よりずっと鋭いです。子犬はもっと感覚が鋭いです。それは何か見たはずです、陰気です。だから、怖かったのです。分かりやすく言えば亡霊ですね。修行してよくできる人も見えます。あなたには亡くなった肉親で済度していない人がいますか。（娘が子供のころ亡くなったのですが、済度したのですよ。）今教えますが、それは娘さんでした。成仏できなかったので、彼女の魂がまだいることになるので、彼女は嬉しくないので、また尋ねてきますよ。これからあなたは『往生呪』、『解結呪』を付け加えてください。娘が実家に帰ったら、追い払うものではありません。これらのお経を読んで、今度また電話をかけてください。娘さんは成仏できたかどうか看てあげます。

問：盧台長に祖父を看ていただきたいのですが。1923年生まれで、ずっと体の調子が悪いのですが、古参幹部なので、このトーテムのことは信じないのです。私はどうしたら助けてあげられますか。

答：実は沢山中央の古参幹部もこのトーテムを信じていますよ。おじいさんは罪業があります、ちょっとでも関所があれば、ダメになりますよ。あなたがお経を読んであげてください。先ず最初に、おじいさんに菩薩の悪口を言わせないように。また、あなたが「法布施」ができたら一番良

いです。（「法布施」って何ですか。）つまり周りの人に善を行うことを勧め、お経を読んで修行を勧めることです。

問：私は菩薩像を一つ買いたいのですが、どのように求めますか。

答：誠心誠意、お寺や仏具の店に行って、あなたに微笑んでくれる菩薩を選んでください。普通は観世音菩薩を求めます。もし他の菩薩を求めるなら、是非その菩薩の法号を知っておかなければなりません。家に運んだら、すぐ供えて、お香を立てて、礼拝してください。いくつかの果物と水も供えてください。水は毎日換えて、果物は一週間ごとに換えてください。

問：この前台長が済公菩薩、『六字大明呪』をおっしゃいましたが、具体的に教えていただけますか。

答：1980年代、90年代、中国で遊本昌さん主演のテレビドラマ「済公」があって、全国でものすごい人気を誇りました。その中で済公はいつも歩きながら「オーン・マ・ニ・パド・メー・フーン」を歌っていました。この六字は『六字大明呪』と言って、随分役に立ちますよ。まるである電話番号のように、そのまま読んだら、「中央司令官」に通じた感じです。毎日百回上げて、三年間上げ続けたら、一万回になって、願い事をかなえてくれます。（2011／12.／12**良宵注**：盧台長があとで補充した説明では、既に『大悲呪』『心経』ができる人なら、『六字大明呪』を上げないでくださいとのことです。）

問：盧台長に息子の学業と健康を看ていただきたいのです。1997年生まれです。

答：分かりました。ちょっと大変ですが、本来看たのは一つのトーテムですが、何でそのトーテムの横にもう一つの顔が現れているのでしょう。大きな目をしていて、（はい、はい、目が大きいです。）,眉毛が濃いですね（はい、はい、濃い眉毛ですよ。）なんだか私の功力がパワーアップしたようです。お子さんは何歳ですか。（11歳）、そうですね、私の看た顔も

子供の顔です。

（**良宵注**：これは私が初めて番組で盧台長が一人の顔を看た例です。盧台長は本当に「大変なことになりました」実はそれが功力が大いにパワーアップされたことです。これから沢山の聴衆がトーテムもお願いしますし、また「写真」を照らし合わせながら、看てもらうことになります。）

問：私たちは毎年祖先を祭るとき、お墓の前で冥府で使うお金を燃やしたりしますが、それはちょっと問題があるとおっしゃったそうですが。

答：お墓参りの時、冥府で使うお金を燃やすものではありません。冥府のお金は冥府や地獄に行っている亡霊に送るものです。お宅の祖先は既に昇天したかもしれないので、そこで冥府のお金を燃やしたら、天上で俗心が動いてお金をもらいたくなって、強いて天上から落ちてしまって、あなたを守れなくなります。是非燃やさないでください。亡くなった先祖が確かに地獄にいれば論外ですが。是非お経を読んで済度して、天上まで送ってください。既に天上にいる祖先は更に高層に達します。

問：祖先は天上にいるとか、地獄にいるとか、生まれ変わったなど、どうやって分かりますか。

答：普通もし夢で一度も亡くなった先祖を見ることがなければ、人間に生まれ変わったと言えます。生まれ変わることも容易なことではありませんよ。一羽の鶏が300回殺されたら初めて豚に生まれ変わるのです。もし夢で見た亡くなった先祖がきちんとした身なりで、生きた頃と同じ感じなら、天上に上ったことになります。これはあなたの福分ですよ。夢で先祖があなたにものを要求したりしたら、お経がほしいということです。時々、自分は寒いとか、険しい表情、怖い夢などの場合は、彼らは地獄にいるのです。早くお経を送ってください。これらのお経は冥府ではお金です。普段皆さんの燃やした冥府のお金などは、あの世ではただのコインで、お経は大金ですよ。もし皆さんがこの電話にかけて通じたら、私はすぐ亡くなったご先祖はどこにいるのか看えます。もし地獄にいる

なら、早く済度するように。

問：台長のおっしゃった通り、父を成仏させるお経を一セット読み終わりましたが、父が既に行ったかどうか、看ていただけますか。

答：分かりました。まだ成仏していません。あなたの読んだお経はまだ足りないか、お父さんの罪業が重いか、あなたは追加して読まなければなりません。補充して読むので、セットの全部を読む必要がありませんが、『心経』27回、『往生呪』を47回上げれば大丈夫です。

問：この前盧台長は父が既に昇天したとおっしゃいました。父を更に高い層に行かせたいのですが、同じように四セットのお経を読むのですか。

答：四セットは変りません。『心経』を多めに読んでください。『往生呪』を沢山読まなくても良いです。あなたは親孝行ですね。将来いい報いがあるはずです。ある人は亡くなって何世過ぎても生まれ変わることができません。罪業が重いので、成仏させる子孫もいません。

問：最近引越しすることになりますが、供えている菩薩像など、どのように持っていけばよいですか。また、引越しする時にお経を読まなければならないですか。

答：引越しする前にお経を読む必要があります。また、菩薩に話してください。荷造りの時に『大悲呪』のＣＤを低いボリュームで流してください。引越しは家の中を驚かせて、工事をするのと同じなので何かあるかもしれません。新居に入ったら、先ず観世音菩薩の位置を決めて安置してくだい。他の順序は特にこだわりません。引越しして落ち着いたら、主なお経をそれぞれ一回上げてください。

問：盧台長、この前『解結呪』と『往生呪』を読んで、その日の夜夢の中でカーテンの下からゴキブリが沢山出てきて、私はそれを全部踏み潰したという夢でした。また、魚が沢山泳いできて、その時目が覚めたのです。この夢はどういう意味ですか。

答：それらのゴキブリや魚などはあなたと別れに来たのです。あなたは彼らを成仏させたのですから。しかし、あなたはまた彼らを殺したので、もう一度やり直してください。

問：私は主人とは既に別居して、一年あまり経ちましたが、彼は今午年の人と同棲しているのです。あの二人は長く続きますか。

答：これは一時期の縁です。ご主人はやり手ですね。その午年の女にお金を渡さないね。ご主人はあの女との間に隔たりがあるのを看ました。あなたは何年？（鶏です。）いいニュースを教えますよ。あなたはご主人との間の隔たりはもうありませんよ。早く『観音霊感真言』を読んで、観世音菩薩に霊験を、『解結呪』7回読んでください。でも、是非覚えてほしいですが、夫婦喧嘩の時、『大悲呪』を読んではいけません。夫婦には「和」が大切で、『大悲呪』を読むと、相手を蹴飛ばしてしまうことになるのです。

問：うちの観世音菩薩蓮華座の後ろは壁で、壁の反対側は台所なんです。大丈夫ですか。

答：厨房では包丁も使うし、殺生もするので、勿論良くないです。（しかし、他に場所がないんです。）観世音菩薩の後ろの壁に山水画を貼ってください。人物のない山水画で、画面は観世音菩薩の蓮華座より大きい絵で、これで厨房からの大部分の邪気を塞ぐのです。

問：土葬、火葬、海葬、あとお寺や家で祖先の位牌を供えることなどありますが、この中で、良いのと悪いのがありますか。

答：土葬が一番良くて、墓に埋葬されることは死者の最大の慰めですから。火葬もいいです。やはり完全な体になっていますから。もし、体がばらばらになったら、鬼道に入ります。火葬の後骨壷もお墓に埋葬してください。家やお寺に供えたりするのは良くないのです。お骨を川や海に撒いたりするのは良くないのです。魂は散ってしまいます。位牌を家に供えるのも良くなくて、他の霊に入られたら、家族に迷惑を招くことにな

ります。できれば、忌日や、清明節、冬至などの日に出して拝んで、お経を読んで、普段は布で包んでたんすにしまったほうが良いです。

問：盧台長に我が家の風水を見ていただきたいのです。

答：お宅の床に何かがあって、黒い気があって、良くないのです。（家はフローリングで、その上に絨毯が敷いてあって、模様がついていますが、これですか。）それです。たぶんその模様に問題があるんでしょう。絨毯を取ってください。この前もう一軒の家を看たんですが、天井に黒い気が看えると言ったら、その聴衆が「そうだ、そうだ、天井の照明器具がなんだかしゃれこうべみたいな感じですよ」って。私も彼らにそれを取るように勧めたたのです。

問：ああ、良かった、ようやく通じました。明日ブリスベーンにいる息子の所に行きますが。息子はキリスト教で、私がお香を焚くのに絶対反対すると思いますよ。何か方法がありますか。

答：「心香」を焚いたら良いです。というのは、お経を読んで、心の中で家の仏壇を思いながら、お香を焚く動作をすれば、同じ効果になります。

問：盧台長に、1957年生まれ、女性を見ていただきたいのです。白血球がずっと低いですが、原因不明です。罪業から来る病気でしょうか。どうしたら良いでしょうか。

答：罪業の病気です。普通原因の分からない病気は罪業から来る病気です。両親の遺伝から来る病気は科学的な言葉で表した罪業の病気です。玄学から言えばお経を読むことです：毎日『往生呪』7回、『心経』3回、『大悲呪』3回、『七佛滅罪真言』7回、21日続けて読んでください。読む前に言う言葉ですが：「観世音菩薩是非慈悲をくださって、霊験を現し、私の体の亡霊罪業を済度して、私の血液が正常になりますようにお願いいたします」とお願いして、お経を読んでください。終わったら、何も言う必要はありません。

問：この前のエスフィ（地名）会場でお聞きしましたが、私は既に亡くなった父を済度しました。生前戌年で、1922年生まれです。しかし、最近見つかったパスポートを見て、生年は1923年だったのです。そうしたら、猪ですね。今どうしましょう。もう一度やり直しますか。

答：これは簡単です。あなたは何年ですか。（羊です。）はい、私は息子の干支からお父さんの干支を調べます。おう、お父さんは猪年で、戌年と言ったのは間違っていますね。もう一度成仏したかどうか看てみますね。あと少しです。何かが彼の首に差し込んでいます。あなたはまたお経を読んで、黄色い紙を燃やしてください。お父さんは今上に上っているところで、これから昇天しますよ。

問：盧台長、今日は質問ではなく、自分の体の調子についてフィードバックしたいのです。私は30年悩まされている持病がありますが、病名を省略させてください。西洋治療も、漢方医治療も試していても、効き目がなかったのです。私自身も医者で、成仏させるなんて信じない人間でした。この番組を聴いて、試してやろうと思って済度したら、30年の病気が治ったのです。本当に奇跡です。また、私は買ってきた魚を放生に行く時、最初はちっとも動かなかったのですが、放生したら、皆嬉しそうに跳ねたりして、ある魚は泳ぎ戻して、感謝しているようでした。本当に霊感がありますね。是非ラジオを通して、皆さんに知ってもらいたくて、是非仏を信じてお経を読んでください。

答：ありがとう。これが「法布施」で、功徳無量ですよ。

問：盧台長にお聞きしますが、卵は一体生臭物ですか、菜食ですか。

答：厳密に言えば、卵は二種類に分けられます。一種類は雛に孵すことのできる卵で、生臭物です。雛に孵すことのできない卵は菜食に属します。でも菩薩はとても慈悲があるので、詳しく分けないで、全部精進料理にして、食べられます。

問：盧台長、お経は読みにくいですね。沢山の字ははっきり読めないのです

が、大丈夫ですか。

答：お経は元々梵語でした。勿論標準語とは随分違います。個別の発音はちょっとずれがあっても、誠心誠意であれば大丈夫です。一部分の老人は方言で読みます。彼らは小さい時標準語を習ったこともないし、ピンインも習ったことがないけれども、同じように効果があります。ある西洋人の女性で、信じていて、ピンインで読んでいて、本当に誠心誠意ですね。ある聴衆が『六字大明呪』の最後の字は「吽」で、発音は「ong　オン」であるはずですが、彼はずっと「niu　にゅ」と発音して、随分経ってから直したけれども、大丈夫でした。あと「南無」の二文字は、nan wu でもnan　moでもかまいません。勿論沢山間違ったらいけませんが。

問：うちの家族の皆は鶏を殺すのが怖いので、若いころからずっと私が殺して、料理にしたのです。私はどのように済度したら良いでしょう。

答：『往生呪』を読むのですよ。すっぽん一匹殺したら5回、魚一匹3回、鶏一羽7回、大体計算してください。多めに計算して、少なめにしてはいけません。トータルの数字で全部読んだら大丈夫です。

問：盧台長、隠さずに言いますが、私は5回流産したことがあります。おっしゃった通りにしたがって全部済度しましたが、行ったかどうか分かりません。看ていただけますか。また、最近、主人に声をかけると、何を言っても、気に入らなくて怒ってしまいますが。是非盧台長に、何か憑いているのか看ていただきたいのです。

答：おう、三人成仏しました。続けてお経を読んで、成仏させてください。生年月日を教えてください。あと、ご主人は何年ですか。（私は×年×月×日、主人の干支は×年）、はい、看てみます。ご主人の胸のところに蜘蛛がいます。たぶんご主人は大きな蜘蛛を殺したことがあって、蜘蛛精かもしれません。今、復讐に来ているので、早くお経を読んでください。

（**良宵注**：番組で、普通なら生年だけ聞きます、ある人は自分から進んで誕生日の年月日を言って、盧台長は普通質問者の生年を繰り返すだ

け、年月は特に要りませんが。今回私は初めて番組で盧台長から相手の生年月日を聞いたのです。この回答はなかなか難しいように見えたので、詳しい情報が必要だったわけです。）

問：主人は戌年です。彼はおかしい夢を見ました：木の上に豚がかかっていて、その横にある蛇が豚を食べています。もう一本の木にも同じように豚がいて、ある羊が笑いながら横になって豚を舐めています。これはどういう意味でしょう。また偶然ですが、主人のお兄さんは蛇年で、お姉さんは羊年です。

答：あなたは何年ですか（羊です）。ご主人は普段お経を読みますか。（彼は読みませんが、私が読んであげたのです。）おう、この夢は簡単です。あなたの読んだお経は効いたので、ご主人は夢で前世に戻ったのです。前世の三つの畜生は現世で兄弟になったのです。羊は豚に優しかったのですが、蛇は豚に厳しかったのです。今のご兄弟はこんな様子ではないでしょうか。（そうです。）もうお兄さんに言わないでください。（既に話してしまったけど）夢の様子を話しては大丈夫ですが、私の夢解きを話さないでください。早くお経を読んでください。ご家族と兄弟たちを守るために。

問：私は1931年生まれで、是非盧台長に寿命を看ていただきたいのです。私は苦しい死に方を望まないし、家族に迷惑もかけたくないです。

答：あなたの寿命は短くありません、しかし具体的な数字を教えたくないのです。その数字を知っていたら、気になって、その年になると、本当に行ってしまいますよ。また、あなたは悲観的な情緒があります。はっきり言いますと、自殺願望があるのです。自殺したら、亡霊が浮かばれぬ魂になって、自殺した時の苦痛が毎日一回蘇るので、大変ですよ。私の話を聞いて、よく生きてください。

問：盧台長に今年わずか39歳の人を看ていただきたいのです。既に中風になっています。罪業があるのでしょうか。

答：（盧台長が随分長く間をおいて、言いました）罪業とはいえませんが、この人の前世はある動物でした。大きくて、牛みたいです。彼は船にいる全員を救ったので、人間に生まれ変わったのです。その当時、牛が船にいて、船が重くて、転覆しそうになった時、牛は船の反対側に行ったので、船はバランスが取れて、転覆しませんでした。しかし、動物から人間に生まれ変わったので、法術が足りません。ですから、若いながら話せなくなります。あなたが代わりにお経を読んであげて、苦痛を軽減させるように。

問：父は1921年生まれ、酉年。この前台長は父が低層にいて、また更に下に行くような状態だとおっしゃっていましたので、私は既に『大悲呪』を64回、『往生呪』108回読んだので、今どうなっているのか看ていただきたいのです。

答：随分上に行っています。顔色も良いです。体全体は白く見えます。（父が亡くなる前、何か気になったことがあるようだったが、口に出さなかったのです。どんな気がかりなのか看ていただけますか。）もう一度何年、何年生まれなのか教えてください。また、お父さんの名前も教えて、後で探しますので。（父は×××と言う名前で、私は×年、姉は×年）。お母さんはまだ生きていますか。（生きています。）はい、お父さんが見つかりました。彼が私に、気になっていることは二つあると、一つは家について。彼は安心できません。二、この家はお母さんと関係がありますので、ため息しかできません。（そうです、家のことです。私のある兄がこの家をほしがっていますが、私は姉とはこの家を基金にしたいのです。母は賛成してくれません。）もうほどほどにしてくださいよ。あなたたちはもうちょっとお経を読んで、お父さんを天上まで送ったら、守ってくれますし、家のことも解決してくれます。

（**良宵注**：盧台長があの世の「人」と対話するのを番組で聞いたのは初めてです。陰陽でのコミュニケーションができて、更に「ため息」で気になっていることも、ずばり「家のこと」とここまで当たるなんて、先生のことを本当に信じるしかありませんね。第三冊の内容ももっと素晴

らしいのに違いありません。）

付録文　　「玄芸総述」番組放送八年記念　盧台長現場解答会について

一、聞くは虚、見るはまこと

天上に神仙がいるの？地下に陰の世界があるの？

世間に菩薩がいるの？世間に菩薩がいるの？

海辺に陰の風があるの？夜になると鬼怪が出るの？

現世には前世があるの？お経を読んだら効くの？

これらの質問には、何千年、何百年何十年来、ずっと色々な説があって、定論がありません。

けれども、シドニーにいるこの人が皆さんにはっきりと教えてくれます。以上の質問にすべて「有」という答えです。天上に神仙が住んでいて、地下に陰の世界があります。世間に菩薩がありますし、菩薩が世間にいます。海辺に陰の風がありますし、夜鬼怪が出るのです。人生には前世がありますし、お経を読むと霊験が現れます。

こうしてはっきりと肯定的に言い切った方は、盧と言う苗字で、名は軍宏です。シドニーで華人のテレビ局でこの番組を主宰し，「玄芸総述」という番組名です。この番組は2000年から放送してきてから、既に８年経ちました。毎週30分から現在の毎週３時間になっています。盧先生ご本人は放送局の局長なので、皆さんは彼のことを盧台長と呼んでいます。

この番組はどのような形でしょうか。聴衆はこの電話番号92111301（シドニーの普通の電話料金で、秒ごとで課金する高い電話ではありません。）聞きたい人の生年、干支を伝えると（電話をかける人は本人でなくても大丈夫です。）盧台長が電話の向こうで、ちょっと間をおいて、気を使って精神力を集中したら、その人の身体、運勢、婚姻、財運など、各方面のことを教えてくれます。

では盧台長がどのように知ったのでしょうか。盧台長の話では、彼はその人のトーテムの形が看えるのです。前世、現世の変遷や、体に病気の状態、結婚した相手との縁や相性、その人の家の周りの状況、風水なども一

一教えてくれます。

これは本当に信じがたくて、「聞くは虚」なので、根拠が見つからないのです。盧台長の言っているのは本当に正しいのですか？彼の根拠はどこにあるのでしょうか。

このような疑問があるだろうと盧台長もご存知で、最近彼が「見るはまこと」の現場解答会を行いました。時間は2008年3月29日、場所はAshfield town hallで、私も参加しましたので、大会の様子についてご紹介します。参加者の皆さんと一緒に振り返って思い出して、参加しなかった読者にさらに考えてもらおうと思っています。

二、満員御礼、すべての質問に即答

Ashfield town hallは定員400人ぐらい。大会が入場券を400枚を用意して、それぞれ整理番号があって、その場で抽選し、当たったら、質問するチャンスがあります。その中で、100枚のチケットは座席のない立ちチケットです。

シドニーでは、普通の投資、保健、資金運用などの講座の場合、もし華人向けで行ったものなら、十何人、何十人参加してくれたらありがたいほうです。私は今までいろんな手の込んだ中国語での講座に参加してきていますが、参加したのはわずか数人だけでした。ある大手企業が随分広告宣伝をして、とても魅力的な内容で、参加した人が100人ぐらいに達したら、効果があったほうです。新年向けの食事つきの無料パーティーで、出し物の披露なども付け加えると、何百人の規模になります。しかし、盧台長のような占いのような大会で、信じない人もまだまだ多い段階に、新聞の広告も特に出していないのに、400人規模と言う予想は、盧台長の自信のほどを表しています。しかし、どれくらい人が集まるか、誰も知らないはずです。

私は随分早く会場に来て、もしかしたらがらがらではないかと心配していましたが、開会するまで時間があるのに、会場は随分埋まっていました。待っている皆さんの気持ちは同じで、「玄芸総述」を長年聞いていましたが、現場で、盧台長がどのように解釈するのか見てみたいのです。

開会式には華僑リーダーなどの挨拶はなく、単刀直入で主題に入りました。盧台長が先ず簡単な道理について説明しました：見えないものは存在しないとは限りません。この大会を行う前に、彼が既に天上を拝んで、観世音菩薩に「指示を仰いだ」のだそうで、観世音菩薩がこの活動には賛成して、この活動を通して、大衆を教化するように。更に、彼から皆さんにある動作を教えてくれて、観世音菩薩と「気場を通じる」動作です。盧台長は「観世音菩薩と気場を通じる」動作のお手本を見せました：体はきちんと座るか立つかして、上半身をまっすぐにする姿勢です。肘を曲げ、両手を上まで挙げ、鉄アレーを上げる場合の動作と同じように、手の平を上に向いて、指はやや円弧状に開いて、雑念を払って、観世音菩薩の真の気が、手のひらを通ってどんどん体に入ってくるのを感じます。普段この動作を何回か行い、それと同時に心の中で：観世音菩薩、是非私が健康になりますように、毎日無事に過ごすようにとお願いしてください。盧台長がある漢方の先生陳思敏医師にお越しいただいて、この動作に関して、医学的な原理を説明して：指の経絡と全身とは相通じているので、この動作は医学理論的にも健康に有益なことだと説明してくれたのです。

その後、二人の感想発表があります。一人は老人で、盧先生に電話を通して、彼のお腹に黒い気があるので、、是非検査を受けてくださいと言われて、検査したら本当に大腸癌早期だったのです。手術をして、二年経っても、すべては正常です。老人は「盧台長は命の恩人で、皆さんは国宝を守るように盧台長を守ってください」と誠心誠意言って、皆大きな拍手を送ったのです。二人目の発表者は女性で、彼女は信じない段階から信じるようになった過程を話して、憂鬱、焦燥から開放され、生活の質が大きく変わって、生まれ変わったような変化があることを皆さんに紹介しました。本大会で皆さんに配った記念品も彼女の寄付で、自ら車で運んできたものです。

その後の２時間で、会場は興奮状態に入っていました：現場で自分の目で盧台長がトーテムを看て、運命に関する色々な質問にどのように答えるのか楽しみでした。

私もこの番組を８年聴いてきて、「声だけ」でした。電話の向こうにいる

盧台長がどのように質問者の秘密などが看えるか想像がつきません。私も「あの人」は本当に「奇人」であるか確かめたいのです。

三　身近な奇人、ユートピアな逸話

人々は新聞やネットを通して、色々な世界中の奇人の逸話を知っていますが：「催眠術で宝物を盗む、座禅で空中に浮く、陰陽界の霊に通じる、占い百発百中」など。しかしこれらは身近に起きたものではないので、逸話として見て流してしまいがちです。本日は現場で盧台長の超能力は本当かどうか見られるのは、意義あることです。また、盧台長にとっても、本日の大会は試験のようなものです：一体当たるのかどうか。しかし、盧台長は全然緊張した様子はなく、リラックスした雰囲気で、胸に成算があるように見えます。

大会は司会者により、抽選しました。抽選で当たった人が自分か親友の干支、生年、性別を言ってから、質問したいことを言います。盧台長がそれを聞いて、ちょっと目をつぶって、頭をやや自分の右上のほうに上げて、まるで彼方からの「無言の声」を聞いているように、或いは気を凝らして右上の天井にある「無形の像」を看ているような感じでした。２、３秒経ってから、盧台長が口を開いて、先ほど質問者の話した人の干支の様子を言います。時々、盧台長が質問者に、もう一度干支を教えてくださいと確認してから、その人の健康状況や、病気の所在、運勢の凶や吉、家庭関係及び悪い方向に行くのを防ぐ方法について伝授します。

ある友人がわざわざブリスベーンからやって、抽選が当たらないと心配していて、盧台長にメッセージを送ったのです。盧台長が彼女のことを配慮してくれて、看てあげました。実は彼女は４日連続で６回も転んだので、とても妙に感じていました。ある中年男性は抽選で当たらなかったのに、ずるをして、マイクを取り、自分は当たったと言いました。彼は今までこのような公けの占い講座を聞いたことがなかったと言って、近年不運の連続で,投資に失敗して、何百万の負債があって、子供が言うことをきいてくれないし、妻も重病など、一体なぜこうなっているのか分からないと言いました。もう一人の人は確かに抽選に当たったのですが、回答を聞く

前に先に泣いてしまったのです。泣きながら、自分の悩みを打ち明けて：実は彼女達姉妹は長年不幸が多くて、避けようにも避けられなくて、逃げようにも逃げられなくて、一生苦境に生きなければならない運命の様で、盧台長に救いを求めています。もう一人の来客は自分の家の風水を看てほしかったのです。もう一人は面白い参加者で、彼女は盧台長に、ご主人は自分にやさしいかどうか、自分の寿命が長いかどうか看てほしくて、盧台長が思わず「旦那さんは今日来ていますか。」と聞くと、彼女は「私の傍にいますよ」と答えたら、全員大笑いをしました。ある男性が、既に亡くなったお父さんは生前ご自身は戌年だと言っていましたが、今お経を読んで、成仏させようとした時に、亡くなった父のパスポートから、生年月日の計算では猪になるはずだと分かって,盧台長にお父さんは一体何年なのか判断をお願いしました。

このような質問が次から次へと、本当に様々あって、すべて我々の生活によくあって、普段の理屈で解釈できない問題ばかりでした。すべての質問に対して、盧台長が質問ごとに全部答えられ、玄学の角度で道理に合った解答をしてくださいました。会場では絶えず大きな拍手の音がおき、本当に不思議でした。

具体的な内容は私が既に第二冊にまとめてあるので、ここでは省きます。盧台長の公開試験はパスしたはずですよね。

更に感心したことは、盧台長のされたことは、人々の苦しみを救うためなので、完全に無料です。盧台長ご自身の話では、観世音菩薩が彼に開眼させたのは、衆生を済度させるためだということです。

四　功利を求めない　公徳を広く施す

借用している場所には時間的制限があって、公開回答大会は時間通りに終わらなければなりませんが、大勢の客がどっど寄ってきて、皆押して押されて、この人も、あの人も、これもあれも、皆盧台長に看てほしかったのです。盧台長は拒まずして、舞台の床に座って、皆に答え続けて、ずっと会場のスタッフにが出て行けと言われるまでずっと熱心に解答していました。

私はシドニーで占いや手相、面相などを見る時の相場を聞いたのですが、通常八字、運勢を見るには$100〜$150だそうです。時間で計算するのもあって、15分ごとに$50、電話で占いをするのもあって、１分ごとに$３です。ごらんのとおり、盧台長の無料奉仕により、私たちにこんなに節約させてくれたのです。最も肝心なことはよく当たることです。また私が気づいたことなんですが、盧台長はいつも「占い」という言葉を使わず、「トーテムを看る」という言葉を使います。

会場を出る時、ある老人が「普段番組を聴いた時、盧台長はきっと年寄りだから、こんな能力があると思っていましたが、こんなに若いとは意外ですね」と言っていましたが、私は逆です。今日見た盧台長はきれいに整った髪の毛は５、６年前と変っていませんが、濃密の程度が前とだいぶ違います。白髪も５，６年前より明らかに増えています。話し方は前より明らかにゆっくりしたスピードになって、声量も低くなっています。最近の何ヶ月の番組では、我慢できないあくびや咳が時々聞こえます。これはアナウンサーとしてはタブーですが。５、６年前に盧台長の番組を聞いた時、このような雑音はなかったのです。時間が経つにつれて、年を取るものですが、盧台長はやはり苦労しすぎていると思います。トーテムを頼む人もどんどん増え、電話も鳴りっぱなしになり、以前の３０分では全然足りなくなり、ついには現在の３時間でも足りなくなりました。また、話題もだんだん広くなってきて、ある人がいっそ盧台長のラジオ局に待ち伏せて「居座って、看てもらう」までになっています。このような状況が続けていたら、盧台長は更に疲れる一方です。

ですから、末筆ながら、盧台長も適当な良い方法であまり体力を消耗しないで、このパワーが長持ちできるように。また、皆さんも是非台にあがった老人の話を覚えてください：宝物を使用し、愛惜し、愛し、守ってください。

080612良宵　第二冊完成前

皆様、第三冊を読む前に、是非第一冊と第二冊の読者の感想をご覧ください。また、是非皆さんのご感想も寄せてください。

『一命二運三風水』第二冊読者の感想、コメント：

注：コメントを寄せたご本人の許可を得ていないので、以下の情報は番号だけで、お名前を省略させていただきます。ご了承ください。皆さんも是非ご感想をお寄せください。

１．本当に感謝します。最近海外の友人が来ていて、仕事先が遠かったので、しばらく郵便物を調べませんでした。今日開けて読んでみだら、本当によかった。一気に読み終わりました。盧台長は現世の神仙ですね。また、素晴らしい文章で、まるでその場にいるような感じでした。これは何より幸せなことです。第一冊を知り合いにコピーして渡して、皆読んだらとても良かったと言いました。もともと信仰のない人も佛教を信じることになってきました。盧台長は凡人ではありませんが、あなたも普通の人ではありません。そうでなければ、こんなに近寄ってこないはずです。私には本当に現世で縁があって,観世音菩薩の慈悲で、私がこんなに苦しく修行して、迷いに迷っているのを見て、あなたと友達になるように導いてくれたのです。更に、お陰で、３月２９日の大会にも出られて、ご紹介がなければ、私は出席できるわけがないのです。外に玉石混淆の人が至る所にいます。盧台長のご指導のお陰で、私には新しい世界が開けて、気持ちが落ち着きました。

２．玄学は、中国の魏晋時期に現れた老子、荘子思想に憧れる思潮であって、普通は魏晋玄学を指します。「玄」という概念は、最も早く現れたのは『老子』:「玄之又玄，衆妙之門」、王弼『老子指略』の中で、魏晋の人々は『老子』、『荘子』と『易経』を重んじて、それを「三玄」と言います。玄学は神秘的で奥深い一面を持っていると同時に、精神世界で、心を癒してくれる役割も大きいです。

　その後、玄学の中身が絶えず拡充され、後世の方術家によって多方面で充実してきて、山、医、命、占い、相を含める五種類の体系を形成しました。これらの玄学体系の思想は先秦の陰陽説を参考にしていますが、これらの思想を直接参考にしたものではありません。漢の時代、道教が盛んになり、自分の思想体系を完備させる際、『道徳経』を経典にすると同時に、陰陽学説、五行学説も一緒に豊かにしてきたので、玄学と

道教とは淵源が深く、どちらも国学思想を構成し、伝承したものの一部分です。

3．小冊子にまとまっていて、本当に感謝します。案例はとても有意義なもので、私は既に『大悲呪』などのお経を読み始めました。またいつか盧台長の電話につながって、具体的に指導してくださるように願っています。また、これを他の知り合いに紹介して、違った角度で世界を認識できるように。災難を避けて平穏な毎日を送りますように。南無観世音菩薩！

4　私は既に感じています。風水の役割が徐々に私に影響を与えています。これからこちらの方面の本をもっと読むつもりです。

5　お書きになった第二冊をよく拝読しました。私自身は経験していないのですが、時々回りの人から不思議なことを聞いたことがあって、この世界で普通の道理で解釈できないことはあると信じています。でも、どれぐらいお経を読めばいいか、疑問を抱いていて、心の中に仏が住んでいれば、佛教の本当の宗旨が分かっていれば、何かにぶつかった時、悟っていくだろうと思います。

6　メールで送ってください。これからどんどんコピーしますので。沢山の友人が読んでから、自らラジオを買ってきたのです。ある人は読んでから、盧台長を尋ねに行ったそうです。ある友達がお経を読み始めたのです。

ことわざで：「信じるか、信じないか、あなた次第」と言いますが。

この文章は：「信じるか、信じないか、あなた次第ではない」と言いたいです。

第 三 冊

第三冊に関する説明

1．本冊ではいくつかの典型的な個別案件を詳細に取り上げ、電話をかけた当事者が更に内容を追加することを歓迎しています。再版する際、内容が更に豊富になるうえに、当事者の個人資料として長期保存することが可能です。92832758まで電話して伝言を頼むか、あるいは電話番号を残してくだされば、こちらから電話します。電子メールも歓迎しており、その際は、補充する内容が何冊目の何ページのどの問答であるかも伝えてくだされば と思います

2．別々の聴衆から似たような質問を受けることがあります、質問が類似している場合は、文章を簡潔にまとめるため、また共通の規律を表すため、一つの問答に入れました。

3．時間に限りがあり、すべての番組を聞くわけにはいかないので、聴衆の皆さんがいいと思う問答を電子メールで知らせることを歓迎します。今後の再版に付け加えます。

4．第一冊、第二冊と同様に、質問する方はまず干支と生年月日を知らせてください。本書ではプライバシーを守るため、これらの情報を省略するか、または「＊＊」に書き換えます。番組で亡霊のことに言及する際、聴衆に亡霊の名前も聞きましたが、本書では、苗字だけ残します。

5．番組は徐々に突っ込んだ内容となるにつれて、聴衆の盧台長への信任が厚くなったため、名乗る事も正直になり、何も隠さず明確になりました。一方、時に番組の情景を鮮明に表すために、質問者の干支と生年月日を残した場合もあります。もしこれが適当ではないと思う聴衆がいらっしゃいましたら、直ちにオリエンタルラジオ局に知らせていただけたら、再販の際に削除します。

6．第三冊について、電話をいただいた聴衆の中には、第一冊、二冊で既に盧台長に質問した方もいます、第三冊でまた電話して盧台長に見ていただいたのですが、まるで「再審査」のようです。明らかに盧台長にとって質

問に答えるのが更に難しくなりました。もし盧台長がずっとでたらめを言っていたとすると、直ちに回答が以前とちぐはぐになりますから、その点からもこの番組の信用性が証明できるでしょう。

問：以前ラジオ局へ経文をもらいに行った時、なんで体調が悪いのか盧台長に見ていただきました。台長は私が今トラブルに直面していて、背中に何かのものが圧迫していると言っていました。私はその話を聞いて、怖くて、話を続けることができませんでした。そして、家に帰ったら、早速病院に血液検査をしに行きました。結果はまだ出ていませんが、嫁の話によると、背中のものは必ず亡霊で、体調が悪いのは必ず罪業から来る病気だそうです。罪業から来る病気ってどういうことでしょうか。

答：お嫁さんは修行していますね。（ええ、仏教の信者です。）では、見てあげましょう。そうですね、見ましたよ。今ご主人はそばにいますか？（いないです）では、教えてあげます。あなたの若い頃、あなたをすごく大切にしていて、それから急病で亡くなった彼氏がいるんですね。（そうですね、確かにそんなことがありました。彼は恋人というだけではなく、私と婚約していたんです。しかし、彼の家に引っ越ししたら、彼の兄や兄嫁との関係がうまくいかなくて、家出しました。それから、私も彼も別の人と結婚して、彼は心臓病で亡くなったと聞きました。本当に彼のことですか？でも、彼と別れてから、一度も彼のことを思い出したことがないですよ。）きっと彼のことです。あなたは知らなかったかもしれないが、彼はずっとあなたのことを思い続けて忘れられなくて、精神状態も悪くなって、病気にかかったのです。婚約したのは縁があったからで、あなたのように勝手に家出をしてはいけません。あなたは彼に借りを作っていたのです。今彼はあなたに因縁をつけてきたので、早くお経を読んで済度してください。（元々は仏教の信者ですけど、姑はギリシア正教を信じているから、私も引き継いでギリシア正教を信じることになりました。仏教のお経を読んでも大丈夫でしょうか）大丈夫ですよ、公共の場でなければいいです。済度の一連のお経を全部読み終わったら、また電話をかけてきてください。元彼氏が出たかどうかどうかを看

てあげます。

（**良宵注**：この事例では、盧台長が話した聴衆の「背中にあるもの」は確かに聴衆の死んだ元彼氏で、聴衆の状況とそっくりでした。このことで、盧台長の超能力が再び証明されました。故に、この事例を第三冊の冒頭に置いたのです。）

問：盧台長、助けてくれないでしょうか。オーストラリアに来てまだ二年しか経っていませんが、最近健康診断をしたら腹部に何か異物が見つかったので、手術をしなければならないそうです。どうすればいいでしょう。

答：分かりました。確かにあなたの体の中には一丸の黒い気がありますが、そんなに濃くないので、まだ助かります。もうちょっと早めに電話してくれればよかったのですが、（電話がずっと通じなかったんです、お医者さんは嚢腫だと言っていました。）そうですか、もうちょっと見ますね。これは罪業から来た病気で、ある男があなたの体にとり憑いているのが見えます。四、五十代の様子で、過去の友達かもしれませんが、あなたのことを随分愛していて、大事にしていました。しかし、彼は変な病気にかかって亡くなったのです。だからあなたは彼に借りができたのです。ここで聴衆の皆さんに伝えたいのは、他人に借りを作らないということです、特に感情の借りを作ってはいけません。相手が見返りを求めてきたら、その借りを返すのは大変です。あなたは今普通通りに手術をして、それと同時に菩薩に大願をかけてください（この二年間ずっと精進料理を食べています。）それはいいですね。それに、怠らずお経も上げなければなりません。（済度用の一式全部で、四つのお経ですか）ええ、麻酔をかける前に「大悲呪」を多めに上げて、自分のパワーをつけます。また、放生する必要もあります。もしあなたが病気で行けない場合は構いませんが、必ず自分のお金で放生して、放生の始めから終わりまでちゃんと計画を立てることです。そうすれば、あなたの状況はよくなります。あなたにもっと自信をつけるために、一つの例をお話しましょう。ある聴衆のひとりが病気にかかって、右手がちっとも上がらなかっ

た時、私は彼にお経を上げさせました。しばらくして、彼はわざわざ私を訪ねてきて、こう言いました。「お経を読み始めたその日の夜、夢で観音菩薩が私の腕を何回か押したのを見ました。そして、翌日目覚めると、腕は完全に治っていました。」ですから、必ず信じてください、見えない物は存在しないわけではないのです。

問：盧台長、引っ越しをした時、娘の不注意で磁器の観音菩薩像の手が折れました。どうすればいいでしょうか?

答：折れた手がまだあれば、菩薩像にくっつけたらいいでしょう。そして「七仏滅罪真言」を２７回読んでください。もし折れた手が見つからなかったら、ちょっと困りものですが、「礼仏大懺悔文」を一回読んでください、この経文は長いので、持っていないのなら、オリエンタルラジオ局に取りにきてください。そんなに怖がる必要はありません、菩薩は慈悲深い心を持っているのですから。ただ気をつけてほしいのは、不完全なままの菩薩像を供えないでくださいね。

問：父は既に亡くなっているのですが、家族は父を土葬した上に、お寺で父の位牌も祭っています、いいのでしょうか

答：よくないです、亡くなった亡霊は分けられません。それでは、魂が抜け出してしまうので、寄る辺のない亡霊になってしまいます。（私たち子供で話し合った結果、父と母の夫婦合葬墓を作ることにしました、母も賛成してくれたので、これでいいかどうか教えていただきたいです。）そういうことをする人は結構います、お金も節約できるし、そんなに面倒ではありません。しかし、これは非常によくないことです。死者は既に安らかに眠っているので問題ありませんが、生者の魂は半分、半分に分けられて、一部分は墓に入ってしまいます、この夫婦合葬墓はのろいのように、生者の魂に呪いをかけます。それでいいと思いますか？もしどうしてもお金を節約したいなら、少なくとも墓石の上にお母さんの名前を書かずに、普段もお母さんの前でこのことを言い出さないようにしてください。

問：盧台長、お聞きしたいのですが、肉体の病気か、罪業の病気かを自分でも判断できますか？

答：一般的に言えば、お医者さんに診てもらっても原因が分からない「変な病気」であれば、それは必ず罪業に関係があります、一番明らかなのはわけがわからない頭痛です。また、あなたが病気になる前後がちょうどあなたの誕生日とか、亡くなった肉親の命日であれば、あるいは夢で亡くなった肉親があなたを訪ねてきたとしたら、それも罪業の病気と言えます。どれにも当てはまらないならば、一般的な病気でしょう。一昨日あるアメリカの友達から電話がかかってきました、彼女は太ももが痛くて、お医者さんに行ってもどうしようもないと言っていました。私が彼女のトーテムを見ると、彼女が以前おろした子供が印鑑のように彼女の膝に貼られているのが見えました、それは明らかな罪業の病気です、亡霊を済度しなければなりません。

問：盧台長に弟を見ていただきたいのです。弟は国内の検察庁で仕事をして、司法警察の管理を担当しています、普段はよく刑場に行かなければなりません。本人もこのままではよくないと思って、普通は他人に自分の仕事について何も話さず、聞かれても曖昧に答え、はっきりとは言わないことにしているようですが、弟の運勢はどうでしょうか？

答：あなたの話からすると、弟さんはもう何かを感じています。病院、刑場、墓地、教会などの場所は、すべて亡霊が沢山いるところです、そこで銃殺刑を受けた人の中には、死に損なった人もいますし、無実の罪を着せられた人もいます、彼らは弟さんにトラブルをもたらしてきました。（弟は今まで自分では銃殺したことがないのですが。）同じですよ。それはまるであなた自身が魚を殺さなかったとしても、自分のお金で魚を買ってくるのと同じです。わかりますか？弟さんもこういう情景は夢で見たことがあるかもしれない。そうですね、彼の前世も見ました、武和尚であるようです。（弟は退職してから、和尚になりたいって言っていました）弟さんに早めに退職するか、転職するように勧めてください。トーテムで弟さんは将来坊主頭になりそうです。

問：盧台長、お経を沢山読んだんですが、二回ほど台長さんにお尋ねしたら、うちを訪れて来る菩薩はいないそうです。なぜなんでしょう？

答：そうですね、教えてあげましょう。聴衆の皆さんにも知ってほしいです。菩薩が訪れてこない原因はいくつかあります。一つ目は、線香を焚いて、仏も拝んでいるけれども、お経を上げていないことです。二つ目は、お経を上げている時、誠意がなく集中できていないことです。三つ目は家の風水の気場があまり良いとは言えず、靴を散らかしておいたり、トイレが汚れていたり、ごたごたしたものが多すぎるということです。それらをよく片づけて、家の換気をよくするべきです。四つ目は、自宅あるいは家族に罪業があって、ちゃんと済度していなかった場合です、例えば、古い家で誰かがそこで死んだことがあるとか、庭でペットや動物などを埋めたことがあるとかです。この前友達の家に行った時、二人の西洋人を見ました、家主のようです。友達に隣に西洋人が住んでいますかと聞いたら、いないと答えました。友達が私の話を信じてくれるかどうかが分からなかったので、話を続けはしませんでしたが。（では、どうやって換気したらいいでしょう？）昼間は窓もカーテンも全部開けておいて、夜になったら、全部閉めてください。一晩中電気をつけたままで寝てください、廊下の電気だけでもいいです。部屋で「大悲呪」のCDをしっかり流して、そして、トイレを使ったら、扉をちゃんと閉めてください。オーストラリアでは、トイレの匂いが漏れるのを防ぐため、扉を二つ設けているのです、風水学の道理と同じです。

問：父は１９００年生まれで、なくなってから長い年月がたちましたが、数日前、母は二日間連続で父の夢を見ました。母に頼まれて盧台長にお聞きしたいのですが、父は今どんなところにいるのでしょうか？

答：あなたの干支とお父さんの名前を教えてください。（＊＊＊＊＊）ああ、見つかりました。お父さんは人柄がよくて、随分善良な人ですが、怒りやすい性質ですね。今天上にいるんですよ。しかしあなたたちの親不孝に不満があるようです。それは彼が生きている時、あなたたちが孝行しなかったからかもしれないし、彼がなくなってからきちんと法要しなか

ったからかもしれません。今は天上の低いところにいますので、人の気はまだわずかに残っています。、ですから、腹が立つようなこともありますが、更に上のほうに行けば、完全に世俗の気風から脱することができます。お父さんに済度のお経をもうちょっと上げてもらって、彼を天上の高い層へ送るようにしたらいいです。

問：（ははは）よかった、よかった。ようやく通じました。盧台長、私は＊＊＊年生まれで、干支は＊＊です。私と母のことを見ていただきたいのです。私は最近肝炎が見つかりました。また、あなたの番組を聞いたら、なぜか生臭い物を食べたくなくなったようです。でも、そうしたら、栄養が足りなくならないでしょうか。あともう一つお聞きしたいのですが、家で三羽の鳥を飼っていて、今は鳥かごに入れていますが、放生すべきでしょうか。

答：そんなに興奮しないでくださいね、順番にひとつずつ回答しますから。まずはあなたのことを。左足に三匹のカエルのような小動物がいて、膝に巻きついています。「往生呪」を9回上げて済度してください。放生には鳥は含まれてないから、鳥かごに入れておいても大丈夫です。次はお母さんのことですが、何について知りたいですか。（母の名前は＊＊＊で、もうなくなりました、お経を上げて済度しましたので、彼女の今の状況をみていただきたいです）いい話がありますよ。彼女はもう済南のある富貴な家に生まれ変わったのです。一列に並んでいる家の後ろに煙突のある工業区に住んでいます。よく済度しましたね。

問：盧台長、台長の番組で教えてもらった済度の方法に従って、亡くなった肉親をそれぞれ済度しました。台長に彼らは今どこに行ったのかを見ていただきたいのです。もっとお経を上げる必要がありますか？

答：あなた随分誠意を持っていますね。彼らの名前を一つずつ教えてください。（父は１９０７年生まれで、周＊＊と言います。）上のほうに行きました。（岳父は＊＊年生まれで、鞠＊＊と言います）おう、中陰生にいるから、もっとお経を読んであげてください。（岳父の息子はどうです

か？）彼の状況はよくないです。まだ地獄にいます、罪業が多すぎるかもしれません。（彼は文化大革命で不当な取り扱いを受けて、自殺しました。）道理で成仏させてあげても上に行けなかったわけだ、自殺したものですから。いくら不当な取り扱いを受けても、自殺してはいけないでしょう。自殺すると必ず地獄に落ちます、それだけではなくて、それからもたくさん苦しい目に会うことになります。（最後に私自身を見ていただきたいのです。＊＊年生まれで、干支は＊＊です。天上で守ってくれる菩薩はいますか？）いいですね。髷が高くて、立っている菩薩があなたを守っています。光が非常に明るいです。あなたは将来重病などにかかることがなくて、穏やかにこの世を去ることができます。

（**良宵注**：本例で「中陰生」という言葉は、番組を聞いた時にどう書くかがわからなくて、盧台長に伺いました。台長さんの答えは以下の通りです。人間はこの世を去ると中陰生に行きます、そこはあの世のあるところで、空港の待ち合い室に相当します。亡霊たちはそこで自分が生まれ変わるか、幽霊になるかどうかの判決を待ちます。将来生まれ変わることになると、人間に生まれ変わるのか、動物に生まれ変わるのかが決められます。現世で修行してよくできる人なら、死後は中陰生に行かずに、直接天上に上ります。）

問：盧台長、私は台長が3月29日の大会で教えて下さった方法で観音菩薩の気場を受けるたびに、雲の色が変わるのが見えました。赤いのもありますし、金色のもありました。これは大丈夫でしょうか？どうやったら菩薩が見えるかも教えていただけますか？

答：おめでとうございます。これはいいことです。間もなく菩薩が見えるはずです。今皆さんはお経を読み始めたばかりで、パワーがまだ足りないので、菩薩が見える方法を後でだんだん教えてあげましょう。

問：父はずっと体の調子が悪いのですが、寿命を教えてくださいますか。どうやったら父の寿命を延ばせますか？

答：自分の寿命なんかは知らないほうがいいです。お父さんはそばにいます

か？（いないです。）それなら、今日は見てあげましょうか。お父さんの寿命は71歳です。彼はお経を上げていますか？（上げようと思っているところで、まだ上げていないですけど。）そうですね、ちゃんとお経を読めば82歳まで生きられます。それから他にもしたほうがいいです。一つ目は放生することです。二つ目は精進料理を食べることです、特に誕生日を祝う時、海鮮や肉類を食べすぎてはいけません。そうでないと、お祝いに来る人が肉類を食べる罪業はすべて誕生日の人に転嫁されるので、閻魔王は誕生日の人の寿命を縮めてしまいます。三つ目は、重症とか大きな災いに会ったら、「大慈大悲観音菩薩様、私＊＊＊にこの災難を無事に過ごさせてくださるようにお願いします」と21回唱えて、同時に「観音霊感真言」も上げてください。お父さんはこれから感情にトラブルが生じるような小さな災いに遭うので、「心経」を多めに上げてください。病気にかかったら、「大悲呪」を多めに上げてください。普段常に「阿弥陀仏」を唱える老人は、苦しまずに、穏やかにこの世を去ることができます。うちの祖母のようです。自分で入浴して着替えて、綺麗になって、眠っている最中に苦しまずにこの世を去ったのです。

問：最近自分が買った家の中で誰かが死んだことがあると聞きました、どうしたらいいでしょうか？

答：そんな家を買わないほうがいいでしょう。買う時に家屋の値段が異常に安いのに気づいたら、ちゃんと調べてください。香港はこの面でよくできています、幽霊屋敷はすべて明記されていて、値段も平均価格の70％ぐらいです。あなたはもう買ってしまったので、もし何かを感じたら、例えば夢で亡霊を見たりしたら、お経を上げて彼らを済度しなければなりません。普段は二つのことをしてください。一つ目は、昼間は窓を開けて、日差しがいっぱい入り込むようにすることです。二つ目は、夜になったら、部屋で「大悲呪」のＣＤをしっかり流してください。

問：母は既に亡くなっていますが、済度しようと思ったら、母が生前に教えてくれた干支＊が彼女の戸籍に書いてある干支「羊」と一致していない

ことに気づきました。これはどういうことでしょう。

答：これは古い習俗です。お母さんは羊年であるはずですが、羊年の人の運命は割と苦労しますので、羊年に生まれた女の人は、普通自分が羊年と言わずに、内緒にしています。そうでないと、嫁に行きにくいのです。

問：うちの裏庭に家を建てていますが、この前裏庭に何か異物があるとおっしゃいましたので、済度してあげました。今はどうでしょうか?

答：ご自宅の裏庭は確かに汚れていて、何かがありますので、散らかっています。沢山の小動物がここで死んだことがあるようです。以前ここは広々として、農場のようなところで、小動物を沢山飼っていました。そのあと小動物が死んでしまってここに埋められて、下で嫌がらせをしていますので、基礎工事を深くすることができないですね。（はい、建築業者は基礎工事がしにくいと言いましたが。）もっとお経を上げて済度して、少なくとも毎日「往生呪」を7回上げてください。また産土神（うぶすながみ）にもお願いして、お経を上げてください。（どの経文ですか？）産土神に聞いてみましょう。（**良宵注**：これは盧台長が初めて産土神と対話することに言及しました。その間電話は無言で5秒ぐらいたちました。）おう、毎日「心経」3回、「功徳宝山神呪」7回を付け加えてください。

（**良宵注**：それから一ヶ月後、上述の質問をした聴衆がもう一度電話をかけてきて、ちょうどまた私にも聞かせてもらいました。）

問：この前電話した時、うちの裏庭の下に、何かがとり憑いているので、建築工事がうまく進まないと言われました。済度してからはちょっと良くなりましたが、どういうわけか最近工事がまたずるずる延びています、これはなぜなのかを見ていただきたいです。

答：あなたはこの家の家主ですか。（ええ、妹も家主ですが。）では、妹さんの干支も教えてください。（＊＊年生まれで、干支は＊＊です。）おう、わかりました。妹さんはあんまりにも性格が悪くて、業者と 揉めていたんですね。（ええ、喧嘩したことがあります。）そういうことで、相手は

妹さんにちょっぴり嫌がらせをしているので、工事が進まないのも当たり前でしょう。今やるべきことが三つあります。一つ目は、お経を読み続けることです。（妹も読んでいますが。）誠心誠意読まないと役に立ちません。二つ目は、あなた自身か友達に頼んで、面と向かって落ち着いて業者と話し合ってください。妹さんの気場はよくないから、表に立たせてはいけません、相談がうまくいかないからです。そして、妹さんに度を越してはいけないよう、気性を変えるように勧めてください。（はい、わかりました。）

問：祖父と祖母を済度しましたが、今彼らはどこにいるのかを盧台長に見ていただきたいのです。彼らの干支を知らないので、台長さんの番組で名前でもいいという話を聞いていましたが、名前だけでもいいでしょうか？また、私は大きくなってはじめて、自分の祖父が二人いるということを知りました。祖母は初めて私を連れて観音様を拝んだ時、ある写真を指して私に「こちらはあなたの血縁関係の祖父です。」と言いました。3人すべて済度しました。

答：いいですよ、名前を教えてください。（祖母冯＊＊、祖父于＊＊。血縁がある祖父李＊＊）では、一人ずつで見てあげましょう。お祖父さんは人間に生まれ変わりました、将来は軍人になります。（もっとお経を読みますか？）いらないです。彼の命日に「心経」を２７回、「往生呪」を４９回読んであげればいいです。今話したのはどのお祖父さんだか自分で確認してください、この人は、肌がたるんでいて、下瞼が垂れて、髪の毛が真っ白で、鼻が大きくて、鼻孔も見えます。お祖母さんはもう天上に上りました。（彼女は老人性痴呆症で亡くなっていました、今日で済度のお経を読み終わったばかりです。）お祖母さんは生前の人生の80%はよかったのですが、二つだけ不道徳なことをしましたので、痴呆症にかかってしまいました。（そう、そう、祖母は最後の何年間かずっと後悔している、後悔しているとつぶやいていたのです、何を後悔しているのかはわかりませんでした。）あなたと血縁関係のあるおじいさんは非常に怒りっぽい性質です。（私は彼に会ったことがありません。）今は、女に生まれ

変わりました。

問：両親はよくつまらないことで、激しい口喧嘩してしまいます、これは彼らの罪業でしょうか？

答：きっとそうだと思います。長い間前世は見なかったですが、今日はご両親の前世を見てあげましょう。おう、ご両親の前世は兄弟関係です。お母さんは兄で、ずっとお父さんを虐めていました、ですから現世はお母さんが因果応報でいじめられたのです。前世でお母さんはどういうふうにお父さんをいじめていたのかがわかっていますか？（わからないです。）お父さんの目を狙ってボール蹴飛ばしたのです。我々は前世のことを知ると、因果関係がわかります。そうしたら、心安らかに個人の損得なんかも気にしないようになります。

問：結婚してからもう二年たちましたが、子供がまだできていないのです。何か問題があるかを見ていただきたいです。私の干支は猿です。

答：トーテムから見てこの猿は辛そうに山に登っています。腹部と胸のほうに黒い気がありますので、罪業があるということです。（流産も堕胎もしたことがありません。）ある妖怪があなたの頭にとり憑いています、馬のような顔をして、帽子をかぶって、あなたの先祖の一人です。彼は生きている時お経をあげていましたが、正道からはずれて、邪道に陥ってしまいました。とりあえずこの亡霊を済度してください。またあなたに気をつけてほしいことがあります。勝手に菩薩に子供を求めるお願いなんてしてはだめです。それから御主人の干支はなんですか？（＊＊）ご主人に十四、五歳ぐらいの下の世代の人、親戚、あるいは敵がいるかどうか聞いてみてください、一重瞼で、痩せて、普通の身長の亡霊がご主人にとり憑いています。この人もあなたたちに迷惑をかけています。

問：盧台長、うちに大きな観音菩薩像がありまして、どこに貼ったらいいかわからないので、燃やしても大丈夫でしょうか？

答：だめです、絶対だめです。大きな罪過です、あなたがこういうふうに言

っただけで、私はもう頭が痛くなりました。それは菩薩が嬉しくないからです。あなたは電話を切ったら、すぐに「七仏灭罪真言」を7回上げてください。菩薩像を燃やすようなことを勝手にしてはいけません。

問：友達は＊＊＊年生まれで、干支は＊＊です。若い頃からずっと精進料理を食べて、お経もあげていますが、この何十年の運命は良くない上に、娘さんも癌でなくなりました。最近はなんだか頭痛がするそうです。これはどういうことでしょう。

答：現世の生活が苦しいかどうかは、主に前世の修行によって決まりますので、お友達の前世のことがわかりますか？見てあげましょう。お友達の前世はある男の軍閥で、沢山の人を殺しました。これらの亡霊たちは現世の彼女に取立てに来ようとしていますので、彼女の不運は当たり前です。早く済度してください。もう一つの方法を教えてあげましょう。済度を行う時、まずはその黄色の紙に宛先欄に名前を書き込んで、「敬贈＊＊＊」。次に、お経を読む人の名前も書き込んでください。「＊＊＊敬贈」。そうすれば、お友達はまだお経を読み始めていなくても、亡霊たちはあなたが代わりにお経を読むことがわかるので、お友達の頭痛は随分よくなります。ついでに、聴衆の皆さんに伝えたいことがあります。この前私は夜「心経」を読まないほうがいいと言いましたが、もし、あなたの済度の黄色い「小房子」がもう書き込まれたとしたら、上げた「心経」は全部済度したい亡霊に送るということになり　ますので、関係のない亡霊はあなたの「心経」を奪い取りに来られません。そうすると、夜でも「心経」を上げることになります。この方法は昼間仕事のせいで「心経」を読む時間がない人に役に立ちます。

問：そうです。私は朝早く家を出て夜遅く帰ってくるという状況で、昼間時間がなくて、夜は家で「心経」を読めません、何か他の方法がありますか？

答：もう一つの方法があります。夜になったら、まず「大悲呪」を１、２回上げて自分にパワーをつけたら、「心経」を上げればいいです。もし済度

の「小房子」で「心経」の点をもうつけてあったら、夜読んでもかまいません。それは特定の亡霊に送ったものなので、他の亡霊に取られません。

問：盧台長：最近なんだかお経を上げると、体の調子が悪くなって、病気にかかったように感じますが、これはどういうことでしょう。

答：お経を上げている時、自分の力に応じて上げてください。聴衆の中には焦った気持ちで、口に豆ができるまでお経をあげる人がいますが、負担が重すぎて良くないです。特に体質が弱くて、体の調子がよくない時は、パワーがないので、しばらくお経を中止することです。でも「大悲呪」は普通通りに上げても構いません。何日か前ある子供を見ましたが、本当に善良な子で、四川地震で亡くなった子供たちにお経を上げて済度しています。私はすぐ彼女にやめさせました。子供一人では、莫大なパワーがあるわけがありません。何万の亡霊を済度するのは無理でしょう。無理矢理に済度してあげたら、それらの亡霊は彼女に取立てに来てしまうので、彼女は病気にかかるだけではなく、ひいては原因不明で死んでしまう可能性もあります。

問：国内のある友達は仏の教えを信じているので、毎日お経を上げて、いいことを沢山しました。この前出稼ぎ農民にぶつかられて、ひどい骨折をしましたが、賠償を要求しませんでした。しかし、小さい息子さんは癌にかかりました。彼女はどうしてこうなったのか聞きたいそうです。

答：第一に、現世で善行をする人は必ず前世で修行をよくしたとは言えません。お友達の運命が良くないのは多分前世の修行がよくできていなかったからです。第二に、現世で修行をよくした人は、苦しみが少なくなります。例えば、そもそも運命では交通事故に遭うはずなのに、現実には転ぶだけで済みます。第三に、現世で上げたある経文は、実は来世の福のために修行するので、現世にはあんまり効果がありません。いま言ったことをお友達に伝えて理解してもらってください。

問：父のことを見ていただきたいです、３７年の牛です。この間後ろ歩きで鍛錬していた時、ズボンの裾を踏んで、転んでしまいました。

答：そういう歩き方で鍛錬するのはためになりません。特に夜です。どんな人がそういう歩き方をしているか分かっていますか？人間の目は前方にあって、幽霊が背中を前にして歩いているのですよ。そして、跳ねながら歩いています。ある人は跳んだり跳ねたりしながら歩くのが好きで、それもよくないことです。

問：盧台長に父の梁＊＊を見ていただきたいのです。１９１３年生まれで、亡くなってからもう20年たちましたが、今はどんな状況でしょうか。

答：見ましたよ。彼はあなたたちが節約しすぎないで、保健食品を食べてくださいと言っています。また、自宅で子供の誰かがあなたに厳しいと言いました。お父さんは今天上にいて、たいへん興奮しています。更に天上の高い層に行きたいので、済度を望んでいます。彼は私と沢山話をして、まだ離れていません。おう、彼はあなたに精進して修行して、将来は天上で会えるように言いつけました。（父は生前医者として、沢山の人を救いましたが、自分は心筋梗塞でなくなったのです。）これは罪業が移ったからです。お医者さんの仕事は病気の治療と人を救うことで、崇高ですが、ある病気は罪業から来る病気で、患者の回復あるいは病死につれて、それらの罪業が医者の体に移ってしまうのです。まるで現代科学でよく言う「伝染した」「病人のウイルスに感染した。」という話のようです。ですから、医者は仏の教えをより一層信じるべきで、それによって自分にパワーをつけます。また、弁護士の仕事も同じです。裁判沙汰では、悪人を弁護して善人を損ねようと、善人を弁護して助けようと、悪い報いを受けて霊がとり憑きやすいのです。例えば、多くの女性の弁護士は、恋愛、結婚生活に邪魔が入ることがあります、それも同じ道理です。

（**良宵注**：本例で、亡霊の梁＊＊は盧台長に自分の家族に保健品を多めに食べさせるように頼んだ時、私はおかしいと思いました。なんで亡霊は：「保健品を多めに食べてください」ってこんなに具体的に言うのかが

分かりません。しかし、この話は盧台長と亡霊しか知らなくて、我々はその話の真偽を検証することができません。では、この話は本当でしょうか？でも、ちょっと間をおいて聴衆から「父は医者です」という話を聞いたら、はっと悟りました。道理で家族に「保健品」を勧めるわけだ、生前はお医者さんでしたから。また、話の前後順序に気をつけてください。盧台長が「保健品を多めに食べてください」と言ってから、聴衆が「父は医者です。」と答えていたから、盧台長と亡霊の間の対話は実話だと検証されます。今ここを読んでいる読者もこういうふうに推理できるでしょうか？！）

問：昔の戦友の一人が上海に住んでいます。（良宵注：そのあとこの聴衆はわざわざ私の書き間違いを指摘して、山東の古い戦友だと言ってくれました、ここでこの聴衆に感謝の意を表したいです。）盧台長のことを随分信じていて、わざわざ私に手紙を書いて質問したいと思っているのです。彼の質問ですけど、息子は６６年の馬で、下半身に何か病気があるかお聞きしたいです。

答：いいですよ、では下半身を集中して見ます。彼の足に問題がありますね。特に右足の筋肉は壊死したみたいです。「隠さずに言うと、彼の息子さんは十歳の時、右足を打撲して骨折しました。」おう、そうですか。私のほうが先に足の問題を見つけたでしょう、当たっていますよね、（良宵注：今回の質問も盧台長が問題を発見してから、聴衆が事実を確かめた事例です。）

問：私は＊＊年の＊で、夫の妹も＊＊年の＊です。今回は夫の妹の運勢を見ていただきたいのです。

答：おう、彼女のご主人は随分彼女の言うことを聞いていますね。（そうです。）事業のほうも悪くなくて、できる女性ですね。でも、夫の妹さんに生活上あんまり勝手気まま（浮気したいようですが、でもはっきり言えません）にしないように伝えてください。（勝手気ままにしないってどういう意味でしょうか）とにかくそういう意味です。はっきり言えませ

ん。どうせ見るはずがないことをみました。自分がしたことは誰も知らないと思い込んだまま、勝手気ままにしてはダメです。神はどこにもいますよ。（本当にそうなのですか。もう五十歳あまりの人なのに。）そのまま伝えればいいです。本人にはその意味がすぐ分かると思います。彼女は頭がよくて、仕事の能力も優れているんですが、生活面で勝手気ままが度を過ごすと、自分のビジネスに悪い影響を与えるばかりではなく、寿命も縮めますよ。今彼女とすごく仲がいいパートナーがいるのです。気をつけたほうがいいです。

問：夢で二ヶ月前に亡くなった姑が私にネックレスを求めに来て、一緒に写真を撮りたがっていましたが、これはどういうことでしょうか？

答：それはネックレスではなく、彼女はあなたにお経を求めに来たのです。この世にいる人とあの世にいる人と一緒に写真を撮るわけにはいかないでしょう。だから早速お経を上げて姑さんを済度してください。（既に済度しましたが。）もっと上げることです。私自身だって今でも「小房子」を読まなければならないです。

問：以前盧台長に見ていただきましたが、父はもう生まれ変わったと言ってくださいました。父の生前、私は親孝行をちゃんと尽くしていないので、今はなんとかして父を助けたいです。どうすればいいでしょうか？

答：人が死んであの世に行ったら、お経を上げて済度すると、天上に上ります。死んで直接昇天したら、お経を上げると更に高い層に行けます。生まれ変わったと言ったので、こういうふうにしたらいいです：冬至、清明、ハロウィン、それから、お父さんの命日、誕生日を含めないこの四つの節目に、ワンセットの「小房子」を読んであげてください。そうすると、二つの効果があります。一つは、お父さんが今生まれ変わったその人は、冬至、清明、ハロウィン、命日の日になると、貴人に助けてもらったように、すべてのことが随分順調に感じられます。もう一つは、お父さんが生まれ変わったその人が将来亡くなってあの世に行ったら、今読んで上げた経文はあの世ですぐに手に入れて、お金として使えるの

で、他の人の一人ぼっちの状況とは完全に違うということです。

問：盧台長にある男性を見ていただきたいです。1960年の鼠です。

答：このトーテムはとてもよくないです。この鼠は全身縄で縛られて、運勢には阻害がいっぱい出ています。彼が今どの経文を読んでいるのか全部教えてください。（知らないです。）それなら、彼に「大悲呪」以外のすべてのお経をやめさせて、「大悲呪」を集中して読んでくださいと伝えたらいいです。ある経文は彼にふさわしくないだろうと思います。トーテムから見ると、彼には既に何かがあったかもしれません。

問：あなたの番組を聞いて、一尊の観音菩薩像を求めてきましたが、家のどこに安置するかがわかりません。どんないわれがあるのでしょうか。

答：色々気をつけたほうがいいです。観音菩薩の像は、必ず殺生のキッチンとか、汚れた気が重いトイレとか、生臭物がいっぱい入っている冷蔵庫から遠く離してください。応接間の日差しのいいところに置いたらいいです。冷蔵庫の上ではダメです。（寝室に置いてもいいですか。）独身の人であれば大丈夫ですが、夫婦の寝室には置かないでください。

問：盧台長に友達のことを見ていただきたいです。＊＊年の女性で、干支は＊です。頭に何かできものができたのですが、どうすればいいでしょうか？

答：おう、この人は丸い顔をして、太っていますね。（そうです。）私は普段だれでも本人の顔がはっきり見えるのではなくて、今回は菩薩に見させてもらいましたので、この人はまだ助かると言えます。確かに後頭部に何かがあります。（お医者さんに手術を受けるように言われて、恐れています。）一応お医者さんに手術をちょっと延ばしてもらって、今は一生懸命お経を上げて、放生して、願をかければ、脳にある物は小さくなっているはずです。今すぐ手術を受けたらかえって厄介なことが起きるようです。（この女性の家の風水はどうですか。）よくないです、おう、極めて悪くて、背中が今冷たくなって、鳥肌まで立ちました。彼女の家の悪

い風水を感じました、陰の気が非常に重いです。家の裏庭にはある鼻が高い大きな動物がいますが、どの動物なのかはっきり見えません。変な感じがします。（どうすればいいでしょうか？）直ちに済度してあげましょう。この動物はここで殺されたかもしれないし、そもそもここに埋葬してあるかもしれません、早く済度しないと別の厄介なことが起こります。（はい、はい、すぐやらせてもらいます。彼女の感情運はどうですか？）感情運もよくないです。しょっちゅう夫婦喧嘩します。（そうです。）彼女のご主人は浮気をしています。また、彼女にしっぽをつかまえられたのです。彼女は主人に厳しくて、怒りっぽい性質です。今のところ、とりあえず済度を行って、一つずつ処理しましょう。（でもこの動物の呼び方が分からないので、どうしましょうか。）大丈夫です。お経を読む前に裏庭の要経者に差し上げると言ったらいいです。黄色の紙で敬贈要経者と書き込んで、あとは＊＊＊敬贈と最後で言うことも忘れずに、黄色い紙を燃やしてください。

問：済度の方法を知っていますが、黄色い紙を燃やすのは何かいわれがありますか？お寺に持っていって燃やしてもいいですか？

答：お寺へは持って行かないでください。お寺には菩薩、神仙が数多くいらっしゃって、状況はずっと複雑なので、家で燃やしたほうがいいです。仏壇の油ランプで火をつけて、火がついたら、専用の磁器の鉢またはお皿で燃やして、金属製品を使わないでください。必ず全部燃やし尽くして、紙切れを残さないで、灰を捨てたらいいです。（油ランプを持っていませんが、どうしますか。）ないなら一応ベランダで燃やしてください。ここで油ランプの重要性を皆さんに伝えたいです。油ランプをつけるのは心の明かりをつけることで、菩薩を招きます。灯明をつけないと、菩薩が訪れてきません。灯明をつけて、大きな一つの炎から、いくつかの小さい炎に分かれて、灯心の中に火花が輝いているのが見えたら、これはいわゆる蓮の花を結ぶということです。つまり炎は一枚一枚蓮の花弁のようになったら、菩薩がお宅に訪ねてきたということです。うちの灯明は常に蓮の花を結びます。ついでに言いたいですが、仏壇に水を供え

るのも菩薩を招くことで、一つの火と一つの水のどちらかだけでは足りません。最後に、お経を上げて香を焚いたら灯明を消してください。小さなグラスボトルを用いて、瓶の口を下向きにして炎を覆い被せたら、灯明が消えます。口で吹き消してはいけません。

問：盧台長、先ほどのある聴衆は電話で自分が漂っているのを夢で見たと言っていましたが、私も同じな状況です。お経を上げるたびに、夢で上のほうで漂ったり、下で漂ったりするのを見ますが、なぜ彼女と同じ状況なのでしょうか？

答：これはお経を上げる効果です。あなたの魂があの世へ行ったからです。（そうですか、ちょっと恐ろしいですね、これはとてもよくないことですか？）そんなことないですよ。怖がる必要はありません。私もよく下のほうに行っています。人間の魂は肉体から離れて、軽くなったので、漂ったりするのは当然です。ドラマはいつもこういうふうに撮影します。ついでに聴衆の皆さんに言いたいですが、以前ある聴衆が自分はDVDレンタルの店を経営していると言っていました。ここで、この仕事をしている人と、DVDを借りたり、買ったりして自分の友達に回し見する人に気をつけてほしいことがあります。霊、幽霊とかに関する映画は回し見してはいけません。陰の気の重い人なら悪い影響を受けて、病気になったり、変わったりします。これらはすべてDVDを通じて、人の罪過となるので、将来悪い報いを受けます。

問：毎日通勤でシドニー西区Lidcombeの墓場を通りかかりますので、何か気をつけることがありますか？

答：墓地の周りに幾千幾万の幽霊が漂っています、特に自殺、毒殺、無実の罪を着せられたりして死んだ幽霊は、あの世に居場所がないので、ずっと墓場の周りを漂っています。通りかかった時は、十分注意してください、頭の中で何も考えずに、きょろきょろとしないでください、また、体調が悪くて、機嫌が悪い時、墓場を通らないでください。なぜかというと、そういう時は、陰の気が重いので、幽霊を招きやすいです。陰の

気の強い人なら時としてちらっとした人影が見えます、それは幽霊です。最後に、墓場を通る時は、とどまらずに「大悲呪」を黙読してください、ただ、彼らを追い払うという気持ちを持つのではなく、自分の身を守るという気持ちで、幽霊たちに自分を傷つけないようにお願いします。

問：夫の胃腸の調子が悪いので、見ていただきたいです。

答：確かに悪いですね、色がとても黒くて、もう潰瘍になったかもしれません。あ、ある目上の人が自分から進んで出てきました。長身で細身の、眉の濃い男性です。今ご主人の胃腸にとり憑いています。ご主人のお父さんか、おじさんかもしれません。ご主人にこんな見かけの親戚がいるかどうか聞いてみてください。もしいるなら、これはその人のことに決まっています。もしいないなら、「要経者」と言えます。お経を上げて済度して、それと同時にお医者さんにも行ってくださいね。

（**良宵注**：本例で、読者たちに注意したいのは「自分から進んで出てきた」という言葉です。何年かほど前なら盧台長がトーテムで見たのはただ干支の形状だけです。０８年の３月頃から、盧台長の話にはいつも、質問者が言及した人の体格、顔型、目、眉、皮膚の色、身なりなどの様子が聞けるようになりました。その上、電話で直ちに質問者の確認をもらえます。これらの「人」の様子はすべて自ら出てきて盧台長の脳の中に入るのです。そう言えば、上海宝山区の公務員のことを思い出しました。

　この公務員は人の写真を見るだけでその人の性格や病気などを言い当てます。それに正確です。ただ、これらの話は「口をついて出る」ということで、本人もわけがわからないのです。）

問：友達のお父さんを見ていただきたいのです、10年前に亡くなって、今はどこにいますか？

答：昇天しました。つまり天上に登ったということです。（友達はわざわざお坊さんを招いで法要を3回行いました。）おう、お友達はよくわかります

ね。私の見た結果と一致しています。だから昇天したと言ったらその通りでした。これは前世の修行と後世の済度の良し悪しで決まることで、デタラメを言っているのではありません。聴衆の中で、何枚かの「小房子」を燃やして済度して、私に見せる人がいたら、私もありのままを話します。聴衆が何回か済度しただけで、昇天したと言ったのではありません。ある人が、人間は死んだら何も残さないと思ってしまって、何もしないことにするなら、それは間違っています。

問：中国で3回ほど人工中絶しましたが、済度すべきなんて一度も聞いたことがありません。体調も悪くありません。このまま済度しないと、どんなことになるのでしょうか。

答：以前知らなかったのなら、それでもいいですが、今知ったら済度するものです。済度しないと普通、次のような問題が起こります。一つ目は母親が病魔に取り付かれて具体的な病因が見つからないことです。二つ目は婦人科の病気にかかりやすいことです、乳房嚢腫、子宮筋腫、卵巣嚢腫などです。三つ目は生まれてきた子供が亡霊にとり憑かれて、異常が現れやすくなります。不健康、虚弱体質、人の話を聞かない、よく騒ぐ、などです。女性の聴衆の皆さんが必ず私の話を信じることを望んでいます。妊娠して中絶したことがあったら、あるいは生まれてすぐになくなったりしたことがあったら、やはり済度しなければなりません。今まで済度してから感じがよくなって、電話をかけてきて体の調子が良くなって、持病もなくなったと言った聴衆は数え切れないです。その上また夢で亡くなった子供を見ることもできます。

問：ようやく通じました。この前うちの風水を見ていただいて、天井板に赤い光があるのであまりよくないと言っていました、それから吊り下げ式のランプを他のものに変えたのですが、今はどうなっていますか？

答：おう、その吊り下げ式のランプはどくろみたいで、そうですね（はい）まだ良くなってはいません、お経をどう上げていましたか？今ランプを変えたんですけれども、亡霊はまだ行っていません。亡霊の様子を教え

てあげても大丈夫ですか？怖くないですか？（怖くないです）長い中国服を羽織っている白い幽霊です。（白い幽霊？）こういう言葉は繰り返さないでください、怖くないかと聞くのはあなたに心理的に覚悟してほしいからです。怖い話を再び繰り返さないでください。（はい、すみません）更に「小房子」を読む必要があります。（既に3枚上げました。）足りないです。お経を上げる時佛を拝んでいますか？（いません）佛は拝むものです。観音菩薩に霊験を現していただいて、「要経者」が我が家から離れるようにお願いしてください、ただ亡霊を追い払うという意味だけではないように言ってください。そうしたら、また電話してくれたら、亡霊が行ったかどうかを見てあげます。（**良宵注**：対話の中の「小房子」というのは、番組が長く続くにつれて、聴衆が真髄を会得したという意味の言葉です。すなわち四セットのお経が含まれていて、各セットのお経を読む回数が指定されて、家の形が描かれている黄色の紙です。済度のワンセットを表しています。）

問：（干支と生年月日を言ってから）姉のことですが、ドイツに住んでいて、画家として鳥を画くのを専門にしています。この前彼女の体に鳥の亡霊がとり憑いているとおっしゃいましたので、彼女に「心経」と「大悲呪」を読ませました。でも、お経を上げてからよく悪夢を見るようになって、彼女の娘さえ同じような夢をみました：体が象に踏まれそうで、息も詰まるようで、地上は死体だらけというような夢です。目が覚めてから家族みんなの調子が悪くなって、元気だったのに急に鼻血が出たりしました。また長女の臀部に蝙蝠の形をしている痣が見つかった上、次女の首にも痣が見つかりました。何の形かわかりません。姉は怖くなって、これはどういうことでしょうって聞きたがっています。

答：お姉さんの画があんまりにもすばらしすぎて、形が似ているのではなく、表情も本物のようです。だからこそ亡霊がとり憑いたのです。ですから画家の職業も気をつけたほうがいいです。一般人よりも自己修養して、欲張らないで、正道からずれず、多めに善行を行うようにしなくてはいけません。まずは長女を見ます、生まれ年と干支をお願いします。

（兎です）おう、見ました。蝙蝠から生まれ変わってきたのです。（じゃどうすればいいでしょう。）急がないでね。次女は？（＊＊年の＊です）次女のトーテムはとてもよくて、山あり川ありの風景の中を歩いています。彼女のお母さんは山水画も画いでいるのですね？（そうです。）次にこの夢について言います。象は実は人を代表しています。お姉さんは他人からの借りが多いです。ですからお経を読み始めると、これらの亡霊はすべてお姉さんにお経をもらいに来ることになります。これは人がお経を上げる過程で必ず経験することで、亡霊たちがお姉さんの体から離れるまでの最後の「いじめ」です。大丈夫です。経文を全部読み終わって済度して、彼らに送ったら、お姉さんは丈夫になります。

問：盧台長、昨日、以前おろした子供を済度しました。ですがその晩、夢にもうひとりの子供が出てきて、一瞬の間に大きくなって、色白の太っている大きな男の子になってからすぐに消えてしまいました。これはいい夢でしょうか？

答：当然です。済度が終わったらそういうことを体験することがあります、夢で見た子供はすべて可愛くて、あなたと別れに来たのです。（では子供が昇天するか、生まれ変わるかを知る方法がありますか？）二つの方法があります。電話が通じたら、私が見てあげます。電話が通じなくても、自分で何かが感じられます。もし夢で見た風物が心地よくて、東屋、階段、草花、雲とかがあって、明るくて広々として、子供の様子が可愛くてニコニコしていて、身なりがきちんとして綺麗な服を着ているのが見えるなら、それは昇天したということです。もし子供がぼろぼろで、周りも散らかっているのなら、黄泉の国にいるということです。ここでついでに聴衆の皆さんに人が死後、どこに行くかについての簡単な常識を教えます。人が死後最後に冷たくなる部位が頭だったら、昇天するということで；最後に冷たくなる部位が腹部だったら、生まれ変わるということで、最後に冷たくなる部位がふくらはぎ、足だったら、黄泉の国へ行くということです。またお経を上げて済度したすべての亡霊はあなたの頭のてっぺんから肉体を離れます。

問：盧台長に私と子供のことを見ていただきたいです。

答：すみませんが、あなたはご両親に親不孝です。見返りを求めにきた子です。（そうです、私は末っ子で、両親は私が何をしてもいつも許してくれます。）それは彼らがあなたに借りを作っていることをはっきり分かっているからです。これからはちゃんと修行してくださいね。あなたの息子は太めで、丸顔をしています。そうでしょうか？（そうです。）見ました。まだ十何歳なのに、お腹ががもう出てきました。（そうです。）はっきり見えます。おう、ご主人はそばにいますか。（離婚して随分たちましたが。）おう、大丈夫です。ある男が突然あなたのトーテムから出てきたのを見たからです。彼は近いうちに災難に遭うことになるでしょう。（間違いありません、よく当たっています。彼は腸を手術をしたばかりで、今年四回も手術を受けたのです。）そうですか！彼は現在だけではなく、これからも報いを受けます。彼は陽気があんまりにも足りなくて、割と陰の気が重いです。でなければ、なんで彼のトーテムが自発的に出てきて私に見せるのですか？！あなたは今普通の友達として彼に自分の体に気をつけるように忠告してください、もし彼がいつか亡くなったら、お経をあげて済度してあげましょう。

（**良宵注**：盧台長は番組でもし何かよくないものを見たら、聴衆に刺激を与えないように、いつも言葉遣いに気を配って文を綴っています。本例のようにこんなひどい話をする場合は非常に少ないです。

状況の厳しさが見えます。だから、この聴衆は油断せずに気をつけてほしいです。）

問：この前母は既に昇天したとおっしゃいましたが、まだ母に墓地を買う必要がありますか？

答：墓地は要ります。お母さんの魂は昇天しましたが、肉体はまだこの世にあるので、それを埋葬するものです。その上、彼女の命日あるいは清明節、冬至になったら、またお経を読んであげて、彼女を更に高い層へ送り出すことです。

問：（聴衆はびくびくして自分の名前と干支と生年月日を言ってから）盧台長に早く我が家の風水を見ていただきたいのです。きっと何か問題がありそうです。この頃、夜家の電気が明るくなったり、暗くなったりするので、調べてみましたが、何も見つからなかったのです。また夜中になったら、応接間から呼吸の音がはっきり聞こえてきて、本当に怖いです。子供にはまだ言えないです。

答：緊張しないでくださいね、見てみます。おう、お宅には確かに問題があります。見ました。でもあまり怖がらないでくださいね、私が口を出した以上、解決する方法が必ずあるということですから。（一体何でしょう？）大丈夫ですよ。私が見たのは、お宅の天井には一匹のニシキヘビがとぐろを巻いている姿で、お経をもらいに来たのです。今日から早速「小房子」を7枚上げてください、わかりますか？（わかりました）このニシキヘビはあなたの罪業かもしれないし、そもそもこの家に残っていたのかもしれません。この蛇の由来が分からなくても構わないが、黄色の紙に「敬贈要経者」（自分の要経者へ贈ります）または「敬贈家中的霊」（家の中の霊へ贈ります）と書き込んで、あとはちゃんとお経を上げて済度すれば、無事です。「本当にどうもありがとうございました。家族の命を救っていただきました。」

問：盧台長に我が家の風水を見ていただきたいです。最近うまくいっていません。

答：風水のよくない家は、家主の機嫌も悪くなるし、家族も病気がちで、喧嘩することになります。おう、お宅はそんなに悪くはないが、家に入るところで戸口の右側に黒い気があります。家の扉はとても悪くて、ぼろぼろです。幽霊は通常扉から出入りしていて、扉がよくないと彼らが入りやすくなります。宮廷やお寺や富豪の家などの扉はすべて重くて厚く、扉にはライオンが彫られて、それに口を開けているような様子の呼び鈴も付いています。これらはすべて邪気を追い払う効果があって、幽霊たちの侵入を阻止することができます。今は入口をきれいに片付けて、お経を上げて黒い気を追い出すとともに、改めて扉を飾り付けるこ

とです。（扉の改装に時間がかかりますので、大丈夫でしょうか）臨時の簡単な方法がありますが、扉の裏面（家のほうに面している）に山水画を貼っておきます。これも幽霊を阻止することができます、すごいですよ。ここでついでに言いますが、今は沢山の人の生活状態がとてもよくなって、家にスイートルームがあって、トイレと寝室が直通しているので、その間のドアにも山水画を貼るといいです。寝室に面した側に貼っておいて、汚れた気を阻止して人に影響しないようにしてください。そうでないと、スイートルームはかえって普通の部屋よりは悪くなります、なぜかというと、普通の部屋ならドアは直接トイレに面することがないからです。

問：盧台長の話は本当に当たっています。この前我が家の壁に動物のようなものがあると言ってくれました。家で注意深く探してみたら、確かに壁の隅に子羊と子牛の漫画が貼ってあるのが見つかりました。それらを取り外したら、本当に前よりずっといい感じがしました。盧台長に感謝の意を表したいです。そんなに小さい紙切れでも本当に霊があるものなのですか？

答：人物や動物などの紙切れは、そもそも霊がありませんが、立っている状態なら、他の霊がとり憑きやすいです。でなければ私に見えるわけがないでしょう。普段のいわゆる「幽霊にとり憑かれる」「魔が指す」「魂が消し飛ぶ」などの言葉はこういう意味です。精霊、化物、金剛、人形、動物、歩いたり話したりする動植物、アニメなどの漫画は、特によくないものを招きやすいから、子供の部屋にはこんなものを置かないでください。

問：若い頃、中国の一人っ子政策の関係で3人の子供を人工流産しました。あなたの番組を聞いて、ひとりにつき2枚の「小房子」をあげました。先日夢を見て、子供が必死に私の乳房をつかむので、私はその子に冷静に「つかまないでください。もしお経が足りなかったら、暗示をください。」と言いました。そのあとで目が覚めました。盧台長、これはお経が

足りないことを意味していますね。

答：ええ、あなたの感覚は正確です。子供が指先であなたをつかむのは、お経をもうちょっと上げる必要があることを暗示しています。そうしないと、あなたの乳房は変な病気にかかります。（どの子供かを見ていただけますか？）それは見ません。明らかなことでしょう。第一の子供、第二の子供のように分けるなんて余計なことをしないでください。あなたがお経を読んで子供たちに送ると、彼らは自分でお経を分けられるから。

問：この前主人の体にある坊主頭の亡霊がとり憑いていると言われました。「小房子」を四枚上げましたので、行ったかどうかを見ていただきたいのです。

答：あなたの声はよく耳にするような気がしますね。どうやっていつも電話が通じるのですか。（番組の時間になったら、わたしと主人がそれぞれ電話を持って、同時に電話をかけて、それを繰り返し、通じたら私が質問して、彼はメモをします。）すごいね、道理で誰も割り込めないわけですね。ある聴衆は「自動発信」機能を使っても、通じません。では、手短に質問して、他の聴衆にもチャンスを残してくださいね（はい）。ご主人の全身に柔和な光が輝いていますから、すぐに幸運に恵まれますよ。頭上から二メートルのところに観音菩薩がいます。（彼は老幹部で、前は全く信じてなかったのですが、今は私よりもずっとしっかりお経を上げていて、彼のご両親にもお経を上げさせました。）おう、この坊主頭の亡霊はそろそろ出て行くところです。（ありがとう、ありがとう。）これからは「亡霊」と言わないで、「要経者」って呼んでください。（はい、はい）

問：喉の調子がずっとよくないですが、看ていただけますか？

答：（盧台長は電話中、数秒無言でしたが、突然大声で聴衆にこういうふうに聞きました。）以前沢山の活きた蛇を食べたことがありますか？（ないです。）タウナギは？（あります、活きたタウナギを食べるのが好きです。）それならそういうことです。蛇のような動物があなたの口から出て

いるのが見えます。（そうですか！）今から毎日「往生呪」を7回上げて（いつまで上げますか？）一、二か月たったらまた電話してください。（夫のこともていただけますか？この前彼の体にある女性がとり憑いていると言いました、私は夫の代わりに三枚上げて済度してあげました。）なんでご主人自身に読ませないのですか？（厄介なことにかかわりたくないのです。台長さんにも前回看てもらったと思うんですが、夫との仲が良くないです。）おう、この女性は変ですね。半人半鬼、半陰半陽で、でもこちらのほうもそろそろ離れるところです、続けて読んでください。ただ「彼女を追い払う」という気持ちを持たないでくださいね。

問：この前、兄の魏志英は馬に生まれ変わったと言っていましたが、今はどうなりましたか？最近更に少しお経を読んであげました。

答：おめでとう、上のほうに行きましたよ。お兄さんは「業を持ち」昇天したのです。（よかった、夢で天上に直通している道を見ました、お経を１５００回上げて、兄と父が会えるように望んでいます。本当に疲れました。）そんなに多いのですか。体に気をつけてね。相手への借りがそんなに多くない場合、相手と近い親戚でもなければ、そんなに多めに読まないでください。ご自身も傷つけられますから。

問：友達は上海のお寺で誰かに前世を見てもらったら、彼女の前世は和尚さんと言われて、出家するように勧められました。何日か前、彼女はシドニーへ親族を訪ねに来て、ちょうど私から盧台長のことを紹介されたので、私に電話をかけさせて盧台長にお聞きしたいのですが。

答：おう、彼女は前世確かに出家したことがありますが、和尚ではありません。とりあえずお経を読んでください。（彼女は毎日三時間お経を上げています。でも前世のことをずっと振り返って考えていて、頭から離れなくて寝ようとしても眠れなかったのです。）彼女は今どのお経を読んでいるのかが分かりませんが、あるお経は来世を修めるもので、天上に登って仙人になるか、黄泉の国で役人になるか、それとも人間に生まれ変わって幸せを享受するか、いずれかになります。あるお経は保険をかける

ように、子孫に贈るものです。またあるお経は浮世から離れるように修行するものです。ある人は一気に自分を高く引き上げようと思って、結局はできませんでした。私が皆さんに紹介するのは現世を修めるお経です。ですから、以上言ったことを友達に伝えたら、本人が分かるはずです。眠りもよくなるでしょう。

問：ええ、この電話は本当に存在していますね、通じた、通じた。盧台長でしょうか？新聞である文章を読んで、八つの段落の一番目の字を書き連ねて無料の占い電話だと書いてありますが、そうでしょうか？

答：そうです、おう、あなたは私たちのオリエンタルラジオ局の聴衆ではなく、新聞に載っている紹介の文章の読者ですね。随分ラッキーですよ。一度かけてみたら通じました。あなたは新聞を読むだけで電話が通じた四番目の「読者」です。こちらの聴衆の中には、一年、二年かけても通じない人もいますよ。でも大丈夫です、何か聞きたいなら、率直に言ってくれればいいです。（今は45歳ですが、まだ子供ができますか？）干支と誕生日を教えてください。（干支は＊、＊＊年生まれです。）おう、難しいです。何かがふさがっています。それにお経を上げて行かせてください。（お経を上げて行かせるなんてわかりませんね）おう、あなたは新人だから、分からないのです。わかりやすく説明しますね。あなたは子供を流産したことがあって、その子があなたを邪魔しています。ちょっと時間をやりくりしてオリエンタルラジオ局へ黄色の紙を何枚か取りに来てください。紙の上に書いた通りにお経を上げて、子供を済度してください。そうしたら、妊娠出産ができそうです。（はい、わかりました。）また、あることを見ましたので、一言あなたに言いたいです。あなたにはある目上の親戚がいて、あなたは彼に不親切ですね。（ある目上の親戚ですか？）この親戚はあなたにとってとても大事な方なので、そんなふうに不親切を続けていくと、これから三ヶ月の間に、新しいトラブルが生じるので、気をつけてほしいです。（はい、わかりました、必ずあなたの言う通りにします。ありがとうございました、本当に当たっています。）はは、もう八年間当たっていますよ。ちゃんと修行してくださいね。

問：盧台長、お経を上げてから半年になりましたが、何日か前お経を上げている時、突然自分が佛を拝む姿を見ました、これはどういうことでしょうか？

答：おめでとうございます。修行の効果が出ましたよ。まだ身体でお経を読んでいますが、魂はもう体から離れてそこで佛を拝むことができました。もっと頑張ってね。更に上達できますよ。

問：＊＊の犬なんですけど、卵巣癌が見つかって、この前盧台長に電話で21日連続してお経を上げてくださいと言われました。読みおわりましたので、今の状況を見ていただきたいです。

答：生まれた時の月日も教えてください。更に正確に見えますので。（四月二十一日です。）とてもいい話がありますよ。腫瘤が小さくなっていて、今はぼうっと見えるだけで、だんだん消えていっています。止めずにお経を読み続けてください。でも、命懸けで上げるのではなくて、お経を上げながら通常の治療も必要です。ここでついでにはっきり言いますが、私は「お経を上げるだけで、看病とか、薬を飲むとかは要らない」という話は一度も言ったことがありません。お経を上げるのは罪業、亡霊に対する処方で、治療は生理機能に対する処方で、相互補完の関係です。

問：妹の梁＊＊ですが、まだ五十代なのにもうなくなりました。それに変な病気にかかりました。今は北京の納骨堂に安置していますが、今はどこにいるか見ていただけますか？

答：良くないですね、黄泉の国に落ちました。若くて変な病気にかかるなんて、言う必要もなく、聴衆の皆さんも分かっているはずですが、必ず罪業があります。一つ一つの納骨堂に置くのは良くないので、埋葬してください。中国で使われた棺桶を埋葬するのは無理ですが、骨壺を埋葬するのは可能です。我々ラジオ局の聴衆の皆さんも自分の子孫に将来こういうふうにするように伝えてください。でなければ、死後はさまよう亡霊になって、子孫にも良くありません。それに、自分の子孫にちゃんと済度することを教えてほしいです。死後四十七日「中陰」の前に、せめ

て「小房子」を2枚上げて、多いほうがいいでしょう。ある聴衆は12枚上げて、強力に彼女のお母さんを畜生道から天上へ送り出したのです。私は彼女のお父さんが天上にいるのを見たので、この人は自分のお母さんも天上まで済度して、お父さんと一緒にいられるように決心しました。この人は心の優しい人で、すごいです。

問：盧台長、魚市場で十何匹かの魚を買って放生に行きました。息子は私のためにわざわざ尋ねてきて、北シドニーのchatswoodの近くにちょうど淡水湖が一つあって、魚市場に近いので、便利だと聞きました。しかし、魚を買ってから十分しかたたないのに、車の中でもう何匹も死んでしまいました。とても良くないことでしょうか？

答：まずは息子さんを褒めたいです。こんな功徳心を持っているから、将来はいい報いがあります。

　あなたに対する孝行心のためにわざわざ尋ねに行ったりして、現在は息子さんのように両親のことを行き届いて配慮する若者はもう多くないです。ところで、放生のことを魚屋の人に言いましたね（そうです）。それならわかりました。ある店の主は放生だと知ったら、死にそうな魚を売ったのです。普通はこんな魚は売りません。だから一般的に放生のことを魚屋さんに言わないでください。また、一度に多めに買わないでください。そうでないと、放生だと言わなくても、相手はあなたが食べるのに買うのではないとわかりますから。もちろん死んだ魚はあなたと関係がないので、心配はいりません。けれども、済度したほうがいいです。一匹の魚に「往生呪」を7回上げてください。ついでに皆さんに私の心の願いを伝えたいです：「放生は一番寿命が延びる方法で、よく放生してください。一方、殺生は深い罪業を作ることで、できるだけ殺生をやめてください。」という話を覚えてほしいです。この前中華街の中央海鮮へ魚を買いに行った時、ある青年の魚を切る姿を見て、ここでアルバイトをしていると言ってくれました。私はふと興が乗って彼のトーテムを見てあげました。何を見たと思いますか？この青年は来世亀になって、一生這い回って、うだつが上がらない様子を見ました。ですからその青

年に殺生の仕事を辞めるように勧めました。それからこの青年はわざわざラジオ局に来て、あの仕事はもうやめたと言っていました。もし彼も今私の番組を聞いているなら、彼の電話を待っています。喜んでトーテムを見ましょう。きっと亀ではないでしょう。

（**良宵注**：今回の対話で、盧台長は自分の願いをおっしゃいました：ラジオ局の聴衆たちに「できるだけ放生して、寿命を延ばす。殺生しなければ、悪い応報が少なくする」ように望んでいます。言葉が懇ろで思いやりが深いです。故に、第三冊の最終問のところに置いて、皆さんにしっかり覚えておいてほしいです。）

付録文一：亡くなった肉親と流産した子供を済度する方法

１．黄色い紙を用意して、その上に幅３寸、長さ４寸（１寸約３．３センチ）の長方形を書いて、上のある行を底辺にして、ちょっと小さな台形を描くと、建物の側面に見えますので、「小房子」と言われます。この黄色い紙はオリエンタルラジオ局で無料で提供しています。オリエンタルラジオ局電話番号：９２８３２７５８。アドレス：Ｔｈｅ　Ｍｉｒａｌａｒ，Ｓｕｉｔｅ　２７１，Ｆｉｒｓｔ　Ｆｌｏｏｒ，３９８－４０８　Ｐｉｔｔ　Ｓｔｒｅｅｔ，Ｓｙｄｎｅｙ　２０００，Ａｕｓｔｒａｌｉａ．

２．長方形の中に四種のお経の題名を書いて、大悲呪27回、心経49回、往生呪84回、七佛減罪真言87回、それぞれお経の下にそれぞれ規定した数の〇を描いて、この小さな丸の数は経文の数と一致しなければなりません。（この四種の漢語のピンインをつけた経文もオリエンタルラジオ局で無料で提供します。）

３．「小房子」の長方形の右上に青いペンか黒いペンで以下のように書きます。

　自分の体に取り付いている要経者であれば、「敬贈（自分のフルーネームの）的要経者」と書きます。流産または中絶した子供なら、「敬贈（母親のフルーネームの）孩子」と書きます。亡くなった肉親や親友だった

ら、「敬贈 お婆さん＊＊＊」（直接名前を書いてもいい）を書きます。「小房子」の左下に「＊＊＊贈＊年＊月＊日」と書きます。

4．家の落ち着く場所で、邪魔されない時間にお経を読んでください。途中で電話が鳴ったり誰か訪ねて来たりたりした場合、「嗡莱姆索诃」と唱えて、用事が済んでもう一回「嗡莱姆索诃」と唱えたら、お経を読み続けることができます。

5．お経を読む前にまず大悲呪を何回か上げて、自分にパワーをつけてから、済度の経文を読むといいです。お経の順番はどれから読んでも構わないです。体調が悪い時、落ち着かない時には、済度のお経を上げないほうがいいです。無理矢理読んでしまったら、自分の「精力」を損なうことになりますので、あまり効果がありません。

6．お経を一回読んだら赤いペンで〇の中心に点を打ちますが、必ず赤いペンを使ってください。あげる回数は指定された数より少なくてはいけません、多くなっても大丈夫です。

7．お経を読むとき声を出してもいいし、黙読してもいいです。普通は小さい声で読んでください。たまに発音間違えととてもは大丈夫ですが、たくさん間違えたら困りますので、「補缺真言」を3回付け加えて読んでください。経文を暗記できるようになれば更にいいです。

8．「小房子」は必ずしも一日で読み終わる必要がありません。普通は七日間で終わればいいですが、あまり遅らせるわけにはいきません。一枚読み終わったら、読み終わった日の日付をつけて、この黄色い紙を専用の磁器の鉢またはお皿に置いて火をつけて燃やします。ただ金属製品を使わないでください。仏壇の灯明に火をつけたほうがいいです。気をつけることは、僅かな紙の切れ端も残さずに全部燃やし尽くすことです。燃え残った灰を捨てたらいいです。

9．済度が終わったあと、夢でこの亡くなった肉親を見たら、感応があったということです。夢で会った肉親や子供が身なりはきちんとしていて、温和な顔をしていたら、その人はもうあなたの経文をもらって、天国にいるということを意味します。もし夢でみすぼらしい格好をしていたら、経文が足りないということで、下の地獄・餓鬼・畜生の三道にいる

かもしれません。続けてお経を上げなさいということです。

10. 上述の済度の方法は、すべての亡くなった人に適用していて、上げる枚数は自分の感覚によって決めればいいです。動物を済度するなら、「往生呪」を上げてください。

付録文二：玄艺综述をよりよくする

九年前から盧台長は、「玄芸総述」という番組を開設して以来、アナウンサーから国語台（標準語放送局）の台長、更にオリエンタルラジオ局の理事長になるまで、なかなか容易ではない道を歩んできました。番組を毎週30分から３時間まで時間を延長してからも、電話は次から次へとかかってきて、それでも月におよそ5000通の電話が通じませんでした。この番組のいかに人気が絶大であることが証明されています。こちらでいくつかの意見を提出させていただきますから、皆さんの参考になることを望んでいます。

一、菩薩恵眼識凡胎、心誠自然先結縁（菩薩様は慧眼を持ち、私たちの心を見抜くことができます。誠心誠意でお願いしていれば、必ず菩薩様と近づきになります。）

番組の中では、盧台長は盧軍宏ではなく、菩薩の「代理人」です。聴衆の皆さんには心をこめて誠心誠意質問を提出してほしいです。古代の「参上して教えを請う」のに「訪問状」を手渡すように、まず書面で質問したい方の姓名、性別、干支、生年月日、命日などの情報を書き込んでから、電話してください。そうすれば、電話が通じた時に、あなたがまだ言い出さなくても、盧台長の気場はすぐにあなたの情報に通じて、最も効果が出ます。干支は旧暦により事前に計算しておいてください。盧台長と電話が通じている現場で干支を調べると時間がかかるからです。亡くなった肉親は今何界何道にいるかを聞きたい方は、事前に名前の書き方をどう盧台長に伝えるかを考えておいてください、同音異字で盧台長の気場とつながらなくなることを避けるために。資料が全部揃わない場合は、急いで電話をかけないでください。まるで「線香をまだ立

てないのに慌ただしく頭を擦り付ける」ようで、効果があまりよくありません。菩薩は頭を振るか、眉をしかめますので、あまりうなずかないのです。沢山の聴衆はお経を上げながら電話をかけているのですが、これは誠心誠意の最高のやり方です。事実もこの通りです、お経を読んだら電話が通じる聴衆は結構います。とても不思議です。

二、此曲応自天上来、世間哪得几回聞（盧台長の能力は菩薩様から賜ったもので、世間にはあまり聞こえません）

聴衆の皆さんは電話をかける時、まず紙とペンを用意して、盧台長の回答の要点を記録するか録音してください。なぜかというと、盧台長にしかトーテムが見えません。それにこのトーテムの情報は天上霊界に属して、他人には見えない上に、現代科学でもまだ解釈できないのです。だから盧台長の回答は他人の解明または資料を通して突き合わせることができません。盧台長の話は「最高指示」のようです。沢山の聴衆は子供の前途、自分の将来、婚姻、病気について質問すると、盧台長はすべてに回答できます。例えば、盧台長はある大陸の刑事官が将来坊主頭になることを予言したことがあるし、卵巣癌にかかったある病人の腫瘍がますます小さくなることを予言したこともあるし、またある北京のOLの不倫を見通したことや、ある留学生がフィリピンで佛を拝んだことがあることを見通しました。こちらの事情の検証は、遥か海を隔てていて、見通しを検証するのは将来のことですが、書面で記録を残せば、永遠に忘れず、参照することができます。また番組の中では、友達の代わりに大事なことを聞いた聴衆も沢山いて、彼らの友達は、アメリカ、ドイツ、フランス、イギリス、大陸、香港、台湾などに住んでいて、ちょっとでも不注意で聞き間違えてそのまま伝わってしまったらたら、何もわからなくなります。それからも間違いが続けば、修正するチャンスもなくなります。ですから記録を残してください。

三、度己修心成正果、度人行善積功徳（きちんと修行すると証果を得ます、人に勧め善行を行うと功徳を積みます）

聴衆の皆さんは自分とお友達の運勢を聞く一方、積極的に電話をしたあとで自分の身に実際の効果があった報告も望んでいます。自分の経験を他の聴衆とも共有し、更に「玄学」のことを信じてもらいます。普段も自分の知っている西洋の友達に紹介し、盧台長の番組を社会にも広げていただけば、更に多くの人々に幸福をもたらします。聴衆の皆さんはお宅でも自分の子供たちや親友に紹介してください。そもそも信じていない人に信じてもらい、せめて仏法に抵触しないまでも、口業を作らないようにさせてください。既に信じている人には、更に精進して修行を進めるようにさせてほしいです。今まで盧台長の番組のおかげを蒙った聴衆は何百人何千人に上ります。書面の証拠も大量に残っています。我々シドニーの華人コミュニティで、中国語を話すお年寄りはとても和やかに生活しています。でも我々はこれらの老人たちを幸せにさせるだけではなく、広東語、潮州語、福建語、更に英語を話す人も和やかに生活できるように、皆さんはお互いに助け合って、心を修めて善行を行って、功徳を沢山積むように努力してほしいです。

四、得隴望蜀忌犯貪、知之太多運反滞（ある人は隴を得てまた蜀を望んで満足を知らず、かえって運勢に阻害が入ることになります。）

盧台長はトーテムを見ている時、一心不乱に気功を用いて質問者の気場とつながって、「霊魂が離れている」状態なので、簡単な年齢の加減さえ計算できなくなります。例えば、よく聴衆から「子供は1988年生まれ」と言われた時、今年は2008年なので、明らかに20歳なのに、盧台長はまた「今年は何歳ですか」と聞く場合が結構あります。同様に盧台長は聴衆がどのぐらい聞くか、既に何人聞かれたかも気づかなくて、全部聴衆自身の話次第です。ですから、聴衆の皆さんに自覚的に質問の数と時間をセーブして、一番肝心な質問だけにしてください。もし体、病気、運勢、婚姻、前途、黒い気、前世、罪業、寿命、佛光、色、亡霊、風水について全部聞いたとしても、実際にはそんな大量の情報を覚えることができず、聞いたこともすべて質問数として計算されてもったいないです。実際に大切なのは専念して修行し、心をこめてお経を上げることで

す。もしあなたが頃合を見て質問をやめて、自分から進んで時間を他の聴衆に残していただけると、ご自身の功徳を積むことにもなります。それに、聞きすぎると、ここもよくない、そこもよくないと思い込んで、心の中に雑念が出てしまい、かえって手足を縛り付けられ、自分の運勢を妨害することになります。特に盧台長もあなたの質問が多すぎると思われる時、すぐに質問をやめて、それに弁解もしないことです。たとえ盧台長に無理矢理トーテムを見てもらっても、気場は和やかでないので、効果に悪い影響を与えます。

五、菩薩己下浄口令、泄漏天机宜有度（菩薩様が「浄口令」を下して、盧台長にトーテムを看ても、適当なところを看てやめるように指摘しています。）

この番組は盧台長しかできなくて、盧台長に代わる人はいません。ですから、盧台長はまず自分の健康を大事にして、衆生を助けることを望んでいます。この番組が開設されて以来、盧台長の体調は低下していく一方で、朗らかな笑い声が少なくなって、疲れてあくびをすることが多くなりました。また、風邪をひいて咳き込みながら番組をやっているのです。聴衆も盧台長のことを心配して惜しんでいますが、台長の声からは離れたくありません。ですから聴衆の皆さんに毎日お経を上げる前に、菩薩に盧台長の健康を祈って、大悲呪を一回読んであげてから、自分と家族のお経を上げることを望んでいます。次に、週に三時間の放送は多すぎるとは言えませんが、なぜ盧台長の咽喉は何週間たっても治らないのでしょう？私の見方から言えば、それば菩薩が下す「浄口令」であり、盧台長に、トーテムを見ても適当なところを見てやめるように指摘しているからだと思います。なぜかというと、この番組は天の機密を漏らして、友好的でない霊体の恨みを買うことがあります。ですから、いつも盧台長は番組の中で「鳥肌が立ちました」とか「背中が涼しい」とか「随分怖いです」とか言ったりすることがあります。これらは全部盧台長の体を損ねるもので、皆さんへの指導を続けることに影響を与えるのです。ですから盧台長には番組以外の時間にトーテムを看てほしく

ありません。一方、これは電話が通じない聴衆には不公平です。他方、指定されたトーテムを見る時間ではないので、盧台長の身体はまだこの世にいるけれど、魂は霊の世界に入ってしまい、この時突然電話が鳴ったり、ドアが叩かれたりしたら、まるで不意にげんこつを食らわされたように、由々しい結果になります。特別や緊急の状況はどうかというと、事前に予約していただいて、本当に緊急事態だと認められたら、電話番号を知らせていただいて、番組の時間に特約電話が設立されて（一回に一名限定）おりますので、盧台長の方から電話をかけて連絡してもらって、質問させていただきます。そうすれば、、電話が通じないことのせいで直接に盧台長のオフィスにトーテムを見てもらいに行くことはないでしょう。もし何ヶ月も電話が通じない方がいるなら、「移民生活経験談」という番組に電話していただいたら、電話が通じる方法を一つ教えてあげます。ほとんどの場合は三回か五回この方法を使うと電話が通じると思います。

最後に、オリエンタルラジオ局が日に日に向上して発展するように祈っております。オリエンタルラジオ局は「玄艺综述」の伝播メディアであり、ラジオ局が発展さえすれば、番組は向上できます。力を合わせて「玄艺综述」を更に向上させるように頑張りましょう。

080808　良宵 加筆

第 四 冊

第四冊についてのいくつかの説明

１．本冊の第一問と最後の一問は、検証済みで、リスナーからの電話の後、さらに具体的なフィード・バックがあった二つの実例であり、盧台長がトーテムを看た後の判断の正確性を詳しく証明できるものです。フィード・バックした内容は、生放送番組には入っていないため、本冊の特例内容となっています。

２．盧台長がトーテムを看た後の回答とリスナーの状況が一致した事例は、前の三冊にはたくさんあるため、本冊においては単純にこのような内容を記録せず、また電話のはじめの性別、干支と生年の問答を重複せず、話の大筋と細部の描写に紙面を費やし、案例の啓発性を重視するようにしました。前の三冊を読んでいない新しい読者は、まず前の三冊を読んでおくのがお勧めです。そうしないと、不可解に思ったり信用しがたいと感じるかもしれません。1－4冊は東方台に無料で請求できます。そして、閲読後、コピーして、更に広めることを歓迎します。

３．真実を求め、客観的な事実に基づく事により、当事者のマイナスなイメージを示す盧台長の答えも記録しており、ゆえに本冊は資料的性質を持っています。匿名処理はしていますが、当事者が妥当でないと思われた場合、お手紙を寄せていただければ、再版の際には修正させていただくことにします。

４．本冊の文体は変わらない：括弧の中は質問者の言葉。特別な説明が必要な情景描写を除きます。質問者が言及する姓名と干支は「×××」と「×」に替え、異なる質問者からの内容が近いようなものは、同じ問答に収めることにしています。

問：私は明日あるおばあさんの追悼式に行きます。私はそのおばあさんとは親戚でも知り合いでもないですが、20年前に、オーストラリアに来たばかりの時、身内のように親切にしてくれました。私はオーストラリアで

は誰一人親戚や身内がいないため、とても暖かく感じ、ずっと心に銘記しました。そのおばあさんは先週百歳の高齢でこの世を去りました。今の様子を見ていただけますでしょうか。そうすれば、明日その様子をおばあさんのご家族に伝えられます。

答：分かりました。お名前は？（×××）。そうですね。今は昏睡状態です。ちょっと説明しますが、人がなくなる数日間は、トーテムでは、昏睡しているように見えます。この時、魂はまだ肉体から完全に離れていないため、民間では「初七日」「二七日」更に「中陰」の習わしがあるわけです。「中陰」が過ぎると、魂は完全にあの世から離れ生まれ変わります。今はちょうど「初七日」なので、済度の最もいい時期で、天国へ済度しやすいです。（今どこにいるのですか）。地獄にいます。早く済度させなければなりません。とても罪業が多くて深いです。（そうですか。ずっと精進料理を食べてお経を読んで、敬虔に仏を信じていましたが）。おそらく、晩年になってから精進料理やお経をはじめたのでしょう。あるいは、若い時は、たくさんの人の恨みを買って罪業を積み重ねたのかもしれません。（どうして私が思っていたのと全然違うのでしょう。絶対もう昇天したと思っていましたが。盧台長に看ていただきたいのですが、たくさんの人の恨みを買ったというのは、「絶対」なのか、それとも「おそらく」なのでしょうか。）絶対です。トーテムでははっきりとそう看えます。若い時はきつかったですね。自分も知っていたはずです。だから、晩年では償いをし、仏を信じお経を読んだのです。私は率直に物を言いますので、お話に沿って言いません。しかし、おばあさんのご家族には言わないで下さい。信じてくれないかもしれませんから。なくなったばかりなので、今のうちに、早く済度させたほうがいいと、ポジティブな言い方をしたほうがいいです。（分かりました）。

（数週間後、そのリスナーは直接盧台長の東方台を訪れた）曰く：盧台長、ご報告があります。私がこの前百歳のおばあさんのことを聞いた者です。その翌日、追悼式へ行きました。ご家族の人に不快や誤解を与えないように「罪業深い」という話を言わないで、早く成仏させることだ

けを言いました。若い時から寡婦になって、六人の子供を一人ひとり育てて、大変な苦労をしたそうです。今日二番目の用件は盧台長にお聞きしたいのですが、ご家族の人はもう済度したと言います。×××という経を読んだそうですが、盧台長がおっしゃった四つのお経と違います。これでいいでしょうか。

答：最初のお話、「若い時はきつかった」という私の言葉は正しい、と証明されましたね。若くして寡婦になった女性が女手ひとつで何人もの子供を育てる、その大変さは想像できます。きつくなければできるものですか。人の恨みを買ったりするのも避けられないことです。今、なくなったから恨みや借りのある人たちは取り戻しに来たのです。だから苦しいわけです。（なくなるまでの数年間、言葉が話せない状態でした）。そうでしょう。話せないというのは、動物と同じですよ。これは因果応報です。だから、よく済度して、それが子供たちにとってもいいですよ。二番目の質問はちょっと答えにくいです。私が紹介した四つのお経は互いに補完し合い、菩薩が衆生に教えを伝えるものです。リスナーのみなさんは読んだ効果がいいと言って、だいたい暗記ができて、みんな知っていますよ。しかし、ほかのお経についてはとやかく言えません。あの世とつながるものもあれば、来世修行のためのものもあります。だから、どんなお経を選ぶかは、非常に大切です。

（数週間後、このリスナーは再び偶然に道端で盧台長に会ったら、興奮気味で早口でこう言いました：）盧台長、あの百歳のおばあさんのことを覚えていますか。私はその後、なくなって49日の「中陰」の夕食会に行って、最後の別れを告げに行きました。食事会の途中、その長女さんがわざわざ私の席に来て、お母さんを済度するためのお経を読み終わったと。そして、お母さんと50数年間一緒に暮らし、一番情が深かったと。お母さんは若い時、とてもすごかったよと、自ら私に言いました。実は彼女がそう言った時、盧台長が看たトーテムも同じで「若い時はきつかった」というのを全く知らなかったですよ。

答：ほら、私はもともと「図」を看て話していますから。作り話ではないですよ。こんなのは、作り話をしたくてもできないですよ。

（**良宵注**：その長女さんの話は得がたい証明です。本来ならば、盧台長のお話は証明できないものです。というのは、この百歳おばあさんの50数年前のことを知るすべはないし、盧台長がそう言ったら、私たちがそれを聞いて、それで終わりです。）今、その長の方も70歳を越えています。その長女の方が自らリスナーに伝えに来るというのは、思いもよらなかったことです。なぜかよく分からないですが、天意がそうさせたのか、長女の方のお話が盧台長のトーテムによる判断が全く正しいことを証明したのです。私はこの案件の一部始終を聞いて、とても価値があると思いました。もし、玄学が客観的で科学的な実証ができなければ、玄学は所詮「玄」です。本例はとてもいい実例なので、第四冊の第一問に入れました。より多くの人にトーテムを信じてもらい、玄学を信じ、盧台長の超能力を信じてほしいと願っています。

問：盧台長に看ていただきたいですが、私の手の平と足のかかとがよくひび割れします。一年になりますが、治療法がないとお医者さんに言われました。霊のせいでしょうか。

答：足のかかとは何も見えなかったですが、手の平にはおばあさんがいます。父方のおばあさんか、母方のおばあさんか、どちらかです。（よく両方の祖母、いとこの夢を見ます。みんななくなりました）。こんなにたくさんの身内の夢を見るのは、先祖にたくさんの借りがあったということです。なくなった身内の夢を見たら、早く成仏させなければなりません。あなたにお経を取りに来たからです。（分かりました。もうひとつの夢がありますが、私の実家は安徽省の大運河のそばにあります。夢の中で私はいとこに連れられ、大運河の下へ遊びに行きました。真っ暗の中で）。この夢は簡単です。真っ暗は地獄ですよ。まず、いとこを済度させなくてはなりません。あなたの陰の気が重いように見えます。（はい。分かりました。分かりました。）（三週間後、このリスナーからまた電話がかかってきました）

問：私はこの前、手の平と足のかかとを看ていただいた者です。この前、私

は先祖にたくさんの借りがあるとおっしゃいましたが、私はもう11枚の小房子を読みました。祖母はまだいるかどうか看ていただきたいのですが。

答：おばあさんはもういません、手の平には何もないです。しかし、足のかかとには人の顔が現れています。短めの四角い顔で、誰に似ていると思う？香港の曽志偉さん、四、五十歳ぐらい。兄弟の中で、中年でなくなった人、こんな感じの人はいますか。（従兄に似ていますね。四十何歳でなくなりました）。やっぱり。（私と従兄とはあまり接点がないですが、つまり、あまり関係がないですが）。前世の縁は分からないですよ。言っておきますが、私はあなたの前世を見ました。いたずらっ子で、人を熱々のボイラーの前に押しました。その人はむりやりに手をボイラーの壁に当てさせられました。だから、今、手の平に病気が生じましたよ、分かりましたか。（あっ、そうですか。それから、前に私の鼠の巣は枯れ木の上にあるとおっしゃいましたが、今は?）看てみますね。降りてきて、今は林の中にもぐろうとしています。隣には坂があります。（どういう意味ですか？）自由になりましたよ、そして、餌も見つかるようになって、以前よりよくなりました。でも、この鼠は今かなり痩せています。最近、体調はよくないですか。（はい。なぜか分からないですが、今日、「七仏滅罪真言」を読んだ時、何句しかないのに、最後の一回の時は、一句読むごとに息を吸わなければ倒れそうになります。しばらくストップしてまた読む。こうしなければだめだったのです。本当に倒れてしまうのではないかと怖かったですよ。）それは読みすぎだからです。さっき、11枚の小房子を読んだと聞いてびっくりしました。そんなことをしたらだめですよ。（はい。分かりました、分かりました。ありがとうございました。）

（**良宵注**：電話をするリスナーはほとんど女性で、男性は10％しかいなく、中年男子はなお少ないです。このリスナーは五十歳前で、極めて少ない中の一人です。しかも、短い三週間のうちに二回も電話が通じたため、二回の会話を同じ冊子に記録できる機会を得ました。それゆえに、特に詳しく記録しており、より多くの男性の方に電話をかけてみること

により、人生以外のもっと素晴らしい世界を知ってほしいものです)。

問：二回電話したことがありますが、一回目は私の体には白い光があるとおっしゃいました。二回目は、体には黒い気があって、よくないとおっしゃいました。どうしてこうなるのでしょうか。

答：白い光と黒い気は変わるものです。体調がよくない時には、トーテムには黒い気が表れます。反対の場合には白い光が見えます。これはお医者さんが言う「気色」と同じです。もうひとつのパターンがあって、特にみなさんに伝えたいです。私のプライベートのお友達に二回見させてもらいましたが、最初は白い光、後は黒い気になりました。それは、他の人のためにお経を読んで、読みすぎると、霊が逆に体を痛めてしまったからです。ですから、ほかの人のためにお経を読むなら、まず自分自身が十分なエネルギーを蓄えて、自分を守らなければなりません、それで初めて人助けができるのです。お経を読む時や読んだ後は、体調が悪く、頭がぼうっとなる人がいますが、それが原因です。

問：この前、私の体には二つの霊があるとおっしゃいました。二枚済度しましたので、もういなくなりましたでしょうか。

答：さっきあなたが干支を言ったら、トーテムの隣からあるものが自動的に飛び出してきました。あなたはオーラが強く、私のオーラとつながりやすいことが伺えます。しかし、これが霊なのか、あなた自身なのか、分からないです。ちょっと照合してみてください。中年の女性で容姿がきれい、二重まぶた、顔は丸くて長い（私に似ています)。それなら霊ではないです。おめでとう！もう体には霊がなくなりました。でも、お経を読み続けることが必要です。

問：お伺いしたいですが、天上へ済度するのと生まれ変わるのとどう違いますか。済度の「小房子」に敬贈×××、名前を書いたほうがいいのか、書かないのがいいのですか。

答：天上に済度したら、もう天人になりますから子孫たちを守ることができ

ますが、落ちてくる可能性がありますので、更に高い所へ行けるように、絶えずお経を読んで送ってあげなければなりません。天上にいるとしても、33段階の高低の差があり、阿修羅は低い階層にあります。もし、すでに生まれ変わったなら、戻ることはないでしょう。元神も行ったから、清明、冬至、お盆、命日に、小房子を読んで送ってあげればいいです。生まれ変わりも二種類あります。畜生か人か。もちろん後者がいいですね。済度の小房子に、名前がわかっているなら名前を書いたほうがいい、そうすれば、ほかの霊にとられることはないです。名前がわからなくても大丈夫。相互関係がきちんと分かればいいです。あるいは、「求経者」と書けば、あなたと関係のある霊に送り届けることができます。

問：私の旦那を看ていただけますか。

答：若い時はスポーツが好きですね。（そうです。生涯好きでした）。（突然、盧台長が大きな声で聞きました）旦那さんは猫の肉が好きですか。（はい。とても好きです。彼は食べますが、私は怖くて）。やっぱり。トーテムの隣から突然猫が飛び出したのを見たから。早く成仏させて下さい。49回往生呪でいいです（毎日49回？）いいえ、全部で49。以後は食べないで下さい、猫は霊があるから。よく言うでしょう、猫には九つの命があるって。トーテムの猫が自ら慌てて飛び出したのは、私から旦那に警告してほしいからです。

（**良宵注**：この例で最も素晴らしいところは、盧台長が突然大きな声で猫を食べるかどうかの部分です。リスナーもまた本当に猫を食べるのが好きです。偶然の一致か。いいえ。偶然な一致なら多すぎます。それならば、偶然の一致ではなく、規則があるからです。後で盧台長がトーテムでタニシを看ましたが、ちょうどタニシが好きな人でした。第三冊には、トーテムでタウナギが看えましたが、タウナギが好きな人でした。）

問：よかったですね。お経を読んだら、電話が通じました。この前もお経を読んだから、すぐつながりました。前の何回かの時はお経を読んでいな

かったので、つながりませんでした。

答：お経を読むと、よく効くということですね。何を聞きたいか、言って下さい。（××年の虎と××年の龍、ある夫婦の関係を聞きたいですが）。けんかでしょう。かなり激しいけんかですね。（そうです）。お経を読むように勧めて下さい。あるリスナーの夫婦が以前もよくけんかしましたが、お経を読んでから、私にこう言いました。お経を読んでから、けんかしたくてもできなくなりました。時間がないから。相手の唇を見ると、ああ、お経を読んでいるな、と分かる、とても面白いって。（では、この夫婦の前世は何ですか、何でこの世で夫婦になったのか、看ていただきたいです。）看てもいいですが、看たくないです。私の気を浪費させないで下さい。見たとしても教えることはできません。私の修行を傷つけるし、この夫婦にとってもよいことはないから。

問：盧台長、母は今年65歳。66歳にこの世を去ると、私は夢を見ました。私と息子が跪いて、全身寒気がします。この夢は本当ですか。

答：そもそも66歳は人間のひとつの関門です。この夢は本当です。私は看ました。でも、言いたくないです。（盧台長、どうぞ言って下さい。大丈夫です）。では、私はすでに魂を奪う鬼神を看ました。お母さんは発病から死ぬまで多くでも一ヶ月を超えないです。（母は国内にいますが、どうしたらいいでしょうか）家にはほかに仏を信じる人はいますか。（いないです。）では、あなたに頼るしかないですね。すぐ三つの事をやって下さい。一番目、多いに放生して下さい。二番目に、大願をかけることです。三番目に、ほかのお経を全部やめて、大悲呪だけを休まず一生懸命読むことです。一生懸命やれば、お母さんの命を延ばすことができるかもしれません。この三つのことはお母さん自身でやるのが一番効果がいいですが。

問：盧台長、私は今年77歳です。ずっと心の病があります。解いていただけますでしょうか。

答：どうぞおっしゃってください。（私の夫、朱××、1989年11月なくなりま

した。今どこにいるのでしょうか)。ああ、いいですね。今は天国にいますよ。(私はお経を読んだことがないですが)。それは、旦那さんが前世の修行がよかったか、生前の行いがよかったからか、です。(そうだ、もうひとつのことですが、夫は急になくなったのです。前後二、三分のうちに。救急車が来た時すでに息が絶えましたので、何も言い残さなかったです。後で思い起こせば、亡くなる３日前、突然、まともな感じで六つの文字を言いました。盧台長もご存知ですが、夫婦間の会話というのはとてもさりげなく、きちんとした感じがいらないです。しかし、あの日はとてもまともな感じでした。残念ながら、あの六文字が思い出せないです。盧台長の番組を時々聴いていますが、亡霊と会話ができるそうですね。あの日、何を言ったのか、聞いていただけますでしょうか)、待って下さい。看てみますね。旦那さんの名前、命日、干支、生年月日をもう一度お願いします。(朱××、×年、××××年生まれ、1989年11月死去)。(電話は十数秒の空白の後、盧台長が口を開けました)。旦那さんを看ましたよ。お体に気をつけてほしい、そして、以前の事を忘れてほしい、と言っています。以前は二つ申し訳ないことをしたと、そして、天国であなたを守っている、と言っています。まとめてみれば、「保重、放下、延寿」(大事に、心配せず、寿命を延ばそう)という六文字です。(分かりました。しかし、　当時はまだ死んでいないのに、なぜ天国で守ると言うのですか。)これは簡単です。旦那さんが予感していたからです。つまり、第六感でこう言ったのです。ここで、リスナーの皆さんにお伝えしたいですが、自分の第六感を信じて下さい。これは本当の話です。特にお経をよくできている人は第六感が優れています。嗅いだことのない香りを嗅ぐことができます。それは人の世の香りではなく、菩薩様がお見えになったからです。そして、空にきらきらの色とりどりの雲が見えます、これは天上の庭です。(ありがとう、盧台長)。心の病を手放して下さい。今日電話が通じたのも、旦那さんが天国での助けがあったからですよ。

(**良宵注**：この案件はとても具体性があります。しかし、亡霊と会話するのは科学的にはまだ証明できていません。第二冊では、もうひとつ亡

霊と会話の案件を記録しました。その場で質問したリスナーの証明を得ることができました。どうぞもう一度読み返していただきますようお勧めします。今度のリスナーのおばあさんが心のひっかかりを解いて、お経を読み始めることを期待しています。また何か新しい感想、例えば、夢とかあれば、ぜひ盧台長にご連絡いただき、大勢のリスナーと分かち合うことを願っています。）

問：母はどこにいるか看ていただきたいです。私はすでに5枚読みました。

答：いいですね。もう天上ですね。しかし、むりやりに押し上げたのですね。（そうですよ。私は病気になってしまいましたよ。この前はまだ地獄にいたとおっしゃったから）。だから、あなたが病気になったのですね。地獄から天上へ行くのには、餓鬼道、畜生道、低級の阿修羅道、人間道、声聞道（高級な阿修羅道）、望郷台、菩薩界、慧覚仏界を通らなければなりません。真剣にお経を読んで、ただひたすらに念じることを送り届けていたからできたのですよ。本当によく頑張りました。私も嬉しいです。

（**良宵注**：この件ではここにご注目してほしいです。盧台長が先に「むりやりに押し上げた」と言ってから、リスナーは自分が病気になったことと、以前盧台長はお母さんが地獄にいたと言った、この二点を言ったのです。ここでは、盧台長が確実にトーテムで「むりやりに押し上げた」様子を看たからそう言ったことが伺えます。盧台長の「むり押し」が先で、病気の話は後で聞いた、その結果は正に見事で興味深いものです。）

問：息子は今年40歳。看ていただけますでしょうか。毎日息子のために心経三回、大悲呪三回読んでいます。ほかに読む必要がありますか。

答：私が言ったら怒らない下さいね。あなたの教育がよくなかったから、息子さんは感情の面では過ちを起こして、たくさんの悪い事をしましたね（それは過去の事です）。過去の事でも返済しなければならないのですよ。毎日更に往生呪を７回、（ちょっと待って下さい。メモします）。そ

れから解結呪を７回。（分かりました。家の風水を看ていただけますか）。よくないですね。客間の黒い気が重いです。家の壁には、人物画や額縁をたくさん飾っているでしょう。（そうです）。取り外して下さい。取り外す時、一枚ずつ、往生呪を７回読んで下さい。（分かりました。）

（**良宵注**：本例では、おばあさんの不意な受け答えにご注目下さい：「あれは過去の事です」。この言葉はちょうど間接的に盧台長の最初の「息子さんがたくさんの悪いことをした」という断言を証明したのです。トーテムの奥深さはこの二言、三言の問答の中で見事に現れています。）

問：姑の朱××を看ていただきたいです。この前、7枚小房子を焼いて成仏させましたが、地獄にいることで更に７枚とおっしゃいました。今は全部で27枚です。

答：27枚、多いですね。とても親孝行ですね。姑に優しいですね。もう天上に行きましたよ。ただ、自分の体に気をつけて下さいね。午前中、年配のリスナーの方が東方台を訪れました。今年82歳ですが、何回読むと思う？毎日大悲呪50回！でも、健康そうだから、やめさせなかったです。お経は多すぎてもダメです。人のためのものだけでもだめです。（では、自分のために小房子を読んでもいいですか。）だめです。小房子の四セットは死んだ人に読むお経です。自分のためのお経は今度教えます。

問：舅の曾天明を見ていただけますか。だいぶ前亡くなりましたが、今はお骨も見つからないです。

答：あっ、今、地獄で役人をやっています（生前は中学校の校長をしていました。地獄で役人、それはいいことですか。）聞いて下さい。もっとたくさんお経を読んで、天国へ押し上げたら？だいたい12枚ぐらい、一ヶ月で読み終わらなければなりません。疲れるから病気になるかもしれません。だめなら、地獄で役人をやっているほうがいいです。

問：お坊さんが血を見たり、死んだ人を見たりすると、すぐ「阿弥陀佛」と言うのを見かけますが、われわれもそうしたほうがいいでしょうか。

答：ご自身の功力によりますね。例えば、道で死んだ動物を見たり、お葬式の行列と棺おけを見たりしたら、絶対に無意識に往生呪を読まないで下さい。あの魂たちがあなたの身に飛びついて、気分を悪くさせ、病気になるかもしれませんから。

問：××年生まれの男性で、亡くなってだいぶ経ちますが、今どこにいるか、看ていただけますでしょうか。

答：いいですね。天国にいますよ。望郷台であなたを眺めていますよ。仲のいい人だったでしょう（姉婿です）。あっ、嬉しいことを教えてあげましょうか。彼が亡くなった時、きっと誰かが成仏させたに違いありません。或いは、生きていた時はよく修行していたでしょう。天道では望郷台は高い所にあります。望郷台にいれば、人間の世界のすべてが見えますよ。

問：男性で、××年の犬、看ていただけますでしょうか。

答：おかしいな。犬のトーテムはどうして猪に看えるだろう。この犬年の人はきっと猪と何か関係がありますね（彼の家には、猪は三人：父、母、弟）。やっぱり。彼はこの猪たちとはわだかまりがあるでしょう。心経と解結呪を読んで猪の家族の人に送らせるようにして下さい。

問：盧台長、××年で干支×の男性、運勢や風水、財運、健康、結婚、前途など、全部看ていただけますでしょうか。

答：このような聞き方をしないで下さい。質問して答えを聞いても風が通り抜けたような感じで、何も覚えられないです。このような聞き方は嬉しくないですね。無料とはいえ、あなたと占いをしているわけではないですから。

問：盧台長、この前、亡くなった人のことを聞きましたが、名前を間違えました。まだ有効ですか。

答：三年以上使った名前なら有効ですよ。もちろん、いつも使う名前のほう

がいいです。干支も間違い、または生年月日も違うなら、これらの資料で私に聞いても結果はだいぶ違いますが。

（**良宵注**：番組を聴いている中、十数人のリスナーが干支と生年月日と名前の書き方を言う時、自信がなく、ためらったり、はっきり言えなかったりしていました。もし、情報を間違えば、オーラが乱されるので、結果も違ってきます。だから、リスナーの皆さんにぜひ気をつけていただきたいのですが、必ず資料を完全に揃えてから電話して下さい。そうでなければ、電話を控えたほうがいいです。）

問：この前、おばは阿修羅にいるとおっしゃいました。その後、私は6枚読みました。今どこにいるか、看ていただけますか。

答：申し訳ないですが、まだ畜生道にいます。全部で何枚読んだ？（12枚）そうですか。そんなはずがないです。12枚小房子なら天国へ行けるはずです。ちょっと心配ですね。読み間違えたのですか。敬贈の名前は正しく書けましたか。赤いペンで点をつけたのですか。チェックをつけたわけではないですね。読む時は集中していましたか。病気の時は読まなかったでしょう。小房子は全部きれいに燃やしましたか。紙切れは残っていないでしょうね。これらはみんな効果に影響します。おば様の罪業は特に深く、済度しにくいかもしれません。今、あなたと会話してもとても頭が痛い、彼女のせいです。12枚でも成仏できないし、私の頭まで痛くなるということは、この魂は非常にきついものです。私もこれ以上言えなくなります。とにかくよく修行して下さい。多さを求めないで誠心誠意であればいいです。お宅のお子さんのことも気をつけて下さい。（そうです。よく悪夢を見て、泣きながら目が覚めるのです。こわいと言いますが、なぜなのか分からないそうです）なるほど。

問：子供は３歳ですが、家の天井には頭に角が二つある黒人を見ましたが、本当ですか。

答：３歳の子の魂は大人よりすごいです。お宅に年寄りはいますか。（います。お経を読んでいます）。頭に角のある人は神霊かもしれません。お年

寄りを連れに来たのです。（そうだ。もうひとつ気になることがあります。昨日、お経を読んだ後、あの黄色い紙を燃やそうとしました。湿気があったのか、何本もマッチを使ってやっと燃え尽きました。縁起が悪いのでしょうか。）お気持ちと関係がありますね。集中力が分散した時や、楽しくない時、または不平不満がある時はこうなりますね。（そうだ、子供を殴ったから）。

問：私は中国で四回流産しました。私はもう済度しました。5枚小房子を読みました。もういないかどうか、看ていただけますか。

答：みんな行きましたよ。ただ一人がよくないですよ。餓鬼道へ行ってしまいました。（そうですか。私も三人の子供の夢を見ました。生まれてすぐ大きくなって、色が白くて、よく太っていて、嬉しそうに幼稚園へ行きましたよ。もう一人の首は紐で縛られています）。その通りです。私はトーテムで看たものと同じです。三人の子供は幼稚園に行くというのは、生まれ変わったからです。夢の中であなたに姿を見せているのです。もう一人の子は紐で縛られていて、餓鬼道で苦しんでいます。大勢の流産したリスナーはたいがいこのような夢を見ます。母親は自分の子供を済度させる時は、非常に誠心誠意です。子供に申し訳ない、子供に苦労をさせたと思っています。考えてみて下さい。本来なら子供がこの世で楽しく数十年生きられるのに、お母さんに殺されて、血の塊になってしまうなんて、なんと残酷なことでしょう。故意か不意か、またはやむを得ないか、とにかくひとつの罪です。大勢の母親たちは、済度させた最後に、特に小房子を読み終わる頃に、みんな思わず大声で泣き叫びます。これは心からの懺悔ですね。ここでラジオを聴いている皆さんにお勧めしたいですが、母親であろうが、妻であろうが、夫であろうが、父親であろうが、一つ一つ小さな命を大切にし、殺してはいけないということです。

問：盧台長にお聞きしたいことがあります。あの日、東方台へお経をもらいに行って、翌日からお経を読もうと思いました。しかし、なんと、翌日

の夜明け方、まだ外は暗い時分、母が階段の下で私のニックネームで私を呼んでいました。しかも大きな声で。私はすぐはっとなって、目が覚めました。母はもう死んでいるのに、なぜ私を呼んでいたのか。きっと早くお経を読んで成仏させてほしいからでしょう。盧台長、これで正しいですか。

答：正しいですよ。これは夢ではなく、本当にお母さんが呼んでいたのです。お経を読むと知って家に帰ってきて、急いでお経をもらいに来たのですよ。

問：家の風水を看ていただきたいです。主人は龍年で男性です。

答：玄関から入って右三、四メートルの所によくないものがあります。（あっ、客間に八卦図を掛けました。）取り外して下さい。（ほかの部屋は？）まあまあいいです。とくにないです。「別の部屋」と言いましたが、ここで説明しておきたいです。言っても大丈夫です。私は家の風水を看る時は、皆さんが見えている一つ一つ区切られいる洗濯機、寝室、台所、トイレと全然違います。私が看えているのは全体的なオーラで、一つ一つの壁が看えないのです。壁に霊のあるものを飾っていると別ですが。人物や、肖像画、トランスフォーマー、キャラクター、そして、おっしゃった八卦図などは、オーラの中で浮かびます。（なぜ壁が看えないのですか。）それは簡単です。壁は霊のあるものを遮れないです。魂はすぐ壁を通りぬけるでしょう。私の霊感もこのような感じです。でなければどうして電話で中国、アメリカ、香港など、数百里数千里離れているお家の風水を看る事ができるのですか。逆に門と窓は壁ほど厚くないですが、「気の口」がありますので、感じられます。

（**良宵注**：以上の話は盧台長が数回か風水に関する解答をまとめたものです。私は盧台長がトーテムと家の風水を看るのは二つ違う超能力だと思っていましたが、この話から分かることは、両者は実は同じもので、オーラの連帯感で看る、ということです。盧台長が風水のことを答える時、いつも左、右、上、下と言って、具体的な位置が漠然としています。それはわれわれが肉眼で見た部屋と違うオーラがあるからです。）

問：私の祖母の唐××を看ていただきたいです。私はもう3枚済度しました。

答：とても親孝行ですね（小さい時から、祖母に育ててもらいました。）なるほど、もっと頑張って、21日間で4枚目の小房子を読み終わらなければなりません。でなければ、おばあさんは畜生に生まれ変わるから（そうですか）更に教えますが、豹に生まれ変わります。21日間、もう少し努力すれば、人に生まれ変わります。緊張しなくていいですよ。修行した人しか豹に生まれ変われないから。豹は強い動物だから、覇王の地位ですよ。（十数日後、上のリスナーから電話がありました。）

問：盧台長、この前、祖母は豹に生まれ変わるから、21日間早くお経を読みなさいとおっしゃいましたが、私はまた2枚読みました。今はどうなっていますか。

答：おめでとう。おばあさんは天国に行きましたよ。まじめに5枚の小房子を読めば、必ず天上へ行きますね。豹よりずっといいですよ。あなたを守ってくれますし。（ありがとうございました。）

問：盧台長、西洋人の友達二人を看ていただけますか。もう亡くなりました。

答：中国語の名前がありますか。（いいえ、ありません。）生年月日、命日と干支は知っていますか。（知っています。準備しておきました。）では、英語の名前を教えてください。（ありがとうございます。まず、若いほうから。男、1981年生まれ、名前はAMEREN SHEMONです。自殺でした。感情的なことかな。）あっ、地獄にいますよ。苦しんでいますよ。これは孤独な魂ですね。人間に生まれ変わらせたいなら、「餓鬼道、畜生道、阿修羅道」から「人間道」へと、十数枚小房子を読まなければなりません。そして、済度する途中、あなた自身の体も弱められますから気をつけてね。（分かりました。気をつけます。二人目はお年寄りです。さきほどの青年の母方のおじいさんです。五年前に亡くなりました。およそ二年前、突然夢を見ました、おなかがすいたと言っていました。番組をずっと聴いていましたので、もしかして、お経を読んでほしいのかな、とふと思いました。だから、済度のための紙を3枚読みました。今、どこにいるの

でしょうか。）あっ、お名前は？（あっ、忘れるところでした。電話がつながったので本当に感激です。名前はBROWN、××年生まれ。）分かりました。この人は自分から飛び出して私の頭に入りましたね：背が高くて、頭も大きい、金髪で、おとなしそうな笑顔。このように自分から姿を現わす人は、だいたい電話をする人と縁の深い人です。生きていた時、いろいろ助けてくれて、仲のいい人だったでしょう。前世は中国人かもしれません。今は天上へ上って、天上にいますよ。（まだ、済度する必要がありますか。）必要がないです。冬至、清明、中元三つの節気と命日にお経を読んであげればいいです。

問：19××年生まれ、男、犬年の人を看ていただきたいです。2週間前に亡くなったばかりで、今日で12日目です。西洋人で、名前はJOHN DORRIN。今はどこにいるのでしょうか。

答：資料はよく揃っていますね。トーテムを看るのに便利です。とても強いオーラを感じます。生きていた時は仕事人間で、人脈もよかったです。一生でたくさん善い行いをしました。仏教信者ではなく、キリスト教の信者かもしれません（キリスト教はよくないですか。）いやいや。信仰心があればいいです。今はあの世にいます。亡くなったばかりなので、まだ裁かれていないです。早く済度しなければなりません。少なくとも4枚の小黄紙を読まなければなりません。罪業が多いからですね。七七四十九日の「中陰」の前に済度を済ませなければなりません。そうすれば天上へ送ることができます。

問：亡くなった西洋人のお友達を看ていただきたいですが。名前はFRANK WILLAM、××年××月××日生まれです。今どこにいるのでしょうか。

答：外国人が亡くなった時、中国人より多くて詳しい資料を提供してくれていますね。特に名前のスペリングと生年月日がはっきりしていれば、トーテムが看やすいです。資料は揃っていますね。ちょっと待って下さい。天上へ行って調べてきます。（その時の電話は、いつもより空白の時間が長かったです）えっ、おかしいな。これは初めて看ましたよ。別の

天上へ行ったみたいですね。ほかの宗教を信じていますか。（はい。キリスト教です）なるほど。

（**良宵注**：以下の問答を省略させていただきます。本例で最も肝要な所は、盧台長が「別の天上」と言ったことです。そして、「仏教ではなく、キリスト教を信じています」と、リスナーに証明されました。これは以前の三冊で聞いたことがないことなので、ここで特別に記録しておきました。盧台長やリスナーのみなさん、読者、更に後の世代の人たちの研究に役に立てるように。さて、宗教が違うと、天界も違うのでしょうか。

問：西洋人の友達の家の風水を看ていただきたいです。鼠年で××年生まれです。

答：はい。看えましたよ。家には霊のあるものが看えましたよ。おばあさんです。（すると、電話の向こうから抑えきれないようなクスクス笑う声が聞こえてきました。大声で笑い出してはいないですが。）では、イメージを伝えますね：短い四角い顔、ほおが高い（この時、笑い声が大きくなりました。リスナーがこう言いました：本当ですよ。先日、奥様は洋服箪笥を買ってきました。家に入れたら、ドアの木目はどう見てもおばあさんの顔に見えたのよ。）どうですか。今回は納得したでしょう。何を笑っているのか、と思いましたが、なるほど、私が看たのと同じですね：おばあさん。では、早く済度して下さいよ。

（**良宵注**：以上いくつかの例は西洋人に関するものです。同じ時間帯の番組の中のものではないですが、特別にまとめて書き込みました。盧台長の番組は西洋人にも通用することを際立たせて証明できます。昔はよく「洋為中用」（西洋のものを中国の役に立てます）を言いますが、今は更に一歩進んで、「中為洋用」（中国のものを西洋の役に立てます）と言って、民族の誇りを高め、中国の伝統文化はオーストラリアで光りを放ち、広められることを誇りに思っています！今、盧台長の玄芸総述の番組のリスナーのほとんどが大陸出身で標準語を話す華人です。これからはより多くの広東語を話す東南アジアや香港の華人移民、そして、より

多くの西洋人たちにも積極的に広めなければなりません。もし条件があれば、盧台長に通訳を頼んで一緒に番組をやっていただきたいですね。）

問：私の友達は観音菩薩の絵をたくさん描きました。一部下書きもあります。私はやたらに描いたらだめよ、と注意したら、怖くなったと。この下書きはどうすればいいのか、聞いてほしいと言われました。

答：おっしゃる通りです。神様や仙人、菩薩、幽霊や妖怪、妖精などをやたらに塗りつぶしたり、描いたり、捨てたりしてはいけません。でなければ、いつ災いを招いたのか、自分でも分からなくなります。これらの下書きは捨ててはいけません。紙に包んで、お寺へ持って行って処分してもらうように頼んで下さい。

問：私の胸を看ていただきたいです。ずっと痛いですが、何の病気か検査でも分からないです。

答：分かりました。胸を集中的に看ますね。（三、四秒後、盧台長が突然大きな声で質問しました：）以前、鼠を殺した事がありますか。（あったかも。）それなら納得です。胸には白いのが一匹、黒いのが二匹います。一匹には往生呪49回を読んで下さい。読む前に必ず「大慈大悲の観音菩薩にお願い、胸の鼠を追い払って下さい」と言って下さい。（胸のこちら側が痛くなったり、あちら側が痛くなったりします。痛みの場所は動くようです）、それはそうですよ。鼠だから走りまわりますよ。この三匹の鼠はかなりいっぱい詰まっている感じなので、同時に薬を飲んだほうがいいですよ。今、観音菩薩のお守りを願っています。大慈大悲の菩薩が千手千眼のパワーで救ってくれているのです。

問：××年で鶏、男性。体がよくないですが、治療に行くのを怖がっています。体の状況はどうなっていますか。

答：癌です。（**良宵注**：これを聞いて私はびっくりしました。なぜ即座に癌だと言うのでしょうか。「談癌色変」（癌と言えば怖くて顔色が変わる）という言葉を知らないのですかと。しかし、意外なことに、リスナーがす

ぐこう言いました：よく当たりましたね。彼は盧台長のこの番組でお盆の間は要注意、と聞いたので、治療に行くのを怖がっています。）大丈夫です。病気は治療したほうがいいですよ。玄学の角度で言えば、彼に毎日消災吉祥神呪を108回、それに毎日薬師灌頂真言を12回読ませて下さい。それから放生して、もちろん、毎日大悲呪3回も欠かせません。一生懸命、敬虔な気持ちで、苦しいほど求めることによって、はじめて効果が出るのです。08年09月11日**問**：家の風水を看ていただけますか。主人は××年生まれの×です。

答：玄関から入って右の突き当たりのところによくないものがあります。（子供の部屋です）カーテンは黒い色ですか。（いいえ、肌色です）絵とかありますか（ないです。子供が喜ぶと思って切り紙を貼りました）やっぱり。網状のものは、霊のあるものを引き寄せやすいです（人物や動物ではなく、花びらや葉っぱだけですが）網状のものは絶対よくないですよ。たくさんのリスナーからこんな電話がありました。お経を読んだ後に三角形や方形、丸い形のものが見えてくると。きらきらと光りながら、あっちこっち揺れ動いているというのです。これは何かというと、まだ形ができていない霊ですよ。このリスナーたちが、まだ功力が足りないから、もっとお経を読んで修行を続ければ、私盧台長と同じように、形ができた霊が看えるようになりますよ。お家の網状の切り紙には、すでに霊のあるものが付着しています。まずお経を読んで、そこを離れてもらい、それから切り紙をはずして下さい（はい、分かりました）。ここでリスナーのみなさんにもお伝えしますが、普段から網状で魚網のようなスカーフやストールなどは使わないで下さい。お洋服は銀色のきらきらとしたものを着ないで下さい。また、子供も銀色のおもちゃで遊ばせないで下さい。われわれが見た霊のあるものはみんな銀色で発光するもので、別の世界のものだからです。

（**良宵注**：本「問」前の数字は質問した年月日です。ここで記録した主な事実は当時と一致していることを意味します。これを参考として記録し、今後、玄学研究者に検索に活用していただければ、と思っています。

問：私は中古住宅を買いました。前の持ち主はどういう人なのか分かりません。この家の風水を看ていただけますでしょうか。

答：お家にはチベット仏教を祭っていますか。（いいえ。）うん。それなら前の持ち主が画像を掛けたり、チベット仏教を信じたり、または人がなくなったりしていたからですね。とにかくチベット仏教のような神様がお家にいるのが看えました。（どうしたらいいですか。）丁寧に離れてもらいましょう。大悲呪を読まないで、心経だけでいいです。毎日7回。毎日「礼仏大懺悔文」を3回読むことです。（分かりました。それから、隣の家が家を建てています。何か影響がありますか）もちろんです。家を壊し、工事をすれば、その家の、または地下にいた魂はみんなお家へ入り込みますね。毎日の暦に書かれている「してもいい事、してはよくない事」の中には、「不宜動土、不宜建房」（工事をやるべからず、家を建てるべからず）というのは、こういう意味です。（人が家を建てるのは阻止できないですが、ほかに方法がありませんか。）自分の家のベランダや庭にアンテナを立てればいいです。（隣の家より高く、ですか）大丈夫です。室外の空所に立てればいいです。

問：私は自分のために読むと体が楽ですが、人のために読むと疲れます。病気にもなりました。どうしてですか。

答：簡単ですね。自分のために読むのは、功力を強め、錦の上に更に花を添えるような感じですから、当然楽です。人のために読むのは、罪業を取り消し、雪中に炭を送るような感じだから、当然疲れますよ。そして、それらの霊性たちはあなたの体に棲みつくから気をつけて下さいね。

問：母は国内にいます。××年生まれで、×年。病気してずいぶん日が経ちました。体の様子を看ていただけますか。

答：あっ、よくないですね。大きな目をして、私を睨んでいて、手には刀と刺又を持っているものが看えました。これは魂を奪う化け物です。お母さんが地下へ歩いていることを意味します。お母さんに早く自分でお経を読むように伝えて下さい。（信じてくれないです。私も以前信じなかっ

たですが、盧台長の番組を聴いて、こんなにたくさんのリスナーがいること知って、こんなにたくさんの実例があったから信じるようになりました。）それなら、仕方がないですね。あなたもお母さんを救えないからです。（最大の努力をしますよ。早く母と連絡しなくちゃ。ではこれで。）分かりました。なるべく遠回しな言い方でやんわりと、お経を読むように説得して下さいね。

問：私の友達が、お墓や葬儀場、追悼式、重病室から出た時は、直接家に帰ってはいけないと言っています。ある時、その人が火葬場へ行った後、家に帰らないで、私の家に寄ったのです。どうすればいいですか。

答：彼の言う通りですが、しかし、このお友達はとても礼儀知らずの人ですね。家に帰ってはいけないと知りながら、お宅へ行くなんて。どうしたらいいでしょうか。おそらく彼も知らないですが、まず、デパートやスーパー、百貨店など、にぎやかな所へ行くべきです。そこは人の気配が盛んで、オーラが流動的だから、体にある邪気を払い落とせます。

問：盧台長、この前、家には二つの魂があるとおっしゃいましたが、もう行ってしまったかどうかをずっと電話で聞きたかったのですが、なかなか通じませんでした。それで小房子を読み続けました、今はもう十数枚です。今日やっと通じましたね。早く看ていただけますか。

答：よくやりましたね。お経を求める人への小房子は、多めに読めばいい事があっても悪いことはひとつもありませんよ。でも、お体に気をつけて下さいね。この家の持ち主ですか。（そうです）。では、トーテムを看てみますね。ええ、申し訳ないですが、まだ離れていないですよ（えっ？もう十何枚読んだのですよ。）焦らないで下さいね。率直に言っていますから。二つの魂の様子を伝えますよ。西安の兵馬俑のような感じで、古代の服を着ています。だぶん、亡くなったおじいさんは前世では役人か兵隊でしたね。役人なら一言で人に罪を言い渡せるから。兵士なら手を動かせば人の命が奪えますから。だから、この二つの魂は罪業が深く、なかなか簡単に済度できません。二番目の原因は、この二つの魂はお家

の先祖と深い縁があって、あなたの功力では、離れてもらえないかもしれません。三番目の原因として、お経を読む方法が間違っていませんか。十数枚読んでも効果がないなんて。方法には何か問題がありますかね。（ないですよ。おっしゃった通りにやっていますよ。）では、あと二、三枚読めばそれでいいです。ひとつ例を言いますが、リスナーのみなさんにも知っていただきたいです。先日、あるリスナーが私に聞きました。夢の中で一千人も一万人もの老若男女が、自分の名前を書いてある紙を持って、お経を求めに来たというのです。お経を読む時、何か言ったのか、と聞いたら、「大慈大悲の観音菩薩のお守りをお願いします。今から歴代のわだかまりと借りのある人たちに済度のお経を読みます。」と言ったそうです。このリスナーの方はせっかちですね。一人の功力に限度があるのに、はどうして歴代の魂が済度できるのでしょうか。分かりましたか。（分かりました。私は「ゆっくり返済します」と言っています。あの二つの魂の名前が分からないから、要経者と言ってもいいですか。二つの魂はどのようにお経を分けるのですか。）心配は要らないです。霊界で自分たちで分けます。とてもきちんとしていますよ。

問：私は××年の牛、健康と家の風水を看ていただけますか。

答：この牛は駱駝のように看えますね。砂漠の中を歩いていますが、早く歩けないです。つまり、前途は苦労が多いです。草がない、水も不足しています。（普段あまり水飲まないです）家には金魚も飼っていますね（金魚を飼っています。次は風水を聞きたいですが。）この家の持ち主ですか。（はい。主人もいます。干支と生年月日がいりますか。）一人分あれば大丈夫です。お家の風水はいいですね。玄関から入ってまっすぐ歩いて突き当たり、左の下、オーラがよくないですね。そこには何かありますか。（入って、まっすぐ、突き当たり。リビングです。何もないですよ、）靴箱やマットはありますか。（ないです。）壁には人物像がありますか。（ないです。リビングにはコーヒーテーブルがあって、電話機がおいてあります。ほかは何もないです。）うん、コーヒーテーブル、大丈夫です。では、壁の外側は？（外壁？何もないですよ。レンガの壁ですよ。

あっ、盧台長、そうだ、そうだ、リビングの壁には額縁があって、鶴です。）そうでしょう。こんなにきれいな所になぜ黒い気が看えるのかと思いましたよ。この鶴の額縁をはずして、布か紙で包んで、横に置いて往生呪と心経を読んで飛んで行かせて下さい。これで大丈夫です。（鶴はいいものではないのですか。）場所がよくないか、この鶴はお家にいたくないようです。あんな所に閉じ込められ、楽しくないでしょう。或いは、この鶴は由来が不明で、霊が付着しているとか。でなければ私には看えないはずです。（はい。盧台長、本当にすごいですね。）私は黒い気しか看えなくて、具体的な物が看えません。鶴と言ったから、ぴったりです。私も嬉しいです。（では、家の金魚の水槽は位置がいいかどうか、看ていただけますか。）質問の時間が長すぎますね。ほかのリスナーに文句を言われますよ。でも、今日は気分がいいから、オーラを強く感じます。では、もう少し看てあげましょうか。位置には問題がないですが、下の机は古すぎる、ぼろぼろ、でしょう。（そうです。古いです。）見抜いたでしょう。けちけちしないで下さいよ。それから、机の色は黒い色でしょう。（そうです。そうです。）では以上です。（ありがとう、ありがとう。）

（**良宵注**：この番組を聴いた時、ずっと盧台長のことを心配していました。盧台長は黒い気を看ましたが、このリスナーの方、しきりに「ありません」と答え、最後にやっと鶴を思い出して、盧台長のトーテムと結びつきました。そして、最後に盧台長が「遥看」（遥か遠い所から看る）で金魚の水槽の机が古くて、黒い漆が塗ってあることも看えました。盧台長がでたらめを言っていると思いますか。

問：家の霊は行ってしまったかどうか看ていただきたいですが。もう8枚読みました。

答：まだのようですね。お家のオーラの外ですが、まだつながっている感じです。お家は集合住宅ですか、一戸建てですか。霊はこの土地の持ち主のようです。たくさんのお経を読んだから感謝している、だからお家から離れましたが、まだ建物で階段にいます。（お経を読む必要があります

か。）また読むと、隣の人を助けることになります。2枚読んでみたら？覚えておいてほしいのですが、あなたの名前の要経者と書かないで下さい。あなたにとってはよくないから。「敬贈这个大楼的门牌号码的要经者」と書いて下さい。

問：年配の方で×××を看ていただきたいです。私は6枚読みました。

答：まだ離れていないですよ。（本当ですか。）もう一、二枚読んで下さい。この方は生前、タニシが好きだったでしょう。（そうです。どうしたの？）あらあら、体じゅう、タニシがついています。このタニシたちを早く済度して下さい。今日は往生呪を27回読んで下さい。三ヶ月続けて下さい。はい、以上です。もうこれ以上看たくないです。ちょっと気持ち悪いです。

（**良宵注**：本例は本冊の前に出た猫の肉を食べる例と完全に一致しています。もう一度読み返して下さい。）

08年09月12日

問：ずっと番組を聴いている者です。私の顔にある黄斑を看ていただきたいですが。もう四、五年になります。どういうことでしょうか。私は××年の猪です。

答：熱いものが好きでしょう。（そうです。熱いものでもすぐ食べられますよ。）この習慣を直して下さいね。それから、睡眠もよくないでしょう。（そうそう。ずっと寝つきが悪いです。）この猪の寝相が看えました。前の足と後ろの足は突っ張って、ぎこちないです。ほかの猪はみんな地面に全身横たわっているのが看えます。だから、あなたは寝つきが悪いですね。（当たっていますね。）この二つの癖を直せば、黄斑が直りますよ。

（**良宵注**：この例では盧台長がまた漢方のお医者さんになって、遠い距離から相手の熱症と寝相の悪さを看ました。それこそが病歴五年の黄斑の原因です。）

第四冊最後の一問：上海生まれの男の子、×年、今はフィリピンで英語を勉

強しています。彼のトーテムを看ていただきたいです。まだ彼女がいませんが、健康と前途はいかがでしょうか。

答：はい。一つ一つ言いますね。まず、トーテムではおとなしい感じです。二番目は前世では修行していたこと。仏と縁がありますね。三番目には憎悪心があります。（憎悪心って、何ですか。）つまり、以前騙された経験があります。誰かが彼を騙したから周囲の人を警戒しています。これは憎悪心です。四番目には、体はまあまあです。小さな病気があります。頸椎や首、例えば寝違えとか。五番目には、フィリピンへ行ってから仏にお参りしたことがあります。（これはいいこと？悪いこと？やめさせたほうがいいですか。）いやいや。とてもいいことです！この仏像は坐像です。この子は仏と縁が深いですね。とてもいいことです。六番目には、「準提神呪」を108回読むことです。一日で読み終わらなくてもいいです。そのお経は彼女探しのためのものです。誠実な人で、仏を信じている人にとっては、求めるものがやってくるのです。体が悪く、短命を心配しているなら、寿命を延ばすことができます。（このお経は東方台にありますか。ラジオで初めて聞きましたが。）ありますよ。十小呪の中にあります。これは最近菩薩様にご報告に行ったら、みなさんに分けて下さいと言われました。とても効果が高いです。読む前に小さい声でこう言います：「大慈大悲、苦難を救う観音菩薩のお守りをお願いします。フィリピンで平安で健康で学業優秀で、彼女もできますように」と、言ってからお経を読むことです。途中でノックされたり、電話が掛かってきたりして、お経を中断する前に、まず「嗡来姆索珂」と言って、用事を済ましてから続きを読みます。読み終わったら心には何か感じるはずです。（彼の体には何か霊がありますか。）ないです。一日「心経」を3回読んで、知恵を開くとなおいいですね。

（**良宵注：**上は友達の息子さんに代わって質問したものです。質問する前にペンと紙を用意し、電話番号時間計測微調プッシュボタン方法で二回かけてみたらつながりました。それから質問をしながらメモをし、いくつかの要点にまとめ、書き記しました。そして電話で彼の上海にいるお母さんに一つ一つ伝えましたから、内容の真実性はだいたい90％ぐら

いです。そして、フィリピンにいる息子さんの情報もフィード・バックしてほしいとお願いしました。）

（一週間後、お母さんは電話でこういうことを伝えてくれました：）息子さんの首はなんともないですが、咽頭炎を発症したそうです。この点は盧台長が言った部位に似ています。現代的な科学技術の「視頻」（ビデオ）と比べても全く劣りません。ましてや、盧台長は何も使わず、ただ目を閉じて、頭を後ろに伸ばすと「看」えたのです。そのお母さんはこんなことも言いました。息子さんが上海で大学へ行った時のこと。ある日、大学から出て来たら、十代の子供たちにつきまとわれ、お金をくれと言われました。息子は「ない」と言って離れようとしたら、子供たちは一斉に立ち上って、息子さんを殴りました。めがねも壊れ、地面に落ちました。鼻も血だらけの息子さんは殴られて完全に倒れました。子供たちはわっと騒いで一目散に逃げました。病院に運ばれましたが、鼻の骨は骨折し、顔は七針を縫うはめになって、四ヶ月経ってやっと治りました。この事は息子さんの心に深い烙印を残しました。今度あいつらに会ったら警察に通報するぞ、とお母さんに何回も言ったそうです。この点は盧台長が言う「憎悪心がある」と一致しています。怒ってもいないのに、何も乱暴な行動も伴っていないのに、ただ自分の返事の言葉のために、身長が188センチの若者が自分よりずっと低い子供たちに殴られるなんて！（早くも一週間が過ぎました。フィリピンにいる息子さんからメールが届きました。）「トーテム大師に電話してくれてありがとうございました。何年かけても電話が通じない人がたくさんいると聞いて、ご縁があるね、と思いました。トーテム大師のおっしゃる通りにやっています。ネットで「準提神呪」をダウンロードしました。短いので、その日に108回読みました。107回の時、誰かがノックしているのを聞こえましたが、止めないで108回読み終えました。たったの数秒なので、すぐドアを開けに行ったら誰もいなくて、周りを見ても誰もいなかったです。その時はちょっと怖かったです。誰がノックしていたのだろう、不思議です。それに、トーテム大師は私が仏にお参りした話をされましたが、これがすごく当たりました。クラスメートのお母さんの誕生日の時のこと

です。そのお母さんは仏教信者ですが、フィリピンはカトリック教が主流の国なので、仏教の寺院はとても少ないです。クラスメートがいろいろ探した結果、やっと見つかりました。一緒に仏様を拝んで、お家へ行って誕生日祝いをしました。しかし、どの仏像を拝んだのか、座っているのか、立っているのか分からないです。でも、フィリピンで拝んだことがあると、きっぱりと言えるのがとても不思議で、とても奇妙なことだと思いました。××　敬具」

（**良宵注：**リスナーのみなさん、読者のみなさん、上の長い話を読んで飽きないことを願っています。これは本人直々からのフィード・バックの情報ですから。盧台長のトーテムの答えとぴったりなので、本当に興味深くて奥深いです。もし、盧台長が中国大陸で拝んだと言うなら、当たっても珍しくないです。中国では拝みに行く人はたくさんいますから。フィリピンで拝んだと言ったので、偶然に当たったのではないし、そんなでたらめを言う必要もありません。本当にトーテムからの情報だと明らかになりました。しかし、次は、残念な知らせがあります。数日後、そのお母さんからメールが来ました：良宵さん、申し訳ないですが、毎日息子のために大悲呪と心経を読むつもりでしたが、私はキリスト教の信者です。最近体調がよくないです。それは神様が私の浮気心を処罰しているのだと思います。ですから、お経を読むのをやめることにしました。息子は自身の縁に任せることにします。）

附文一：東方台新番組「玄学問答」多彩フラッシュ

前書き：盧台長の「玄芸総述」番組は連続九年間の人気ぶりです。もっと時間を増やしてほしいとリスナーの皆さんは願っていますが、この番組は盧台長の「気」を使うので、とても体に負担かかります。実際のところ、すでに盧台長は体を痛めています。しかし、盧台長がみなさんの強いご要望に応えようと、新しい番組をスタートさせました、それは「玄学問答」です。気でトーテムを看るのではなく、よく見る玄学の問題に回答する番組です。例えば、「実際の夢の解析、仏教や経典の解釈、風水原理など。その場で質問し、

ストレートに答え、実際の問題を解決するものです。この番組は毎週一時間、大変な人気ぶりです。リスナーの皆さんに資料として長く保存してもらうために、特別に実録しています。そして、紙面の節約のための、一問一答の形をとらず、種類別に分類してあります。括弧の中はリスナーの話、括弧の外は盧台長の回答と話しの延伸と解釈です。

夢の中の亡霊とあの世、霊界についての解説

亡くなった身内や友達の夢を見たら、お経を求められているという意味です。すぐ済度しなければなりません。夜中にこのような夢で目が覚めたら、まず一回大悲呪を読むと、気持ちが落ち着きます。寝直して、翌日に済度をすればいいのです。夢で幽霊や妖怪など、怖い顔をしているものを見たら、それは妄想ではなく、あなたの魂はあの世の霊界に入った、あなたの陰の気が強い、病気かもしれない、という意味です。或いは、うまく修行ができて、陰陽の交流ができるようになったとも言えます。それならばいい事です。（夢の中で誰かに首を絞められ、息ができない。目が覚めていることだけが分かる場合）まず、いくつかの要素を確認すること：寝る時、手は胸の所に置いているかどうか。布団が重いかどうか、心臓や肺には疾患があるかどうか。これらがみんな問題ないなら、霊界の幽霊や妖怪の仕業です。これは重大な問題です。亡霊を指す時には、「要経者、体にある霊、よくないもの」という言い方をして下さい。「邪霊、幽霊、鬼」などの貶義語を使わないで下さい。気分を害しすると、あなたにいたずらしますから。（本当の夢とうその夢はどう区別しますか。）本当の夢は朝四時から八時の間に見た夢です。これはあの世とこの世の境目の時間帯です。あの世の情報がこの世に伝わってきます。ちょうど勤務の交替のようです。ですから本当の夢です。二番目の条件は、夢から覚めても夢ではないような感じで、印象が深くて、自分が経験したような感じのものです。これが本当の夢です。

仏理と菩薩の解説

（菩薩を掛け時計の隣または下に置いていいですか。）よくないです。掛け時計はあまりよくないものです。（西方の極楽のお経を集中的に読んでもいいですか。亡くなる時、直接に極楽の世界へ行けますか。）これらのお経も適宜に増やせばいいです。しかし、まず、自分や前世の借りを返済しなければなりません。観音菩薩が紹介してくれたお経、すなわち「小房子」をしっかり読んで、この世で借りたものを返済すること。でなければ、「帯業往生」（罪業を持って往生する）ことになります。もちろん、きれいな身で債務なしで天上へ行ったほうがいいですね。（お釈迦様と観音菩薩はどちらが上ですか。）このような言い方をしないで下さい。差別する気持ちを持たないで下さい。お釈迦様は仏教の祖で、観音様は人間のこの世のすべてを管理しています。共に最高の仏様です。一緒に祭ってもいいし、一つだけでもいいです。（家の仏様は小さいです。買って来た花や果物はみんな大きいです。大丈夫ですか。）大丈夫です。仏は大きさではないです。誠心誠意であれば大丈夫です。

放生、済度についての解説

（先人を天上へ済度させたら、どのようにすれば、六道輪廻せず、落ちてこないようにすることできますか。）これは大きなテーマですが、できます。今後ゆっくりお伝えします。そして、どのように自分で自分にお経を読むかも教えます。すると、亡くなる時、念を押して、子供たちや後輩に済度を頼まなくてもいいです。素晴らしいでしょう。子孫も当てにならないですよ。（色のきれいな金魚を買って放生してもいいですか。）魚のほうがいいですね。金魚は飼うためのもの。食用魚は殺される運命ですから、放生の意義が大きいです。ある幸せなリスナーがいます。子供たちはみんな我先にお金を出して、お母さんのために放生します。一回はなんと何キロの蝦を放生します。素晴らしいことですね。絶対に長生きしますよ。（百歳以上の年寄りに済度してもむだだと聞いていますが、そうですか。）そんなことないですよ。人

間にはいくつもの前世があって、少なくとも何百年ありますよ。百歳って、たいしたことないですよ。例を出しますが、あるリスナーが嬉しそうに会いに来ました。お父さんは亡くなって30年経ちました。今は百歳以上のはず。30年来、一度もお父さんの夢を見たことがないそうですが、番組を聴いてから済度のお経を読み始めました。すると、お父さんが夢の中で現れました。何も言わなかったですが、ぼろぼろの白い服を着ていました。それは「鬼道」にいたからです。このリスナーは香港でもお父さんの占いをしてもらいましたが、やはり地獄にいると言われました。その後、五枚済度したら、また父の夢を見ました。今度はきれいに着飾っていて、天上にいます。「俺にも今日という日があるのか」とお父さんは言ったそうです。そして、お父さんの隣の亡霊はなぜ俺を済度してくれる人がいないだろうか、と言ったそうです。（放生には日を選ぶ必要がありますか。）必要ないです。誰かの誕生日に誰かのために放生する、これがいいですね。それから、お正月一日、十五日には、菩薩が迎えてくれる可能性が高いです。ついでにご紹介しますが、リスナーの方はとてもいい場所を教えてくれました。フェミントンの鮮魚市場で買って、その近くのホームブッシュ湾には静かな淡水湖があって、放生にはとてもいい場所だそうです。

住宅風水についての解説

（家の壁にはずっと亡くなった身内の写真を飾っています。なぜよくないですか。）玄学の角度から言うと、亡くなった身内はあの世の魂ですから、どうしてこの世の人と同じ部屋にいられますか。あの世の魂と隣り合わせと、生きている人は落ち着かなくなるし、病気になりやすいです。（使い勝手がいいから、家の包丁はずっと外に置いていますが、よくないですか。）とてもよくないですね。包丁は殺生のために使うもので、不吉なものです。人々はいつも「寒々とした光を放つ」と形容します。陰気が強いことが言えます。きれいに洗わず、血の生臭い匂いでもしたら最悪です。蠅とか虫を引き寄せます。血の生臭い匂いが好きなものはほかに何がありますか。あの世の魂ですよ。だから、使ったらきれいに洗って引き出しの中に入れて下さいね。

附文二：第四冊を書き終えての感想

この「一命二運三風水、八年間五百問実録」の冊子は、大量の実例を記録し、盧台長の「玄芸総述」は少しも「玄」ではない、「遥看トーテム」は少しも「虚」ではないことを証明しています。私にはこんな予感があります。近い将来、盧台長の功能について投資し、それを研究整理する機関または実力ある人物が現れてくると思います。ここで、みなさんも心の準備をし、盧台長のために、自分のために、更に子孫たちのために、貴重な資料を残すように準備しましょう。

1．リスナーのみなさんにお願いですが、事前に録音機を準備し、電話が通じたら録音機をオンにして、会話を録音します。時間と年月日、お名前と住所をつけて、大切に保管しておいて、研究者に提供できるように準備しておきます。録音機がなければ、電話が終わった後、会話の年月日と名前を忘れないで下さい。
2．盧台長がこれだけたくさんの時間を使ってお話をして下さり、何と言ってもとてもよく当たることです。リスナーのみなさんにとっても意義深いものです。ですから心から盧台長を助けるべきです：空白のCDやコピー用紙、百人がお経を読むCDを買って、盧台長に使っていただきましょう。それからラジオを一、二台買って友達に貸して聞いてもらう。効果がよければ買ってもらう。技術のある人にはCDのダビングをしてもらう。それから、東方台に宣伝の品物を配ってもらう、庭のある方は集団でお経を読む場所を提供してもらうなど。みんなで一緒に広めれば、もっといい社会的効果が出ます。
3．東方台は早く「玄芸」番組の資料室を作るべきです。毎回番組の一回目の時間を記録し、元の資料として、トーテムの中の玄学を堂々と実証科学の殿堂に入れてもらいましょう。名誉のためでもなく、利益のためでもなく、子孫のためです。そして、整理、精選して音声資料に仕上げて、ダビングして、以前この番組を聴いたことのない方に提供します。先送りすると、膨大な量になるので、手がつけられなくなります。

4．この冊子を読んだが、まだ東方台の専用線ラジオを購入されていない読者の方は、こんなことは「不可能よ」「信じないわ」「本当かな」と疑わず、一台購入することをお勧めします。値段も高くないから。88豪ドルで何年も聞けますよ。自分で質問してもいいですし、ほかのリスナーの方の質問を聞くこともできますので、ヒントを得られ、大変ためになります。

5．盧台長のこの番組では、すでにたくさんの専門用語が出てきました。例えば、「小房子」「要経者」「身上霊性」など、新しいリスナーの方には初耳です。早く始めないと、入門はもっと難しくなり、一生の遺憾として残ります。それに、それ以外にも素晴らしい番組がいっぱいありますから。

6．盧台長の話には、ほかにも二つの素晴らしい内容がありますが、私はあまり触れませんでしした：前世の描写と亡霊との会話。盧台長以外に、誰も前世が見えないし、誰も亡霊と会話ができないから、盧台長の話は誰も証明できないわけです。リスナーの皆さんにこの部分について、積極的にフィード・バックしていただきたいです。すると、一層すごいことになると思います。

7．ラジオの購入や番組表の請求、または小房子と経文、本書の前の三冊の請求などは、シドニーの電話92832758にかけて、詳しくおたずね下さい。

―― 080918　良宵　第四冊完成時にて

皆様には第五冊を読む前に、是非第四冊を読んだ読者の感想を知ってもらいたいのです。また是非あなたからの感想を聞かせてください。ありがとうございました。

『一命二運三風水』第四冊の読者の感想

1．I got your article, thank you! Its very interesting and trustworthy.

2．第四冊が届きました。ずっと私のことを覚えてくれてありがとうございます。文章全体は第三冊より味があります。フィード・バックの情報があるため、その中の一部始終が分かり、信用度が高いです。最近お体は

いかがですか。健康に気をつけて、無理をし過ぎないようにして下さい。これからも書くものはたくさんありますので、仕事と休みにメリハリをつけるように気をつけて下さいね。

３．四冊の資料、ありがとうございます。お蔭様でたくさんのことが分かるようになりました。資料を読んで以下のアドバイスをします：１．資料の中の実践問題の内容を取り出して、もう一冊「HOW DO 100」の本を作ることです。例えば、１/HOW DO済度　２/HOW　DO放生など。実践を規範化すれば、効果はもっとよくなります。２．年配の方にはお経の意義を解説してもらう。理解すれば実感が出てくるし、しっかり覚えられて、自ら行動に移します。３、仏教を信じてし善いことを行い健康に生きること。これは、この世代のため、また後の世代のためです。世の中すべての民衆のための大事です。時間の推移により、信者はますます増え、質問も要求もますます多くなります。その時には、雑誌を出すことを考えたことがありますか。私は考えがが乱れているようで、何を言っているか分りません。どうぞお許し下さい。

４．thank you so much for calling the Tuteng master for me, and sending my information to my mom! It is very accurate and useful information for me! I really appreciate for your time and effort. I will follow those guidence. Thank you again for your time and effort, and sorry for writing in English.

５．数年前、癌を患いました。その前に盧台長に看てもらって分ったのです。早い段階で手術を受けて完治しました。シドニーの「更生会」の活動に参加しているので、この四冊の本をたくさんの人に見せました。その中の四人の患者はその場で盧台長に会いに連れて行ってほしいと言いました。一人が肺癌で盧台長が治療できるとおっしゃいました。これからも新しい情報をご報告します。

６．私は『一命二運三風水』の忠実な読者です。今週木曜日に、「玄芸総述」の電話につながりました。でも、私の話を書かないでほしいです（以下省略65文字）、お許し下さい。（返信：実はとてもいい例ですよ。でも、ご意見を尊重します）リスナーの皆さんのために奉仕していることに改

めて深く感謝します。われわれは運がいいです。ご存知のように、オーストラリアでは利己的な中国人もいますが、とてもいい人もいます。万事うまくいくようにお祈りします。

7．盧台長の話を信用します。母はもう天上にいると思い込んでいました。私は母のために更に5セットのお経を読みます。もっと済度する必要があると思います。観自在菩薩が出家の日に母に送ります。それから、夭逝した二人の子供にもお経をあげます。母にはお経を上げたので、五周年の時に写真を片付けたいと思っています。このままではよくないような気がします。

8．劉と申します。マレーシアに住んでいます。第四冊はもうできたと姉から聞きました。郵送していただけるかどうかお聞きしたいです。可能であれば、第四冊を送っていただき、こちらで印刷します。三ヶ月前、姉はシドニーから尋ねてきた時、盧台長のご功徳、貢献の情報を持ってきました。良宵先生が整理された訪問録、第一、第二冊、大悲呪、心経、十小呪などをコピーしてくれました。数人の姉妹たちとおばが姉の解説と影響の下で、自修を始めました。おばはもともと長年自修の経験はありますが、こんなに簡単な方法があるのは知らなかったのです。「小房子」の済度の方法で長年の疑問と遺憾な気持ちを解消してくれました。（小房子はまだ燃やしていないうちに、きれいな衣装を着て笑顔で別れに来る子供の夢を見たそうです）それから、曾祖父、祖母など、だいぶ前に亡くなった何人かの親戚も夢に現れてお経を求めました。しかし、おばはその意味が分からなく、「彼ら」を無視して、睡眠の邪魔をしないでほしいと言いました。その結果、お孫さんが真夜中に大声で泣き出して、一週間も続きました。姉はこれを知って、早く「彼ら」のために小房子を読んで済度させるように、とアドバイスしました。おばはすぐ悟って、「彼らに」悪かった、許して、と心の中で言いました。まだ小房子を読んでいないその夜、子供は何事もなくおとなしくなりました。（もちろん、何日後、読み終わって、教えに従って済度させました）あれから、ほかの姉妹たちもできるようになって、自修はわれわれの生活の一部となりました。ここ地元では、このような事は、いわゆる仏門のお坊さん

や偉い人にお願いして災難を払ってもらうしか方法がないです。時間とお金がかかります。もっぱら布施をもらうところもあれば、済度法事の費用は非常に高いところもあります。今、盧台長のご指導のおかげで、われわれは自主修行で自分を高め、自分で済度し、そして助け合うことができます。それにしてもまだ勉強中です。良宵先生の多大なるご支援ご協力をお願いします。

9．私も修行をしている者ですから、亡霊と会話するのが非常に功力を損なうことをよく知っています。大勢の大師レベルの人物もたまにしかやらないです。しかし、盧台長が大量の時間の中でリスナーのご要望に応え、リスナーの気になる亡霊と会話することは、確実に衆生をあまねく済度しているという行為です。本当に素晴らしいと思います。

10. 小房子は本当にすごいですね。私は家のすべての身内を済度しました。残りが一人の兄だけになった時でした。すると、その夜、夢ではこの兄がお経を求めに来ました。翌日、待つことなく、すぐ兄を済度しました。

第 五 冊

第五冊の説明　　良宵

１．”玄学総合論述”と”玄学問答”の番組は今毎日夜10時から11時に再放送され、繰り返して聞けるため、単に記録の意味が少なく、本冊から主に解説します。

２．一部の質問は日付を明記し、東方電台（ラジオ局）のテープ録音を確認するときに参考にでき、また電話をした聴衆のプロファイルとして使えます。日付を明記していないものは数名の共通問題をまとめています。盧台長の数回の回答の内容をまとめることで、この本の実用性を図ります。

３．この本の第1冊から第5冊までは内容は順を追って進められているので、初めての読者は第5冊だけを読んでもあまりよく理解できないでしょう。できれば東方電台（ラジオ局）に連絡して、第１冊～第4冊（無料）をもらって、順に読んでください。

４．特に本に書かれた該当の方からのフィードバックを待っております。改訂する時に補います。盧台長の超能力、それに聴衆の実際の反響で雪だるま式の効果を期待しています。

問１：2008年9月26日　金曜日　　盧台長、私は一ヶ月前に盧台長に電話して、姉の夫はどこにいるかを尋ねました。台長がトーテムをみたら、冥府にいると教えてもらいました。その後私は上海にいる姉に電話をして、もし彼女が夫に関してそのような夢をみたら、すぐ私に教えてとお願いしました。その3日後もう電話がありました。姉は二日目の夜に、夫が自分に会いにきた夢をみました。夫はぼろぼろの服を着ており、今の生活が苦しいと言いました。一ヶ月前に盧台長がおっしゃった冥府と同じでした。まずこれを報告して、次に他のことを質問します。

答：有難うございます。あなたが自分自身の体験を皆さんに話して、皆さんに信じさせることは、おじいさん、あなたの功徳が計り知れません。（私

の姉の夫は今どうですか？彼は1924年生まれのねずみ年で、名前は江剣君、私はすでに「小房子」を3枚をあげて済度しました。姉の娘にも一枚を読ませて上げました。）おめでとう。もう極楽に行きました。あなたのお姉さんは近いうちによい夢が見られますよ（はい、ありがとうございました。姉からの質問で、むかし3人の子どもを中絶したが、今3人の霊はまだ取り憑いていますか？　私の姉は1931年生まれのひつじ）　あ、まだいます。一度もお経を上げて済度したことはありませんね（はい、姉はまだお経がよく分からないので、私が読んであげますよ）早く済度しましょう。3つの霊は全部取り憑いています。今あなたのお姉さんのトーテムが見えましたので、教えましょう：彼女の一生はあまりよくありません。将来は全身太り、なくなるとき、全身がむくみます。血液の問題もでてきます。血圧や、血液の濃度などです（分かりました。もうひとつ、先週土曜日、私は妻とあなたのラジオ局で、直接あなたにアドバイスをお願いしました。妻は肩といわず、胸といわず全身が痛くて、もう何十年にもなります。台長は妻のトーテムを見て、お経を上げて済度してくださいと教えていただきました）はい、覚えています（家に帰ったら、一日目に一枚の「小房子」を読んであげたら、妻は少しよくなったといいました。二日目に一枚読んだら、また痛みが少なくなりました。三日目に3枚読んだら、妻がもう痛くないと言いました。信じられません。何十年の持病で、レントゲンで特に問題ないし、いろいろ検査をしてもなにも見つからないし、この治療法あの治療法と、数千豪ドルを払っても効果が特にありませんでした。でもたった6枚の「小房子」を読み上げただけで基本的に痛みもなくなりました。なんて素晴らしいことでしょうか！本当にありがとうございます、盧台長）こちらこそありがとう。われわれは観世音菩薩の広大な慈悲に感謝しないといけません。信じない人々が本当にかわいそう、私も彼らのことを考えて本当に焦っています。

（**良宵注**：年から計算すれば、この聴衆はもう七十歳を超えており、話の途中よく間を入れて話していました。だから記録にコンマを多めに入れて、この聴衆の真面目さを反映しました。彼は一字一句、順序よくは

っきりと話し、電話する前によく準備して、一気に台長にたくさんのことを伝えました。非常によい証明を提供してくれたので、第5冊の問１にしました。彼は3人：姉の夫、姉、妻の質問をしました。また電話の時間も長く、明らかに一人につき二人のことしか聞けないルールに違反しました。しかし、盧台長は最初から最後まで彼の話を中断することなく、またほかの聴衆からも早く終らせる催促の電話がありませんでした。皆がこのおじいさんの実話に引き込まれました。特に彼の奥さんは何十年の痛みがたった6枚の「小房子」を読み上げた後、跡形もなく消えました。本当に興味深い。”気病みはやはり気晴らしの薬でないと治らぬ”と言われていますが、盧台長のトーテムの導きで、われわれは“霊には済度師が要る”と言うべきですね。将来科学研究者に更に研究の素材を提供できるように、東方電台（ラジオ局）はこの録音、聴衆の各位はこの記録をよく保管し、当日のすべてのほかの聴衆は傍証してほしい。また今までにまだ信じない人、あるいは半信半疑の人、“先入観”＝“古い考え”を捨て、視野を広め、他人の実体験を認めてほしい。簡単に“気のせい”“ありえない”で片付けないでほしい。また、最近偶然街でこの人に会いました。彼は「一命二运三风水」第3冊の６ページに連続４つ質問をした人であることを教えてもらいました、読者の皆さんは第3冊を読み返せば、改めてもっと深く理解するでしょう。）

2008年9月26日

問：私は隣のクイーンズランドに投機目的で不動産を購入しました。今ローンの返済がきつく、売った方がよいのかレンタルに出した方がよいのかを台長さん見ていただけますか？

答：あなたは家主でしょうか（はい）もう一回干支を教えてください（ｘｘ年生まれｘｘ）。はい、回答はクリアだ、簡単ですね。見えたトーテムは空っぽです。一面明るく、つまり将来ハウスがなくなります。私は気を使って将来を見ました。あなたが家主で、将来現れるトーテムを見ました。売るべきですね（つまりレンタルに出すことは難しいでしょうか）そうです。（盧台長に私は自分の両親を済度したと聞きましたが、天国で

一緒にいますか？）これはやめましょう、私のエネルギーを節約しましょう。一緒にいるかどうか聞かなくてもいいですよ、人間の世界では夫婦になりますが天上に上がれば感情は希薄ですよ。

2008年9月16日

問：私のトーテムを見てほしいですが、ｘｘ年生まれの辰です。

答：ええ、あなたはまだたくさんの海鮮を食べていますか（あなたの番組を聴いて、死んだものだけは食べますが、生きたものはもう食べていません）では、最近生き物を殺したことがありますか（今年鶏を殺しました）そう見えないですね、なぜならトーテムをみたら、小さい動物があなたの足に引っかかってぶら下がっています。一羽の鶏だけはこのようになりません。（あ、数ヶ月前、飼っていた小犬が死んで、裏庭に埋めました）そうだ、それだ、あなたに取りついていますよ。自分の家の庭に埋めていけませんよ（以前は仏法が分りませんでした。じゃ今はどうすればいいですか？もう掘り出したくないです。生きていたときに私に懐いていたので、また掘り出して遺骨をみたら自分は耐えられないと思います。「小房子」を多めに読み上げればいいですか）まずは「小房子」を読み上げて済度してから、人に頼んで犬の死体を掘り出してください。そのとき「往生呪」をずっと唱えてれば、悲しくなりません。もしこの犬はこのまま裏庭に埋められているならば、裏庭にいるだけで、心が反応しますよ。苦しくなったり、悲しくなったり、すべてよくない反応ですね、また別の霊もこの犬の体に移りやすく、あなたの家の気場に影響を与えます。（はい、はい）

2008年9月16日

問：私の子どもを見ていただけますか、XX年生まれのX。

答：この子の頭の半分は全部黒いオーラです。彼は家でよく一つ変なものと接触しています。壁にかけたもの、あるいはパソコンで印刷したもの、例えばロボットなど（はい、確かにそうです。彼がパソコンをやっているから）そうですか、やり過ぎると目を付けられますよ。以前上海の俳

優遊本昌がドラマで済公（注1）の役をよく演じていました。第3話以降、彼が演じるより、済公が直接彼の体に乗り移ったと感じていると私に直接教えてくれました。また林黛玉（注2）を演じる陳晓旭も林黛玉の役をよく演じていました。迫真の演技で林黛玉のように憂鬱になり、更に癌に罹りました。香港の梅艶芳が前世と現世をさまよっている霊を演じ、真に迫った表現で若い年に難病に罹りました。オーストラリアのある俳優は「バットマン」で霊の役をやっていましたが、突然奇病で亡くなりました。これらはすべて霊が体に取り憑いたのです。あなたがこの子をその怪しいものから離れるよう助けてあげないといけないです。ついでに古典衣装で時代劇で歌ったり、昔の人を演ずる人には、出演の前後は往生呪をあげる必要があります。昔の劇団はみなやっていたから、信じないとだめですよ。

和訳注１：「瘋癲の名僧」である済公は南宋時代、杭州の霊隠寺のちに浄慈寺にいた僧侶で、法号は道済。表面上は破戒僧に過ぎない済公は、実は、十八羅漢の降龍尊者の生まれ変わりであることが知られている。

和訳注２：林黛玉は古典「中国四大名著」の一つである清代の小説《紅楼夢》の主要人物。詩才と機知に富む一方病弱で、厭世的かつ悲観的で極めて感受性の強い美少女である。

問：老人が瀕死状態になり、親族が事前に遺影写真を用意しましたが、それでいいですか？

答：結構ですが、老人に知らないようにね。そうでなければ早くあの世にいきます。赤い布や赤い紙でその遺影写真を包めば、ほかの霊が乗り移ることを防げます。それから包んだ写真を平らに引き出しに入れます、絶対立てて置かないでください。（遺影写真ができてから、まだ放生とお経をあげることで老人の寿命を延ばすことができますか？）結構です。相変わらず効きます（また、よく台長がこの人の体に光がありますとききますが、一体どこからの光でしょうか）私が見た光は、4種類の“光源”があります。一つは前世でよく修行を積み、そのお蔭で次の世までかば

い守られる人、そのトーテムに光が見えます、今お経をあげてこんなによくなれば、体にも光があります。聴衆の一人が干支を言ったとたん、私が目を瞑っても目の前が一瞬明るくなり、強い光に照らされたように感じました、実際目の前に照らす照明器具は一切なく、この聴衆のトーテムの光です。三つ目はお経をあげたことはないが大善事をして功徳无量の人のトーテムにも光があります。もしお経をあげるとさらにすごい。　四つ目は別の宗教を信じたことがあって、仏教を信じなくても問題ありません、結局のところすべての宗教は同じです。私はある聴衆の一人の体に光が見えましたので、彼にお経をあげたことがありますかと聞いたら、カトリック教徒ですと答えました。原理は同じです。

問：私は台長の番組を聴いてとても信じます。しかし中国にいる姉は信じませんから、私はすごく焦っています。本当に彼女を説得して信じてもらうには、どうしたらいいでしょうか?

答：いい質問ですね。たくさんの人が遭遇することでしょう。あなたは信じますが、周りの人が信じません。このことについて私はわざわざ観音菩薩に伺いました。こんな話をしたら、信じない人もいるでしょう。観音菩薩と対話するなんてありえない。実際、みなさんに教えますが、私はよく観音菩薩とコミュニケーションします。毎回コミュニケーションした後は深く感動して涙が出ます。観音菩薩は本当に慈悲深い。私の“超能力”、トーテムから前世を見たり、予測したり、遠隔でみる能力はすべて菩薩から賜ったものです。あなたの質問に戻りますが、以下のことをすればいいでしょう：まず、この「玄芸総述」のラジオ番組を録音して、あまり多くならないように、1,2時間の内容なら1,2枚のCDで足ります。あなたの姉にあげて、じっくり聞いてもらいます。次にこの『一命二運三風水』の本の一冊から四冊までを彼女にあげて、読んでもらいましょう。ちょうどこの4冊は内容的に浅いものから順に深くなります。三つ目、あなたは普段姉に少し心経をあげる必要があります。お経を上げる前に、こう言って「大慈大悲、救苦救難、広大霊感の観音菩薩様、ぜひ私の姉に智慧を与えるように、観音菩薩様、是非姉の人生を変えてく

ださい」と、観音菩薩にお願いします。でも、以上のことを絶対に無理しないでください。さらに彼女を刺激する話、たとえば“信じなければたたりに見舞われますよ、”、“菩薩様の罰にあたるよ”などと言わないでください。“仏は仏縁のある者だけを済度する”ということを銘記してください。あなたの姉は信じても、信じなくても、あなたはベストを尽くしました。でも姉が抵触、あるいは反感の気持ちになり、更に仏に無礼なことを言ってしまったら、あなたの修行の行く手を損ないます。

（**良宵注**：以上のような話は、盧台長はなんども言及しました。私は整理してまとめました、すべての聴衆あるいは読者がこのようなケースに遭遇した場合は参考にしてください。「玄芸総述」番組のCD, 「心経」の中国語ピンイン、『一命二運三風水』の第1冊～第5冊までは全部オーストラリアの東方電台（ラジオ局）で無料配布しています。海外の方が必要な場合は、あなたのシドニーにいる親戚・友人に連絡してください）

和訳注：現在世界の各地で盧台長の教えにしたがって修行し、自主的に結成したコミュニティー（共修組）がありますので、もっとも近い共修組に連絡してください）

問：家の菩薩を開眼するには、どうしたらいいでしょうか？

答：菩薩を家に迎えたら、仏壇に置き、前に香炉を設置してから、3本の線香を焚きます。その左右のそれぞれに、水一杯と果物一個を供えたら、線香を焚いて仏を礼拝します。まずはこういいます「大慈大悲の観音菩薩様、私が祭る仏像に入られるように、私の平安を守ってくださるように」、次に大慈呪を3回、心経を3回あげてから、3回額ずきます。これで開眼したことになります。以降は毎日水を交換し、さげた水は飲んでも結構です。体によいです。ただまず別のコップに移してから（飲みます）。果物は週1回交換して、新鮮な果物を供えてください。バナナはだめです。

問：放生するには、どう言ったらいいでしょうか？いつお経をあげればいいですか？

答：放生する場合、家から魚やエビを外に運び出すときから川や湖に入れて泳ぎ去るまで往生呪をあげ続けてください。往生呪をあげる前に、こう言ってください「観音菩薩様、どうか災難から私ｘｘｘを守って更に長生きできるように、加護してください。私ｘｘｘは必ず生きている間は自分とほかの人を済度し、もっとたくさんの功徳を積みます。」。ここで、盧台長は以下のことを注意してくれました。あなたが願をかけるとき、あるいは自分の親族や友人に心経をあげるとき、必ず該当する人の具体的な名前を告げてください。例えば、「私のお母さん、私のおじいさん」だけはだめで、「私の母ｘｘｘ、私のおじいさんｘｘｘ」のように告げてください。なぜなら、人それぞれの気場は異なり、また強弱があります。名前を告げなければ菩薩様に届きません。私がトーテムをみるとき、生きているならば生年と干支があれば十分ですが、もし亡き霊魂か亡くなった人の場合は、あなたが名前を告げ、更にどの漢字もはっきりと正確に教えてもらう必要があります。なくなった人の気場はとても弱いからです。名前は一人の符号と魂であり、私はその名前を天上につながってから初めてその姿が見え、亡き霊魂から情報を受取ります。「小房子」をあげて亡き霊魂を済度するとき、その名前が分からなければ、代わりに（「小房子」に）“要经者”の3文字を使わなければなりません。

2008年9月28日

問：私はシドニーの西区の寺に位牌安置所を買いました。そのとなりにたくさんほかの人の位牌があります。そこにみんなが共通の大きい観音菩薩を一体祭っています。これで大丈夫でしょうか？

答：もしすでに供養しているならばそのままよく供養してあげましょう。同時にたくさんのお経もあげて、たくさんの善行為を積んでください。ちょっとのお金を出せばすべてよしと思ってはならず、菩薩を信じてください。もしまだ供養していないなら自分でよく考えなさい。自分の位牌とたくさんほかの人の位牌と一緒に置かれて、あなたの前後左右はどのような状況も知らず、まして生きているか死んでいるか、病気か災いかも分からず、気場はとても混乱しています。もし一年365日、見ず知らず

の人と一緒にいることはあなたは安心できますか？（分かりました）またあなたの名前が木や石に彫られて、更に立てられます。どんな人がこんなことが必要かを考えてみてください（あ、分かりました）例えば生きた人の肖像を作ることでもよくないです。昔子供がきげんを悪くして一日中泣いていたとき、年寄りはこの子の魂が体にいないため、“魂呼び”が必要といいます：紙に子どもの名前を書き、年寄りは水を口に含んで、その紙に吹き掛けながら、名前が書かれた紙に“ｘｘｘ、戻ろう、ｘｘｘ、戻ろう”と呼び続けます。これで放心状態の子は本当に意識が戻ります。映画「大紅灯篭高高掛」（邦題「紅夢」）にも似たシーンがあります：この人を恨むなら、この人の名前を人形の体に貼り、針で刺しながら、呪いをかけます。これは“丑の刻参り”といい、とても恐ろしいです。

（**良宵注**：名前の事例を少し補足します。名前は魂のごとくと盧台長はいっていますが、まさしくその通りです。生きているときに、名前はあなたについてあちこち振る舞いますが、人が亡くなれば名前はそのまま残っています。その名前を言えば、この人の姿が浮かびますので、普段は自分の名前の取り扱いに注意してください。名前を安易に立たせない、あるいはゆらゆら揺れて宙にぶら下げないでください。 落書きもダメで、赤いペンでサインをしないでください。裁判所の公告で死刑囚の名前は赤字ですし、絶交の手紙に赤色でサインするし、もともとの意味は同じです。普段はほかの人の名前でふざけないでください、ほかの人に恨みを持ったり、恨みを買ったりしないでください。もしかして、呪術の分かる人だったら、あなたは悲惨な目にあいますよ。またオーストラリアに移民した人の中に、英語の名前をつける人がいます。中国語の名前と内在の関係に注意してください。同時に自分の名前を見た目上、流暢で闊達、穏やかで洗練されたように努力して書く必要があります。男性は飄逸なふうに、女性は秀麗なふうに書けば、一生に恩恵をもたらします。）

問：本当にラッキーですね、また電話が繋がりました。盧台長、私の体にま

だ霊があるかどうかを看ていただけますか？

答：あなたの背中に一つの霊がとり憑いています。また体に一塊の黒い気があります（私はすでにたくさんの「小房子」をあげましたが）あなたに雑念が多すぎると感じますね。あなたは“早くうちから離れてください”、“後何枚必要ですか”を言わないで、さらに“出て行け”（言っていないですが）は言っちゃだめですよ。このような思いもあってはなりません。心に思っただけでもそれらの霊は分かります。こう言ってください“私は必ずあなたを済度して、よいところに送ります”（はい）（2週間後またこの聴衆から電話が繋がりました）

問：今日体調が悪いのですが、盧台長、私の体から霊が去ったかどうかを看ていただけますか？

答：あなたの体にとり憑いている霊は一つだけではないようです。今あなたの脳の左に一つの霊がとり憑いています。はっきり見えないですが、男の子のようです（前回背中にいると仰いましたが、なんで今は頭にいっているんですか）霊は動きますよ。（私はお経をあげるときに、霊を友と称して、私をいじめないでくださいといっていいですか）もしこれが誰の霊と分からなければ、友達と呼んで結構ですが、“私をいじめる”というようなことを言わないでください。（私はお経をあげて大分よくなりました。もうへとへとです。このままずっとお経をあげると、霊も貪欲であげればあげるほどほしくなることはありますか）、ほらほら、今のような考え方ならほかの聴衆からもあなたを指弾するでしょう、あなたがお経をあげた効果はよくないですよ（それなら私は更に何枚あげればいいですか？）何枚必要かを聞かないでください。まず自分の心の持ち方を修正しないといけません。さもなければ、いくらお経をあげても無駄です。ある聴衆から、どれくらいお経をあげたかを一度も考えたことがなく、もっとお経を霊にあげることしか考えていないと聞きました。（はい、分かりました、やはり自分の考え方が間違っていたので、反省します）いいでしょう。ラジオを聴いている聴衆の皆さんにも感謝します。皆さんに以下のことを教えましょう：何回も何回もお経をあげるより

は、お経をあげるときの心の持ち方がずっと重要であります。

081002

問：この前、台長から私の義理の兄が修羅道にいると伺いました。さらに5枚あげましたので、今はどこにいますか？

答：まだそこにいますね。一人帽子をかぶった清朝の官がはっきり見えます。あなたの義理の兄の頭の上にいて、義理の兄を引っ張っています。あなたの義理の兄はすでにあの世にいったので、さらにこの官に借りがありました。これは“霊にとり憑いた霊”といいます。私も滅多にみません（ということは私は義理の兄を済度できないということですか？）相当の力が必要です。あなたとあなたの義理の兄の関係次第ですね、本当に助けようと思えば二つの霊を済度しないといけません（分かりました）

2008年10月2日

問：私の家にはずっとイエス様と聖母の像を祭ってあります。私と妻はもう長い間台長のラジオ番組を聴いています？本当によく当たっています。私どもは菩薩を家に迎えたいのですが、どうすればいいですか？

答：全般的に言えば、神様は一人しかいません。天上界のイエス、聖母と菩薩は皆同じく一人の神様を指します。イエスを信じることと菩薩を信じることは同じです。ある宗教は比較的マイルドであり、ほかの宗教に対しても寛容的です；ある宗教は比較的厳しく、ほかの宗教を排斥します。でも家で一緒に祭ることもあまりよくないので、画像を下げて教会に持っていて、教会に保管を依頼します。仏教を信じることを言わないでください（はい、了解しました。）

2008年10月2日

問：私はｘｘｘ年生まれのｘ、前回は台長から、胃に黒い気があると伺いました。その後病院に行って診察しました。先生が問題ないと言っていました。もう一回看ていただいてもいいですか？

答：はい（電話が数秒間無言でした）教えましょう。絶対問題ありますよ。あなたの胃の中にあるものはぴょんぴょんしていて、あなたは自覚があるはずです。水やスープをいっぱい飲むとき（そうそう、いっぱいに）医者が診ても分からないのはあたりまえのことです。これこそ霊による病気だと分かり、やりやすくなります。お経と「小房子」さえあげれば結構です。あのう、あなたの家は今CDを流していますよね（はい）、音がかなり低く聞こえます。なんで私がみなさんにあげた百人以上の全員が一緒に唱えた大悲呪のCDを流さないのですか？（数日前にいただきました。今家で流しているのは“阿弥陀経”）。そうですか、このお経も悪くないです。われわれが将来西方極楽浄土に昇るのを助けてくれます。でもわれわれは天に昇る前には前世と現世で他人に借りた罪業をすべて返済する方を一番先にすべきですね。体にある霊について、済度すべきものはすべて済度してから、借りゼロで軽くしてから、喜んであの世に行くことはどれくらい素晴らしいでしょう！盧台長がこのラジオ番組を制作したのも、菩薩のお蔭で、みなさんの目の前の困惑を解決するためです：霊による病気や、家にあるよくない気場や、中絶した子どもや、前世の罪業や、感情の因縁や、殺生した罪などなど。（以前自分はなにも知らなかった事が、今分かりました）

2008年9月28日

問：盧台長、私が数年前に見た夢をフィードバックします。私は二人のお坊さんに会いました。一人は年長のお坊さんで、袈裟を着けており、私を見ているだけで話しはしません。もう一人は青い法衣を着けており、私にどうしたの、どうしたら助けられると尋ねてきました。彼は盧台長じゃないかと思います。とても慈悲深く、とても善良です。

答：有難うございます。私は控え目であまりたくさん言いたくないですが、実はたくさんの聴衆が夢で私を見たと言っています。あるカトリック教徒の聴衆から聞いたのですが、彼は普段もお経をあげています。ある日ほかの人にいじめられました。その夜彼は天主に祈りをささげたら、天主は彼に盧台長に助けを求めなさいと教えてくれました（そうですね、

私もなにかあったら、盧台長の名前を呼びますよ）ありがとう。とても感動させられました。でもわれわれの功徳と能力といっても、すべて観音菩薩の慈悲によるもので、皆様の夢に霊験で私を見せることを手伝ってくださり、皆さんがもっと私のことを信じてもらい、つまり菩薩の力を信じてもらいたいと思います。（すぐ次の電話が繋がりました）。

問：あなたの番組の時間がもうそろそろ終わりになりますので、簡単に説明します。さきほどの聴衆の話は本当です。私も夢で盧台長を見たことがあります。それは大きな海に、見渡す限り広がる真っ青の海水、波風が収まって静かです。でも私は海水に沈んでおり、頭だけ水面に出しています。私は必死にもがいています。ハアハア息を切らして、見る見るうちに沈みそうになります。このときある人がはっきりと見えて、盧台長がスーツを着て、海上に立っています。靴には水一滴もありません。あなたが手をさし伸べて私を岸にあげました。知らないうちに目が覚めました。この夢を見てから既に数ヶ月経ちましたが、まだ記憶にはっきりと残っています。

答：有難うございます。こんなによい聴衆がたくさんいて、私も自分が一生皆さんに貢献できればと願っています。

（**良宵注**：この番組の電話はとても混んでいます。上記二番目の電話の話題はその前のと同じで、すぐ繋がりましたので、偶然かもしれません。でも“偶然にも必然がある”ということを反映しました。彼らは特に誠実な心を持つ聴衆で盧台長を信頼しています。しかし事実を知らない他人から見れば、かなり“大袈裟”に見えます。もともとこの二つの事例を書きたくなかったのですが、今書いた理由としては、皆さんが盧台長のように「名声もいらぬ利もいらぬ、控えめで見せびらかさず、実践重視で心に信じ、誠意を持って人を済度します。」と思っていただきたいからです。）

問：私はｘｘｘ年生まれのねずみ、私の体に霊がとり憑いているかを看ていただけますか？

答：あ、あなたの頭の上に姿を現しました。これは誰かを確認してね：大きな顔、特に鼻の穴が大きい、髪の毛が短く、真ん中から分けて後ろ向きに梳かれています（それは私の母、もう亡くなっています）。なるほど、それは霊ですね（はい、分かりました。母を済度したいです。盧台長、今私は毎日お経をあげています。やればやるほどハッピーになり、楽しんでいます。顔もつやつやとして、血色が良くなったと思います）はい、皆さんに自分の体験を共有してくれて有難うございました。お経をあげることは大慈大悲の菩薩とコミュニケーションして、負担にはならない筈です。あげればあげるほど幸せになり、この心の持ち方が一番いいですよ。もし止むをえずお経をあげるならば、意味がなく、効果も期待できないです。でも、3年後にあなたに厄がやってきます。メモしてくださいね。そのときに現実になるでしょう（はい）、しっかりお経をあげて避けましょう。

2008年10月3日

問：盧台長、孫連勳という年寄りは今どこにいるかを看ていただけますか？

答：孫、連、勳、孫、連、勳、はい、天上界に近い上級の修羅道にいます。ちょっと待って、待って、さっきは“彼”と会話を予定していなかったが、彼からメッセージがありました。彼は偏屈ですね、あなたたちがだれも親孝行していないと叱って、助けませんよというのです。それならあなたが彼を助けてあげましょう（はい、そうします、私は彼の姪です）家にいる一人は彼をひどく扱っています（分かりませんが、私と彼の年はかなり離れています。彼の息子もすでに80歳を越えています。共産党の幹部で、こんなことを信じません）それなら彼も済度してあげましょう（はい）

（**良宵注**：この事例は短いですが、一点細かいことを教えてくれました。盧台長と、亡き霊魂との”会話”は、われわれ人間のように、あなたと私が話し合うではなく、ある形の”メッセージ”を伝えています。どのように伝えているか、テレパシーか、イメージによる暗示なのか知りえないです。後日盧台長がどのように亡き霊魂と”対話”するかを再

度詳しく説明していただければ、天機を洩らさずにすむと思います。皆もこれで見識を広げられます。この事例は実名実録で、当事者が反対しないよう望みます。）

2008年10月3日

問：　最近自分の父をよく懐かしく思いますので、お経をあげるときに観音菩薩に私の父に会えるようにとお願いしました。その結果夜夢を見たとき、父に会えませんでしたが、なにか知らないものに首を絞められました。怖くて息が切れそうで、すぐさま菩薩に、助けてください、そいつを追い出してくださいと叫びました。この夢はどのように解釈すればいいですか？

答：あなたは”葉公龍を好む”ですね、あなたの首を絞めたのはあなたの父ですが、それなのに助けてと叫んだんですね（父の顔が見えなかったんですよ）関係ないです。菩薩にお願いしてからの夢だから、あなたの父親ですよ。効果てきめんです。今後はむやみに菩薩にお願いしないでね。お願いしたら信じてください。このように言ったとおりになることは、人間世界で白い紙に書いた黒い字のように、一から十まですべて教えることではなく、意念ですよ（分かりました。妹についても質問がありますが、一回子宮外妊娠となったため、済度する必要がありますか）必要です。同じ命でしょう。

問：私の息子は12歳、毎日3回大悲呪をあげます。でもこの子は別に信じていません、ただ私の話をよく聞いてくれますので、お母さんにお経をあげてと言われたからあげていますと言っています。これで効果はありますか？

答：効果があります。大事なところはあげはじめたことです。菩薩は息子さんをだんだん信じてしまわせる力があります（また、家の観音菩薩は背面壁ですが、壁の向こう側はトイレです、これでよいでしょうか）壁のこっちは観音菩薩、そっちはトイレ、気場は絶対悪いです。いくら線香を焚いて、いくら菩薩を祭っても、菩薩は来ないですよ。小さな1面の壁

は飾りに過ぎず役に立ちません。私が天眼を使って、数百数千キロ先の家の風水を見るときも、壁が透けて。部屋は東に一つ、西一つのようで仕切られているように見えません。

問：私は1924年生まれのねずみ。盧台長、私の体を看ていただけますか？

答：このねずみは体が全体的に霞んでいます。陽の気がかなり不足していますね（医者は特に何事もなく病気もないと言っています）罪業あるいは霊による病気は医者は分からないです。あなたの体にあちこち海鮮物が見えます。私はたくさんのかにとえびがあなたの胸と背中を掻いているのが見えます。このトーテムは気持ち悪いですね、もう見たくありません。海鮮物が体に乗って見えることはかなり数が多いですね、晩年になれば全部あなたの体に乗ります（今どうしたらいいですか）普通一匹のかになら7回往生呪をあげます。あなたはまだ一度もお経をあげたことはないですよね（始めたばかりです）いいでしょう。今日から、あなたは毎日7回往生呪をあげなければなりません。お経をあげる前に、こういってください”大慈大悲の観音菩薩、私を加護していただき、私が殺したすべての小さい動物を済度するのを助けてください。これから7回往生呪をあげます”（これは毎日いうものですか）そうです、これで更によくなります（また私の妻を見ていただけますか、1943年生まれ）あ、あなたの奥さんは怒りっぽく（そうです）、喧嘩（ときどき）、ときどきではなく、しょっちゅうです。彼女は感情的に傷つけられたことがあります（私達は老人ホームに入りたいですが、大丈夫ですか？）よくないです。あまりたくさん言えないですが、あなた達はヘルパーのおばさんを家に呼んだ方がいいです。

（**良宵注**：この電話は、私が8年間ラジオ番組を聴いた中で、今まで自ら電話でトーテムを問い合わせた聴衆の中で一番年長の方でした。ほかのお年寄りは基本的にその子どもが代わりに聞きますが、このお年寄りは言葉、思考力がはっきりして、珍しいので、私は特に詳細に記録しました。この八十、九十歳のお年寄りは、この一生きっと戦争と災難、結婚と生業、輝かしいときと挫折のとき、病気と苦難、などなど無数の波瀾

万丈を経験し、年をとっても「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」という気持ちを持ち、喜んで他人のよい意見を受け入れる姿勢で盧台長に教わり、新しいことを勉強する精神は本当に素晴らしい。われわれ読者は彼よりだいぶ若いはずです。われわれの将来はさらに何十年の人生の道があり、われわれの子どもはまだ両親により大事に育てられることが必要です。難病に対して人類はいかに無力で；天災や人災については、われわれはまたとても防ぎきれません。もっと努力して、新しいパラダイムシフトで自分と家庭の運命、風水、前世と現世を見直すべきではないでしょうか？言わば”跳出三界外，不在五行中（注1)”、この言葉を読者の皆様に差し上げ、一緒に励みましょう。事実であることを示すために、実際の生年を事例に使いました。

（**和訳注１**：このことわざは欲界・色界・無色界の三界から飛び出し、五行の木・火・土・金・水からできた物質の影響から離れることを意味し、つまりもう輪廻しないことを指します）

問：　私はｘｘ年生まれのねずみ。盧台長、私のトーテムを看ていただけますか？

答：あなたはぽっちゃりかな（どうして分かったの）トーテムからはっきりみえますよ。このねずみは体が大きくて、押しても動かないから、太っているとしか思えないでしょう（ほかは）あなたの体に罪業がたくさんあります（罪業って何ですか。私は悪いことをしたことないですよ）罪業は悪いことをしただけとは限らないです。もしかしてあなたは、普段話すときに不注意で、ほかの人を傷つけやすいし、あるいはあなたは前世で他人に借りをして、あるいは殺生をたくさんしたかもしれないし（消せますか？）できます。お経をあげるのが一番です（はい）

（**良宵注**：この方は私が数年番組を聴いた中で一番年下です。また電話で直接自分のトーテムを質問し、二十歳そこそこで、先の85歳のお年寄りと比較する意味で特に一緒にまとめました。この若い聴衆はあまり真剣に考えていないようで、急な思いつきでも電話が繋がりました。彼にはこの縁を大事にしてほしいです。今後何十年、盧台長の話を検証しつ

つ、中から有益なことを得てもらいたい。さらに二十歳以下の若い聴衆もこの番組をきいて、小さいときから修行を積めば、将来性は計り知れません。

問：私の家は狭いので、観音菩薩とテレビは全部リビングルームに置いていますが、問題ありますか？

答：菩薩の外にガラスのケースがあったらよくなります。また菩薩とテレビはできるだけ離してください。でなければテレビのよくない番組が磁場を邪魔し、菩薩は来られません。更に人がテレビを見ているとき、特に殺生、おばけ、戦争などの番組をみているときは仏を礼拝しないでください。このとき線香を焚いても無意味です。

問：盧台長にお伝えしたいことがあります、以前私の旦那はまったく信じませんでしたが、心経をあげてやりなさいと教えていただいた通りにしたら、彼は今本当に信じるようになりました。パソコンでたくさんの仏教の資料を検索し、本当に助かりました。ありがとうございます、盧台長。

答：菩薩の慈悲による済度ですよ。皆が菩薩に感謝しないといけませんね。

問：盧台長から、お経をあげることで体についている霊を追い払うことができると教わりましたが、テレビで見たお坊さんによる鬼退治と同じですか？

答：まずお経をあげることで、追い払うのではなく、霊を“送り出す”のです。霊も尊重しないといけないし、私がいつもいっている通りに、鬼と言わないで、霊と称してください。第二、お坊さんによる呪文を唱えたり、お札を焼いたりして鬼退治をするのは、送り出すのではなく、強引的に追い払うことになるので、よくないです。かなりの聴衆もご存知かと思いますが、数年前に上海のあるお寺の近くで建築工事があり、基礎工事がかなり難航していました。そして僧正を招いていろいろな法要を行い、地下に棲む9匹の龍を追い払いました。その後基礎工事ができまし

たが、その僧正もなくなりました。これは強引にやった結果です。私がみなさんに教える方法は温厚で、メリットだけありますが、後遺症はありません（それなら仏を礼拝するときや、仏にお願いするとき、声をだした方がよいですか、それとも黙った方がよいですか）仏を礼拝するときに線香も焚いていたら声を出す必要はありませんが、線香を焚いていないなら、声を出して言わないとダメです。

問：盧台長, 私の体のどの部分に病気があるかを看ていただけますか？

答：私に問題を出して検証することをやめましょう。あなたは体のどの部分の具合が悪いかを教えてもらえば、私はそこを深く詳細に確認できますが、そうでなければ一般的なことしか診ません。（耳です）あ、右の耳ですね（そう、そう）あなたの耳の病気はあなたの鼻と関係があります（そうです、そうです、いつも黄色い鼻水を流しています）またあなたは今後動悸がしそう（本当にあたっています。今もう動悸があります）（以降省略）

（**良宵注**：この事例は短く、盧台長はたった三言しか話しませんでしたが、この聴衆は勢いがよく、即座に認めましたので、記録する甲斐があります。　ある人は左耳か右耳をいうかもしれません。当てるにしても、50％の勝率があるので、特に珍しくありません。でも忘れないでほしい、盧台長はたまたま一回のゲームをして当てたのではなく、このラジオ番組はすでに9年間やっていたので、適当に言い当てただけでは9年間をごまかせますか？またこのコールイン電話はすでに絶大な人気で、ある人は5年間ずっとかけ続けましたが、繋がったのはたったの2回。もし50%しか当たらないなら、誰がこの電話をかけたがるでしょうか？”本物なら絶対”偽りはないし、偽ものなら絶対続かないし、続くものなら絶対間違えっこありません”。聴衆の皆さん、よく考えてみてください。もし悟ったら、早く聴衆の一員となってください。今結構なシドニーの聴衆は、国内の親戚や友人と時間を約束して、シドニーの夜10時から11時の間に電話の受話器にラジオをくっつけて、親戚と友人にも直接聞かせています。これはいいアイディアですね。）

2008年10月8日

問：　私はｘｘｘ年生まれのｘ。前回台長に私の左の胸に3匹のねずみがいると伺いましたが、もう出て行ったでしょうか？

答：「小房子」をあげましたか？（まだ、108回の往生呪をあげなさいと言われましたので）そうですか。私は検証していますよ。おめでとう、もう離れました。皆さん覚えてください：体についている霊を送り出すには往生呪だけをあげることでもできます。あ、あなたの右の膝に気をつけましょう（そうそう、とても痛いです）あなたの右膝の関節にたくさん小さい霊が見えました。あなたは普段ハエとゴキブリを見たら、容赦なく殺しますか？（そうです、嫌いです）全部で数千数百？（いえいえ、でも何回かアリの群れを熱湯で殺しました。相当な数でした）なるほど、あなたの膝にある霊は彼らのものです。アリは小さいが、霊は強いです。特に一群れであれば、熱湯で殺すのは本当によくないです（それなら往生呪をあげなければいけませんよね）はい、一匹に一回、早くあげましょう。さもなければ、そろそろあなたはちゃんと立てなくなりますよ。あげる前に言ってくださいね（分かります）

2008年10月9日

問：台長、35年9月20日生まれの亥を看て頂けますか？今国内にいます。体調が悪いです。彼の奥さんは辰、40年の10月1日生まれ。

答：あらまあ、悲惨ですね。これを見た私も全身寒気がして、鳥肌がたちました。二つ白いスカーフを巻いているものが浮遊して行ったり、来たり。名前を省きますが、分かりますか？（はい、重大ですか？）こんなものなら、まだ重大ではないと思いますか（実をいうと、私はこの本の第1冊から第4冊まで彼に郵送しました。彼は読んだらとても苦しくなりました。以前は知りませんでした。今は分かったがもう遅すぎると言っていました。彼は脳梗塞でもう何十年も体が動かなくなりました）ああ、かわいそう。たくさんの人は思う存分食べるために無闇に命を殺します。中絶しても済度する必要があることを知りません。今菩薩が私にこのような能力を賜ったのは、人を救うためですよ。救えるだけ救いま

す。でも縁がないとまた無理だし、今日あなたの電話が繋がったのも縁ですね。早くそのお年寄りにお経をあげるよう勧めてください。だんだん心が落ちついて、苦痛も減ります（はい、はい）

2008年10月9日

問：盧台長、菩薩は本当に霊験あらたかですね。私の息子は以前は本を読んでもせいぜい30分でもうじっと座っていられなくなります、一度も叱ったことはありませんが、何十、何百回言っても聞いてくれません。台長に彼のトーテムを見ていただいて、体に二つの霊がついていたと教えていただいてから、私は4枚の「小房子」をあげて、二つの霊を済度したら、180度の大変換ですね。ある夜私は彼が既に寝たと思ったら、実は本を読んでいたのです。今日電話が繋がりましたので、ぜひ皆さんに共有して言いたいです。今彼はよく本を四、五時間読みます。さらにわざわざ図書館に本を借りに行きます。

答：喜んだでしょう（もちろんです）修行をがんばってね、あなたの息子はますます良くなりますよ。

2008年10月9日

問：私の母は乳がんになり、更に肺に転移しました。台長の番組を聴いた母はずっとお経をあげつづけました。数日前に手術があり、彼女は午後ひっきりなしに大悲呪をあげました。その結果、手術は順調でした。私の家族全員が本当に喜んで、本当に台長に感謝します。以前はなにも分からず、なにもできず、運命に任せるしかありませんでした。今なら死病、難病、不治の病でも、いろんなことをやって運命を変えられることがわかりました。あらためて盧台長に感謝します。

答：私に礼を言わなくていいです。たくさんの西洋人でも危機一髪の場合でも、“私の神様”、“MY　GOD”としか言いません。だから宗教を信じなければなりません。私がみなさんに教える方法は具体的ですよ、内容もあり、かつ本当に効果があります。みなさんに共有してもらいありがとうございました。

問：盧台長、私もあなたにお伝えしたいことがあります。私は「一命二運三風水」の本を国内に贈りました。私の旦那の姪は、読んでも、まったく信じませんでした。私も仕方ないですが、その夜に私は彼女と電話をするとき、ちょうど夜10時過ぎごろ、私はラジオを受話器に当て彼女に聴かせました。どうせ今なら電話代もやすいし。思いも寄らず彼女は惹きつけられてずっと45分間聴いていました。それから興奮して私に信じましたといい、またどのお経をあげればよいかも聞いてくれました。

答：いいですね、あなたの姪は縁があり済度できる方です。それらの信じもしないし、話も聞かない人に対して、われわれも無理じいする必要はありません。もし、あなたの親戚であり、あなたも彼らをかわいそうに思えば、かれらに心経をあげてやりましょう、効果がでますよ。あげるまえに、“親戚のｘｘｘに智慧を与えるように”とお願いしてください。

（**良宵注**：以上の三つの事例を一緒にして、聴衆から効果に対するフィードバックをまとめました。問答ではほかの内容を省きました。不思議な物語はだれでも作れます。言葉巧みに誇張して話せますが、本当にに価値があるのは人に信じてもらえる、検証に耐え得る事実的根拠です。この本は全部で5冊まで書いていますが、その目的は“本当の不思議”を伝えることです。）

問：ある夫婦が離婚しても一緒に住んでいますが、再婚もしたくないし、やはり別れるように勧めたらいいですか？

答：善行を施し仏を信じる人は仲直りを勧めますが、別れることを勧めません。夫婦の関係が悪いことが分かっても、“離婚したら”と言うべきではありません。離婚を勧めたら、あなたの修行の行く手を損ないます。“成り行きに任せましょう”と言う方がまだいいです。離婚は婚姻の糸が切れることを意味しますので、もう一回つないでもよくないです。もし本当に仲直りしたいのなら、むしろ同棲の形をとり、更に二人ともお経をあげるように勧めれば、これで一生が良くなります。

問：私の子どもはお経をあげることができます。でも続けられないので、や

はり私が代わりにあげた方がいいですか？

答：いいえ、違います。子どもがお経をあげることができたら、大人が幸運に恵まれますよ。将来あなたを済度する人がいますよ。だからできるだけあなたの子どもにお経をあげさせてください。また人の代わりにあげる場合は30%の効果だけですが、自分のためなら70%が有効ですよ、残りの30%は読み間違ったり、集中しなかったり、雑念などにあたります。ある人はその旦那には霊がとり憑いているのを盧台長が看ました。でも旦那はまったく信じませんでしたので、代わりに自分でお経をあげるしかなかったのです。

2008年10月14日

問　：盧台長、私の家の風水を看ていただけますか？主人はｘｘｘ年生まれのｘｘ。

答：ドアから入って左に、地面から約1メートルのところになにかを置いた（観音様）その下は（これは3段の仏壇、上層に観音様、真ん中は先祖、下はお地蔵さんを祭っています）そうですか、私はわざわざ観音様の下を質問したのは、下にものが見えました。でもすべては言えませんが。

2008年10月14日

問：盧台長、私の家の風水を看ていただけますか？主人はｘｘｘ年生まれのｘｘ。

答：ドアから入って左にあるのはなんですか（一列のソファー）ソファーの隣にソケットがありますよね（そうそう、ソケットがあります）なるほど、私もはじめてみたが、このソケットになにかありますね。あなたはこのソケットの電気で鼠かなにかを殺した（いいえ）以前住んだ方がこのソケットからの電気で何かを殺したかもしれません（それは私には分からないですが）いずれにしても、中に霊があります。早く済度しましょう（ならば“要経者”？）はい、はい、最近の聴衆はもうみんな知っていますね。

2008年10月14日

問：盧台長、一人のこどもを看ていただけますか？ｘｘｘ年生まれのｘｘ。

答：このこどもはこの半年に人と喧嘩をしたかどうかを正直に教えてください（はい、最初は口喧嘩、つぎに手も出して、ほかの人の歯を折りました）もういいです、ずばり当たっているでしょう！

2008年10月14日

問：盧台長、一人男の子を看ていただけますか？ｘｘｘ年生まれのｘｘ。

答：体が弱く（そうです）、癖があります、生殖器の問題（彼にはまだ彼女がいません）別に女性が必要と限らないですよ、分かりますか（あんまり）そうですか、彼の両親に注意してもらいましょう。

081014

問：盧台長、一人女の子を看ていただけますか？ｘｘｘ年生まれのｘｘ。

答：彼女に教えてください：太陽を優しく扱ってください。普段太陽の悪口を言わないでください。そして食事している時に箸で碗を叩かないでください。（盧台長、これはどういう意味でしょうか）そのまま言って下さい、本人がすぐ分かると思います、私はすべてのことを明かすことができないから。この子は将来海外に行くのです。（既に海外にいます。）またほかの所へ出国しますよ。（彼女は今アメリカにいます。）なるほど、それなら全部合っていると思います。教えてあげましょう。私はトーテムから自由の女神像が見えました。あなたは既に海外にいると言ったので、私はオーストラリアだと思って、更にアメリカに行くと思いました。もうアメリカにいるんですね。トーテムはすごいでしょう。

（**良宵注**：上述の五つの例から、会話の五つの部分を取り出しました。これらは一つのことを説明したいのです：仏壇、ソケット、喧嘩、生殖器、太陽など、すべては普遍性を持たず特別なことで、物語を作る達人さえこのわずかの時間でこんな馴染みのない話しを作ることもあり得ません。まして盧台長は直接受話器の向こうにいる何千人の聴衆に話をしているので、万が一言い間違えれば、話のつじつまを合わせる機会もあ

りません。このことから分かるように、盧台長は確かに何か関係のある情報を「看て」口走ったと思います。またその場で聴衆が事実を認めたので、これはたいしたことで、まるで「信じようが信じまいが君の勝手ではない」のです。更に、これらの例は同じ日の番組に、一時間の中で連続した質問応答ですので、まとめて盧台長の正確さを示しました。もしこの五つの事例が別々の番組時間帯に分散していれば、ある人から、そうか、良宵さんはわざといくつか言い当てた正確の事例を集めてここに書いたのでしょう。ほかに合っていなかったものについて良宵さんは省いたのでしょう。彼らの疑いを解消するために、私は特にこの五つの対話の日付をつけているので、もし気になさる方なら、東方電台（ラジオ局）のオリジナルの録音と照合しても構いません。ついでに読者の方々にご質問します。上記の事例１には盧台長が率直に言えない話は何の話であるかご存知でしょうか？

080930

問：体に霊が取り憑いているかどうかを看ていただきたいのです。＊＊の＊です。

答：あなたの目はちょっとかさかさしているようですね。（そう、そう、そう）いつも咳き込んでいますね。（はい、はい）それならほぼあなたですね、頬骨がちょっと高く、ニコニコしている顔で、髪の毛は真ん中から両端へかけてきちんと梳かされていますね。（私のはずです）ずばり当たっているのでしょう。それは仕方がありません、こんなに当たっているなんて！私も時々怖くなります。どうせ電話の中なので、あなたはだれかについて他の聴衆も分からないから、もうちょっと言いますね。眉はフラットで、メイクで曲がる形ではなく、目が大きいです（はい、私に間違いありません）ではでは、話はここまで。あなたには二人の中絶した子供がいたので、早く済度しましょう（あら、信じられません。あなたはどうやって私に中絶した子供が二人いることがわかりましたか、私はまだ誰にも教えていませんよ。）はーはー、ならどうして電話してくれたのですか、私が見えるからでしょう。最後に一言教えます、あなたの

左側の乳房に黒い点がありますので、早く検査しましょう、もう二人の子供につかませたり、掻かせたりしないようにね。

081012

問：私はデータベース関連の仕事をしています。一つの情報をサーチするには、キーボードを何回か叩かなければならないのです。どうして盧台長は亡霊の名前を聞いただけで、すぐに情報が得られますか？本当に不思議です。しかも情報量は多く、内容豊富です。

答：今我々の聴衆はもうプロですね、質問もレベルが高い。私は亡霊の形が見えて、更に彼らと「対話」できることは、すべて菩薩様から賜った能力です。でも名前だけでも足りません。ある聴衆は自分の名前を紙に書いてＦＡＸでトーテムを見せてくれと依頼してきても、やはり見られません。私は必ず電話をかけてきた聴衆の気場を感じた上、私の気場とつながってから、天上につながってはじめて見えます。また、時にはなくなった人の気場はとても弱いので、私はなくなった人の生年月日を知る必要があります。これで更に多い情報をもとにトーテムを見ます。

問：盧台長、私は今年の初め頃からお経を読み始めて、もう８、９ヶ月たちました。「小房子」も八、九十枚上げて亡くなった肉親をそれぞれ済度しました。かなり疲れていますが、とても安心です。今は目を閉じるとすぐ沢山点々とした緑と青い光が見えます。飛んでいる鳥のようで、三角形、正方形のもあるし、またたくさん小さい丸い点が私の目の前で飛び交っていて、飛蚊症みたいです、怖くはありませんが、これらは何なんでしょうか?

答：あなたの感覚は間違いありません。済度したあとでリラックスを感じられます。今見たのは霊界のもので、見たあと怖く感じないなら、善霊です。怖いと感じたら、悪霊です。今あなたの功力はまだ足りないので、点々とした光や一枚一枚の「部品」しか見えないのです、まだ私のようにまとまった形をした霊を見られません。一方、あなたは陰の気が比較的多く、冥界の霊を感じやすいと言えます。他方、あなたがお経を上げ

ることで随分効果が現れたと言えます。将来盧台長と同じようになり、私もあなたの天眼が見えるように手伝い、一緒に番組できそうですね。もちろんお経をよく上げるだけではなく、常に菜食して、善行を行い、功徳を積んで、怠らずに修行しなければなりません。（善霊しか見えない方法はありますか？）それはちょっと難しいです。でも怖がる必要はありません。手でこれらの光をつかんだり、追い払ったりしないことを覚えてください、それで彼らを殴ることになります。彼らに嫌がらせをしなければ、彼らもあなたを邪魔しません。

第五冊最終問：盧台長、ある上海の友達に頼まれて、一人の若者の結婚と体をお尋ねします。彼の母親は誠心誠意、「心経」をあげてもう完璧に暗唱できるようになりました。彼の母親は家族三人の干支、生年月日と名前も全部教えてくれました。

答：わかりました。その青年の干支と生年だけを教えてください（1978年の馬です）彼の母親が誠心誠意お経を上げることを聞いて、とても嬉しいです。トーテムを詳しく見てあげましょう。（電話が十数秒無言のままでした）まず、彼の体に光があって、心が優しい人だと言えます。第二に、この馬のトーテムはロバみたいなので、真面目で地道に仕事ができる人だと言えます。でも真面目だからこそ、騙されやすいです。第三に、トーテムにこの馬はずっと嘶いています。彼はおしゃべりで、よく愚痴をこぼしています。でも、いくら言っても仕事はきちんやります。第四に、この青年の将来の生活は辛くなるでしょう、両親に頼ることができず、自分しか頼れないのです。第五に、彼の体ですが、胃、腰、足がすべて弱って、黒い気があります。第六に、彼はある悪い癖を持っています。以前のことかもしれませんが、今はやめました。タバコやお酒ではなさそうですが、この癖は彼の運勢を妨げました。（盧台長、詳しく看ていただき、ありがとうございました。彼の結婚はどうですか？）以前彼女がいたはずです、随分長く付き合っていたのです。熱い恋だと言えます。彼の結婚線の最初の部分はとても明るいが、馬の頭のほうにくると消えてしまいました。（まだありますか？）二番目の恋人が現れるこ

とは間違いありませんが、時間がかかるでしょう。しかしこの恋人の条件、感情においてすべて以前の恋人に及ばないのです。この青年に「さまざまな面において条件の低い女を探さないで、視野を高めてください」と伝えてください。この二番目の恋人は少しブライドが高いです。（はい、はい、必ず忠実にお伝えします。）

（**良宵注**：本例のように盧台長は「1234」のように詳しく話して頂いたので、このような例は滅多にありません。そのあとこの聴衆からの私へのフィードバックから、上述の青年は彼の友達の息子で、確かに何日間足に力が入らなくて歩けないそうです。しかし、他の「悪い癖」とか、「恋愛遍歴」、「気立て、性格」とかについて、詳細なフィードバックはまだありません。この聴衆からもっと詳しい情報を期待しております。）

〈**良宵追記**：その後上述の会話の原稿を電話してくれた聴衆に送り、彼の友人からのフィードバックを待っていました。本当に幸いなことに、本冊が完成して印刷に入る間近に、この聴衆の友人から直接電子メールをいただきました。本当に「恵みの雨」ですね。以下にメールの原文を示します。２、３字だけ修正して、番号をつけました。これで読者の皆さんは盧台長の回答の要点と照合しやすくなります。）

「良宵様へ：息子についての盧台長の返答を拝見しました、感服しましたよ。息子の性格、人柄、健康が全部合っていました。息子は先天的な病気を持って、一生ホルモン剤を服用しなければなりません。だから胃も足腰もよくない、いつも足腰が痛いってつぶやいています、でも、病因も分からないし、病院へ検査に行ったこともありません。なぜなら、彼にとってこれはまだそんなに肝心な問題ではありませんから。息子は子供の時からずっと心が優しい子で１、この十何年にわたって、苦労をいとわずにうちのチャイニーズレストランを管理してきました。また、彼はおしゃべりが好きで、特にほかの人と歴史、軍事、国際時事等について話すことが好きです。でも、彼は人を扱う技量はなく、社会経験も欠けています。それは私たちがほとんと彼に自由を与えていないことも関係があると思います。この子の前に、私には一人の子がいましたが夭

逝し、一人を中絶しました。だからあなたが本に書いた方法で自分が黄色の「小房子」を作り、今の息子に、2枚上げました。「小房子」を上げる前に、「大悲呪」を暗記できるように、いっぱい時間を使いました。なんども聴いて、なんども読んでいました。今は既に暗唱できるようになりました、2枚の「小房子」を上げるには三日間しかかかりませんでした。今毎日寝る前と朝目が覚めた後に、必ず「大悲呪」を1回黙って暗誦しています。また、他にも「小房子」を何枚かを書いたので、暇があれば少し上げています。結婚についても息子に聞きました。彼は結婚したくないと答えました。よく悟ったねと彼を褒めました。」

（**良宵再度の注釈**：この方に本当に感謝します。素直で熱心ですね。この青年は先天的な病で一生薬を飲まないといけないことを、盧台長は全然知りませんでした。でも盧台長にはトーテムから「お酒でもタバコでもない悪い癖」が「見えました」。このことはまた盧台長の不思議で、まゆつばものでない能力を証明しました。計算すればこの青年は今30歳ぐらいでしょう。ちょうど元気はつらつ、人生の最盛期にあたるときなのに、自分は一生結婚しないと静かに言いました。この話を聞いて、私の胸がぎゅーっと痛みましたが、どうすることもできませんでした。この場を借りて盧台長にお願いしたいのです。この母子は遠く上海に住んでいますが、菩薩の力は無限で、広大な霊感があります。どうか盧台長が大慈大悲の観音菩薩にお願いして、この子の名も無き災いを解消させていただけないでしょうか？ここで特にこの子の干支と生年を省略せずに記載しました。）

付録文一：三番目の目で風水を見る080927――シドニー座談会の覚書　良宵

（本文はオーストラリアメルボルンの中国語の「大洋新聞」などの新聞に掲載されました。）

風水はとても奥深い学問です。風水は三つの目で見ることができます。一番目は科学的に物理的、心理的な目で見ます。二番目は五行八卦などの占術で見ます。三番目は玄学で霊界気場を用いて見ます。先月の27日、土曜日、大洋州の風水学会はある座談会を行いました。この座談会は三番目の目で風水

を見ることに該当します。通常このような営利目的のない座談会は無料ですが、その座談会は12ドルの入場料が必要でした。これは主催者の自信を反映し、内容の素晴らしさをアピールしたのです。出席者も60人を超えて、満席になりました。本当に興味がある中国系住民が沢山いることを表したと思います。以下座談会の主な内容を記載し、参加できなかった方に共有してもらいます。講座を担当されたのはシドニー東方電台（ラジオ局）の台長、以下は盧台長と略称します。彼のイントロの話はかなりおもしろかったです、彼は自分が既に「天眼」、つまり三番目の目で見ることができたと言い、でも今日の座談会では天眼を使わないことにしたと発言しました。使わないなら言う必要もないのではと私は疑問に思いましたが、実はステージの下の観衆の中にすでに盧台長の「天眼」で教えてもらった方がかなりいて、今日も盧台長が天眼を使うことを楽しみにしているのです。また、まだ講演を始めていないのに、盧台長は自分の椅子が低すぎると「苦情を言っ」て、主催者に高い椅子に変えるようにしてもらいました。私は、座談会というのはみんなが対等に付き合う雰囲気であるはずなのに、どうして彼は「人より高くする」のかと疑問に思いました。でも、すぐに分かりました。盧台長が自分の気場を満場の60人の気場とつなげて、良好な相互に反応する磁場をつくろうとしたのです。眉唾に聞こえますが、理解できます、そもそも玄学の座談会だからですね。次に、盧台長は五つのトピックについて話しました。

一、風水と運命。「一命二運三風水」とは、三者の順序だけではなく、三者の比重も反映しています。風水は三番目なので、人生には20％ぐらいしか影響を与えません。だからあまり風水にはこだわらなくて、自分の「立命」と「改運」を重視すべきです。当然これは別の大きなテーマになります。

二、風水と人生。人間は子供から大人に成長し、更に年をとって老いるまでに、きっと転職や引っ越しをしたことがあります。特に華僑の移民は北半球から南半球に引越しをして、磁場の方向も逆になり、風水はかなり変わります。ですから、大陸、香港と台湾の風水の本に従って行動してはいけません。大洋州風水協会はこの空白を埋めて、「南半球風水実用要領」という本を出版しました。

以上の二つについて盧台長は簡単に説明しましたが、次の三つは実例を上げて説明したので、生き生きとした話でした。以下は数例だけを挙げます。

三. 風水と環境。大勢の方は家の前に巨木があるとよくないことを知っています。科学的に見れば、木陰が家を覆い、日差しが届きません。木の上に鳥が沢山いて、その糞が落ちます。空気が淀んで、病気も伝染しやすいです。また木の根は深く土地に入り込んで、家の土台を壊してしまいます。玄学の視点から見ると、巨木は何十年の間ずっと呼吸し生長してきて、新陳代謝していますから、霊があります。例えば、風が吹き雨が降り、落ち葉がいっぱいなり、また真夜中かさかさ音を立てて、人の心が乱れて悪夢を見やすくなります。このような風水はいいと思いますか？

四、風水と気場。今日五、六十人の聴衆が集まって、熱気溢れて気場は盛んで、皆さん頭の回転も速いです。もし子猫２、３匹しかいなかったら、皆さんの気分も重苦しくなって、元気が出せないでしょう。あなたがすでに満席のバスに乗って、誰かがバスを降りて、あなたはその席に座るとき、すぐそのまま座るのではなく、思わず体を動かして座るということは、二人の気場が違うからです。家の下駄箱は必ず整理して換気を良くして、靴下を靴の中に置かないでください。玄関の敷物は必ずドアの外に置いて綺麗にしてください。そうでないと、家に帰り、部屋に入る前に、先に臭い匂いを嗅いだら、この家の風水は、よくなるはずがありません。

五、風水と霊。なぜ葬式が終わったら火輪を跨ぎますか？なぜ国内の火葬場の出口に花輪の焼却炉を置いて、葬式が終わったら先ず炉を回ってから出るのですか？ただの習慣と言われていますが、実は本当の理由があります。それは葬式場の霊界の陰の気を追い払って、自分の家の風水に悪い影響を与えないためです。頭のいい人は葬式が終わったらすぐに家に帰らず、スーパーやデパートに寄ってきます。そうすると、人混みの気で体についた汚い、陰の気を払い落とせます。玄学の視点から見ると正しいです。日常生活の習慣にも反しませんし、やるには難しくありませ

ん。信じようが信じまいか、こうした方がよいでしょう。また沢山の人が亡くなった親族を記念するために、故人の絵や写真を家に飾っています。これで陰陽が一緒に住んでいることになり、だいぶ家のハッピーの雰囲気を弱めます。なぜなら亡くなった親族の前で友人と楽しく歌ったり、笑ったり、大酒を飲めるでしょうか。大変失礼なことではないですか？また教会、お寺や神社、病院の近くに家を買わない、建てない、火事の後にできた新築を買わない、人身事故のあった凶宅を買わないことについては、すべて霊が住宅の風水に影響するわかりやすい実例であり、言うまでもありません。

ゲストの発言のあと、更に盛り上がりました。皆は質問して、盧台長は解答しました。以下も2,3例ですが、読者の皆さんにヒントを与えられればと思います。

問：故人の画像をかけなくても、親族を記念する方法はありますか？

答：普段は写真を引き出しにしまっておいて、清明、冬至、中元、命日の時に出して祭り、記念すれば、両方とも配慮できます。

問：ペットの犬が死んだので、我が家の裏庭に埋めたら、風水に影響を与えますか？

答：これは霊が風水に影響する典型的な事例です。普段裏庭を通りかかるたびに、きっと具合悪く感じます。

問：盧台長に天眼を使って、我が家の風水を見ていただいたことがあります。あなたは左側、右側、上、下とおっしゃいましたが、我が家の部屋とそれぞれ一致しません。これはなぜでしょうか？

答：これは簡単です。私は天眼を用いて何十何百キロ離れた住宅の風水を見る時、一重一重の壁は存在せず、お宅の全体の気場がいいかどうか、どこに黒い気があるかを見ます。ですから、一室一室の部屋ということではなく、上下左右しかないのです。

問：今家を物色していますが、以前人が死んだかどうかはわかりません。なにか方法はありますか？

答：簡単な方法を二つ紹介しましょう。第一、自分の第6感を信じてください。これは霊感ですね。霊感が悪ければ、この家を諦めてください。第二、家を見る時に2，3歳の子供あるいは子犬を一緒に連れていってください。もし子供か子犬が理由もなく泣いたり、すねたり、叫んだり、落ち着かないなら、この家に問題があります。

紙面に限りがあるため、メモは以上です。ご興味がある方は最新の中国語新聞をご覧になってください。また似た座談会があると思います。

良宵081010

付録文二：「一命二運三風水」1冊～5冊は本になりました　良宵081028

1．2008年の年初から今日に至るまでの10ヶ月に、私はラジオを聴きながらメモして、断続的に5冊を書きました。平均2ヶ月に1冊。今は盧台長の番組は本数が増えました：毎週新しく設けられた4時間の電話相談、毎日夜再放送の7時間、毎日盧台長の名を慕ってやってくる何十人の来客との面会、聴衆が自ら企画した懇親会、また定期的に盧台長が開催する大型のライブ解答会。番組を聴きたい場合はたくさんのチャンスができて、この内容的に浅い冊子の使命はもう達成されたので、これで一旦終了します。

2．この5冊の内容は、盧台長に一つずつ文字と文章をレビューしていただきました。主に二つの内容：盧台長が「天眼」を用いて見た「不思議の実話、信じられないが信じざるを得ない」事例を記録し、また盧台長の確実に実行できる、自分の運命を変え、家族の健康を改善する方法を紹介します。これで読者の皆さんと聴衆の皆さんに“今後は生き甲斐を感じて生きてもらい、あの世にいくときも未練なく、さっぱり去れる”と願っています。

3．この5冊の内容は不思議ですがすべて実話であり、実用的な資料です。盧台長はこれらを本に印刷することを計画しています。これで長期保存と

閲覧にも便利です。私個人としては、この本に書かれた該当の方は全員一冊を持ってもらいたく、ペーパーバック版ならなおよいです。これで自分に役に立つだけでなく、子どもや後学ための研究にも重要だと考えています。

４．海外在住の方がこの「一命二運三風水」が必要な場合、alltime24@hotmail.comにメールください。私は2008年11月15日に第5冊の内容を少しばかり修正した後、まとめてシドニー以外に在住の方に送ります。メールに住んでいる都市名を明記してください、これであなたのシドニーの友人から郵便物を送る手間が省けると思います。11月15日以降は直接“オーストラリアの東方電台（ラジオ局)、電話：02 92832758に連絡してください。

良宵　第5冊完成時081028　シドニー

あなたがこの本を読んだ後に疲れないことを願っています。
ごゆっくりおやすみなさい。

第1冊～第5冊までの読者からのフィードバックを楽しみにしております。予め御礼を申し上げます。

皆様とご家族のご健康と多幸、事業の成功、すべてがうまくいくようにと祈っています。

良宵　　2008年11月15日　シドニー

第二部分　蘆軍宏台長のブログにアップされた一部分の文章の特集

蘆軍宏台長による玄学の基礎の解説（2009－01-30）

皆さん：こんにちは。
私が道を歩く時、沢山の人は私が誰だか分かりませんが、私の声を聞いたら、この声は蘆台長の声だと分かるはずです。

それではまず最初に、皆さんに感謝したいのです。八年間聞いてくれて、皆さんの真心が心に伝わって、暖かく感じます。ここで皆さんを祝福して、皆さんが健康で、万事順調で、事業が発展するよう祈ります。ありがとう。

沢山の聴衆が初めて私を見た時、「蘆台長の声は老人のように聞こえますが、本人を見たら若々しい感じがしますよ」といつも言います。実は、私はいつもお経を読んで、座禅をして、ある力によって自分を調節するようにしています。番組でいつも皆さんのトーテムを看ますが、トーテムとは何でしょうか。それはこの世の誰でも天上にその人の画像が現れるのです。中国人には干支がありますが、例えば、猪なら、天上に猪のトーテムがあって、酉年なら，酉のトーテムがあるのです。西洋に、獅子座などの星座があるのと同じことです。つまり、天上にトーテムがあって、冥府には名前があります。だから、トーテムを看るのは嘘ではありません。問題はトーテムを看てからの解釈が重要なのです。

実は、欧米では陰陽八卦が既に遺伝子コードに組み込まれています。だから彼らに組み込まれた遺伝子コードを中国式に解読されたものが中国古代の八卦というものです。科学的に言えば、現在使われている液晶は中国古代の六十四卦によって研究開発されたのです。だからここで皆さんにこれ以上のことは話しません。科学者と宗教家がこのことについて議論したことがあって、今日皆さんに最初に話したい問題は、アメリカでよくこの討論会を行っていることです。ある天文学者が「私は生涯空を見てきましたが、私が見たのは月や星で、上帝とか天使とか菩薩とか見たことがありません。だから、私はそういうものの存在は信じません。」そうしたら、その宗教家が科学者に「あなたは風を見たことがありますか、あなたは電気を見たことがあります

か」と聞きました。みんな見たことがないと答えました。「でも存在していますか？」存在しています。「私たちは毎日電気を使ったり、風も感じたりして、これは一種の感覚です。エジソンが電気を発見する前に電気が存在しなかったことはないでしょう。」もう一人の科学者が「私は外科医ですが、生涯手術をしてきました。そこで聞きたいのですが、私は霊魂なんか看たことがないので、その存在を信じません。」と言いました。そうしたら、宗教家が彼に「先生、あなたは奥さんを愛していますか」と聞きました。彼は「とても愛していますよ」と答えました。「それならどこで愛していますか。あなたは手術で自分の体を解剖して、どのように愛しているか見せてくれますか」と言いました。それは看られないものです。沢山の聴衆は蘆台長がこの能力でトーテムを看ることができるからやってきたのです。でももし信じないなら、看ても役に立ちません。友達を作るのと同じように、例えば、誰かが友達を紹介するとしましょう。「こちらは李さんです、李さんは力になってくれますよ」と紹介したら、「あ、李さん、こんにちは」。心の中で、李さんは本当に力になってくれると信じなかったら、力になってくれません。トーテムを看るのも同じで、信じる気持ちがなかったら、役に立ちません。私はよく言いますが、この能力は菩薩が下さったのです。もし皆さんもよくお経を読んで、修行をしたら、いつか皆さんも看ることができるから、蘆台長も特別ではなくなります。もし、皆さんも見えるなら、私に「ああ、蘆台長、私たちも見えました」と言うはずです。皆さんの教えてくれるものは真実のもので、ちょうど私が見ているものと同じです。だから、発見されないからと言って存在しないものとは限りません。考えてください。見えないものは本当に存在しないと思いますか。あなたのインスピレーションはとても大切なことです。人と接する時、例えば「こんにちは、こちらは張さんです。こちらは李さんです」と紹介されて、少し話しただけで、自分がこの人とあまり付き合いたくないことが分かるのです。これはどうしてでしょうか。この人とは波長（気場）が合わないからです。「気場」というのは、人それぞれの気が違うということです。付き合いたくないのはあなたの気とその人の気が違うからです。

それでは次に、世界にはどうして陰と陽があるかお話をしましょう。例え

ば、太陽は陽で、月は陰です、男は陽で、女は陰です。陰と陽が不調和になるか、あるいは調和しないとどんな問題が起きるのでしょう。もしある女性の陽の気が強くて、陰の気を抑えていたら、彼女の性格は男のようになって、何かするときに決断力があります。家では夫は陽なのですが、女性も陽の気が強いので、二人はいつもぶつかって、けんかが絶えないのです。また同様に、女性が陰の気がとても強かったら、よく気分が悪かったり、楽しくなかったりするから、話す時も声が小さくなります。夫も弱弱しい人で、何ごとにも優柔不断になるのは、つまり、陰の気が陽の気よりも強く、家では二人とも何事も解決できません。だから、陰と陽のバランスを取ることが大事で、世の中や、生活上、ますますうまくいくようになるのです。だから、陰陽のバランスは本当に大切なことです。韓国にも八卦があって、陰陽の調和を大切にしています。

次は、今なぜ陰陽が転倒したかについて話します。皆さんに聞きたいのですが、皆さんの持っているお金は陰のものですか、陽のものですか。実は陰のものです。陰のものは隠さなければなりません。ベランダに吊るしたりしませんね。人々はお金を金庫や、財布や、ポケットに入れたりします。陰のものなので、常に表に出してはいけません。そうでないと、トラブルが起こります。もし、誰かがポケットから１００元のお札をいっぱい出して、中の何枚かだけ店員に出して、他のお札をそのままポケットに戻したら、周りの人が皆この人に注目し、この人を尾行する人も出るし、お金が奪われることになるのです。これは陰陽の問題です。現代人は陰陽を取り違えたのです。例えば、夜寝ないで、真昼間に寝ているとか. 漢方を知っている人や、医学の知識を持っている人なら分かりますが、人間の臓器は夜になると、休むべきです。夜寝ない人や、昼間に沢山寝る人は必ず内臓に支障が出ます。

また、皆さんに玄学とは何かについて話したいのです。皆さんはよく知っていますが、占いや、風水や骨相占い、夢解き、くじ引き、面相、手相、脚相など沢山あります。私自身は番組で一命二運三風水を八年間やってきました。皆さんに聞きたいのですが、「命」は人生の中での割合はどれぐらいなのか知っていますか。はい、40％です。もし運命の全体が100％だとしたら,「命」は40%, 第二は運です。「運」も運命の40%を占めています。だから多く

の人が小さい時から占いをしてもらい、占い師は「この子は運命がよくて、将来は大物になりますよ」と言います。しかし、なぜこの子は大きくなってから金運に恵まれず、金持ちになれる時期になれず、幸運であるべき時期に幸運に恵まれないのでしょう。それは「命」は変えられないけれど、「運」は変えられるからです。40%の「運」を変えると、40%の「命」が変わることになるからです。例えば、40%の「命」はよかったとして、5年間の間で何かのきっかけもよかったら、40%の「運」もよくなります。もし、同じ40%の「命」がよくても、悪いことをしたら、その40%の「運」が40%の「命」をダメにしてしまいます。後の20%は風水です。「命」と「運」が互いに打ち消しあっている時、家の風水や会社の風水が大きく作用します。是非覚えてほしいことは、風水はとても大切ですが、やはり「命」と「運」を拠り所にすべきです。中でも、変わりやすいのは４０%の「運」と20%の風水です。だから、多くの人は20%の風水に気をつけますが、「運」を変えようとは考えません。多くの人は「運」を変えなければなりません。「命」と「運」は一緒にあるので、他の人がこの人の運命がいいかどうかというのであって、「命」は変えることができないが、「運」は変えることができるのです。

結婚も運命を左右します。つまり、ある人は元々順調だったのに、結婚してから運命が変わってしまったのです。なぜ変わったのか。それは結婚してから、夫婦の「命」が一緒になることは、八字に合うということですが、元々運のよかった人ですが、結婚した奥さんの「命」が悪かったら、この人の「運」は衰退してしまいます。元々不運な人でも、幸運な奥さんだったら、運がよくなります、所謂「男を上げる女」です。「男を上げる女」なら、夫の運を変えることになります。だから、結婚はとても大切です。というのは、運をあげてくれるからです。昔、結婚する時、仲人の言葉や両親の言いつけ、それは不自由でしたが、両親は娘を嫁にやる前、或いは息子が嫁をもらう前、あるテストをします。つまりお互いの八字が合うかどうかを看ておくので、昔は離婚が少なかったのです。その時代は封建的意識が強かったのですが、現代人は一目ぼれで結婚してしまう人がいるので、離婚も早いのです。ここに矛盾があるのです。今日のように科学がこんなに発達した社会で、どうしたら自分がこれらの問題から解脱できるでしょうか。ご存知のと

おり、現在、天災・人災や、大小の災いがよくあります。誰にでも、三つの悪弊があります。一つは貪欲、二つ目は怨恨、三つ目は愚痴です。沢山の人は仏法を習ったことがあって、これらのことは貪瞋痴（たん・しん・ち）と言います。皆さんは貪瞋痴が国や世界にどんな災難をもたらすか知っていますか。貪欲な国がいつも他の国を侵略しようとしたら、この国はいつも水害に見舞われます。怨恨が強い国は火災に見舞われます。愚痴の多い「気」がどうして自然に影響するんですかと尋ねました。確かに自然に影響します。自然災害は結局人災なのです。この言葉で分かるでしょう：天の時、地の利、人の和。これは天人合一のことです。天気は人によって変わり、人も天によって変わるのです。天の時は絶えず変わるので、自然災害が起きます。人の悪行が大きいときは天の時に影響します。かつて、皇帝は天台でよく祖先を祭って雨乞いをしましたが、もししなければ、庶民は苦しみます。これは簡単な道理です。だから、皆さんは是非これらの貪瞋痴をしないでください。

台長が天眼を開いて特別な能力を持っているからと言って崇拝しなくてもかまいません。皆さんも大きな能力を持っています。簡単な例で言いますと、新築の家に行ったとしましょう。中に入った時、なんとなく気持ちが悪くて、背筋が寒く、両手に冷や汗が出て、鳥肌が立ったりしたら、その家は陰の気が強い家です。或いは集まりの中で、誰もが微笑みかけて、あなたも微笑み返すと、その人はいい人だと感じるんですが、どうしていいのでしょうか。先ず、笑顔はいいものです。それからその人は善良であるかどうか見て取れるのです。問題は人を騙すような人は、いい顔を作って見せます。私は皆さんに人を見抜く方法や、予測をすることを教えて、善行を積んで、悪い人に騙されないように。自分は騙されても、子供たちが決して騙されないようにしなければなりません。もし、子供たちが騙されたなら本当に自分に申し訳ありません。また、沢山の人は親孝行とは両親によくしたり、ものを買ってあげたり、おいしいものを食べさせることだと思っています。実は自分の体を守ることも親孝行ですよ。あなたの体は両親からもらったものですから。もし、あなたが自分の体を傷つけたら、両親はあなたよりも辛く思うのです。あなたが病気で寝込んだ時、一番辛いのはあなたではなく、両親な

のです。だから、親孝行をすると共に、自分の体を大切にしなければなりません。

人に善行を勧める時、ある人が、蘆台長、私の癇癪が直らないと言いました。癇癪とはいったいなんですか。蘆台長はこう思いますが、癇癪とは長年にわたってできたもので、独りよがりの一種の習慣です。赤ん坊の時、独りよがりがありますか。それは甘やかしであって、独りよがりです。女性の多くは独りよがりで、彼氏は私によくすべきで、私をかわいがってくれるべきで、男をあまり大事にしないのです。それで、高慢な悪い癖がついて、私はこういう人間で、こういう性格で、好きなら好き、嫌いなら嫌いということです。後で50歳になって、愛してくれる人がいなかったらどうでしょう。何が問題なんでしょう、それは悪い癖です。だから、何事も変えられないと言わないように。この悪い癖はあなたの運命になって、悪い癖を直せばあなたの運命を変えられます。沢山の人は商売をやっていない時、とても高慢でしたが、商売を始めたら、いつもにこにこするようになります。レストランでお客さんがいない時、誰かが見せに入ってくると、「いらっしゃいませ、どうぞ、どうぞ、うちはおいしいですよ」と言って出迎えます。これがつまり悪い癖を直すということで、そうでなければ、レストランを開いて、儲けたりできません。悪い癖を直さないと妻にも逃げられて、夫も出て行きます。子供たちも家から出て行ってしまいます。子供はなぜ両親から離れるのでしょうか。両親はいい人ですが、悪い癖があります。性格が悪ければいい人ではありません。しょっちゅう人の悪口をいう人はいい人ですか。ですから何かの口実で自分の欠点を隠さないでください。

でも、台長は皆さんを守りたいと思っています。いい話をお聞かせしましょう。何の話ですか。これらの悪い癖があったのは、すべて皆さんのせいとは言えません。沢山の性格の悪い人は、確かに体に霊がついていて、ある人には家に霊がついています。だから、多くの男性は家に帰ると、わけもなく怒りっぽくなって、ものを壊したりします。本人も訳もなくさっきまで笑っていたのに、ちょっとしたことで怒り出します。現在の人が怒り出すのが天気の変化よりも速いのはこういう理由です。というのは気の場が彼に影響するからです。また、沢山の人には悪い癖があります。他の場所で溜まったス

トレス（癇癪）を別の場所で爆発させます。これは気の場が転移したのです。例えば、中国には沢山の警察官がいますが、外で人に罵られたり、叱られたりして、家に帰ったら、妻に八つあたりします。だから、多くの人は警官と結婚したくないのです。職業病だからです。実はその人たちはいつも外で怒りを買うばかりで、気の場がよくないので、不愉快です。発散する場所がないので、粗探しをして発散するのです。人間として自分の感情をコントロールすべきです。それが分からなかったら、人間ではなく、動物に近くなります。人間が動物と違うところは、自分の考えや行動をコントロールできることです。犬はいくら賢くて、飼い主の機嫌を取るのが上手になっても、繁華街で便意を催したら勝手にしてしまいますが、人間ならしないでしょう。これがつまり考えをコントロールするということです。

次に皆さんに話したいのは、木には根があり、川には源があるということです．縁があるから出会いますし、縁が深かったら家族になります。例えば、前世で縁が深かったら、現世では、父母,兄弟になります。もし縁が浅かったら、友達や遠い親戚になります。夫婦になるのは、よく言えば夫婦の縁で、悪く言えば敵同士になります。昔から敵同士といわれます。でも、敵同士には良縁もあれば、悪縁もあります。これは縁がなければ出会わないということです。もし結婚したらあなたは相手の敵になります。なぜある夫婦が一生喧嘩していても別れないのでしょうか。夫に一生叱られても罵られても、なぜ別れないのでしょうか。また、あるカップルは結婚前はとてもよかったのですが、結婚後は何を言っても嫌に感じるし、何を頼まれても面倒だと感じて、喧嘩したりします。これはなぜでしょう。この時期になると、喧嘩する縁があるからです。ですから喧嘩するのにも法則があります：普通は三年とか、五年です。三年の間はだんだん衰退してきて、夫婦の感情が悪くなります。三年が過ぎると、しばらく仲良くなり、大体三年から五年で、また喧嘩が多くなります。一つ無視してはいけないことは、清明節の前に沢山の人が病気になったり、体の調子が悪くて、頭が痛くなったりします。また七月の中元の時期とか、中国のいわゆる冬至の前などに、亡くなった先祖がやってくる可能性があります、皆さんには見えませんが、ちょっと修行した人なら夢で見ます。例えば、皆夢を見ますが、ある人が「夕べおばあさんの

夢を見ました、夢枕に立って、何かを知らせました。」と言って、蘆台長に聞きました。それは、彼女が夢であなたにお願いして、お経を上げて成仏させてくれたら嬉しいということです。もしそうしてあげなかったら、あなたは頭が痛くなったり、体調を崩して、家族で喧嘩をすることになるのです。もう一つ言いますが、夫婦喧嘩の時、あなた達には見えませんが、二人で喧嘩している時、相手の人の誰かに何かがついています。これは何でしょう。皆さんご存知の霊というものです。つまり、その人の怨恨のある人と借りのある人、或いは亡くなった両親とか祖父母などです。ある夫婦が喧嘩している時、私ははっきりとある老人がついているのを見ました。その老人はとても醜い様子で、つまり亡くなった時の様子でした。そして、奥さんの体にへばりついていました。この奥さんは普段は温厚な人柄で、夫と喧嘩をしない人ですが、なぜこの日に狂ったように夫を指差して罵って,聞くに堪えない言葉を言ってしまったのです。それは普段の様子とはまったく違っています。また、沢山の夫たちも同じことです。というのは体に何かがとり憑いているからです。沢山の夫婦が喧嘩して、いつも「もう別れましょう、あなたなんかもう要らない」と言います。喧嘩するときは正常な人間ではありません。普段優しそうな人でも喧嘩する時は鬼のようになります。険しい顔つきは妻が憎くて食ってしまいそうで、もちろん妻のほうも同じです。罵った言葉は聴くに堪えないもので、ひどい言葉で呪い殺すほどです。実はこの時、体に何かがとり憑いていたのです。ある夫婦が私のオフィスにやってきて、意見が合わなくて、その場で喧嘩し始めました。男の人が口汚く罵っていたので、私はトーテムを看たのです。そうしたら、男の人の肩に小さな霊が座っていて、彼の髪の毛を引っ張っていました。引っ張る度に、男の人は口汚く罵るのです。私は意念を使って小さい霊に説得して、「もう出て行ってもいいよ、後でこの夫婦にお経を上げさせて、あなたを成仏させましょう」と言いました。それを聞くと、霊は飛び上がって出て行きました．行った途端に、男の人は蘆台長に「ごめんなさい、ごめんなさい、こんなところで喧嘩してしまって」と言いました。また、すぐ奥さんに「ごめん、ごめん」と言いました。この変化がどんなにはっきりしているか分かったでしょう。

こういう喧嘩は解決できる方法がありますよ。もし相手の人と喧嘩する

時、どうしたら解決できるでしょうか。先ず、相手が夫の場合、夫のかわいそうなところを思い出してください。例えば、帰りが遅くて、あなたが先に寝てしまって、食べ物がなくて、自分で台所に行って適当に食べたり、或いは会社で上司に怒られて、不愉快な気持ちで帰ってきたとかのことを思い出すと、喧嘩しなくなります。妻として夫を許さなければなりません。男性はなぜ女性より早く死んでしまうのでしょう。ここで、大体のことを紹介したいのですが、ユネスコの統計もありますが、男性は女性より寿命が短いのです。女性にはいくつかの特性があります。先ず、何かあれば口に出します。心理カウンセラーのようにすべて吐き出して、心に残らなくなるから、すっきりします。例えば、人に何かされた場合、子供にも言うし、夫にも言うし、いろいろ打ち明けると気持ちが清々します。男性の場合はいつも気持ちが抑えられています。中国人は、男性なら涙を見せないのが美徳とされるので、ストレスを感じても、女性のようにいろいろ喋ったりしません。心に篭っているので、ずっと溜まっています。もしこの観点から見れば、50代や60代になったら、ずっとストレスが溜まって死んでしまいます。本当に女性より早死にします。こう思えば許せます。男性なら、奥さんのかわいそうなところもよく考えてごらんなさい。あなたの嫁になってから、あなたの苗字になって、子供を生んで、家では家事全般をやるし、親の世話もしなければなりません。ある女性は働きにも行かなければなりません。本当に大変で、彼女は一生をあなたに捧げたのですよ。喧嘩するなんて、彼女に申し訳ないでしょう。お互いに相手の苦労を考えたら、もう喧嘩をしなくなります。

次は子供についてです。よく言われることですが、子供のことを「借金取り」と言います。「借金取り」とは何でしょうか。生まれてきた子供は「借金取り」でなければ、「返済者」になります。子供が生まれたら、どうやって「借金取り」か「返済者」かを見分けるのでしょう。もしその子が「借金取り」なら、生まれてすぐに病弱で、しょっちゅう病気して、親の金を使います。それから、しょっちゅう体の調子がよくなくて、子供のことで夫婦喧嘩をします。大きくなったら、あれがほしい、これがほしい, と言ったり、言うことを聞かなかったりします。こういう子供は七、八割は「借金取り」です。また、とてもかわいそうな子供たちがいます。生まれてからとてもおと

なしくて,泣くのもこっそりと泣きます。物を食べるときも子猫のようで、こういう子供たちは「返済者」です。だから、生まれた子供がどちらなのか分かっていれば、育て方が分かります。もし「借金取り」なら、なるべく子供に手を出したり、叱ったりしないように。少なくとも普通に言えば、もういいと諦めたら、心のバランスが取れて、平静になります。皆さんはよく私の番組を聴いているので、分かると思いますが、母親と子供がとても親密で、夫よりも親密なのです。夫は元々家ではボスで、妻は夫を大事にしますが、子供が生まれると、妻は愛情をすべて子供に注ぎます。多くの聴衆が私に「台長、ご存知ですか、昔は家で私が何でも私の言うとおりになって、妻も尽くしてくれましたが、子供が生まれてから、妻は『私はすべて子供のために尽くします』と言ったので、悲しかったのです。」と言いました。これは命相学で言えば、子供に借りがあるのです。だから、生まれてきた子供が「借金取り」か、「返済者」か分からないのです。一般的に、女の子は大体「返済者」で、男の子は「借金取り」です。だから、人々が「この借金取り」と言うのを知っているでしょう。男の子はいたずらで、しっかりしてくれなくて、トラブルばかり起こして親を困らせます。母親は子供を抱いて、乳をやったり水を飲ませたりして世話をしてやるのは、つまり返済しているのです。もう一つの言い方をすれば、人間として、親孝行をしないと、すぐ前世の報いが現れます。どのように前世の報いが現れるのでしょう。それは子供があなたの晩年に親孝行をしなくなります。この道理が分かれば結構です。だから、台長の看るところによれば、何人もの子供と母親の関係は前世では夫婦でした。私はいつも皆さんに例を挙げています。ある母親が一生子供に虐められて、何回も息子に追い出されて、台長のところにやってきて泣きながら言いました。「台長、助けてください、私にいったいどんな罪業があるのか見てください。私はこんなに息子に虐められているのです」と言いました。台長が看たら、古い家の前に一組の夫婦がいて、男のほうが今の目の前の母親で、女のほうがその息子だったのです。これで皆さんは分かったでしょう。と言うのは前世で、夫が妻を一生虐めると、現世では妻が息子になって借金を取りに来るのです。興味深いことに、この母親は「台長さん、息子の将来は有望でしょうか」と聞きました。これは本当に借りがあって、借り

が大きいと言えるのではないでしょうか。

次は嫁姑の問題について話します。実は嫁姑の関係も前世の貸し借りです。ある夫婦が私のところにやってきて聞きましたが「私たちは仲が良いのですが、変なところがあります、夫婦の営みがうまくいかないのです。私たちは前世ではどんな関係だったんでしょうか。」私が看たら、二人は兄弟でした。最初は教えたくなかったのですが、どうしても知りたがったので、つい教えたのです。「ああ、そうだったんですか。私たちは仲のいい時も悪いときもあります。二人とも頑固であっても、普段仲がいいので、別れようとしても別れられないのです」。しばらくして電話がかかってきて、「教えてくださってから、二人はベッドで向かい合っていると、変な感じがします」と言いました。これを教訓に、台長はこういうことについて言わなくなりました。過去のことについて, もし亡くなった人、例えば、両親とか、祖父母が天上のどこにいるかについて私は皆さんに言います。皆さんはお経を上げることができます。現世の人は知らないほうがいいのです。知ってしまったらかえってよくありません。

またもう一つ話しますが、聴衆の中で、かつて何ヶ月か前に何人かの人が胃腸に何かできたといって、その後検査したら本当でした。私はある男性に彼の胃腸に黒い気が溜まっていて、大きなトラブルになるかもしれないと伝えたら、彼は番組の電話で「そうですか、何も感じていませんが」と答えました。私は「検査を受けてください」と言うと、その人は三ヵ月後に病院に行って検査を受けて、その検査結果を持って私のところにやってきました。その検査結果には、お医者さんが人体図に、その人の直腸癌の位置に印をしたのです。その人は私に「蘆台長、私の命がなくなると聞くと、もう精神的にだめになりましたよ」。私は彼を慰めて、生きていける方法をいくつか教えますよと言って。放生をしたり、どんなお経をあげたらいいかということなどを教えました。その人は今日もこの会場に来ています。もう一人の聴衆も同じで、彼は三年前に電話がかかってきて、二人の病状を聞いたのですが、二人とも腸がよくなくて、二人とも腸の中に黒い気が溜まっている感じなので、早く検査に行くように勧めました。結局二人とも大腸癌でした。アメリカに住んでいて、その人の親戚でした。その後亡くなったのです。と言うの

は、その後電話が通じなかったからです。今日はその人の親戚がこの会場に来ています。また他にもいて、名前を言いたくありませんが、その人は肝臓がダメで、肝臓の摘出手術をしなければなりません。本来は切ってから一部分残しますが、残した部分も悪くなって、がん細胞が広がりました。広がってから、私は彼にお経をあげさせて、お経を始めてから、また他の方法を教えたら、その人は治ったのです。その後、およそ一ヵ月後にまた私に「蘆台長、またダメになりました、また広がったのですよ」と言って、彼はがっかりしました。まだ若いので、私はまた彼にお経をあげさせました。およそ二ヶ月経ってからＣＴ、超音波で検査したら、どちらも癌がなくなっていました。私は皆さんに病院へ行くなとか、注射をするなとか言っているのではありません。治療を受けると同時に、心の治療、霊魂の治療をもしてください。と言うのは、人間が病気になるには二通りあります。一つは体の病気で、例えば風邪などです。もう一つは罪業から来る病気です。この種の病気は病院では治らないものです。もし誰かが病院でいくら調べても病名が分からない場合なら、9割は罪業から来る病気です。体に誰かが取り付いているか、何かの霊がとり憑いているはずです。罪業から来る病気はつまり体に霊がとり憑いていると言うことです。レスリー・チャンの親戚から聞いた話ですが、レスリー・チャンは死ぬ前友達と一緒にいる時、何度も突然立ち上がって、嬉しそうに笑ってベランダに歩いて行って、ベランダのフェンスに足をかけたのです。友達が慌てて「あっ、何をするんだ」と言って、彼を引き止めたら、レスリーが「なんでもないよ、先ほどある人に呼ばれて、見に行っただけだよ」と言いました。二、三回そういうことを繰り返したそうで、結局ある日、家に誰もいない時彼はそのように飛び降りてしまったのです。これは体に霊魂がとり憑いた典型です。病院に行って検査をしても、異常がないのに、体調が悪いのは罪業から来る病気を考えたほうがいいです。

最後に皆さんに教えたいのですが、私は観世音菩薩にお願いして霊験を現してほしいと思って、皆さんに神通力のある宝物をいただきたくて、皆さんに感じてもらいたいのです。信じるかどうか別として、ある動作を皆さんに教えたいのです。体にいいはずです。私は気功が分かりませんし、太極拳などもできませんが。この問題を聞いたら、観世音菩薩が現れるのを見まし

た。それは朝八時ごろで、現れてから、私は観世音菩薩にお願いしたら、菩薩は私にある動作を教えてくださいました。簡単な動作です。手を上に上げて、五本の指を楽にして、二つの蓮の花のようにします。そうしてから、ちょっと頭の中の雑念を消しさえしたら、五本の指が痺れたように感じるはずですから、三分続けたらいいでしょう。この動作を終える時、この気を無駄にしないように、四本の指を親指の上に置いて、終わりにします。いつでもどこでもできます。この動作は体を鍛えるのと同じです。このようにしたら、ほぼ90%の聴衆は指が痺れて、手のひらの中心が熱くなります。皆さんどうぞやってみてください。この動作を知ってから私は本当に嬉しく感じますが、医学的には解釈できません。ある日、医師の陳世敏先生にこの番組に来ていただいた時、私は菩薩の教えてくださったその動作を話して、医学的に説明していただけませんかと聞きました。陳先生がその動作をした後「ああ、これは絶対あなたが天上の気を受けている動作ですよ」と言いました。私はこの動作を皆さんに紹介して、是非皆さんに修行を続けてほしいと思います。四本の指を親指においたらいいです。いつでもどこでもできます。この動作は体を鍛えるのと同じです。

最後に、皆さんのご健康とご多幸を祈ります。

オリエンタルラジオ局2008年12月3日

観音堂開示弟子編

(2009-03-04)

以下は盧台長がオリエンタルラジオ局の観音堂にて多くの弟子たちに開示した記録で、玉仙姉弟子によって整理され、功徳は非常に大きい。

これを掲げた目的は、皆さんに次のようなことを解ってもらいたいからです。盧台長がお話になった佛法は、白話の佛法で、解りやすい解釈であるばかりでなく、奥深く高次元の理論と要求もあるのです。だからと言って皆さんにこの要求通りにすることを求めているわけではなく、修行は尽きるところがなく、次にどうすればよいかということがここにあるのです。

まず、私はみなさんに、佛法教育とは私たちが本来持っている智慧と徳能を恢復することだということを言いたいです。皆さんは修業が簡単なものではないことを知らなければなりません。心底から誠心誠意自らの行動によって修行し、修行によって自分の体にあるいわれのない悪習を取り除くことを習得しなければなりません。それらのいわれのない悪習を心の中や世の中に留めてはいけません。私心と戦い、私心雑念を駆除することを習得しなければなりません。自分の宇宙や人生に対する間違った考え方・言い方・見方・やり方を正さなければなりません。心の修行をするには清浄な心でなければなりません。清浄な心は何より大切で、心が清浄なら一切の妄想・執着・邪知・邪念をすべて取り除くことができます。清浄な心は智慧を生むことができます。心が清浄なら体も清浄です。心身ともに清浄なら、人間界もすなわち清浄です。

人々の平等について：この平等というのは、どんな基礎の上に打ち建てられているかがとても重要です。この世界に絶対的な平等はありません。実のところ、この平等というのは、原始的な魂の基礎の上に打ち建てられていて、心によって均衡が取られています。平等心は後天的な心理によって調整され補われるべきで、智慧によって心理的な障害を解消することを会得すべきです。大きい例では、社会において、幸運に恵まれる人もいますが、惨めで貧

しく落ちぶれる人もいます。小さい例では、家庭の中で、夫と妻で出し合うものに多い少ないがあります。これらはみな平等心に対する試験です。

親に孝行することと師を尊ぶことについて：どうして親孝行と師を尊ぶことを一緒にするのでしょうか。

一日の師は親と同じで一生続きます。皆さんはこの道理を弁えなければなりません。どうして親と師を一緒にするのでしょうか。師は自分の精神で、自分の魂で皆さんを照らし、自分の「気場」で皆さんを照らし、本当に大したことです。あることは自分の両親でもできないことです。両親は私たちに体をくれました。しかし、師は私たちに佛道を歩ませ、私たちの霊魂と人生を無事に過ごさせてくれるのです。人生における魂からくる多くの病は、必ずしも両親が救ってくれるとはかぎりません。しかし、師なら救うことができます。ちょうど観世音菩薩が私たちの師であるように、私たちの師も私たちを救ってくれるのです。ここでいう師とは、決して盧軍宏師だけではなく、私たちを正道に導いてくれるすべての菩薩です。「孝と敬」は人としての性(さが)からくる徳で、ただ人としての性かるくる才能だけが私たちの己(おのれ)の性(さが)を開いてくれるのです。「師道」は仏陀の教育であり、「師道」は「孝道」の基礎の上に打ち建てられるものです。「孝道」が無ければ「師道」を語ることはできません。皆さんは必ず師を尊び道を重んじなければなりません。師を尊び道を重んじて初めて学業を成就することができるのです。

和を見て解を同じくすること：つまり共通認識（コンセンサス）をもつことです。このように言うこともできます。真心を持って付き合い、でたらめな心ではいけません。というのは、でたらめな心は人によって違うからです。和を見て解を同じくできるのは真心しかありません。真心には妄念がありません。

自分が持っているすべての執着を捨てることを会得しなければなりません。例えば、今日二人の弟子が話しましたが、観点や意見が違っていました。それでは、どうしたら和を見て解を同じくしたらいいのでしょう。それ

は菩薩の智慧によって解脱したらいいのです。というのは誰もが皆観点が違っていて、背景も同じではありません。皆さんはこのことが会得できたら、どこにいても違った見解や矛盾から解脱することができます。これは非常に深い学問です。実際、見解を同じくすべきで、さもなければどうやって和解するのでしょうか。どうすれば同一の観点から和解に到達できるのでしょうか。「解」について話しますが、「解」は、決して皆さんに自分を抑圧させるのではありません。どんな怒りも抑圧するのではなく、そこから解脱して怒りを捨て去ることを会得しなければなりません。最高の境地は解脱であって、自制や抑圧ではありません。中国には「忍」という字がありますが、つまり、どんなことでも忍ばなければならないということです。実は、「忍」は最高の境地ではありません。皆さんは『忍者亀』という映画を見たことがありますね。行きつくところまで忍んで、彼は心に一振りの刀を出しました。彼はいつの日かこの刀で心をズタズタにしようと思ったのです。忍耐は一時的なもので、最高の境地ではありません。もし、皆さんは意見が食い違ったら、どのように解脱するか会得しなければなりません。観点を話しますが、必ず解脱に拠れば、自ずから解決します。

さて今度は皆さんに「和を貴しとなす」の「和」について解釈しましょう。「和」というのは、皆さんご存知の通り「平和」です。「和」というのはつまり一切の一切は、出発点としての「和」を主とするものです。「和」という言葉は実際一つの出発点です。多くの人は分りませんが、「和」という言葉は、人と仲良くやっていくことだとか、平和共存だと思っています。もしあなたに非常によい出発点があって問題を解決するなら、どんなことでも解決できるでしょう。ですから出発点はとても貴重なのです。「和」があって初めて私たちの思想や見解を生活方式に次第に近付けることができるのです。

佛法聞き難し：良師にはなかなか遇えず、正法はなかなか聞くことができないとも言えます。この末法の世で、たくさんの人があちこちへ行って、菩薩を拝み、焼香し、法師に会いに行きます。中国では今仏教を信じている人がどれぐらいいるか分りますか。また、本当に読経の意味が分かっている人がどれぐらいいるのでしょう。またさらにどれぐらいの人が本当に読経の意味

が分かっているのでしょう。皆さん知っての通り、菩薩を拝んでいますとか、信じていますとか言っています。皆さんは以前お坊さんから佛を拝んでお経を上げないのは佛を拝まないのと同じだと聞いたことがありますね。菩薩の名前すら知らず、何も分らずにどうして菩薩の救いが得られるでしょう。私はいつも皆さんにあるたとえ話をしています。私はこの学校が好きで崇拝していますが、自分では学習もしなければ本も読みません。これではどうして大学に受かるでしょうか。一つの道理を分ってほしいです。「佛法聞き難し」はこの三期の末法の世において、菩薩の真諦を得ようとしたら、また観世音菩薩の加護を得ようとしたら、真の佛法を探し当てなければなりません。現在菩薩を学ぶのは難しく、佛を学ぶのは更に難しいのです。菩薩が一つの悟りであり、智慧であるのに対して、佛は覚悟であり、無上正覚なのです。あなたが開悟して正等正覚を得たとき、あなたはそこで菩薩になるのです。成佛しようとするなら、無上正覚を悟らなければなりません。

多くの人が自分は額ずいて、少しばかり本を読んだからそれで佛法が分かったと思っています。どんな本を読んだのですか。どんな法を聞いたのですか。その中の道理が分らなければなりません。私はいつもみなさんに言っていますが、釈迦牟尼佛がインドにいた時、いつも弟子たちを身近に伴って、彼ら一人一人に鉢を一つずつ持たせて、一軒一軒乞食（こつじき）して廻らせ、佛心を養わせた。原理はこうです。第一に、家にいる人に布施ができるようにして慈悲心を起こさせるのです。ノックの音がしたら、「あ、お坊さんが来た。南無阿弥陀仏、何かあげよう。」これが布施する心を養うということです。第二に、お坊さんの多くは貴族や商人です。得心して髪を剃って袈裟を着たのですから、佛主は彼らの慈悲の心を養い、彼らに自我を捨てさせ、彼らに傲慢な心を捨てさせ、彼らに自分が普通の人で、衆生は平等であることを感じさせるのです。今、皆さんはどこのお寺のお坊さんたちが路上で乞食しているのを見ることができるでしょうか。昔ある老僧が言ったことには、昔ある修行僧がこのように修行したから、私たちも彼らのようにしなければならないと。でもこんなふうに考えないでください。これが今の修心法に合っていると言えますか。改めるのは佛法ではなくて方法だということを

知らなければなりません。人間界での修業は人によって修心しなければなりません。一つの問題を出しましょう。もしある人が発心して、しっかり修心しようとして、俗世間を厭い、髪を剃り、家族を捨てて、自分が山に入って修心したとしたら、それは自分の解脱だけのためです。この人は余りにも身勝手ではありませんか。ただし、この人がもしこう決めたら、多くの僧侶や尼僧は「有難う。あなたは悟ったのですね。」と言うでしょう。本当に悟ったのでしょうか。以前、私たちは家を出て寺に入って出家するのは、「小さな家」を離れて「大きな家」入るのだと言いました。今、私が言おうとしているのは、「大きな家」を離れて「小さな家」に入ることは、自分で自分を修心するだけであって、皆さんを助けることにはならないのです。

三期末法の世では大乗仏教を学ばなければなりません。つまり、人を救うことです。人を救うときに本当の智慧と本当の力を得ることができるのです。師父が天眼を開いてからこんなに短い時間にこんなに多くの人を救うことができたのはどうしてでしょう。こんなに大きな力を得ることができたのはどうしてでしょう。それはすべて修行したからで、観世音菩薩が与えたのです。あなたがしっかり人を済度し、人を救済し、この正道正法を人々に伝えさえすれば、菩薩はきっと人一倍あなたにエネルギーを与えてくれるのです。こういう道理を分らなければなりません。末法の時期にあって、観世音菩薩はさまざまな人に化身して皆さんを救いに来るのです。現に師父も聴衆の皆さん一人一人を救っているのです。誰もが皆お経をあげるように、どの家庭もよくなるように、人を救い仏教を広め、衆生に利益をもたらすのです。

無上正等正覚：つまり佛菩薩です。師父がいま皆さんに教えるこの道、皆さんに教えるこの法門は無上正覚で、佛菩薩のところから来たもので、修行の最高の境地です。観世音菩薩はいつも私とともにいて、私にどのようにラジオ局で人を救うか話しています。皆さんはいま多くの法門がひそかに伝わっているのを知っています。私はいま皆さん一人一人の智慧を啓いて、観世音菩薩がどのように社会や人を救済するか教えましょう。仮にある小さな島が水害に見舞われたとしましょう。飛行機が来て、航空母艦も来ましたが、い

ったい何人救えるのでしょう。すべての人を救わなければなりません。しかし、その時多くの問題にぶつかります。老人や病人が航空母艦に乗り移る時に海に落ちてしまったり、あるいは心臓病が再発したりなどなどです。こういう人たちは可哀そうに縁がないのです。ちょうど、仏法を聞いたことが無い人のようです。本当に人を救うのは大衆に向かって行われなければなりません。本当に人を救うのは佛法を伝え聞いて行われなければなりません。皆さん、浄空法師を思い起こしてください。あの大法師は人をこっそり救ったでしょうか。ですから、何が正なのかしっかり覚えてください。「正」はつまり陰陽五行が調和してできているのです。いま、皆さんにこの正の字を説明しましょう。上の横一が「金」で、下の横一が「水」です。真ん中の縦画が「木」で、左の縦一が「火」で、右の横一が「土」です。ですから、本当の無上正等正覚も、つまり究極の円満な智慧であって、皆さんにどのように真実の道に辿り着くかということです。皆さん、この三期末法の世にあって、「正」なるものは、検証に耐え得るもので、何度やっても霊験があって、必ず佛法を唱導するのです。もし、あなたにこの能力があって受け入れるなら、これらの佛法を理解できるようになります。能力がなければ理解できませんし、密かにあなたに伝えてもどうしようもありません。功力が同じでなく、前世での修業も違えば、授かった能力も違います。末法の時期にあって、最も正しく、最も実在的で、最も自分で問題を解決できる道を捜さなければなりません。もしある人が末法の時代に観世音菩薩に守ってもらわなければ、救ってもらわなければ、自分の運命は好転しません。こういう人は、哀れだなあとしか言いようがありません。

究極円満の智慧：これはつまり宇宙人生の真相で一点の迷いもないものです。もう少し現実的に言いましょう。もし私たちが非常に冷静に思惟し、観察すれば、円満に問題から解脱できるのであって、これがつまり円満の智慧なのです。智慧が円満でなければ半分しかうまくいかず、智慧が円満ならばどんなことでもうまくいくのです。しっかり覚えてほしいのは、子供に対してであれ、親に対してであれ、もしあなたが親に孝行したら、将来あなたの子供もあなたに孝行するでしょう。これが応報というものです。この世の応

報です。多くの人は応報というのは死んでからのことだと思っていますが、実際は生きている時からもう現世の応報が始まっているのです。道端で乞食をしている人を見てごらんなさい。ボロを着ていますね。現世の報いじゃありませんか。現世の報いは影のように付き従ってとても速く現れ、限度を越えたらすぐに現世の報いが現れます。悪いことをしても限度以内であれば、来世で報いを受けます。もし限度を越える悪いことをしたらすぐに報いを受けます。だから、何をするにも限度を越えてはいけません。さもなければ災いに見舞われます。

ある人たちは心を修め、心が誠実で、良心があってとてもよく、どこのお寺に行っても菩薩を拝みます。もしこの世でよい師父に巡り会わず、目標が見つからなければ、ただの佛を信ずる人にしかすぎません。たとえ話をしましょう。毎日観世音菩薩を拝んでも、観世音菩薩について正確に認識せず、観世音菩薩の智慧をどのように学んだらいいのか分からなければ、観世音菩薩の気を受けて自分を修練しても、日々この世で苦難を受けるので、どうしてそうなるのかいつまでもわかりません。また多くの人たちは災いに見舞われてから佛を拝むのです。もしよい師父に巡り会わず、正しい目標が見つからなければ、どうして自分の現世での問題を解決できるでしょう。

修めるというのは、福と慧の両方を修めるということです。善いことをするのは福を修めることで、慧はつまり智慧のことで、智慧は普通の人が修めてもできるものではありません。これが最も大切なことですが、智慧があればどんな問題でも解決できます。智慧を開こうとしたらただお経をあげて功徳を積むしかありません。戒律だけによって禅定を得ることができ、禅定が得られてはじめて智慧をひらくことができ、心身が安定しなければなりません。ですから「戒に因って定を得、定に因って慧を開く」と言われるのです。佛教には五つの戒律があります。殺生しない、盗まない、淫事をしない、妄語しない、酒を飲まないこと、の五つです。佛を学ぶ人だけがこの五つの戒律を守ると考えないでください。普通の人でもみだりに殺生したり、好き勝手に淫らなことをしたり、盗んだりしてはいけません。皆さんが体で

その道理を会得してほしいのです。どうして佛や菩薩が飲酒を主張しないのでしょうか。それは、お酒は人に大きな傷害をもたらし、人に理性を失わせて頭をぼんやりさせ、人の意志を消沈させるからです。多くの行政部門には「酒を飲んで事件や事故を起こすのは犯罪です」という張り紙がしてありますが、これは仏法が正しいことを説明しています。仏法はどうして人の心に深く入り、人に理解されるのでしょうか。それは、正しいものにしてはじめて大衆に擁護され、推戴されるからです。

迷いを破って悟りを開く：迷いとは何でしょうか。名利、酒、色、財、気、貪、瞋、痴の迷いです。もしある人が貪ならば、その人の欲望は満足することがなく、最後には餓鬼道に落ちるのです。貪愛（とんあい）は一切の罪悪の根源です。貪っても得られないと瞋恚の心が生じ、煩悩が起り、最後には地獄に落ちるのです。もしある人が蒙昧で、金儲けや人を害することしか知らず、人を助けることを知らなければ、将来畜生になるのです。畜生は本来の姿に執着するからので、ずっと畜生道を輪廻するのです。蒙昧には智慧はありません。

私が皆さんにお話ししたのはすべて正法、正道、正信、正念及び正時で、皆さんに迷いを破って悟りを開き、自分の苦難から離脱するのを学び、自分の本当の正しい快楽をさがしてもらいます。

多くの弟子が内心から湧き出る感得：良き師に巡り会うのは難しいですが、今日私たちが盧軍宏師父に出会えたことは現世の大きな福音で、輪廻を繰り返す善本、福徳、因縁の成熟であり、この機縁は非常に得難いものです。私たちはこの縁を大切にし、しっかり修行し、師父の無量大慈大悲心を学び、煩悩を断ち切り、菩提心を起こし、一品（いっぽん）無明を破り、一分の法身（ほっしん）を証し、師父に付き従って仏法を弘め、衆生を済度し、人々に法悦が満ち溢れ、一人一人がみな真正の成就が得られて、功徳が円満でありますように。

盧軍宏台長による2009年2月の法会の記録

——宋翔

(2009-02-06)

親愛なる友人の皆さん、番組聴衆の皆さん；

皆さん、本日は遠路はるばる、台長のお話を聞きに来てくださって有難うございます。本日は正月7日で、やはり年頭にあたって、台長が皆様に新年のご挨拶と皆様のご多幸とご健康をお祈りいたします。

今日ご来場の方には、すでに佛を礼拝した方も、本日初めて会う方も、また台長が天眼を開いたと聞いて、不思議に思って見に来た方もいらっしゃるでしょう。どうであろうと、皆さん台長の良き友人であり、皆さんをお助けできるのです。これが台長の願いなのです。

今はまだお正月といってもいい時期ですから、皆さんよく御存じで、祝福する時の拳を包むことについてお話ししましょう。拳を包むときに気を付けなければいけないことは、左手を上に、右手を下にすることで、こうしてこそ祝福と言えるのです。この道理はどこにあるのでしょうか。このように拳を包むのは一家団欒を意味します。中国の習慣にあるような、男は左女は右とか、男は左手を上に右手を下に、女は右手を上に左手を下にとかいうようなものではありません。祝福する時、情況が違えば、効果も違ってきます。左手を外側に、右手を内側にして、他の誰かを祝福すれば、あなた自身が一家団欒できるのです。おわかりですか。

次にもう皆さんご存知のように、中国はいま調和のとれた社会を建設しています。さっき私は楽屋でちょっと考えました。どんな社会を和諧（小康）社会というのでしょう。和諧社会というのは、皆さん「和」の字を見てください。「禾」の横に口があります。つまり誰もが食べることができて、和気藹々としてきます。「諧」はごんべんですね。誰でも言うべきことを言わせる

ということです。だから、話をしたりご飯を食べたりして、みんな楽しく仲睦まじく、和気藹々とした社会になるのです。ですから、皆さんがたくさん文字を理解し、その他の多くのことが分るのも大切なことです。

今年は丑年ですから、台長が皆さんに丑年の風水を話ししましょう。丑年では、北の方角に発展しないように気を付けましょう。もしあなたの家の玄関が北向きなら、あなたの商売は北へ発展するでしょう。もしあなたが商売以外で北へ発展しようとしたら、それほど順調ではないでしょう。国の範囲からいえば、北へ行こうとしたら、それほど順調ではないでしょう。丑年で最もよい方角は南東です。

次に台長が一つ例を挙げましょう。これは一昨日起った出来事です。以前、このような霊験がとても多いので、私は最近起こったことをお話しするのです。一昨日ある老婦人が癌だと分りました。医者は彼女に手術を勧めました。見つかったとき、彼女はとても焦っていて、台長に見てもらいました。私は彼女を見てから、お経をあげさせました。その結果、彼女が手術のために再検査したところ、医者がレントゲンを撮ってから、「治ってます。癌が無くなっています」と言いました。その老婦人は「癌が無いのなら手術しなくてもいいでしょう」と言いました。医者は「いま検査しても無いのだから手術する必要はありません」と言いました。そして、医者は不思議そうに「どんな薬を飲んだのですか」と彼女に尋ねました。彼女は「薬は飲んでいませんよ」と言いました。医者はさらに「化学療法をしたのですか」と聞きました。彼女は同じように「いいえ」と答えました。それから、この老婦人が戻ってきて私にこう言ったのです。「台長さん、私は医者に私がお経をあげたことが言えませんでした」と。私は「医者に言っても関係ありませんよ。あなたがお経をあげればそれでいいのです。それだけのことですよ」と言いました。老婦人はユーモアたっぷりにこう言って私におどけてみせました。「もし私が医者にお経をあげたのですと言ったら、医者は私を精神科に回したでしょう」と。これで、私たち聴衆はもう分かったでしょう。人は、嬉しい時はユーモアのひとつも出るのです。皆さんの誰でもここに来れば、台長

は最もよいもの、心の中の話を皆さんに話して、皆さんに自分の悪いところが見えるように手助けして、来た人誰もが嬉しくなるようにします。考えてみてください。世間ではどの家にもそれぞれみなお家の事情があります。たとえシドニーの家がよくても、中国の家はどうですか。あちらを立てればこちらが立たないのです。台長は毎日十何人もの聴衆の相談に乗っていますが、今予約しても、四、五カ月も順番を待ちます。毎日聞くのは苦しみばかりで、とても嬉しいという話は一つもありません。全部とても辛いという話です。だから、私はみなさんにこの道理が分かってほしいのです。見えないものは存在しないのではありません。三次元ないし多次元空間は、イギリスの天文物理学者ホーキングは存在すると言っているが、私たちには見えますか。私たちには空気が見えますか。もし、私たちのこの会場を密閉したら、私たちはすぐに死んでしまいます。空気は見えませんが、確かに存在しているのです。携帯の電波信号が見えないのと同じです。だから皆さん信じなさい。見えない物は存在しないというのは、二百年前に牛車や馬車しか見たことのないお婆さんが、アメリカには自動車という自分で走る車があると言っても、「見たことがないから信じられない」というのと同じです。みなさん、このお婆さんは馬鹿ですか利口ですか。細菌だって見えません。顕微鏡が発明されなかったら、どうやって見ることができるでしょう。

今日お話しする最初の重要なことは霊性です。多くの人が分かっていません。霊性は聞こえがよく言うと霊です。聞こえがよくない言い方だと「鬼・亡霊」ということになります。霊は一体あるのでしょうか、ないのでしょうか。あなたはどうやって周りの霊に気が付きますか。あなたはいつも罵ることがあるでしょうが、喧嘩する時に「何だお前のその鬼の顔は」とか「鬼の話（でたらめ）じゃないか」とか言うでしょう。いつもこんなことを言っていて、それじゃ、あなたはどうして本当に鬼があなたにとり憑いているとわかるのですか。台長は皆さんに実在するものをちょっと教えましょう。皆さんは誰でも夢を見たことがあるでしょう。悪い夢を見た時あなたは逃げますね。誰かが追いかけてくるのです。そんなとき、怖くないですか。現実と同じように怖いでしょう。これはつまり夢の中の鬼があなたを捕まえるので

す。

次にお話しするのは、こういうことです。ある人が鬼に出会ったとしたら、二つの事から鬼だと分るでしょう。第一に、鬼は何か音をたてます。どのように聞こえるのでしょうか。例えば夜寝ようとしたら、突然台所の方から「カタン」という音がして、何かが落ちるのです。突然身震いしたかと思ったら、今度はムシャクシャします。これは鬼がとり憑いたのです。突然寒気がしてたまらなくなって、何でこんなに怖いのかと感じますが、これは陰の気がたいそう重く、やはり鬼がとり憑いたのです。皆さんが寝ている時、もともとよく眠れていたのですが、突然屋根の上で何かが走るとか音を立てていると感じるのです。皆さん、これは鳥なんかじゃなくて鬼が確かに音を立てているのです。台長が皆さんに本心から出た話をしましょう。私は本当に見たのです。私は鬼たちが走っているのを見ました。ちょうど映画のように何か白いものが漂っていたのです。台長には見えます。菩薩にもこれらの霊が見えます。ですから、皆さん本当に信じるべきです。鬼がとり憑りつくときは特に重く特に速いのです。

イライラ話す鬼は「あわてんぼ」といって、この罵倒語は誰でも知っています。餓鬼とはなんでしょうか。餓鬼とは台所へ行って物を盗り、ガタンガタンと音を立てていたずらします。音を立てるのは皆さんお分かりですね。ですから必ず分らなければなりません。分らない人は信じないから、本当に可哀そうです。第二点は、皆さんは鬼がとり憑いたと感じることができます。これはどういうことでしょう。医者が話すのは臨床的な表現です。台長はこの場合臨床的な表現では話しません。ただ言えるのは皆さんが何か感じ取れるということです。お話ししましょう。鬼がとり憑つくと、人は特にイライラして怒りっぽくなります。わけもなく怒るのです。ここにいる誰もがわけもなく怒ったことがあるでしょう。会社から家に帰って、もともと何事もないのに、夫婦はちょっとしたことや、一言二言で天地が引っくり返るような大喧嘩をします。どうしてでしょう。鬼がとり憑いたのです。私はいつも言っていますが、いま皆さんはここに居て正常な顔をしています。けれども、喧嘩した時はどうですか。正常な顔ではありません。喧嘩を始めた時の

顔はとても醜く、夫婦でも互いの顔が分らなくなるほどで、険しい顔はそれまで見たこともない様子です。どうしたことでしょう。鬼がとり憑いたのです。人を罵ったり、喧嘩をした時、その顔は鬼のようです。また、言葉の面でも、普段話す時はいつも礼儀正しく、「すみません」とか「大丈夫です」などと言っています。喧嘩になると思いもよらない悪態をつきます。聞いてみると、自分でも恥ずかしくなるくらいです。喧嘩が終ってから、夫は妻にごめんねというし、妻は夫にごめんなさいねという。耳を覆いたくなるようなひどい言葉も出るのです。皆さんはこれが自分の口から出たなんて信じられませんね。美しく、教養があって、知識もある人が、夫婦げんかや子供を怒鳴ったりする時の言葉は何ですか。聞くに堪えません。これらは実際自分ではコントロールできなくて、すべて亡霊がとり憑いているのです。私は聴衆の一人に鬼がとり憑いているのを見たことがあります。彼が人を罵ると、亡霊が彼の頭の上で、跳びあがって喜んでいるのです。鬼がどうしてこんな喜ぶのかわかりますか。というのはあなた方が喧嘩しているときは応報を受けているからで、鬼の借りを返しているのです。例えば、ある女性が子どもを下ろしたら、その子の魂は行くところがなく、この母親の後から産んだ子供にとり憑くのです。生まれた子供は言うことを聞かず、母親に逆らって、喧嘩が絶えません。こうなると鬼は特に嬉しいのです。あなたが水子を下ろしたから、あなたは今の子供と敵対し、あなたを辛くさせ、不愉快にし、あなたに子どもの心配をさせるのです。この子はあなたが生んだ子だから、世話をしないということはありえないのです。あなたが可哀そうでしょう。これがつまり応報というものです。だから、目に見えない物は存在しないと思ってはいけません。

いま鬼がとり憑いた感覚について話しました。一つは音声が聞えることです。またもう一つは、自分がイライラしたり、怒りっぽくなって、何でも気に食わなくなることです。ですから、皆さんがイライラしたり、何でも気に食わなくて、辛く不愉快な時は、自分のためにお経をあげてください。体に鬼がとり憑いていようがいまいが、本当に、夫婦喧嘩は感情を深く傷付けます。一回喧嘩しすると大いに感情が傷付くので、この問題を解決してくださ

い。お経が読めるなら読み遂げてください。喧嘩しなくなれば大いに結構なことです。というのは、台長は時間のすべてを天眼を使って皆さんに鬼がとり憑いているかどうか教えるわけにはいかないのです。夫婦喧嘩している時、まず『解結呪』読んでください。これはどういう意味でしょうか。夫婦が喧嘩している時や、子供が親と喧嘩している時はともに互いに怨みを持っています。だから私は皆さんに、まず『解結呪』を読んでほしいのです。もし『解結呪』を読んでもまだ喧嘩が続くなら、次の段階として『往生呪』を読んでください。『往生呪』の意味はこうです。これは双方の怨みによる喧嘩ではなく、体に鬼がとり憑いているからです。鬼がいるなら『往生呪』によって済度する必要があります。もし『往生呪』を読んでもまだだめならば、『心経』を読まなければなりません。だれでも必ずこの道理を理解しなければなりませんが、多くの人は可哀そうに分からないのです。奥さんが聞くに堪えないことを言ったり、旦那が人を傷つけることを話したりすれば、許せないと思うでしょうが、実は体に何かとり憑いていることが分らないのです。ですから、皆さん、物事の道理を弁えて、その事情の根源を捜さなければなりません。

多くの人が風水を重んじています。私は以前南半球風水協会で講義をしたことがあります。実際、風水という代物は、ある人にとってははっきりわからなくても、風水はとても重要だと思っています。我家の運命の良し悪しは、我家の風水の良し悪しに現れています。実際、風水の影響はその人の運命の20パーセントを占めるだけです。４０パーセントは天命で、４０パーセントは運命で、残りの２０パーセントが風水です。富裕な人は幸福な所に住むと言えます。そこはとてもよい幸福な所ですが、その人が付いていなくて、風水も次第に彼によって壊されていくのです。信じられないなら、こんなことがあったことを話ししましょう。香港にはずいぶん悪い奴がいて、そいつらはたくさん悪事を働いている人間で、その一人がお金を使って風水師を雇って、とても綺麗で、山を背にして海に近く、東に青竜、西に白虎という素晴らしい家を探しました。けれども住み始めてまもなく、子供が死んだのです。彼は風水師に、お前は何でこんなところを探したんだと言いまし

た。みなさん、どうしてこうなったか分るでしょう。彼の罪業がとても深くて、あまりにも多くの悪事を働いたので、方角のよい幸福な所であっても、彼はその風水を壊したのです。だから、人はよい事をしようとしたら、まずよい心を持たなければなりません。よい心でよい事をする人にしてはじめて幸福な巡り合わせになり、よい結果が得られるのです。

ここにいる皆さんの多くはパソコンができるでしょうが、皆さんは表面的な物を見ているのです。つまり、ハード面のことです。パソコンのハードをいくらよくしても、ソフトが良くなければパソコンは何の役に立つでしょう。人の心もパソコンのソフトと同じで、心こそ本当に最も大切なものです。ですから、どうして心を修めなければならないかというと、心は行為よりさらに重要だからです。多くの人は愚かで、よい事を多めにやったら、それでいいと思っていますが、そうです、よい事をしたらその分だけよい報いがあるのですが、あなたの借りを返すことはできませんし、よくないことを取り除くことはできません。だから、多くの人がやはりついていないのです。今日宝くじで300元当たったと思ったら、明日は盗まれるのです。どうしてでしょうか。その人はよい事をしたので宝くじに当たるというよい報いがあったのですが、悪いことをした報いで盗まれるという報いを受けたのです。多くの人がどうしたら昔悪い事をした罪業を取り除けるか尋ねます。自分の罪業を消すには先ず功徳を積まなければならないことをしっかり覚えてください。もし、その人に功徳が無いなら、やったことは善い事にしかすぎません。多くの人がどうやったら功徳になるか尋ねるでしょう。例えば、あなたがお年寄りを手助けしてよい事をしたら、観音様に言うのです。今日から私は毎日よい事を一つします。大慈大悲観音菩薩に私の子供が大学に受かりますようにとか、私の妻が私を見捨てないようにとか、私の母が息災長寿でありますようにとかお願いするのです。あなたがこのように言ってから実行してごらんなさい。こうすればあなたのしたよい事が功徳に変わって、菩薩があなたの功徳でもってあなたの罪業を消してくれます。また最もよい事の一つは大懺悔文を読み、災いを消す縁起のよいお経を読むことも、あなたのたくさんの罪業を消すのに役立ちます。皆さん、こういうことを是非解ってください。

今日来ている皆さんの多くは深く会得していて、お経を読んで、あれもこれもみんなよくなって、だから、こんなによい様子なのは心底から現れたもので、だれかに引っぱられて来たのではありません。皆さん、人の心が最も大切だということをしっかり覚えてください。もしある人の心がよくなかったら、あなたの奥さんであれ、あなたの旦那であれ、遅かれ早かれあなたから離れていきます。こうしてここで話していると、多くの人が尋ねにきます。「台長、私と家内は離婚するんでしょうか。家内は私から離れていくんでしょうか。」と。台長はいま彼のために見ているのは何でしょうか。見えているのはせいぜいこの縁がまもなく終わるということですが、普通見たことは言いません。どうして言わないのでしょう。それは私の修行を傷つけるからです。もし、この男女の縁が終っているのを見て、私が彼にそれを話したら、彼はこう言うに違いありません。「盧台長が私たちの縁が終ったというから、あなたと別れよう。さようなら」と。そうなったら、台長の私は罪作りなことをすることになります。だから、私は普通言えないのです。一番いいのは成り行きにまかせて、夫婦の縁を全うさせることです。多くの人は、夫婦の縁がまだ終わっていなければどうしますか。別れたのに、夫はいつものように帰ってきて妻の家で暮し、妻はいつものように夫の家で暮らします。どうしてかというと、縁がまだ終わっていないからです。この縁は尽きなかったら大変なことになります。だから、他の人は成り行きに従いましょうと言うのです。実際、成り行きに従うというのは積極的な態度ではありません。積極的な態度だと、成り行きに従いましょうとは言わず、積極的に縁をつかみとろうとします。私たち年長者の夫婦は、さらにまだ長期間やっていけますが、今どきの若い人たちは変わるとなると何でも速いのです。私はある若者がこう言うのを聞きました。「今の若者は態度が変わるのが本を捲るのより速い」と。この話は道理がないわけではありません。今日ある人と仲がよくても、明日は違う人が隣に立っているのです。皆さん、人間は無常で憐れむべきことをわかってください。相手の心があなたから離れているのに、体は家にあります。毎日あなたは相手が鬱陶しく相手もあなたが鬱陶しければ、あなたはきっとこの縁をよくしようとするでしょう。たとえあなたと相手が縁あって八年夫婦でいても、五、六年経つと喧嘩を始めます。また、三年間ま

ったく一日が一年のように感じて暮していて、互いに相手の顔も見たくなくなりました。これはどうしたらよいでしょう。『解結呪』を読んでください。『解結呪』を最後まで読むと二人の関係はだんだんよくなるでしょう。もし、『解結呪』を読まないでずっと最後まで暮していったら、どんな結果になるかわかりますか。とことんまで喧嘩してついには別れます。多くはそこまで行く前に離婚したり、縁が終らないうちに離婚します。ちょうど人が死ぬ前に命がまだ絶えていないとき、寿命が尽きていないのに死ねないでしょう。日がな一日病院のベッドに横たわり、ある人は三年、四年と入院したままです。彼らはどのように日々を送りますか。来る日も来る日も点滴を打って、動物のように繋がれて、ご飯も食べられず、何をするにも辛い目をしています。以前私はある簡単なことを話したことがあります。ある億万長者がキャッスルレイ地方の美しい海岸に住んでいました。私は彼にこう言いました。「あなたは餓死するでしょう」と。彼は信じないでこう言いました。「何を冗談言っているんですか。私の財産は何世代あっても食べ尽くせないのですよ。私がどうして餓死することなどありましょう」と。結局彼は何で死んだと思いますか。食道癌です。何も食べられないのです。だから、こういうことを誰か信じない人がいたら、その人は本当に気の毒です。多くの人は信じるのです。

今の人の心は監督されるのを受け付けません。多くの国の人をご覧なさい。お金のことしか考えず、どこにほかの感情があるのでしょう。もしこの世界が純粋に物質なら、この人はどうやって暮らすのでしょう。だから、今の中国でも儒家教育や孔子の思想が提唱されています。どうしてでしょうか。人をコントロールできなくなったからです。皆さん考えてごらんなさい。やれ会議だの、やれ残業だのと、誰もが喜んでやっていました。残業手当とか、また、残業時間とかかまわなかったのです。いま中国で残業してごらんなさい。保険料が要る、またナントカ延長費が要る。心はもうコントロールできなくなっています。政府だってどうにもできなくなっています。何かというとお金です。なので、政府は人心が善良であるように、父母を愛護するように、礼儀正しく廉恥心を持つように提唱しています。こういったも

のを提唱するのは何故でしょう。人が皆変わってしまったからです。皆恥知らずになってしまったのです。悪事を働くのに恥など要るでしょうか。男は外から家に帰ってこう言います。「女房はちゃんといるじゃないか。じゃあ俺は外で遊んじゃだめかい？」と。女は出かけてこう言う。「私は綺麗だから、ほかの男たちがみんな私のことが好きなのよ。あなたは私のことを誇りに思うべきよ」と。これはどういう考え方でしょう。人はだんだんこれらのものを見抜かなければなりません。よからぬことをする時には、よからぬものが体にとり憑いているのです。どうして鬼はいつもこういったよからぬものにとり憑いて、よいものにとり憑かないのでしょう。あまりよくないたとえですが、ちょうど蠅が何かにたかるのと同じです。皆さん分りますか。だから、十分に気を付けなければなりません。

今日ここに来た皆さんは、台長の良き友で、縁あって台長と結縁し、どのようであれ話を聴き、学ぼうとしています。次に風水について少し皆さんにお話ししましょう。今日来ている皆さんの中に、寝室に鏡を置いている人はいませんか。たくさんいるでしょうね。皆さん、寝室には決して鏡を置いてはいけません。そういう人たちは鏡に魂を映し取られてしまいます。皆さんは時々電気をつけないでトイレに行って、寝室に戻って鏡に映った自分が時には知らない人に見えるでしょう。どういうことかわかりますか。鏡に映ったのはあなたの魂なのですよ。わかりましたか。寝室の鏡については、カバーを掛けるという方法があります。日中はカバーを外して使います。寝ていない時は関係ありません。夜になって寝る時にカバーを掛けてください。人間の魂が不在の時、どんな状況か、皆さんわかりますか。ちゃんと話して聞かせましょう。人はびっくりしたり、突然重大なことを聞いた時、しばらく呆然としますね。突然電話で、息子が学校で誰かに殴られて病院に運ばれたと聞いたら、びっくりして「あっ」と言ったまま、周りの人が「ねえ、ねえ」と呼びかけるまで呆然としています。これが魂が体から抜け出た状態です。生活上でもこういうことがあるのに、どうして信用できないでしょうか。一生涯こんなにもたくさんの艱難辛苦があるのに、どうしてさらにこんな煩わしさがあるのでしょう。どうして改めるべきことがわからないのでしょう。苦しい思いをしてもその苦しみがわからないのです。どうして苦しい

のでしょう。半生苦しんできたので、こういったことを理解すべきです。

先程寝室の鏡のことを言いましたが、さらに言えば、トイレのドアはいつも閉めておかなければなりません。それは、トイレは家の中で汚れた気が一番濃い所で、最も汚くて、最もよくない所だからで、だから、トイレのドアは絶対にいつも閉めておくように。もし、トイレのドアを閉めておかなかったら、汚れた気が部屋に入ってきてあなたの気場や家の気場に差し障りがあります。多くの人がいつも台長に電話してきてこう聞きます。「我が家の気場がどうなのかみてください」と。ここにいる大勢の聴衆の皆さんは聞いたことがあるでしょう。台長はいつもこんなふうに答えます。「ああ、家に入って左隅の気場がよくないですね」と。「そうです。そこはトイレです」だから、台長にはこういうこと、つまりトイレが汚くて、気場がよくないことが見えるのです。さらに気を付けなければいけないことがあります。菩薩の位置と、車の色です。以前皆さんに話したことがありますが、車の色はとても大切です。多くの人は銀色の車を買おうと思いますが、銀色の車は最も事故を起こしやすいのです。ＲＴＡでリサーチの仕事をしたことのある聴衆の一人が調査をしたところ、銀色の車が事故を起こす割合は総事故数の50％で、少なくありません。だから銀色の車を運転してはいけません。銀色の物って何がありますか。鏡は銀色です。皆さんが死者のために紙銭を燃やす時に使う錫箔は何色ですか。銀色という色は鬼の世で使われる色で、人が使ってもだいじょうぶでしょうか。良くないに決まっています。だから、銀色を使ってはいけません。人々の服を見てください。何人の人が銀色の服をきていますか。少ないでしょう。それから銀白色の靴も履いてはいけません。亡くなった人に履かせるものです。まだ話さなければならないことがあります。散髪です。男でも女でも、多くの人が髪を長く伸ばしていますが、みなさん知っていますか。髪をとても長く伸ばすのはよくありません。髪は陽を遮り陰を補うものです。これはどういうわけかというと、簡単なことです。髪は先ず額を覆いますね。額は何ですか。それは天庭です。額が広いとよく言いますが、どうしてかというと、額は一生の運命を司っているからです。運があるかどうかは、額の骨を見るのです。だから、誰かが宝くじに当たると、「あなたという人は、おでこが高いね」と言ったりするのです。だから、髪の毛は

おでこが隠れるくらいにして、伸ばし過ぎると運気を減らしてしまいます。

ですから今日台長の話を聴いたら、男性は散髪代をケチってはいけません。時間が無いこともあるでしょうが、運気に影響しますから、時間がないなどと言わず、散髪にいってください。それから下品な動作をしないように。誰かが下品な動作をしたら、あの世の役人が見逃さずに記録することを覚えておいてください。オーストラリアで皆さんが車で追い越しをかける時、よくない動作をしますが、皆さん知っていますね。実はこの動作は、あの世で三年の罪が記録されるのです。いま、思い出しましたが、ダンサーたちがステージの上で例の踊りを踊る時、人間らしい衣装を着けていますか。百鬼夜行じゃありませんか。人間らしい動作でしょうか。ああいう踊りは相手にせず、ステージを見ないことです。陽光の下ではどんな下品な動作もしてはいけません。すれば、あの世できっと記録されます。だから、裸で日光浴なんかしない方がいいです。それから、夫婦喧嘩や子供を怒鳴る時、言うべきではない言葉があります。例えば上海人はよく子供を怒鳴る時上海弁で「小赤労」と言いますが、「赤労」というのはどういう意味か知っていますか。「鬼」ですよ。どこにしょっちゅう自分の子供を鬼呼ばわりする人がいますか。「小鬼」も言ってはいけません。そうそう夫婦喧嘩でしたね。あんたは何々だと言われただけなら大丈夫です。もし、名前を言ったらそれは大変です。皆さん、私の言うことが分りますか。例えば「この馬鹿が」と言った場合、「この」と言っただけですから、大丈夫です。しかし、「張××、お前は何々」と名前を出したら、あなたの気を傷つけ、身体的にも調子が悪くなって、必ずあなたの運気に悪影響を及ぼします。「言っておくけど、お前はきっと病気になるよ」と言われても大丈夫。怒らなくてもいいです。もし、名前を言って「張××、言っておくけど、お前は碌な死に方はしないよ」と言われたら厄介です。これは呪文のようにあなたを呪います。だから、名前が出なければ、何一つ気にしなくていいのですが、いったん名前が出たら、すぐにお経を読んでください。罵り返さないように。そうでないと、相手の寿命も縮みます。本当に面白くありません。正月元旦は本来楽しいはずなのに、二言三言口論したばかりに、何日も心が傷付きますね。元旦に子どもが泣くからといってあなたは子供をたたいたり、口論したりしてごらんなさい。い

ったい何ですか。面白くないでしょう。気を食らったのです。悪い気を食らったのです。誰かがあなたを罵ったら、あなたは面白くありませんね。つまり、悪い気をくらったのです。あなたがいいことを話して「おめでとうございます。去年と変わらずお幸せに」と言ったら、相手はにっこりして、あなたの良い気にありついたのです。何をもって「気」というのでしょうか。見えないもので、これをつまり「気」というのです。何をもって怒るというのでしょうか。怒る「気」はどこにありますか。つまりこんなふうに怒る「気」が出てくるのです。いいことを言われたら嬉しいし、罵られたら面白くなくて、怒る「気」が出て来ます。この「気」は漢方医学の経絡のように見えないものです。しかし、確かに存在しているのです。

もう一つ話しましょう。佛法はどうして人に自制と忍耐を求めるのでしょう。もし、あなたが忍耐しなければ、腹を立てたならば、その結果は恐るべきものです。この話が今日来ている聴衆の皆さんに理解できるかどうかわかりませんが、一人が我慢できない時、きっと問題が起きます。口汚く罵っても、妻がその時少し我慢して、すぐに荷物をまとめて家を出て行かなければ、この家庭はまだ持ちこたえられるでしょう。いったん家を出てから、まあいいかと、家に戻ったら、二人の傷は繕いようもありません。例を挙げましょう。オーストラリアである母親が私の所へ来て泣きながらこう言いました。「中国と同じだと思って、子供が言うことを聞かないので叩きました。」オーストラリアの教育はどうなっていますか。子供を叩きでもしたら、子供は警察に訴える権利があります。そうでしたね。小さい時からミルクを与え、水を与えて大きくしても、両親が叩いたら、子供は警察に訴えるのです。警察が来て、四の五の言わせず両親に手錠をかけて、壁に押し付けて尋問します。これは大きな侮辱でしょう。やり切れないでしょう。子供が親を訴えるのです。勘弁してもらえません。また、親は中国の教育を受けてきたのに、子供は何とこんなことを敢てするのです。捕まって供述書を取られるのです。もうこうなったら、あなた方両親と子どもの縁は終わったと言えます。永遠に子供を愛せるわけがないし、好きにもなれっこありません。お腹を痛めた子供でもこうなんです。これは何と言ったらいいでしょう。我慢で

きませんね。子供も我慢できませんね。両親が我慢できずに、子供の横っ面を殴って耳が聞えなくなったということを聞いたことがありませんか。病院に行って医者に治るかどうか尋ねますね。我慢できなかった後、やはり自分で責任を負わなければなりません。車で急いでいて、赤信号にひっかかった時、我慢できないから行ってしまおうと言うんですね。考えてごらんなさい。この世で暮らしていて、少しも我慢できないことって何ですか。あなたが私を罵るのはあなたが自覚が高くなく、あなたが私を殴るのは、手がむずむずするのです。心の中で、もういいや、私もあなたを殴ったことがあるからと思うのです。夫に愛人がいて、夫が帰宅してあなたに見つかったら、天地をひっくり返すような大騒ぎになるでしょう。あなたは夜眠れるものですか。気分なんかよくなるものですか。けれども、考えてごらんなさい。あなただって若い頃同じようなことがあったでしょう。相手を許してあげることです。相手に寛大になることです。人間の人間らしいところは、人を許すところです。というのは人間はしくじるからで、神や菩薩はしくじることがありませんから、許す必要がなくなります。

今日来ている友人の皆さん、大体600人余りでしょうか、皆さん私に言わなくても自分で考えてみてください。皆さんのうち誰がしくじったことがないでしょうか。ありえますか。しくじったということで言えば、人がしくじったら、あなたは許せないのに、自分がしくじったらあなたは自分を許せますか。また、ある奥さんが私のところへ来て次のように言いました。「うちの人は何々が良くなくて、本当に悪いんです。私は絶対に許せません。何遍でもいってやります。」と。私はこう言いました。「もし、あなたの息子が旦那と同じ間違いをしたら、あなたは許せますか。」と。彼女は言いました。「許せます。」と。「どうしてですか。「あの子は私の息子で私が生んだからで、あの人は私が生んだんじゃありません。」この話は、私が聴衆を応接している時に、彼らが私に聞かせたもので、いま持ち出して皆さんに聞かせているのはいちいち本当のことです。いま皆さんに聞かせたら可笑しいでしょう。この人は勝手だと思うでしょう。家族であるからには、どうして夫を許せないんでしょう。自分勝手ですね、息子は自分が生んだから許せるなんて。厄介ですね、世間で自分が生んだものはよくて、そうでないものはみんな悪いだな

んて。台長は今こんなに大きな気の場で、皆さんに将来や運命や風水を見てあげていますが、皆さんとの関係は許すとか許さないとかの関係ではありません。どうしてこんなふうにするのかというと、それは慈悲です。誰でも慈悲の心が必要です。他人を許し、お年寄りを自分の家族のように思い、若者を兄弟のように思いましょう。現代人はとてもケチです。どのくらいけちなのでしょう。微笑もうともしません。「紹介しましょう。こちらは〇〇さんです。」「あ、こんにちは。」たった一秒でもう終わりです。どうしてでしょう。自己中ですね。その人は随分いいことをしたのですから、あなたの方からその人に「よくやってくださいました。いやあ、本当にすごいですね。」と言えばいいでしょう。この言葉の布施はお金もかからないのに、こういう人はしようとしません。奥さんが家で忙しく料理をして、あなたが帰ってから奥さんが嬉しそうに「どう、美味しい？」と聞くと、あなたは「うん、おいしいよ。」としか言いません。もう少し褒めてあげたら、奥さんは明日また別の料理を頑張って作ってくれるのです。今の人はどうして言葉の布施すらしないのでしょう。お金の布施もしようとせず、ちょっとした言葉の布施もしようとしないのはどうしてでしょう。利己的ですね。どうしてこんなにたくさんの詐欺がいるのでしょう。それは、人は利己的だから、騙されるのです。人には利益を貪る心があるからです。皆さんは台長が皆さんと人生の話をしていると思わないでください。私が話しているのはすべて佛法で、私はただ佛法の言葉をかみ砕いて皆さんに話しているに過ぎません。もし、私が今日皆さんに三法に帰依することや三正道のことを話したら、誰が聞こうとするでしょうか。みんな居眠りをするでしょうし、来ようとさえしないかもしれません。今から皆さんにお話しするのはこの世での佛法ですから、是非聞きたくなるのです。香港のお婆さんが一生かかって貯めたお金を何というか、皆さん知っていますか。棺桶代ですよ。棺桶代さえまでもどうして騙し取られるのでしょう。貪欲だからですよ。この棺桶代を百万ドルに替えようと思ったのです。聞いてください。ここシドニーでたくさんの人が香港から「おめでとうございます。百万ドル当たりました。」という電話を受けましたね。皆さん、こういうことがありませんでしたか。ほら、たくさんいるでしょう。みなさんは誰も騙されていませんね。誰か騙されましたか。敢て手を挙げら

れませんね。

皆さん、今日来ている聴衆の中で、何人も騙された人がいることを台長は知っています。６千オーストラリアドルが電話一本で送金されてしまうのです。うまい儲け話ではありませんか。日本円で６千円ならまだしも、オーストラリアドルですよ。６千オーストラリアドルが一本の電話で「あなたに当たりました」という。何を騙したのでしょうか。騙したのは人の心です。とても悪いですね。騙す人は、誰にも貪欲な心があって、百万当たって欲しいと思っています。その人が６千を要求したのはどういうことでしょうか。あなたにこう言います。「あなたは百万当たりましたから、私たちエージェントは報酬として６千要求します。」と。あなたは心の中で、もう百万もあるから、６千なんてどうってことはないと思うのです。分りましたか。人は貪欲になってはいけません。ここに座っている若い男女は、私が皆さんと恋愛について話す時も同じですが、ここで彼氏を引っ掛けても、道を歩きながら、他の男の子を見ているのです。台長は時には面白いですよ。私は人生が分りますからこの種のことにいつも気を付けています。二組の若い男女が擦れ違うとき、こちらの男の子はあちらの女の子を見るし、こちらの女の子はあちらの男の子を見ます。四人の視線が交叉するのです。これはどうしてでしょうか。これがつまり貪欲な心なのです。うちの旦那はよその旦那よりよくないわ。うちのカミさんはよそのカミさんよりよくないね。こういう貪欲な心だと結果どうなりますか。夫婦喧嘩に離婚です。一日中あれこれもめるのです。人は貪欲な心を持ってはいけません。足ることを知れば末永く楽しく、足ることを知れば幸福です。足ることを知らないから悶着が起きるのです。台長はある聴衆には話したことがありますが、こういう大会ではまだ話していないことがあります。昔、ある貪欲な皇帝がいて、三つの宮殿の六つの御殿に七十二人の妃がいました。ある時、群臣との大宴会があって、皇帝は丞相の夫人を見初めました。そこで、皇帝は詔勅を書いて丞相を僻地へ視察に行かせました。丞相が出かけたばかりのとき、皇帝はすぐに丞相の家に通知して、夫人に会いに来るという。誰がこんなことがあろうと思うでしょう。その夫人は教養があって礼儀正しい人で、どのように機転を働かせて皇帝を退けたのでしょう。さあ皇帝がやって来ました。夫人は出迎えて邸に招じ入

れました。皇帝はすぐに聞きました。「今日は何をご馳走してくれるのかね。」と。そこへ料理が出されました。一品目は「白斬鶏（蒸し鶏）」、二品目は「鶏のスープ」、三品目は「紅焼鶏」でした。皇帝はイライラして聞きました。「今日朕が訪ねて来ておるのに、おまえはどうしてワシに同じような物を食わせるのだ」と。夫人は一言答えました。「上様、実のところ、みんな同じでございます。」と。言い終わると、皇帝もバカではなかったのです。この上なく恥ずかしく、いたたまれなくなり、そそくさと駕籠に乗って宮廷に帰って行ったのです。皆さん、どういう意味か分かりますか。女性は女性です。考えてもごらんなさい。皇帝は三つの宮殿、六つの御殿に七十二人もの妃がいるのに、それでもまだ人妻を見初めるなんて、道を弁えた明君といえますか。非常に貪欲ではありませんか。それでも礼儀や廉恥心がありますか。皆さん、わかったでしょう。この一言で災難から逃れました。けれども、今どきの女の子は違いますね。パーティにおしゃれして行くのは夫に見せるためですか。いいえ、実際は他の男にみせるのです。

台長のお話は皆さんを愉快にさせるためです。愉快なら病気にもなりにくいのです。では、どんな人が病気になりやすいのでしょう。ある若い男の子が台長のオフィスに来ましたが、30分しても笑顔一つ見せず、悩ましげで、可哀そうでした。話していても、彼は「うん」とか「はい」と言うだけで、ずっと顔をしかめていました。そこで、台長は言いました。「ちょっと笑ってみせてくれる？」「台長、僕は笑えません」「笑ってごらん」「笑えません」どうして笑えないかというと、悩みが多すぎて、とても苦しいから、どうして笑えるでしょう。皆さん、分りましたね。笑えないのは、心が苦しみ悶えているからで、そうなると次に来るのは、災いを被ったという問題です。人と会って話しをする時、大の仲良しでも「やあ、こんにちは」と言って、ずっと笑顔を見せなければ、その人はすぐに不満に思うでしょう。その後、いつも笑わず、いつも辛く、いつも悲しんでいたら、病気になって、ますますひどくなるでしょう。諸葛亮がどのように周瑜を憤死させたか、『紅楼夢』で林黛玉がどのように死んだかは、皆さん知っての通りです。多くの場合、ふさぎ込んでいると病気になり、笑えなくなるものです。「あいつはものの道理が

わからず、こいつは私をいじめるのです。」多くの人が私のところへやって来て、「台長、聞いてください。私は彼に一生こんなにもよくして、身も心も全部あげました。それなのに、彼はどうして私にこうなんでしょう。考えても理解できません。」もし、あなたがこんなふうに考え続けるなら、更に理解できなくなります。どうしてかというと、すぐに鬱病になるのです。さらに理解できなくなると飛び降り自殺してしまいます。そうしないでください。前世の借りは誰にも見えません。だから、人に借りはないと言うのです。だから、中国人には、西洋の教会に入っても「ああ、罪があって来ましたね。」などと言われることは受け入れられません。ある人は台長のところにやって来て、「私に何の罪があるのですか。私の息子はこんなに小さいのに罪があるのですか。」と言います。彼にはこの道理がわかっていません。この罪は現世の罪ではなくて、前世から持ってきたのです。人の霊魂はちょうど車のドライバーのようで、肉体は車両のようなもので、壊れたら別の車に乗り換えます。元の車で以前人をひき殺したことがあるとしたら、その罪は数えますか、数えませんか。車を乗り換えたら、この罪はなくなりますか。皆さん、道理を分ってください。道理が分かった人は笑えますが、分らない人は悩んで笑えません。笑えなければ、病気になりやすく、病気になれば心臓が悪くなり、結局早く死にます。だから必ず愉快に生きなければなりません。ここには上海の人がたくさんいますが、みんな「冗談だろう」という言葉が好きです。愉快になることの何がよくないのでしょう。愉快になってください。面白くなければ、何か愉快なことをさがしてください。つまり冗談を言って楽しんでください。

次は皆さんに「感恩」とは何か話ししましょう。これは人の人生にとってとても大切です。もし感恩の心があれば、喧嘩しません。例を挙げましょう。奥さんが今日あなたに料理をしてくれたとしましょう。あなたは彼女に感謝しなければなりません。こんな暑い日に汗だくになって料理をしてくれたのですから、あなたはこう言います。「やあ、有難う。」と。でも、台長がやったようにしなくてもいいんですよ。そうでなければ、こんなふうに言う奥さんもいるに違いありません。「あら、感謝なんてしなくていいのよ。文句

を言わなければそれでいいのよ。」実際は、あなたが奥さんに感謝したら、奥さんは気分がよくなって、明日はもっと美味しい物を作ってくれるのです。両親に感謝してください。『春節晩会』（日本の『紅白歌合戦』に相当）で『常回家看看（いつも家に帰ろう）』という歌とか、李春波の『小芳（芳ちゃん）』を聴いたことがあるでしょう。これらは人間の感情に基づいて作られた歌です。お父さんお母さんはずっと苦労してきましたが、自分が親になったときに初めて自分の両親にどうしてあげるべきかわかるのですが、その時両親はもういないのです。今多くの人はさほど親孝行ではありません。皆さんに聞かせましょう。ここに来ているお年寄りの半分は自分の子供にあまり満足していません。どうしてでしょう。今の子供はとても自分勝手だからです。どれくらい自分勝手かというと、両親は両親、自分とは関係ないというのです。これは何と言うことですか。老父母は一生苦労してきて、今では手足も弱って、何をするにも不自由です。さらに孫の面倒までみるんです。まだ借りを返さなければなりませんか。罰当たりですよ。私は時にお年寄りにこう言ってなぐさめます。あなた方が子供に借りがあっても終わりがありますから、返済し終わってください。一生借りが続くわけではありません。しかし、子供にはこう言います。あなた方が親不孝なら、多くの聴衆がいま私のところに来るように、「台長、私の父母がどこにいるか看てください。両親がよく夢枕に立つんです。」私があの世を見てみると、ある人は地獄で苦しんでいます。「台長、私は必ずお経を読んで父母を成仏させます。両親に大変申し訳ないことをしました。」私はこういう話を聞くと、辛くなります。生きているうちにどうしてもっと親孝行しておかなかったんでしょう。どうして親が亡くなってからこのようにするのでしょう。もちろん、これは不肖な子どもたちに比べればましです。不肖な子供たちは今も自分の暮らしがいいと思っています。もし、親孝行や感謝のカケラも無いなら、どんな人間ですか。それでも人間ですか。「犬でもエサをやれば、尻尾を振りますよ。」という言葉があります。父母はミルクをやり水をやってあなたを大きく育て、夜あなたが泣けば二人ともよく眠れません。――親となったことのある人ならみんな知っていることです――そうして年老いたら、老人ホームに入れるのです。皆さん、老人ホームのお年寄りたちがどんなに気の毒か知っているでし

ょう。目には元気がなく、食事ものどを通らなくて、そんな所で寝るなんてひどいもんです。三流の人間ですよ。三流の人間って何ですか。人格の良し悪しではなくて、食べるのを待ち、寝るのを待ち、死ぬのを待つのです。彼らには何の楽しみもありません。今日来ている皆さんはたくさん人をなだめ、たくさんいいことをして、たくさん徳を積むのがとても大切なことを分ってください。

そうすれば子孫にもいいことがあります。子供は父母に少しでもよくしてあげてください。少しでももっと善良でいてください。たくさんの父母たちが霊界からやって来て、その亡霊のようなものが台長の家の右上隅に立ちました。見ると、その様子はとても可哀そうでした。――皆さんは鬼を見たことがありますか。髪の毛を下におろして、ちょうどこんな様子で――私は見たけれども、話す勇気がありません。子供は私のオフィスにいて、私が子供に話して聞かせると、すぐにその子供は涙を流しました。

死んだらこんな様子です。これがつまりあなたたちの孝行の結果なのです。時には台長はこの天眼を開いたことは本当につらいのです。菩薩を見るだけでなく、鬼をも見なければならないからです。時にこの鬼を見る時、全身に鳥肌が立ち、夜も眠れません。どうしてですか。皆さんは見たいですか。鬼の映画を見たらすごく怖いでしょう。もし、本当の鬼が目の前にいたら、どうしますか。ですから、皆さん、台長を大切にしてください。私はこの能力をすべてのシドニーの人々、すべてのオーストラリアの幸福のために使います。

いま、世界中からたくさんの手紙が来るし、Ｅメールをくれる人の最初の言葉は「台長、助けてください」です。今日私は皆さんにアメリカから送ってきた一通のＥメールを持ってきました。その人は台長を夢で見て、メールで彼に霊があるかどうか尋ねてきたのです。メールでこんなことを言いました。「台長、あなたは夢で私にこう言いました。ある女性が小房子三枚分のお経を読まなければなりません。」と。ここにいる聴衆の皆さんはみな私の法身をみたことがあります。法身とは何ですか。法身とは分身で、つまり分身の術です。皆さんは『西遊記』を読んだことがありますね。孫悟空と同じで

す。私が若いと思わないでください。私は何世にもわたって修行して、この縁に恵まれて、皆さんと一緒にいられるのです。皆さん、貴重に思ってください。よく修行してください。もし、この人が台長の話をこんなにたくさん聴いても、それでも私はどうということはないと思います。あなたが亡くなる時わかります。多くの人が苦しんで死にます。死にはいい死に方なんてありません。悪事を働くにもちゃんとやってください。台長はなぜ怒らないのですか。あなたには結果が見えませんが、私は見ることができます。ある聴衆が私に言いました。彼の父親が亡くなる時、全身が痙攣して、全身が痛み、何か叫んでいます。こういうことから生きることは死ぬことに及ばないのです。死とはこういうふうにやって来ます。こういう症状はすべて亡霊が捕まえに来たので、罰が当たったのです。どうして死ぬ時になって初めて「あの人に済まない、この人に済まない。」というのでしょう。どうして臨終になって善いことをいうのでしょう。善いというのではなく、見たからです。あなたは若い頃この女性が嫌いでしたが、たぶらかして振りました。彼女があなたより早く死んだら、あなたが死ぬとききっと彼女がやって来て、あなたを引きずって行くのです。台長はある人が本当にやって来て男性を引きずって行くのを見たことがあります。その男性は全身痙攣して、ずっとその女性の名前を叫んで、とても苦しんでいました。私はその女性にこう言いました。「彼を勘弁してやって、早く連れて行ってください。」と。私は、これ以上彼を苦しめないでというつもりだったのですが、この女性は私を見もせずに「報いだわ。」と言いました。私はどうしようもなく、この男性を救うことができませんでした。この男性はビクビクと痙攣しながら死んでいきました。目の前で起こったことをまだ信じませんか。こんなに多くの人がお経を読んでよくなっているのに、まだ信じませんか。毎日が哀れですね。少しばかりのお金や名誉や利益のため、互いに騙し合い、互いに争っています。何が本当なんでしょう。台長は前にも言った話をしますが、父母はあなたたちを小さい時から育てて大きくしました。考えてください。父母が亡くなれば嘘のようですね。家を買って、お金がなくなれば、家は銀行に持って行かれますが、それでも一生懸命ペンキ塗りをしますね。恋をして、そばにいた彼女が暫くして別れることもあるでしょう。何事も無常です。何が本当でし

ょう。心して修行したらどうですか。ここに若い男の子がいます。とても若いですが、一心に二か月修行して、悟りを得ました。彼は次のように言いました。「私たちの霊魂は一種のエネルギー体です。お経を読むのは一種のエネルギーを作りだします。生きている人間からすれば、それは心霊のエネルギーで、人に心地よさを感じさせます。一方、霊魂からすればそれは霊魂のエネルギーを増加させて、霊魂を天上へ行かせます。霊を帯びたものはマイナスのエネルギーで、神仙と佛はプラスのエネルギーです。自然界も同じで、陽電子はプラスに帯電していて、陰電子はマイナスに帯電しています。」と。彼はたくさん文章を書きました。彼はとても教養のある現代青年で、彼は科学的な思考でこれらの道理を説きます。まさか台長の言ったことが全部非科学的ではありますまい。科学は永遠に存在するものについて実証しますから、別に珍しいことはありません。癌が発見される前、癌は存在しませんでしたか。電気が発見される前、電気は存在しませんでしたか。佛法はどうでしょう。これは本当に素晴らしいものです。だから、私は皆さんにお経を読むことを勧めます。台長は、今日来ている聴衆の皆さんに、信じようが信じまいが、先ずやってみて、しっかりお経を読んでください。もし、何かいいことがあったら、続けてしっかり読んでください。もし、何もなかったら、やめてもかまいません。台長は皆さんに心から感謝します。

今日はここまでにします。皆さんが道理を理解できるように願っています。最後に一言。「人として菩薩のようになることが、つまり菩薩になったのです。」
ご清聴ありがとうございました。

『白話仏法』特集

大きな善行と功徳の違い（2009－02－08）

「善行にはよい報いがあり、悪行には悪い報いがある」という諺は、よく知られていますが、仏法から見てもそれは理にかなっています。所謂善行善意は良い考え、良い行為です。全ての善行善意は記録され、適当な時期によい報いとして現れます。同じように、悪意や悪行も記録され、必ずいつか罰が当たるようになっています。ただし、善行善意によってもたらされたよい報いは、悪意悪行による悪い報いを帳消しにすることはできません。たとえば、たくさんの善行をした人がいるとします。この人は同時に大きな悪行も一つ行ったならば、よい報いもありますが、悪い報いからも逃げられません。これで、良い人だと周囲に思われる人が、この世を去ると、地獄で苦しむようなケースも理解できるでしょう。

功徳は、佛法でよく強調されるものの一つです。では、功徳とは何か、その効用は何でしょうか。実は功徳とは、善行善意そのものです。ただし、菩薩の前で願をかけて行った善行善意だけが功徳になるのです。普段我々が行った善行善意などは、菩薩の前で願をかけなければ、自発的なものであろうが、佛法の影響を受けたものであろうが、ただの自己表現に留まります。例をあげます。精進料理を食べる人がいるとします。何年もそんな食生活をしていたのに、菩薩の前での願かけがなければ、たとえ十年続けたとしても、それはただの個人的趣味に過ぎません。だから、菩薩の前で願をかけなければなりません。善行を行って人を助けるのも、親孝行をすることや、きょうだいを愛することを重んじるのも発心しなければなりません。しかし、お寺や観音堂など、菩薩や佛が祭られているところでは、全ての善事が功徳になるので、わざわざ発心する必要がありません。我々の文書などは「JP」のサインがもらえて初めて法律上発効するのと同じように、善行善意は菩薩の承認があって初めて功徳になるのです。

では、功徳にはどんな効用があるのでしょうか。業障の害或いは罪業から来る害はみなさんご存知ですね。ソフトウェアに潜んでいるウィルスのように、人間の阿頼耶識「あらやしき或いはエントセンシズ」に潜んでいて、時が来れば霊に変って、人間を左右するのです。いつも元気バリバリの人が突然危篤状態になって救急車で運ばれたり、または思いもよらず事故や強盗に遭ったりする原因はこれです。ひどい場合、罪業の深い人だったら、一生不運で、顔色も暗く陰鬱な存在で、結局は天を恨み、人を咎めるばかりで終わってしまいます。もし福が溜まっているのなら、現世の悪行や殺生は、業障となって阿頼耶識に預けるのです。阿頼耶識は八識の中の第八識で、「阿梨耶識」とも言い、根本識であります。阿頼耶識にはたくさんの種が潜んでいて、人の善悪の行為（主に思惟活動を指す）を引きだすことができます。業障がここに潜んで、功徳だけこの中に入ることができ、罪業と相殺し、最終的に罪業を清算することになるのです。これはいわゆる「身はこれ菩提樹 心は明鏡台の如し 時時に勤めて払拭し 塵埃を有らしめること莫れ」で、功徳によって、心にある塵を拭い取るのです。

要するに、功徳の効用の一つは、罪業を除去し、相殺することで、修行者の一番の目的です。罪業が除去されて初めて、心が清められ、智慧が開かれ、悟りの可能性があるのです。

新たな業が生じるのを阻止する方法（2009－02－12）

現世のすべての思いと行為は業障を生む可能性があります。貪・瞋・痴、我執、他執、着相など、どれも業障の源です。では、どうすれば業障が生じるのを阻止できるのでしょうか。

第一は戒めです。戒めとは改めることです。癖、習慣、気性を改めて、貪と瞋を除去するのです。誰にもあれこれ習慣や気性があります。「私はもとより率直で、何でも思ったことをすぐ口に出す」と。それでいいと思いますか？知ったかぶりをすることさえ口業なのに、仏や菩薩を尊重しないのは言うまでもありません。改めることなく、戒めることなく、いつまでも生臭ものを食べたり、飲酒したりするのでは、どうやって修行すると言うのでしょうか。戒めとは、戒定慧の最初の一歩です。改めて、戒めて初めて業障の発生を少なくし、心を定めることが出来るのです。そうしてはじめて、惑わされず、痴にならず、智慧を持つことが出来るのです。

以上のようなことを戒めたら、次はやや高次元の「断固として私心や出来心と戦う」ことです。これは実は仏教者の言葉で、悪い念や良くない意識がまだ潜在的な状態にある段階で、それが間違ったものだと意識し、改めることです。そうすると、業障が生じる余地もないのです。逆に、悪い念や良くない意識に沿っていくと、悪意が形成され、業障になってしまうのです。この一歩は明らかに肉食を戒めることより難しいです。

次は最も高次元の心魔です。心魔は業障によって引き起こされながら、より大きな業障をもたらします。だが、心魔は修行の高い人にだけあるもので、それに向きあい、看破し、悟ることができてこそ、心魔を滅ぼすことができます。

言うまでもありませんが、看破することはそう簡単なことではありません。その中には深い修行思想が含まれています。我執や他執を除去すること、相や無衆相を打破することは、単なる理論上の学習では解決できません。日常生活にある簡単な例をあげましょう。きれいな娘にあったら、普通の人はそのかわいいところを見て、褒めてあげるだけですが、盧台長のレベルになると、こういうでしょう。「まあ、天女が人間界に降りてきたね。過ち

を犯したな。よく修行しないといけないな。さもないと、天には戻れなくなってしまうよ。可哀そうなことに」と。前世が見えるだけに、受け入れる情報が多くて、ことの全貌を把握することができるのです。だからこそ、盧台長は「人の体」を看破でき、「執」を捨て、相にこだわらないのです。これこそ慧です。

それから、金銭功名を看破できる人はこの世に何人いますか。盧台長はその一人です。盧台長には輪廻が見えるからです。このお年寄りは来世男に輪廻転生し、そのうえ科学研究に携わることが見えます。また、この人の財産は歴代の福の報いであり、この人が一生苦労するのは前世の悪行が多かったせいだということが見えます。さらには、人生は個人にとって短い一段階に過ぎず、修行こそ本当に持っていけるものだと分かっています。金銭なんか人の体と同じように、得られるには得られる原因があって、得られないにも得られない因縁があります。たとえば、プロの登山家が雪山の頂上を目指すとき、体力の保持がどんなに大切かちゃんと分かっていて、一歩一歩動くごとに正確に計算し、体力の無駄な消耗なんか絶対しません。背負うリュックも正確に計り、荷物は必要以上でも必要以下でもありません。同時に空が暗くなったら、暴風雨に遭うと予測でき、その前には必ず安全な宿営地に到着するようにします。その際、道路を間違った人、景色を楽しんでばかりいる人、羚羊を必死に追いかける人に会ったら、登山家はこう勧めるでしょう。「この道に沿っていった方がいいですよ」、「体力を無駄にしないでさっさと前に進んだほうがいいですよ」、「もうすぐ暴風雨が来ます。そうなったら、羚羊は助けてくれやしませんよ」と。これは看破することと看破ではないこととの区別です。看破を望むのなら、智慧を持つことです。智慧がほしいのなら、戒め・定めを通して修行することです。

業障が生じるのを阻止する二番目の方法は恩を知る心です。ここで言う恩を知るとは、ただ単に心の状態ではありません。それは一つの道具で、修行の法門です。人間の七情六慾の中では、情・慾ごとに、業障を育む可能性があります。恩を知る心だけしか業障を断つことができません。さらにそれは唯一業障を生まない心情で、貪・瞋・痴に対抗できる有力な武器でもあります。恩を知る心をもって周りの物事を感知することができると、業障は自ずと少なくなっていくでしょう。

仏道を修行しても良くならない問題の所在（2009－03－05）

最近リスナーの皆さんからの問い合わせを整理していたら、内心の苦悶を告白する声がよくあがっています。私の能力は人に劣らないのに、どうして他の人が理想的な仕事に就けるのに、私だけが定職に就くことができないのだろう。どうして私の身にまだこんなに痛みが残っていて、いくらお経を読んでも一向によくならないのだろう。これと似たような質問がよく出てきます。特に最近では、以下のような代表的なＥメールを受け取りました。「特殊な回向も普通の回向も唱えました。それなのに、不運は何年も続いています。お経も何年も読みました。私には仕事上の能力もありますが、ずっと就職できません。いつも就職できるように菩薩にも御祈りを捧げています。ここ何年以来、大悲呪を何千回も、『地蔵菩薩本願経』を何百回も、準提呪を百万遍も読みました。よく当たると他の人に薦められた占い師に占ってもらっても、一向にあたりません。他の面からも妨害されているようです。仕事面では、面接の前日になると、点した蝋燭に何か問題が出てきます。私にぴったりの仕事も横取りされてしまいます。仕事だけではなく、他のこともいつもそうです。私は生れて以来、他人に害を加えたこともないし、人と争いごとをしたりもしません。だから、私は知りたいのです。一体だれが、こんなにも私のことが恨めしいのか、どうしてでしょうか」。こんな考えや疑惑を抱いている人は少なくないでしょう。この中によく見られる歪んだ心理があります。その歪んだ心理は普段言う魔障で、お経を読む時、心に疑惑を残存させ、誠意を損なって、その結果お経を読む効果も大いに弱まってしまいます。同時にこのような考えを抱いている人は、実生活の中から実例を見つけては自分の考えが正しいと思いこみ、修行の自信を損なうだけではなく、最終的に修行そのものを諦めてしまいます。その害は明らかです。

このような歪んだ心理の一つの誤解は、私は他人に害を加えたこともないのに、どうしてこんなに苦労しないといけないのか、または、どうして私は能力が私以下の×××に負けてしまうのか、と思うことです。このことの根元には「命」という問題、命は何によって定められるのかという問題があります。命というのは人がこの世に生まれた瞬間定まっているのです。それは

前世と往生の良い報い、功徳、業障、悪報などによるものです。歌のトーンみたいなもので、各人には貧、富、高、低それぞれの基調があって、今生では変えられるものではありません（絶対的ではない）。台長がトーテムを看る時は、この点がはっきりしています。同じ辰年の人でも、生き生きとした龍もいれば、彫刻や石窟のように生気に欠けた龍もいます。龍がいる環境も違います。空高く飛んで、前途洋洋な龍もいれば、泥沼に陥って身じろぎもできず、前途多難な龍もいます。虎にしても、山を棲家として自分の居場所がちゃんとある虎もいれば、虜になって頭角を現わせそうにない虎もいます。これらの違いは、本人の良い報いと業障によるものです。辺鄙な農村部に生まれて（辺地に生まれるのも罪業の報いの一つ）、たくさんの苦労を経てようやく大学に入学し、都市部に住むことが出来る人もいれば、初めから大都市に生まれ、その先進的な環境と施設に恵まれる人もいます。同じ都市部の人間でも、裕福な家庭に生まれる人もいれば、貧しい家庭に生まれる人もいます。などなど。これらの目に見える違いは、容易に理解できるでしょう。一目見るだけでは分からない違いもあります。同じクラスにいながら、飛びぬけて聡明な人もいれば、鈍くてしようがない人もいます。しかし、頭の切れる人が社会に出ると却って不遇で、人並みの人が事業に成功するケースもあります。これらはすべて前世の因果応報です。同時にこれは上述のその人の答えです。あなたは現世では、人に害も加えずいい人ですが、前世ではたくさんの悪いことをしましたから、現世の命の基点が低いのです。今の苦は報いを受けたのです。皆さんはこの道理を理解するだけではなく、それを実生活に応用すべきです。自分の現在の状況は「世の中の不公平」によるものではなく、世の中が公平で、必ず報われるからこそそうなったのです。我々の前世が総合的計算されたので、今あなたが目にしたあれこれの「不公平」があるのです。今現在の我々の一つ一つの言動行為が記録されつつ、来世にまた報いとなるのです。

もう一つの誤解は「佛道を修行したからには、すぐよくなるはず」と思うことです。修行を通して、命を変えることができませんか。基調から改めることができませんか。虜の虎が山上の虎になる、沼の中の龍が空に飛び上がる、水面下のネズミが水面上に浮かぶ、そのようなことはできませんか。こ

れらすべては我々一人ひとりが気になる問題です。この問題をはっきりさせるには運の変化と関連付けて話さなければなりません。運とは、トーテムの前の道路です。空に飛びあがっている龍を取ってみても、その前の道路は違います。高い道路と低い道路、でこぼこの細道もあります。虜になった虎の前に広い平原が広がっているのもあります。我々は適当な修行を通して、もともとのでこぼこ小路を平坦にし、広い平原を先にのばすようにすることが出来ます。これは「運」をよく、順調にすることです。人生に照合してみると、不運時の大きな災難を小さくし、小さいトラブルを無くすように修行するのです。同時に、幸運の時期をのばし、利益の最大化を果たすことが出来ます。これらは修行を通して達することができます。運が変わってしまえば、それが命の基調を変えてしまうのです。ただし、これは長期的なもので、一朝一夕でできることではありません。長期的な修行を通して、どん底に陥った虎を陽のあたる斜面に、泥沼に陥った龍を岸まで引っ張ることが出来ます。なお、それには度というのがあります。小学二年生が一生懸命頑張って小学五年の科目を習得できるかもしれませんが、高校生または大学生のレベルには到底達せません。博士になるなんてもってのほかです。「博士」になるには、大きな功徳と幾世もの徳や福の修行が必要です。だから皆さんには、人はそれぞれ違うもので、その間に段差があることを分かってほしいです。来世がうまくいけるようになりたいのなら、現世では勤めて修行し、善事をし、福田を耕さなければなりません。現世がうまくいくように思うのなら、なおさら修行を怠らずにしなければなりません。

だが、多くの修行者が聞くでしょう。佛道を修行すればよくなるとおっしゃいましたが、なぜ前文に出た者がそんな苦労から抜け出せないのでしょう。修行、それは皆がしています。でもどうして、長年「佛道」を「修行」しても、お経をこんなに読んでも、「私は不運のまま」でしょうか？お聞きしますが、佛が我々に「十万八千の法門」を賜ったが、その目的は我々により多くの苦労をさせることですか。我々に「どうして私はだめだ」と繰り返し体験させることですか。違うでしょう。「十万八千の法門」は我々に修行を通して良くなってほしい、より修行が便利になってほしいからです。長年修行してもなお以上のような菩薩の神通力と慈悲が分からないのなら、修行の仕

方が分かっているかどうかをまず反省してください。

上述の修行者の問い合わせから、彼自身が自分の修行には問題はないが、効果がないだけだと考えているようです。そのトーテムからもこの点が見えています。では、問題はどこにあるのでしょうか。

それには二つの原因があります。一つは修行の法門が適当ではないことです。仏道では、なぜ法を筏に喩える説があるのでしょうか。法にしても取捨選択の必要があるのに、法に当たらないものはなおさらです。法や法門には時効があって、時代によって変化するのです。分かりやすい例をあげます。以前の仏教では、寺に入って出家して修行するように勧めていました。家庭という小さい家を捨てて、仏家という大家庭に入るというのです。しかし、今は俗世にいながら修行します。家庭という小さい家を修めて、それをもって仏家という大家庭が成り立つのです。法門が変化しつつあるのです。回向というのは誰が使ってもいいような法門ではありません。皆さんが読んでいるお経をお金にたとえれば、回向はボランティアでの寄付金みたいなものです。殊に「歴代の仇敵と債権者」に回向するのなら、全世界の人に寄付するようなものです。自分にはどれだけの財産があると思いますか。自分の家庭内では生活が成り立っていますか。また、自分の寄付金を全世界の人口で割ると、一人当たり一円以下の金額になるが、どんな効果が期待できると思いますか。だから、我々がお経を読んで、修行する際には、まず己自身を修めなければなりません。自分自身にある借りを返して、自分を強めて、それで自分の運が良くなるのです。自分の借りが全部返されて、トーテムがきれいにはっきりと見えるようになってからの修行で運を変えるのです。「借りが多すぎて一括で返すことができないから、とりあえず私の運を良くしてから、残りはその後で返済してもいいですか」と言うのなら、あなたの身にとり憑いた霊が承知しません。時がくれば業障がまた報いとして現れ、あなたに返すように迫ります。例外は一件たりともありません。つまり、勝手に回向を唱えてはいけません。個人の「飢餓問題」が解決される前に、身上の霊の済度と業障の返済が大事中の大事です。だから、適当な法を選ばなければなりません。法が適当なら、運が当分の間よくなっていなくても、修行すればするほど、確実に変化していきます。自修自得です。これはお湯を沸かすのと

同じです。まだ沸いてはいませんが、水温は確実に高くなりつつあるのです。ただし、強火で一気に沸かす人もいれば、弱火（功力の限りによって）の人もいます。でも、あきらめずに続けていれば、いつか必ずお湯が沸く時が来ます。もう一つの原因は経文の選び違いです。お経によって誰が読んでもいいというようなお経ではないのもあります。具体的に言うと、違うお経には違う効果があります。だから、我々は自分の状況によって適当な経文を選ばなければなりません。経文はまた大学の科目みたいなもので、同時にあまり多くの科目を習得しようとすると、却っていい成績が収められません。一つに限られた専攻でも、一年生は三年生の課程を履修してはいけません。選んだお経によって、違った道を歩むのです。同じように、基礎的なお経もあれば、ある程度のレベルに達しないと読んではいけないお経もあります。お経ならどれも同じというようなものではありません。

この二つのことを頭に入れて、適当な法門によって済度し、借りを返すようにすると同時に、適当な経文によって自分の力を強めていけば、効果が現れるまでそんなに遠くはないでしょう。

次によくある誤解の一つを言います。その誤解とは「我々は回向を唱えるべきだ。つまり他人を助けることで、先に自分のことを思ってはいけない」ということで、実はこれは佛道に対する偏った理解です。確かに我々の修行の目的の一つは他人を助けることで、済度することです。その評価の重要な尺度は慈悲心の深さです。しかし、忘れてはいけないことがあります。衆生済度にはそれなりの力が要ります。洪水に流された人を助けるには、まず自分がしっかりしていなくてはいけません。自分の船が丈夫でなくてはいけません。大師たちがよく「放下」と言いますが、「放下」してこそ、心が清められ、静まるのです。でも、どうすれば手放すことになるのか。欲張るつもりはないが、家族を養う必要があるでしょう。これは盧台長が言うまず自分を救わなければならないということです。まず自分の家族を修めて、自分の家がよくなって、自分の「船」が十分丈夫になってから、他人を救うこと、助けることが出来るのです。さもなければ、自分の船が水漏れで危ないのに、人を助けるどころか、自分の命まで落としてしまうのです。あなたは衆生の一人であると同じように、あなたの家族も衆生のうちです。自分の家族を救

うのも衆生を救うことなのです。

　では、私たちの修行は、何を修行するのでしょうか。ほとんどの場合、多くのトーテムには霊や業障の存在で黒い気があります。長年病床に伏している人の場合、黒い気はトーテムの殆どの部分を覆ってしまいます。運気や事業に阻害のある人、不運の人は、トーテムに黒い気があるだけではなく、その周りにも黒い気があります。この周りの黒い気は阻害で、業障によるものです。いわばそれは交通信号が交通のコントロールをしているように、人の運を左右しています。幸運にあっても悪運にあってもこのように左右される状況があるので、幸運の中に悪運に転じる起因が潜んでいると言えます。これも「どこの家にも困ったことはあるものだ」と言われるわけです。運がいいと周囲から思われる人にも、思い通りにならないことがあるのです。適当な修行をしたら、二つの変化が生じます。トーテム自体がきれいで明るくなります。その周りの黒い気も薄くなって、周りに真っ白な雲が漂う可能性もあります。この二点だけでも人の運を変えさせます。トーテム自体が明るくなることは、自分自身のパワーが増えることで抵抗力が高まったことです。そのうえ、業障が取り除かれ、霊の貸しも期限内に全部返してしまいましたので、悪運状態下のトラブルなどをうまく乗り越えられます。同時に、幸運の期間を伸ばし、人生の道を広げることが出来ます。トーテムの周りの黒い気が薄くなったり、なくなったりすることは、その人が万事うまく運べるようになり、明るい未来が待っていることを意味します。だから、修行の第一歩は以上の二点を実行することです。

　皆さんの修行過程は、暗い中で模索しながら進むようなもので、どの道が正道で、自分が今歩んでいる道は正しいかどうか知らないという不安があります。時々「私は何を修行したのか」と疑問に思うでしょう。盧台長は皆さんと同じ道を歩んでいます。ただし、みなさんに比べてより高くより遠くまで見えるのです。だから、盧台長は暗闇の中の灯りになって、みなさんの前の道路と障害を照らしてあげたいのです。皆さんの精進の尺度を提供し、進む方向と進捗の程度を皆さんに注意するようにします。皆さんが前途や結婚問題について質問するのは反対しませんが、修行や精進についての活発な議論をしてほしいです。それこそ私たちが関心を持つべきことです。この文章

が多数の修行者の疑問の答えになるのを祈っています。それで皆さんの心が清められ、よりよい修行になることを期待しています。

誰が運命を操っているのか（2009－03－19）

古今東西「運命のレバーを執るぞ」と叫んだ人がどれぐらいいるか、一生懸命努力しながら、結局は運命の前で挫折し、あっさり降伏してしまった人がどれぐらいいるか、数えても数えきれません。メールで「『了凡四訓』を読んだら、すっかり消極的になってしまった。運命は最初から定められたものなら、努力してもしようがないだろう。来るべきものは来るし、得られないものはいくら努力しても得られないだろう」という内容を寄こした人がいます。人間における悲劇の多数が「運命」の二文字に帰結され、運命こそが人間の種々の苦しみの源のように思われています。事業の下り坂、愛情の喪失、子供の病気、家庭のもめごとなどを、軽々しく運命のせいにします。あくまで我々自身が運命に翻弄される被害者で、我々自身が上のような出来事に対して一切責任がなく、それらを変える能力もないように。実をいうと、我々こそ自分の運命の書き手であり、我々でしかそれを変えることができません。運命は輪廻の一環にすぎず、輪廻に入る度、新しい舞台に上るようなものです。新しい環境で演じる役柄を切り替え、自分の書いた脚本に沿って、機械的に演じ続けるだけです。そのとき、自分が書いたこと、何を書いたかということを忘れてしまうのですが。

運命の基本法則

運命とは現世の受けるべき果報が繋ぎ合わさった道です。輪廻と言い、運命と言い、その運行は二つの基本法則に沿っていて、ぐるぐる廻っていて、衆生がどのようにしてもその中に取り込まれているのです。この二つの法則は輪廻の根本根拠で、その前では、衆生が一律平等で無差別です。

一つ目は宇宙の第一法則：因果法則。即ち皆さんが周知している因があれば必ず果がある、播いた種によって、しかるべき果実があるということです。因果法則は三千大千世界が沿わなければならない定則で、その因果応報の循環を阻止することはできません。ですから、今あなたが姑に悪い態度を

取ると、それが悪の種になって、来世には夫婦仲が悪いという悪果を招きかねません。前世の殺生が多ければ、来世には病魔に取りつかれることになるかもしれません。因があれば、必ず果が生じます。どんなスーパーパワーもそれを抹殺することができません。前世のたくさんの悪行によって、血液病という果報が待っているとしたら、どんな力でもそれを阻止することができません。助けとしてスーパーパワーが現れたとしても、現世の悪果が妨げても、来世には必ず返してもらわないと済みません。もちろん、あなたの代わりにその悪果を肩代わりする人、または力が出現したら、それはまたあなたの善果の問題が絡んできます。別の因果問題となるのです。その計算の仕方が複雑ですが、必ず因果法則に沿うもので、最終的にはあなたが播いた因によって、それにしかるべき果が実るのです。

二つ目は天理です。天理循環して、必ず報いがあるというのは、ただ口頭で言うだけのものではありません。天理は実質的に管理制度のシステムで、どんな因にはどんな果があるのか、どれぐらいの因にはどれだけの果があるのか、いつ果が現れるのかなど、詳細に規定しているのです。天理は個人の因果応報を決めるだけではなく、地域、時代、国家ひいては世界の因果応報も決めているのです。天災と人災は共業の悪果で、地球温暖化はその良い例です。全ての物事は天理の管轄下にあります。だから、一個人がある時刻に悪行を一件行った、または悪の念を生じたならば、天理によってそれが受けるべく果報に自動的に計算され、業障となって来世の某月某日に現れるように規定されるのです。同じように善行功徳も自動的に加算され、特定な時期に善果となって出現するのです。

だから、我々が時々刻々に念じるもの、行った行為は、播いた因となって、天理の規定によって時間順に配列された果に転じるのです。この線をつなげていくと、来世の「運命」になるのです。ただし、我々は善行も悪行もしていない時期もありますが、それがつながりの中の空白部分となります。人の生涯には、入学、試験、卒業、好い相手、事業の好転、良い機会、出産、などを待つ時期がありますが、それが空白部分です。その尽きそうもないような待ち時間は、時間の無駄であり、人生の無駄でもあります。

前世の業障はいかにして現世にもたらされるのか

人間は誰でも罪を伴って生まれてきたと（特に西洋の教義の中で）よく聞きますが、それは事実でしょう。では、なぜ生まれたばかりの清らかな赤ちゃんは罪を負っているのでしょうか。その罪はどこから、どうやって来たのでしょうか。数多くのリスナーの皆さんの中には、子供が生まれて三年は、若い親御さんが一晩も熟睡したことがないという例がいくつかありました。子供が湿疹にかかっていて、同時に夜中によく目覚めるからです。このような状況は原罪論のいい解釈になります。実は下界に存在する全ての人には業があります。業はいわゆる「罪」で、それがなければ、下界に生まれることはありません。だから原罪論は合理的なものだといえます。

受けるべき悪果が天理の配列によって業障と転じれば、コンピューターのプログラムのように全ての情報を記載し、人間の魂に潜伏するようになります。トーテムから看ると、ある特定ポイントにある黒い気です。悪行を一件、また一件と行うと、その黒い気があちこちに現れます。この世に生まれる時には、その黒い気が魂によってもたらされると同時に、既定の時期に表に出てくるのです。これは業障の随行方式で、所謂「影の如く寄り添う」ことです。ある地域や国家の人が善行を行わず、業ばかり造っていれば、同じように黒い気が形成され、天の時と地の理に影響し、悪果を受けるのです。

では、業障がまだ現れていない状態でも我々に影響を及ぼしますか。その答えはもちろんイエスで、しかもその影響は大きいものです。魂にとり憑いた黒い気は腐食剤のように、刻々と我々の身体を浸蝕し、気脈の流れを阻害し、神経を圧迫し、我々の精神と心理状態に影響します。だから人の病気も霊によって引き起こされるものと業障の付き纏いによって引き起こされるものに分かれるのです。それだからこそ、盧台長はいつも霊による病と業障による病とを区別して言うのです。

業障の変化には二つの方向があります。相殺されるか霊となって現れるかの二つです。霊はというと、業障によって転じてきたものもあるし、外部からもたらされたものもあります。問題は、業障はある因果関係の中の果ならば、除去されることができないはずです。では、どうして相殺されることが

できるのでしょうか。また、何がこの果を相殺することができるのでしょうか。

どうして仏法を修行したり、菩薩を拝んだり、お経を読むことが業障を相殺できるのか

業障はある因果関係の中の悪果で、同時にそれはあなた自身が播いた因による当然の果です。だから、あなた自身の善因によった果でしかそれを相殺することができません。それ以外のどんな力でも業障を変えることができません。ここでいう善因は即ち功徳のことです。だから功徳は業障を相殺することが出来ます。（詳しくは『白話佛法』類「大きな善事と功徳の区別について」を参照）

修行とは何を修行するのでしょうか。心です。清浄心、分別心、善心、平等心、慈悲心を修め、妄心、貪・瞋・痴、執着心を除去するのです。周知のように、善と悪は紙一重で、心が正せ、善心が修めれば、悪因を播くことなく、悪果を避けることが出来ます。だから心を修めるのは佛道を修行する第一の趣旨です。

お経を読んで、菩薩を拝んだら、菩薩があなたの業障を除去してくださるという意味ではありません。お経を読むことと菩薩を拝むことが功徳になるからです。「業力不可思議」、「成就不可思議功徳」。普通の場合、功徳は天理によって自動的に配列されるわけで、進んで特定な業障を相殺することがありません。菩薩の前で慈悲を求め、仕事や恋愛の順調などをお祈りしたら、菩薩がその神通慈悲を用いて、あなたの功徳であなたの仕事や恋愛を阻害する特定な業障を相殺するように働き、あなたが順調になるようにさせてくださるのです。あなたの功徳と菩薩の慈悲神通の両方揃っていなくてはなりません。でも、その基本になるのはあなた自身の功徳です。一つの善果によって一つの業障を相殺するのです。一生懸命菩薩様にお祈りしながら功徳もなく、お経も読まなければ、菩薩にしてもあなたを助けることができません。同じことで、業障が深くて、功徳が浅ければ、成功することもありません。

実生活に応用するには

以上のようなことが分かってくれば、時間を惜しんで、利用できる全ての時間を利用して修行し、功徳を積み重ねるようにしなければならないと自覚できるでしょう。同時に、功徳と業障の関係が分かったら、自分の業障によって自分にふさわしい短期的な修行目標を立てることができましょう。業障が深い場合、どんなことをしても順調に運ばないし、どんなに菩薩にお祈りを捧げても、どんなにお経を読んでもよくなりません。これは業障が身に付き纏って、非常に大きい阻害です。この時は集中して業障の帳消しに勤め、「小房子」をたくさん読んだほうがいいでしょう。業障が浅い場合、お経を読むとすぐに効果が現れるし、菩薩にお願いしてすぐに叶ったら、それは本人の功徳と修行によるものです。このときは目標を高めるべきで、心を修め、功徳を積み重ねることが重要となってきます。

これらのことが理解できれば、自分の運命がどうやって形成されるか皆さんは分かってくるでしょう。今から天を恨み、人をとがめるのと、責任を回避するのをやめて、修行に専念するべきです。全ての待ち時間を、お経を読むことと功徳を積むことに利用すれば、来世また下界に生まれたとしても、毎日のようによい果報が待っていて、天上界で生活しているのとそう違わないでしょう。

共業と個業の二者の因果応報の関係（2009－03－23）

前文で「共業」に言及しましたが、共業とは大勢の人の同じ悪因による悪報のことです。その良い例はいまだに水面下で進んでいる地球温暖化です。具体的に誰がその責任を取るべきかは言えません。我々殆どの人間が一部の責任を負うべきです。悪因が既に播かれてあります。自動車と工場の排気ガス、過度な森林伐採などなど、全てはこの大因果のうちの因になります。同じように因果定則と天理によって、その悪果が自動的に配列され、将来の然るべき時期に報いとして現れます。

悪因が播かれると、ずっと潜伏状態で影響が出ないというわけではなく、天の時と地の理には影響し、累積しつつ、報いの時期になると爆発するようになっています。現在地球人は既に温暖化がもたらした変化に気付いたようです。気温の上昇、悪天候、氷河の融解、オゾン層の空洞などなどが悪因の累積です。その悪報といえば、今予測できるのは海水面の上昇、陸地の減少、島国の消失など、人類の損失は測りしれません。

以上のような大規模な天災が起こる時、悪の果報はどんな人の身に降りかかるのでしょうか。天災で遭難された人達はみんな共業の果報を受ける運命にあるのでしょうか。実は、そんな天災の遭難者全てが災難に遭う運命にあるとはかぎりません。元の運命にはより長い寿命、より多くの福報または業を現世に持っている人が数多くいるのです。しかし、そんな人たちには一つの共通点があります。即ち特定の時期には一つの劫があることです。劫とは集中的に爆発する大きな業障のことで、トーテムでは広範囲で高濃度の黒い気として現れます。共業による悪果の現れは外部環境の黒い気で、天災は共業が熟し爆発しそうな状態です。非常に濃くて非常に広い範囲を覆う黒い気として現れます。その際に劫のある運命にあって、濃くて黒い気を持った人がいて、災難が起こる地にいれば、または何かの原因でその地に行けば、「定められた災禍から逃げられない」ことになるのです。

十分な福報または功徳を持った人ならば、劫に遭う運命にあっても、劫の地にいても、生存できる可能性があるのです。あるいは、既にチケットをとったのに、何かの原因で行き損なって、劫の地を回避できるのです。もちろん、そんな人間地獄のような惨事を経験すること自体普通ならぬ苦痛です。

天災の際、寿命が尽きていなくて、死にいたらぬ劫にあるが、共業のせいで窮地から抜け出せない者がいます。そういう人たちは冥土に行っても、地の律によって収められることができません。それで、寿命が尽きるまで人間道に漂う霊魂にならざるを得ないことになります。天災地や戦場にはそんな霊がたくさんあります。いうまでもなくそれは至極可哀そうな境地です。陰の力が陽の力によって包み込まれて、行ける場所が限られていて、自分の力が消滅しつつあるだけです。時期が来て冥土に迎えられたとしても、自分の霊が非常に弱くなってしまっています。あるいは、それを待つ過程で何かの

怨恨で別の方向に滑ってしまうかもしれません。だから、その家族としては可能な限り早く済度してあげなければなりません。

修心は薄氷を踏むが如し（2009－04－28）

我々の修行の過程で、常に四つの文字を胸に刻んでおく必要があります。それは「(如踏薄氷）薄氷を踏むが如し」です。この四文字は修行の道の艱難辛苦を適切に表現していて、同時に我々が修行の際常に保たなければならない心境を表しています。初心者は誤った道に入りやすいし、修行の高い人でも些細な不注意によってこれまでの努力が水の泡になってしまう可能性があります。佛門に入ったばかりの人が常に注意しなければならないだけではなく、佛道に踏み入った全ての人は常時自分の心を省みなければなりません。それであらゆる内の魔と外の魔に勝ち、修行の目的を達成できるのです。

阻害、障害、誘惑のいずれも、それを感知できるのは我々の心で、それを理解して結論に達するのも心です。最後に決定を下して、反応するのも心です。これは万法が心に由来し、佛道を修行するのは心の修行と言われる故です。修行することは心を修める補助的なもので、心を修めることよりずっと簡単です。お経を読むこと、善行をすること、功徳を積み重ねること、布施すること、自分の行為を修正することなど、多少の差こそありますが、力の及ぶ範囲では誰でも出来るのです。修行の基礎は心によると言っても、リスクはずっと低いのです。逆に心を修めるのは常にリスクを背負っているのです。

心を修めるというのは何を修めるのでしょうか。実をいうと「認識と理解」を修めるわけで、そのうえ正し道を選ぶことです。なかには、宇宙に対する認識と理解、因果定則と天理に対する認識と理解、輪廻規則に対する認識と理解、各界に対する認識と理解、地獄に対する認識と理解、原霊の生存規則に対する認識と理解、「業障以外何も持ち運ぶことができない」ことに対する認識と理解、などなどが含まれています。もう一つ、最も重要なのは法門に対する認識と理解で、まとめて言えば、佛法に対する認識と理解です。

以上のような真理に対する認識と理解が深ければ深いほど、真理自体に近づくことができ、心はより「明白」になるのです。それでいて、遠回りせずに、心境を開くことができるのです。これらのことが分かると、清浄心を得ることが出来ます。なぜかというと、世間の悩みなんて取るに足りないもので、世間の名利は実は短い間のものにすぎないと分かるからです。因果と天理が分かれば、「善心」を修めるべきだと分かってきます。如何なる邪念でも業障と悪縁を引き起こし、時間をかけてそれを除去しなければならないからです。地獄の苦が分かれば、悪を行わなくなります。どんな悪行も悪報から逃げられないからです。因果と輪廻が分かれば、佛を学ぶことと修行する信念が固まってきます。佛法が最終的に自分を苦から救い、楽を得ることが出来ると分かるからです。法門に対する認識と理解が正しければ正しいほど、修行の良い効果を得ることができ、偏ったりする可能性が少なくなります。原霊の生存規則が分かれば、「慈悲心」を発することができます。万霊は同じ源にあるからです。

心を修める阻害、障害は俗世界または霊の世界からくるもので、皆「執」から生じるのです。ただ「心を清め」れば、打破することが出来ます。「執」とは何かというと、偏っていて、正しくない認識と理解です。一人の人間の認識と理解が、ぶつかった問題に答えること、または目の前の窮地の原因を突き詰めることが出来ない場合、その人は自分の持った認識と理解によって答えを探ることを試みるようになります。その結果として「悟り」か「執」かの二つが待っています。

俗世界では、我々はよく色々な「不公平」で悩んだりします。仕事上、自分が人より多く働いて、人より能力が上なのに重視されなくて、コツコツ働くのに抜擢してもらえません。家庭内では、家族や子供のために奉仕しているのに、大切にしてもらえません。佛学を学んで修行したいだけなのに、世間の悩みが私の「清浄心」を邪魔して、安心して修行することがどうして出来ないのでしょうか。世間には浄土というものがないのではないでしょうか。病院に勤める人となると、目の前は苦に満ちているのに、医者や看護師は見慣れて、自分たちのミスや怠りによって人間悲劇を引き起こしてしまいます。そのくせ自分だけ後退りしたくて、世から逃げ隠れようとします、な

どなど、数え切れないほどの例があります。周りの修行仲間でも、悟りのレベルの違いによって、物事に対する理解も違うし、人づきあいの仕方なども違います。人に誤解され、嘲られ、事実無根のことや悪口を言われることは、日常生活の中でよくあります。これらの「不公平」は、勝手に存在すると思っただけのものであっても、事実存在しているものであっても、俗世界から来た心を修める際の阻害です。そのような考えが脳中に根付いて、どうしても払拭することができません。毎日そのように自分に言い聞かせて、それで自分の考えていることが本当に存在していると思いこんでばかりいて、他に解釈のしようがありません。最終的には、これらの偏った認識に「執」して、認識を高めることができなくなります。これが修行の過程における「魔」になるのです。

このような状況で、仏法の理論に対する認識と理解を学んで、応用することを通して、その悩みや不公平に拘らなくなるのです。たとえば、上司が能力もなく、その「義理のお兄さん」が社長なばかりに、今のポストにつけたのに、自分は高い能力を持っている（と自分は思っているだけだが）のに、どうしても重用してもらえないというような場合です。あなたは重用されることなく、転職しようと思ってもうまくできないのは、他の誰かのせいではなく、あなたの身に業障がつき纏っているからです。あなたは箱の中に束縛された虎のようで、順調になりたいのなら、まず業障を除去しなければなりません。あなたの上司となると、能力の如何はともかくとして、現段階では貴人が助けてくれる運にあって、前途は明るいです。その原因は、前世、孤独な老人の後半生の面倒を見たことにあります。このようなことが分かれば、因果定則が必ず間違いがないと意識することができ、時間を惜しんで業障の除去と善行を行うことに専念するようになるでしょう。また、病院ではあまりに人間悲劇を目にするというが、白血病にかかった五歳の子供は前世、恋愛事情で人の命をあやめたことがあるのが分かりますか。その患者は医者のミスで亡くなったが、その際にその医者が新たな業障を造ったにしても、根本的な原因は患者自身の身には30年も霊がとり憑いていて、ただちに診てもらえないように阻止されていたことなどが分かりますか。これらのことが分かってきてもなお、迷い続けていくつもりですか。

霊または神通に対する正しくない認識による「執着」もあります。たとえば、いつも既に亡くなった人のことを思っていて、自分の身に付き纏る霊がもったいなくて、良縁だと思い込んで、また「親子の縁」を持ち続けたいと思う人がいます。しかし、どんな霊に対しても正しく認識できれば、良縁であろうと悪縁であろうと、新しい輪廻によって切断されたものだと分かります。たとえその縁がまだ終わっていないにしても、新たな輪廻に入るものです。それに、人の身体に対する霊の被害は絶対的なもので、肉体にだけではなく、精神に対しても害を加えるのです。それから、自分から特定な縁を結び続けたいと思うと、それに連れられて、一連の「縁」が来るかもしれません。その結果は想像しがたく、「髪の毛一本引っ張ると全身が動く」とさえ言えます。このことが分かってきてもなお、既に切断された縁を持ち続きたいと求めますか。それでも既に亡くなった人を忘れないようにするつもりですか。

今までの修行者は経文の研究および修行仲間による証明を通して、仏法に対する自分の認識と理解が正しいかどうかを検証しました。その中の艱難辛苦が想像できます。現在は情報が発達したおかげで、指導を受けるのはたやすくなりました。しかし同時に、多種多様な情報が容易に入手できるがために、その分別と選択をする際には巨大な困難が我々の前に横たわっています。佛法に対する認識と理解が古来そんなに容易なことではない、ということを示しているのです。

では、なぜ心を清めれば「執」を打破することが出来るというのでしょうか。心を清めるというのは、みなさんに何も考えないでほしいとか、そういうことではありません。心が一種の超然とした境界にあるという意味です。俗世界のもめごとや争いの外に身を置きます。その結果、汚染されることなく、巻き込まれることなく、夢中になることもありません。これが世間百態を見通して、佛法の真理を悟る先決条件です。

だから、みなさんは台長が伝え、解釈した法を大切にするべきです。今後の皆さんの修行の効果がどうであれ、仏法を学ぶ誰もがこれらの基礎知識から学び始めるべきです。仏法を学問のように理解するべきです。それが我々に数学の公式のような基本法則を教えてくれます。台長のご指導の下、一を

聞いて三を知るように仏法を応用し、俗世にいながら悩みや世間の義理人情を観察すれば、徐々に人生の波と谷に対して平常心で臨むことができるし、この境界の佛法に対しても理解できます。その後、より高い境界が我々を待っていて、その先は尽きることが無いのです。

第四部分　盧軍宏台長ブログ『法門親伝』特集
罪業を消す方法（2009－3－27）

『礼仏大懺悔文』を読んで罪業を消す方法は台長が得た観世音菩薩の指示で、すべての人、すべての
体の病気、事業がうまくいかないこと、仕事に障害があること、商売が順調でないこと、配偶者が見つからないことなど、罪業によって生じた不如意に効きます。誠心誠意お経を読んで懺悔すれば、必ず霊験があります。

この経文は日課として必ず実行し、毎日読む『大悲呪』、『心経』と合わせて、日課の一つにします。

方法：

毎日１～７回読み続けるのですが、読む前に次のように菩薩に「私×××をお助けください」とお願いします。

１．私の作った罪業を消すのを助けてください（この目的を達成するには長期間やり続ける必要があります。）

２．或いは私がある日ある時あることをして作った罪業を消すように助けてください。

３．或いは私の体のある部位の罪業を消して、その部位の病気が治るように助けてください。

４．或いは私の罪業を消して仕事がうまくいくように助けてください。（各種のお願い）

もし他人の親や子供の代わりに読んであげる場合、菩薩にわが子×××が作った罪業を消すことができるように、また彼が健康であるように

（賢くなるように）お願いします。

懺悔と『礼仏大懺悔文』を読むことで、菩薩の助けの下で罪業を消します。肝心なことは上述した罪業（４種類のどれか）を消したければ、必ず菩薩に心の中で唱えるか、声に出して唱えるか、一番良いのは両方で唱えることです。

作用：

１、小さな罪業が爆発（現れる）する前に食い止めることができます。

２、もし深くて大きい罪業なら、前もって現される。これはいいことで、前もって現されてから、「小房子」を読んで返済すれば災難を免れ、ちょうど病気を早期治療するのと同じです。だからもし『礼仏大懺悔文』を読んだ後、夢で霊がお経を求めたり、或いは罪業を消している部位が突然痛くなったら、それは罪業が前もって現され、霊性になったということで、早く「小房子」を4～７枚読んでください。（もしあまり効果がないと感じたら、続けて多めに「小房子」を治るまで読んでください。）大体この部位の罪業が消せたら、晩年にこの部位はあまり問題になりません。

注意事項：

１、必ず『大悲呪』、『心経』を基礎にしてください。さもなければ、効き目がありません。必ず誠心誠意懺悔してお経を読んでください。

２、普通一日に読む『礼仏大懺悔文』は7回を超えないように。もし多方面やいくつかの体の部位のために『礼仏大懺悔文』を読むなら、一日に一つについて、7回を超えないように、合計の回数は7回を超えてもかまいません。なおかつ、「小房子」もその都度多めに読んでください。

３、「小房子」を合わせたら一番効果があります。『礼仏大懺悔文』を読み始めてから、「小房子」を読み始めてください。と言うのは、罪業が現され、霊性となって、「小房子」が間に合わなかったら、病状が酷くなったりするからです。その都度「小房子」を送って、初めて問題が徹底的に解決し、罪業を消すことができます。普通一日に１～3回『礼仏大懺悔文』を読むと、一週間につき3枚前後の「小房子」を自分のお経を求める人に送れば、安全です。

４、『礼仏大懺悔文』の中の「所做罪障，今皆忏悔」の後、必ず頭を額づいてください。他の場合、心の中で額づいてもいいです。代わりに頷いてもいいです。最後の一文「南无大行普贤菩萨」は必ず三回読んでから立ち上がってください。たとえ跪いて読んでも、三回読んでから立ち上がってください。

心に香を炊いて佛を礼拝する　（2009－04－03）
法門――菩薩へのお願い

方法：毎回お経を読む前に「大慈大悲観世音菩薩　私×××の事業が順調であるように」等とお願いしてください。

作用：自分の名前をはっきり伝えて、もし他人の代わりに読んであげるなら、二人の名前をはっきり伝えて初めて、お願いすることが菩薩に届きます。

法門――心で香を焚いて佛を拝む

方法：心の中で次のように観想してください：既に供えている菩薩像、或いは一番好きな菩薩像が目の前にいると思って、お香を取って、火を点じて、両手でお香を挟んで額づき、合掌して、香を取って、香炉に挿し、跪いて同時に心の中でお願いしてください。

作用：佛堂で拝んでいるのと同じです。自分の家に佛間が設けられないか、旅行中か運転中か歩いている時なら、お経を読む前に、まず心で香を焚いてください。

関連常識：家の中で長く供えている、或いは開眼した菩薩でなければ、佛壇や佛間でお香を上げてはいけません。というのは、パソコン画面上の菩薩像、経文の中の菩薩像など、長く供えられていないことや開眼されていないから、菩薩の「気場」がないのです。この種の像にお香を上げることは、天地に香を上げることになります、行き来する各種の神霊がいるので、取られてしまう可能性がある

ので、危険です。

仏道修行の要旨（2009－04－10）

以下は台長が講義や質疑応答等の中で伝えた仏法を学ぶ時の重要な概念です。分かりやすく解釈するために、中のすべてについて長々と解釈するのではなく、重点的な形式でまとめて、絶えず更新します。

● お経を読むとき、余計なことを考えず、他の事に執着しないでください。さもなければ、正道から外れます。

例：或る人は神通力に執着し、ある人は前世の縁に溺れ、ある人は亡くなった肉親を思ったりします。だから、お経を読んだり、「小房子」を読んだりする時、潜在意識の中にこれらの執着が絶えず現れて、一種の「気場」を形成して、霊を自分に引き寄せがちです。

避ける方法：

１、お経を読む時は、菩薩と気を通じて話をしますから、無欲で心静かにして、佛は明鏡止水であるように言います。

２、肝心なことは自分の心で、常に自分の心に私心や雑念が減っているかどうか観察してください。絶えず自分の心を払拭し、ますます霊に侵害されにくくなります。

３、お経を読む前、菩薩にお願いする時、自分の名前を言って、読む時は誠心誠意読まなければなりません。お願いがあって読む時は、読む前に先にお願いしなければなりませんが、常識はずれなお願いをしてはいけません。例えば、大金持ちになりたいとか、神通力を現してくださいなどです。

４、陰陽は繋がることはできないことをはっきり認識しなければなりません。前世の縁はまるでテレビを見ている時のほかのチャンネルの番組のようです。自らそのチャンネルを見てはいけません。善縁も悪縁も同じで、過去のものは取立てと返済のプロセスで、暫定的に縁が尽きる一種の表れです。

５、心を修める（修心）ことは佛教を学ぶ過程で、薄氷を踏むように慎重に精進しなければなりません。神通力は修行の過程での現れで、神通は水の流れのようにごく自然に出るのです。追い求めないでください。さもなければ、ほかの霊に脇道に引っ張り込まれがちです。

６、霊の世界は非常に複雑な世界であることを認識しなければなりません。私たち人類はその世界の前ではとても脆弱で、自分を守るのに十分なパワーがない時、唯一できることは虚心に学習することと勤勉に精進することです。

●悪因は三代に及ぶ：多くの人にとっては、一つの因果は、特殊なことがなければ、前世、現世、来世、三世かかって清算が終わります。

例：具体例が多くて、台長は毎日ラジオ番組でトーテムを看ていて、記録されたこともとても多いです。

解決方法：

１、善因も悪因も、前世に撒かれたもので、現世で報いを受けることになります。報いが終わらなければ、来世まで必ず報いが及びます。これはつまり因果応報で、誰にも阻止できない因果応報です。

２、果報の成熟には一定の過程が必要で、ちょうど種が果実になるまでに、沢山の要素によって成長するのと同じです。現世での我々の特定の身分や経歴はつまり土壌と水分で、なるがままにして成長させたら、その果報は避けられません。

３、私たちは果報が成熟する前、新しい縁によって解消させ、読経、願かけ、放生、善行を行い、功徳を積むなどを通じて、悪果が成長する土壌成分を変化させ、悪果に成長する養分を断って、成熟する前に枯れさせます。続けて修行したら、善の種を成長して成熟させ、善果を結ばせます。

●地獄の苦しみを思えば、常に菩提心を起こします：修行の過程で地獄の苦しみを鏡として、いつも自分を鞭撻します。因果応報を弁えて、修行に励んで、ひたすら善行を行います。

１、地獄の苦しみは自分のしたことのもたらした結果であるのをよく分からせてくれるし、悪念を断ち、私欲を払拭し、貪欲と怒り（嗔）を戒める

ことができます。

２、どんな行為がどんな苦しみを受けるかが分かれば、私たちは日常生活でこれを基礎にして、自分の心と行為を正すことができます。

●どんな身をもってしてもそれなりに得度ができます：六道のどこにいても得度できるし、どんな身分でも得度できます。

例：ある人はネットを通じて質問してきて、自分が「清浄心」を求めると言い、他の宗派にも興味を持っていると言いました。

得度できるかどうかは、自分の発心にかかっています。自分に得度したいという気持ちがなければ、誰でも得度できません。

もう一つの要素は機縁です。発心しても機縁に恵まれなければ得度できません。機縁に恵まれても発
心しなければ得度できません。上述した質問者は他の宗派に興味があってもずっと出会えなかった、つ
まり機縁に恵まれなかったのです。

８万４千の法門は、違った縁によって生まれたのです。

縁があって盧台長の法門に触れることは、機縁に恵まれたということです。悟らず、ためらったり、きょろきょろして、なかなか発心しなかったら、どうして得度できましょうか。

修行の過程で、私たちは台長の指導の下で、刻苦勉励修行し、智慧が開いて悟性が持てたら、本当に正真正銘の円満な智慧の境界に入ると言えます。

仏道修行の要旨　――続編（2009－04－18）

以下は台長の佛法及び佛法を学ぶ時における素晴らしい詳解、我々の修行と修心の過程で重要な指針となります。

●凡夫は生滅法をもって出世法を考えます:一般人は出世法も人生の完結によって無くなり、出世法に対して本当に理解していません。

例：善人が多いと信じて、人間の自然な心の状態に帰ることに賛同し、修行や功徳、善行などをするのは曖昧で、遥かかなただと思います。

人が死ぬことは明かりが消えるようなものだと間違って認識したら、思うがままに人生を楽しもうとします。世間法と出世法を混同しています。

世間の一切法は人の死亡で無くなるので、一切の物質的な享受を追い求め、社会で争奪しても、結局は空しい結果になります。この世のすべての名利はすべて幻で、持っていけるのは身についている罪業だけです。

出世法は不生不滅で、人の原霊の存在にしたがって続けて作用を発生します。

人の原霊は肉体の死亡で消えるものではなく、違った空間や世界で引き続き存在できます。

原霊はある状況の下で消失します、つまりこれは本当の意味での滅亡です。例えば、地獄には「油地獄」或いは「火の海地獄」があって、原霊は人類に水銀のような感覚を与え、油地獄や火の海地獄を経て、そこで初めて散失して、散霊と変り、「湿生」或いは「卵生」の小生物に変わります。元々の霊が存在しなくなり、これは本当の意味での滅亡です。

我々は他の層（空間）に近いです。霊魂は普通の状況では不滅です。

●「我見」を以って、佛法を研究するなら、佛法からますます遠ざかります。自分の知っていることや見たことで仏法を理解し、他人の修行を論評するのは、個人的な見解に過ぎません。

例：ある人は、自分が正しくて、他の流派、宗派或いは法門はすべて間違ったと思っています。

一人ひとりは経歴や成長環境が皆違っていて、同じ物事に対して、違った人が見れば、違った結論が出ます。

個人の結論や個人の考えを以って、佛法を研究すると、偏見を生み、我執或いは他執を形成し、真理の認識に影響します。

「我」を捨てて初めて、偏見を免れることができ、数多くの法の中から正法を探し当てることができます。

●仏法を学ぶことは修心することです：万法唯心で、修心の道はつまり佛法を学ぶ道です。

心が浮ついていれば漂い：心が定まらないと、魂がさ迷います。もし心の中に無数の雑念や多くの心配、憂慮、憂いがあれば、心は安定せず、霊魂は

安寧ではありません。

心が清ければ、定まります：心の中が清ければ、心が静かになり、魂が定まります。

心が定まれば、道が生じます：心が定まれば、法術が生まれ、つまり覚悟でき、道理を悟り、真理佛法を悟ることができます。

心が清くなるには、因果を理解し、輪廻を知り、縁が分かってこそ、貪欲にならず、嗔らなくなります。

縁に従って、無理やり縁を求めない：日常生活の多くの物事について、こういう認識が必要で、強引に求めないで、求めてきた如何なるものも自分のものではありません。縁が来たら、徴しが現れます。縁が来なくても、同じように徴しが現れます。

仏心は衆生の心に等しい：衆生の心を思うことだけが、佛心を生じさせるし、理解、愛護，諒解などはすべて備えなければならない品性です。

覚心は先ず自覚を求めてから他覚を求める：先ず自分が悟ってから他の人が悟るのを手伝えます。もし自分の理解も生半可なら、先ず自分が修行すべきです。同様に人に佛法を信じさせるには、自分には功力や徳性が必要です。自分の船が丈夫であってこそ他の人を乗せられます。

自分の心から思うことが必ず現れる：すべての法門は心から生じるもので、心が正しければ、法門も正しく、心が邪悪なら、法も邪悪です。佛法を学ぶにも木を見て、山を見ずではいけません。他人はすべて間違いで、自分だけが正しいと認識したら、これ自身は正論ではありません。

●祖先の業の連続：ある家庭の祖先の行為に欠損があって、福徳を積んでいなかったことには、範囲が広く、お墓、風水が含まれ、即ち、前世の善悪因縁などです。

もし、祖先の作った業が大きくなければ、二代目までに報いを終えられます。

もし、殺生の業ならば、三代目、四代目までに及び、殺生の業が多ければ多いほど、末代の受ける

影響はますます大きく、ますます長くなります。その原理は人の体の傷に似て，軽傷ならば、短期間で治り、重傷ならば、長期間寝込みます。

末代そのものも業があって、この報いを受けるべきで、この類の家族に生まれ変わるのです。

祖先の業や祖先の徳は、私たちの生活するこの社会環境と同じで、ある人の前世の福徳や罪業によって決められたものです：前世に福徳があれば、口に金の鍵を含んで生まれ、祖先のお陰を受けます。もし罪業を身にまとっていれば、貧困な家に生まれます。

子孫に責任を持とうとするなら、積善善行をして、悪業を作らず、特に殺生をしてはいけません。

仏道修行の要旨　――智慧の言葉（2009－04－24）

知者の一語は衆生に、迷いから抜け出て、悟りを開かせます。

今日は日常用語と佛法を結合して、皆さんに話して、深く広く展開して、皆さんに迷いから抜け出て、悟りを開かせます。

皆さんは是非自修自得を理解してほしいです。大乗佛法を修めるには、根本的なものを修め、心して修めることです。弟子入りする目的は更に学んで更に多くの人を救うことです。弟子を取る目的は皆さんに悟りを開かせ、皆さんの思想の境界を高めることです。境界が高ければ、たやすく妄想執着を取り除きます。境界が更に高くなれば、煩悩は更に小さくなります。反対に、境界が更に低ければ、煩悩が更に大きくなります。弟子入りにせよ、観音菩薩を拝むにせよ、目的はよく修行し、自分の無明習気を払拭することです。佛を拝むこと、お経を読むこと、心を修めることはみな自然なことで、皆さんの悟性に頼って修行してください。

●体の肉は母親からもらったもので、骨は父親からもらったものです。皮膚を傷つけたら、その罪業は母から来たのです。骨を傷つけたら、その罪業は父から来たのです。

●「生命の序曲は何回かの産声から始まり、終結は一つのため息で終わります。」

　つまり人の命は産声から始まり、息を引き取ることで終わります。皆さ

ん、執着すべきものがあるのでしょう、良く考えてください。瞬く間にすべてが過ぎ去って、二度と戻ってきません。人間の悲しみは、産声から始まり、亡くなる時は息を引き取って逝ってしまいます。どこへ逝ったのかも分かりません。だから、是非心してお経を読み、自分の寿命を延ばしてください。寿命を延ばすのは更に多くの人を救い罪業を返済するためで、ただ自分のためではなく、たとえ自分の子供を救うのも、衆生の一人を救うことになります。

●「生命は一回の呼吸にあり、快楽は一つの念頭にある」：

一回の呼吸ができなければ、この生命は終わりです。快楽はすべて一つの念頭です。もし楽しいことを思いついたら、すぐ嬉しくなります。もし誰かを恨んだら、この念頭はあなたを嬉しくさせません。簡単なことです。快楽と悲哀は一つの念頭にあります。人間は一つの念頭で愚かなことをしてしまいます。だから、自分をコントロールするよう学ぶべきです。

●「生命に花を咲かせ、実を結ばせるには、厳しい環境で灌漑を経るべきで、常に安逸な空気にいれば、かえって命の花びらの枝が弱って元気がなくなり、意外な挫折に遭ったら、萎れます。」

試練を経ていない人は成長できないし、悟性も得られません。苦しみを経た人こそ大切さが分かります。安逸な環境で生活する人はよく心を修めることを思い至りません。人生で少し挫折と試練を経験することはいいことで、人の意志を鍛え、人を識別する力を高めます。世の中には永遠に変わらない物事はありません。どんなことに遭っても、誠心誠意お経を読んで、観世音菩薩に助けを求めれば、良くなります。お経を読む時は、観想して、心して読むべきです。観世音菩薩が持っている水差しの水をあなたに灌頂するのを観想し、何をするにしても心して行えばいいのです。皆さんも知っているように、私たちの生活には沢山の例があります。苦しい時は光明を見、苦しみから楽しみを得、楽しみにも苦しみが含まれています。――楽しみ極まって、悲しみを生ず。皆さん是非その中の道理を会得してください。

第五部　　「小房子」特集

皆さんに盧台長の本や、ブログ、番組の録音を総合的に理解してもらうために、「小房子」に関係のある内容を以下にまとめて、是非「小房子」を使用する前に読んで置いてください。

——協賛者

「小房子」について

１、無地の黄色い紙に（硬さは関係なく）描いた幅三寸、長さ四寸の長方形の上に、同じ幅を底辺とする台形を描いて、見た感じは家の屋根のようで、俗にこれを「小房子」というのです。できれば、台長のブログからダウンロードして、黄色いA4の紙に印刷して、四つに「小房子」専集を分けたら、それが四つの「小房子」になります。それぞれの「小房子」の紙は長方形ですが、小房子の形に切らなくても良いです。「小房子」の右上に青か黒のペンで宛先を書き込みます。もし、「要経者」に送るなら、「敬贈　×××的要経者」と書きます。もし、流産した子や堕胎した子に送るなら「敬贈　×××的孩子」と書きます。（普通は母親の名前の子供です。）もし、亡くなった肉親や友達に送るなら「敬贈　外婆　×××」、（或いは直接「敬贈　　×××」）　もし、住んでいる家の要経者に送るなら「敬贈　　×××房子的要経者」。「小房子」の左下に、青か黒のペンで「×××　　贈　　×年×月×日」と書きます。その×××はお経を読む本人が自分でサインしてください。日付はお経を読み終わった日或いは小房子を燃やして送る新暦の日付です。アラビア数字（横書き）を使って、或いは漢数字（縦書き）で書きますが、どちらでも良いです。

２、静かな場所を選んで、お経の途中で電話やノックなどで邪魔されないようにしてください。途中で、邪魔が入ってたら、読むのをやめて、「嗡莱姆索诃」（ウォン　ライ　ムソ　ホ）と一度唱えます。用事が済んでから

もう一度「嗡莱姆索诃」と唱えます。それからお経を続けてください。もし短いお経なら、最初から読み直してください。

3、お経を読む度に、出来れば先ず何回かの「大悲呪」を読んでください。（回数は決まっていませんが、自分の状況に合わせて決めます。）自分にパワーを増強して、小房子の中のお経を読みます。四種類のお経は、どれから読み始めてもかまいません。体調不良や気持ちが落ち着かない時は、無理して小房子を読まないでください。というのは、済度するには精力を消耗するので、精神が集中しなければ、効果が良くないです。

4、一回読み終わったらその経文の〇に赤いペンで点を打って、ある経文を何回か読んで、或いは全部読み終わってから、まとめて点を打っても良いです。注意することは、必ず赤ペンを使うこと、読む前に点を打たないこと、点を打つだけで、〇を塗りつぶしてはいけません。読む回数は決められた回数より少なくならないように、多いのはかまいません。

5、読む時は声を出しても出さなくても良いです。普通は小さな声で読みます。それぞれの経文はタイトルを読まなければなりません。夜十時以降は『心経』と『往生呪』を読んではいけません。雷や暴風雨など、悪天候の時は『往生呪』、『心経』を読まないほうが良いです。読む時、たまに発音が間違っても大丈夫です、ひどく間違わなければ良いでしょう。小房子を一枚読み終わったら、『補闕真言』を七回読んでください。

6、一枚の小房子にある四つのお経の合計数は、一日で読み終わらなくてもいいですが、普通七日間で全部読み終わってください。一枚読むのにあまりにも長くかからないでください。一枚「小房子」を読み終わってから、すぐ日付を入れてください。（燃やして送る日の日付を入れても良いです。）それから「小房子」を専用の白い磁器の皿に置いて、火をつけてください。金属のお皿を使わないように。燃やした時の器を佛壇の上に置かないでください。佛壇の傍の床か台の上に置くこと。家に佛壇があれば、佛壇の前で線香を上げて、跪き、灯明に火をつけます。佛壇がなければ、心の中で線香を上げてから、ライターかマッチで火をつけます。ベランダか裏庭で燃やして送っても良いです。小房子は全部燃やし切って、燃え残りを出さないように。そうでないと、小房子の効果に影

響します。ピンセットで挟んで燃やしても良いです。小房子を燃やす一番いい時間は朝8時か、10時ちょうど、または午後4時ちょうどです。そのほかの時間なら、晴れた日の朝6時から、日没までならいつでも良いです。普通、特殊な場合を除いて、夜や曇りや雨の日は、小房子を燃やさないこと。最後に、燃え残った灰を紙に包んで捨ててください（やたらに捨てたり、トイレに捨てたりしないこと。）

７、小房子を燃やしてから、もし夢に済度した死者や流産した子供を見たら、それは感応があるのです。もし夢で、その人がきちんとした身なりで表情が穏やかで周りが明るかったら、基本的にお経を受け取ったことを意味します。もし、夢でみすぼらしい格好なら、済度が足りないので、続けて小房子を読まなければなりません。普通、流産した子供は一人につき、少なくとも7枚の小房子を読んで、出来れば、21枚以上が良いです。（21枚以上読んで初めて人間に生まれ変わることが出来ます。）死者の夢を見たら、一度に7枚以上の小房子を読んで燃やすこと。普通家屋の要経者の場合は、先ず4枚の小房子を送ります。それから状況に応じて、更に何枚か読みます。

８、以上の済度方法は、霊（自分の要経者、亡くなった人、流産した子供、家屋の要経者）を済度するのに相応しく、読む枚数は、自分の感覚から決めます。動物を済度するなら、『往生呪』を読むのです。もし、牛なら108回、豚羊鼠なら49回、魚鶏蟹なら7回、エビなら3回です。

小房子を読む：

読む前に、「謹んで南無大慈大悲観世音菩薩にお願いします。私×××の読む小房子をyyy（yyyはある人の要経者、亡くなった人の名前、ある人の子供、或いはある人の家屋のの要経者）に送るのをお助けください。」簡単明瞭に話してください。何も話さなくても良いです。というのは、私たちの意念が届くと、あの世でははっきりと記してくれるのです。

小房子を燃やす:

家に佛壇があれば、まず焼香して跪拝して:謹んで南無大慈大悲救苦救難広大霊感観世音菩薩様（三回唱える）にお願いします。小房子を頭上に捧げて、それから佛壇に置いて、跪拝して次のようにお願いします:謹んで南無大慈大悲観世音菩薩様 、私×××の読んだ小房子をyyy（yyyはある人の要経者、亡くなった人の名前、ある人の子供、或いはある人の家屋の要経者）に送るのをお助けください。

次は小房子を燃やす（上から下へ燃やし、できれば、右上角の「敬贈」から燃やしてください。）:「謹んで大慈大悲観世音菩薩様 にお願いします。私をお守りください」。それから灯明で小房子に火をつけて、燃やしている最中は余計なことを言わず、お経を読まなくても構いません。ただ、「大慈大悲観世音菩薩様、どうぞお守りください。」 と言ってください。

燃やし終わってから、次のように言ってください。「南無大慈大悲観世音菩薩様　私×××の健康、平安吉祥をお守りください。私×××がこれらの小房子をyyyに送ったことに感謝致します。大慈大悲観世音菩薩の加護を感謝致します。」（一礼）

【もし家に佛壇がないなら、ベランダや、客間の窓口、或いは裏庭で燃やしてもいいです。まず、心にお香を立てて:「謹んで南無大慈大悲救苦救難広大霊感観世音菩薩様にお願いいたします。」（三回唱える）それから、『大悲呪』、『心経』を一回ずつ読みます。それから、小房子を頭上に捧げて、天に向かって、三礼し、或いは心の中で跪拝して、次のようにお願いします。「南無大慈大悲観世音菩薩様、私×××はこれらの小房子をyyy（yyyはある人の要経者、亡くなった人の名前、ある人の子供、或いは、ある人の家屋の要経者）に送るのを謹んでお願いします。」それから、小房子を燃やせばいいです。燃やし終わってからのやり方は上述したのと同じです。】

小房子問答

問：霊性とは何でしょう。自分にあるかどうかどのように分かるんでしょう。

答；霊性とは俗に言う「鬼」のことです。生きている人の体にとり憑いている肉親や、上の世代の人、堕胎したり流産した子供、或いは仲の良かった友人、或いは自分と悶着のあった人、或いは家屋に以前住んだ人です。もし霊がいれば、二つのことで判断できます。一つ目、霊は物音を立てます。二つ目、体に霊がとり憑くと、腰、膝、足、頭が突然訳もなく痛んだり、気力がなくなったり、或いは急にフケが大量に増えたりして、突然身震いをしたり、寒気がしたりして、いらいらして、怒りっぽくなります。これらは皆その表れです。『往生呪』を読んで、だめなら、『心経』を読んで、それでもだめなら「小房子」を燃やします。

問：なぜ「小房子」は霊性を済度できるのでしょう。

答：『往生呪』はあの世ではとても値打ちがあり、『心経』は『往生呪』より更に大きな効果があります。「小房子」はお経の組み合わせで、どのように効果が大きいか想像できます。小房子はこの組み合わせで以って、観世音菩薩に霊を済度するようにお願いするので、霊験があらたかです。

問：私は小房子を４枚読んで、自分との間に恨みと貸しのあった人に送って、毎回回向もして、毎回お経を読む時間帯に気をつけました。私の質問は、この４枚の小房子を燃やしてから、眠くてたまらなくて、ずっと寝ていても、気力がなくて、腰や背中が具合が悪く、よく悪夢を見て、また何回も霊性の夢を見たのです。また、一回は金縛りになったことがあります。家族も病気になって、また、本棚が突然壊れて、仕方なく本をあちこちに置くしかありませんでした。家の中はめちゃくちゃになって……。どうしたんでしょう。

答：絶対回向をしてはいけません。特にただ「恨みや貸しのあった人」だけにしたら、その人は数え切れないのです。回向するにはある程度のパワ

ーがなければできません。「小房子」はそれらの体に憑りとり憑いていた霊或いは亡くなった人に対して燃やすもので、是非誰を済度するのかはっきりしなければなりません。「小房子」はあの世ではとても値打ちのあるもので、送金と同じように、受け取る人の名前をはっきり書かなければなりません。あなたのようにしたら、「恨みや貸しのあった人」を全部呼んできたことになって、彼らは全部お経を求めに来て、とても煩わしくなります。だから、勝手にしないで、是非盧台長の言ったとおりにしてください。是非覚えてください。

問：私は娘の代わりに小房子を読んで、霊性を済度する時、サインをする場所に娘の名前を書いてもいいですか。こうしたら、私は三倍読まなくてもいいです。

答：絶対してはいけません。お経を読む時、天上に記録する部門があります。まるで小切手のように、あなたは銀行の口座に貯金して、あなたの娘の名義で小切手を切ることができないのと同じです。また、このような行為への罰は空手形より重いです。正直にやりなさい。

問：自分の体に霊性があるかどうか分からない場合、小房子を読んでもいいですか。多めに読んでもいいですか。

答：いいです。「敬贈　×××的要経者」で送ってください。できれば何か感じたり、痛んだり、或いは亡くなった人が夢に出たり、或いは霊がとり憑いている諸症状がある時に読んでください。これは、自分は債務があって、まだ取り立て人が来るまでに貯金しておいて、業障が来たら、取立人がそのお金を持っていくということです。こうすれば、あなたに大きな傷害を与えなくなります。多く読めば大丈夫です。しかし、是非覚えてほしいことは：小房子を貯めて置いたら、取立人のために用意してあるもので、どれぐらい負債があるか確定しないものだと思ってください。自分自身はもらえなくて、まるで苦労して稼いだお金を、一銭も使えなくて、そのままにしておいて返済のために用意するものだと思ってください。自分自身の修行はまだ日が浅いので。この関係を把握して、

日々修行に精進することは重要なことです。

問：小房子を読んだら、それで永遠に霊が消えてしまうことになるのですか。

答：違います。読み終わったのは現在に至るまでの要経者を済度するだけで、これから霊が現れないとはかぎりません。時間の経つにつれて、業障がいつでも霊と変る可能性があります。或いは、他の人と喧嘩をしたり、墓地、病院、火葬場に行ったりする時、霊を招く可能性があります。

「小房子」による済度は慎重に

（盧台長のブログ２００９年４月９日の文章から）

皆さんに是非注意してほしいですが。小房子で済度するのは非常にいい効果があることは明らかで、よく知られていることですが。我々は非常に複雑な環境で生きていることも物語っています。霊は本当に存在していて、また、霊の世界は我々人類の世界より遥かに複雑です。ちょっとの不注意でも、自分の身に引火することになります。その原因は様々で、枚挙に暇がありません。現在まで既に他人の代わりに済度してあげて、自分の身に災いが降りかかった実例が二つあります。

小房子を自分に送る時、問題になりませんが、台長のご指導或いは自分の感覚から小房子の枚数を決めたらいいです。しかし、他の人の代わりにする時、家族であれ、友達であれ、安全な方法は台長に聞いてからしてください。特に重病人或いは霊が長くとり憑いていた人、或いは随分前に亡くなった人へ4の済度は、気をつけてください。代わりに済度するには、自分の功力、修行の力が必要です。台長が皆さんに貴重な方法を伝授しましたが、この貴重な方法はどんな場合でも使えると思ってはいけません。たとえて言えば、鋭利な宝剣があっても、幼い子供が振り回したら危険だということです。

付録　修行に当たっての追加問答

問：お経を読むには何かタブーがありますか？

答：まず、誠心誠意読んで、心に抵抗、懐疑を持たないことと雑念が多くないこと。手を綺麗にして、数珠や跪拝用の座布団などを大事に扱ってください。仏に供える物や仏具などに触れる前に手を洗うこと。穢れたものをこれらの道具に触れないでください。観音菩薩を拝む時、お経を読む前、願をかける時、及び放生する前、必ず自分の名前を菩薩に報告して、同時にお願いすることをはっきり言ってください。一回のお願いは三つを超えてはいけません。病院、墓地，火葬場などでは絶対に『往生呪』『心経』を読んではいけません。『大悲呪』を読んでください。そうでないと、自分に面倒なことが降りかかります。

問：家族が観音菩薩の佛壇を設けることに反対するので、私は朝ベランダで焼香仏を拝みますが、いいでしょうか。方向は必ず西に向いてやるのでしょうか。

答：ダメです。焼香するには必ず家で開眼したか長期間供えた佛や菩薩像でなければなりません。こうして初めて佛や菩薩が感応してくれます。もし家に開眼したか長期間供えた佛や菩薩像がなくて、適当に焼香したら、その香を受け取るのは必ずしも菩薩とはいえなくて、通りすがりの神霊かも知れないので、危険です。

付録　　番組の時間と内容のお知らせ及び「小房子」のお手本

［付録Ｉ］ 付録Ｉ　番組の時間と内容のお知らせ

盧台長のブログをごらんになる皆さんへ：

問い合わせの電話番号：００６１‐２‐９２８３２７５８
或いは　0061‐２‐９６９８８８７７

直通ホットライン：００６１　‐２‐９６９８８８６６

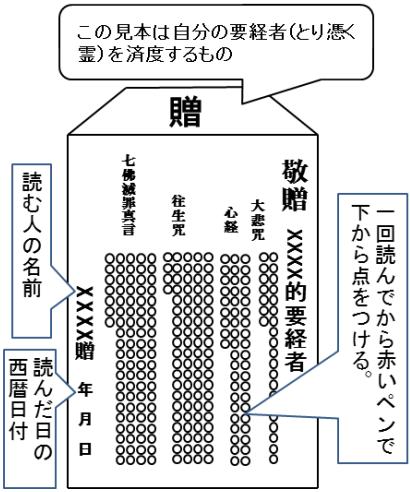
台長直通ホットライン受付時間（シドニー時間）

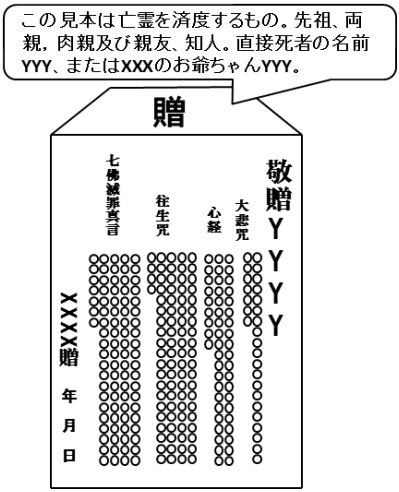
１、「玄芸綜述」（トーテムを看る）：
毎週火曜日、木曜日、土曜日の夕方５：００～６：００（日本時間：毎年の４～９月 午後４：００～５：００；毎年の10月～翌年の3月 午後3：００～4：００）
２、「玄芸問答」（トーテムは看ない）：
毎週金曜日、日曜日昼１２：００～14：００
（日本時間：毎年の４～９月１１：００～１３：００；毎年の10月～翌年の3月 １０：００～１２：００）

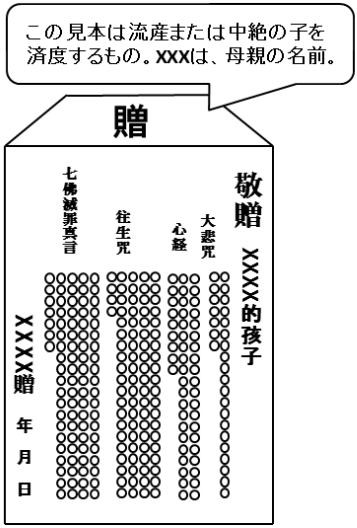
東方台（ラジオ局）秘書処

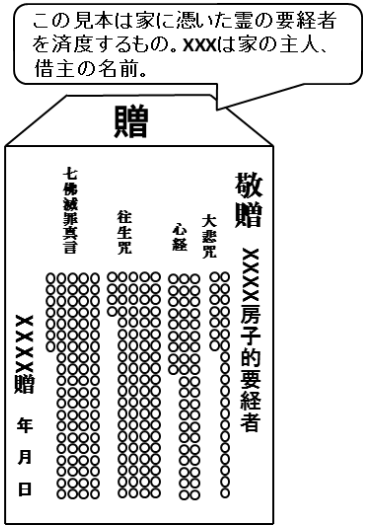
日本にある心霊法門の観音堂の住所　電話
〒136-0071　東京都江東区亀戸６丁目55－19ルミエールビル8階　XLFM　JAPAN
電話　03－3636－2808
http://www.xlfm.info

［付録Ⅱ］　小房子お見本


この見本は自分の要経者(とり憑く霊)を済度するもの
贈
敬贈 XXXX的要経者
大悲咒
心経
往生咒
七佛滅罪真言
XXXX贈 年 月 日
読む人の名前
読んだ日の西暦日付
一回読んでから赤いペンで下から点をつける。


この見本は亡霊を済度するもの。先祖、両親，肉親及び親友、知人。直接死者の名前YYY、またはXXXのお爺ちゃんYYY。
贈
敬贈 YYYY
大悲咒
心経
往生咒
七佛滅罪真言
XXXX贈 年 月 日


この見本は流産または中絶の子を済度するもの。XXXは、母親の名前。
贈
敬贈 XXXX的孩子
大悲咒
心経
往生咒
七佛滅罪真言
XXXX贈 年 月 日


この見本は家に憑いた霊の要経者を済度するもの。XXXは家の主人、借主の名前。
贈
敬贈 XXXX房子的要経者
大悲咒
心経
往生咒
七佛滅罪真言
XXXX贈 年 月 日

あとがき

協賛者の言葉

まず盧軍宏台長に感謝します。この九年間に渡って「玄芸綜述」と「玄芸問答」等の番組を主宰して、皆さんに玄学に関する疑問に答え、佛法を広めてくださいました。この並々ならぬ根気強さは一人ひとりの受益者を感服させ、この本を出版するに際して、心からの敬意と感激を捧げます。

また本書の編集者である良宵氏に感謝すべきで、彼のたゆまない努力がなければ、この本を目にする縁もなく、良宵氏の素晴らしい注釈も読めなくなります。ここに心からの感謝と敬意を捧げます。

この本は東方台の皆さんのご協力のお陰で出版され、彼らによって最新の修定版と表紙を送ってくれて、校正にもご協力してくださったことに対して、感謝します。また彼らの提案を入れて、本文の終わりに盧軍宏台長のブログの文章も付け加えて、この本を更に整ったものにしました。

この本の印刷に協賛したきっかけは、居士の間に広まった一組のCDで、それは盧台長の番組の録音でした。このCDによって、我々は盧台長の『一命二運三風水　八年実録五百問』　という本に出会いました。更に多くの人とこの本のよさを分かち合うために、出版を決定しました。

この本は五冊の小冊子からできていて、それぞれ「関連説明」、「本文」、「附文」、と「読者のフィードバック」からなっていて、２００８年初頭から２００８年１０月までの盧台長の番組の記録です。本文の終わりに付け加えられた『盧軍宏台長のブログ専集』は、盧台長がブログの中で発表した文章を我々が編集、整理したものです。『小房子専集』は台長のブログの中や、本の中の内容をまとめたものです。皆さんの便宜のために、「小房子」の見本をつけたので、よく保管してください。

皆さんがインターネットでも閲覧できるようにホームページを紹介します。　　http://lujunhong2or.com/

特に言いたいのは、小房子を読む時や盧台長が紹介した経文を読む時、是非盧台長のホームページに載せてある『経文録音と整理原稿』と照らし合わせてください。間違えて、お経を読む効果に影響しないようにしてくださ

い。

我々は勉強不足で、足りないところがあると思って、是非貴重なご意見をよせてください。再版の参考にします。

この本をご覧になる一人ひとりの読者がご利益を受けるように、「これからの人生が滋味あるもので、将来何も気がかりなく生涯を終えるように」。

２００９年4月２８日

後　記

「豪州東方華語電台（ラジオ局）」はオーストラリアシドニーにある大陸を背景とする新移民向けで、標準語を主とした24時間放送のラジオ局です。2009年中国語放送の世界最高賞――特別飛躍ラジオ局賞を受賞しました。「豪州東方華語電台」はオーストラリアの主流社会及び華僑界において評判が高く、オーストラリア政府と中国政府の重視するところとなり、オーストラリア首相ジラード氏、中国駐シドニー総領事段潔龍氏などもこのラジオ局を視察したことがあります。

「豪州東方華語電台」の主旨は中豪の経済、貿易、文化、芸術、政治、外交と教育の架け橋を作ることです。中豪関係の全面的な発展を推し進めることであり、マスコミが持つべき架け橋としての役割を発揮することであり、最新ニュースを随時報道することであり、華僑のリスナーに楽しくて質の高い番組を作って、中国の優れた伝統文化を放送し、華僑リスナーの心の友になることです。このラジオ局の放送は300万人あまりのリスナーが聞いています。

盧軍宏台長はシドニーの著名な華僑のリーダーで、各華僑団体の会長や主席を務めるだけでなく、豪州東方華語電台の台長を十四年の長きにわたって務めてきました。華僑の聴衆の間では高い信頼を得ています。盧軍宏台長は今豪州東方華語電台台長で、世界中の中華圏で大ヒットしているトーテムを看る生番組「玄芸綜述」を主宰しています。盧台長は幼い頃から玄学を研鑽し、その後、多くの名高い指導者から指導を受け、嘗てチベット政治協商会議副主席珠康活佛及びその他六人の活佛のお供をして、オーストラリアでチベット佛教の布教や、オーストラリア全土での講義を行う時、ずっと同行していました。盧台長は元から持っていたトーテムを看るという超能力を基礎として、また活佛に灌頂してもらい、加持や教化をしてもらい、佛教学の真諦を伝授し、更にトーテムを看る精度を高めたのです。こうして信者とリスナーの生活上の困難を解決し、正信正念の佛教を学ぶように導き、玄芸の特殊な方法を使って、広く佛法を発揚し、更に、信者達に趙樸初先生の「佛教念誦集」を学ばせます。

盧軍宏台長は祖国を愛し、何十年に亘って中豪両国の文化交流を促進させるために力を尽くしてきました。豪州東方華語電台は何百万のリスナーを有して、普通の華僑のほか、百万人近くの佛教徒のリスナーがいます。皆さんに生活上の困難を解決するよう、盧台長は招請に応じて、豪州各地、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、デンマーク、香港、マレーシアなど各地で講演し、正信佛法を発揚し、中華文化を広め、佛教の精髄を学び、トーテムの世界を研究し、儒学の精神を培ってきました。オーストラリアや全世界を舞台に、盧台長について仏教を学んだ衆生に佛法知識を身につけさせ、中華文化を広めさせました。衆生にお経を読むことと佛法を学ぶことを通じて、自分の運命を改善させ、勉強、仕事や生活の面で更に順調にいくように、人に優しく、更に国や社会の発展に尽くしてもらいます。

盧軍宏台長『一命二運三風水』及び『天地人』を重版するについての注意事項

１、皆さんにに盧軍宏台長の本やDVDを大量に重版、流布することを大いに歓迎します。功徳無量。
２、盧軍宏台長の全ての資料は結縁によって無料で贈ります。絶対販売してはいけません。さもなければ、後のことは自分で責任を負ってください。
３、インターネットが使えない人のために、青島居士の協賛で印刷した『一命二運三　風水』と『天地人』バージョンとブログからダウンロードしたバージョンとは違い　ますが、どちらも台長のブログからのもので、東方台秘書処の認可を得ているものです。
４、お経を読むのに便利なように、専用のルビ付きの経文を協賛して、出版しました　が、本の中に経文を付け加えては良くないと台長がおっしゃったので、経文と二冊の本を別々に印刷してください。『一命二運三風水』と『天地人』の中に経文をつ　けないでください。
５、2009年12月更新の台長のブログによれば、『解結呪』は始まりのところ

に、唵（an）の字、“祥中祥”の前に更に 唵（an）の字を加えます。ぜひ直してください。こちらも『一命二運三風水』の付録ルビ付き経文を再版する時改正します。

2010年９月

『一命二運三風水』再版後記

この本を読み終わったら、本を閉じて、よく考えてください。ますます読みたいと思ったら、もう一回読み直してください。きっとより深い体験をするでしょう。もしこの本を読んで、半信半疑だったら、このシリーズの二冊目の『天地人』を読んだら、きっと完全に信じるでしょう。もしこの本を読んでいる時、心の中で怖いけど読みたくなって、神経質になって、夜沢山夢を見るようになったりしたら、それはあなたの“陽の気”が足りないか、或いはあなたの“陰の気”がとても重いのです。プラスのパワーを強化すべき人で、是非この本に載っている連絡方法に留意してください。問い合わせは無料なので、ぜひ連絡して、あなたの疑問を解いてください。

もし読んでから何も感じなくて、或いは途中で興味が無くなったら、あなたの貴重な時間を無駄にして申し訳ないと言わせてください。またいつか縁があったら、出会えるはずです。

もし読んでから非常に反感を持って、荒唐無稽な話と思ったら、この本を友人に返してください。ただし無礼な事は言わないでください。ご協力に感謝します。読者の皆さんのご健康とご活躍、家内安全、事業の益々のご発展、万事順風満帆であるようにお祈りします。

著者　良宵2011年12月12日
シドニーにて

通　知

もしこれらの本・経文・小房子を印刷して功徳を積みたいと思う修行者がいれば、海外唯一の次の口座を使ってください:“東方台観音堂中国銀行悉尼（シドニー）分行帳戸（口座)”

銀行名：中国銀行シドニー支店
（口座名）Account　Name:"20R　GUANYINTANG　CULTURE"
(銀行地区番号）BSB:352000
（口座番号）Account No.:364463-1221-000（豪ドル口座番号）
（中国銀行シドニー支店連絡番号）Swift Code :BKCHAU2S
中国銀行（シドニー支店）所在地:Bank of China-Sydney Branch 39-41 York St Sydney N.S.W.2000 Australia

東方台（ラジオ局）秘書処